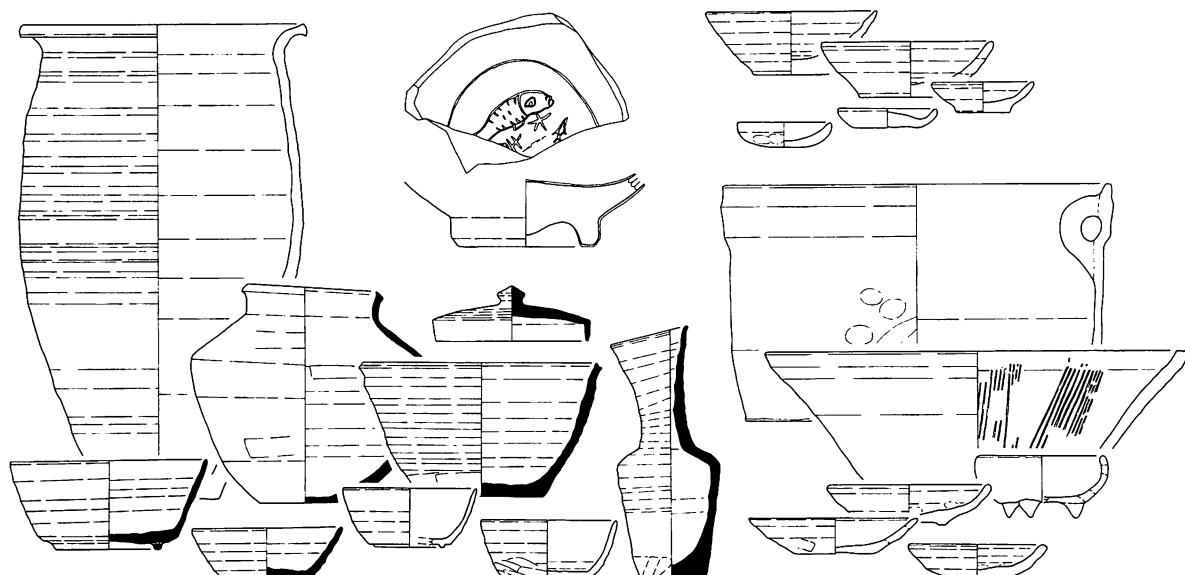


山梨県中巨摩郡八田村
石橋北屋敷遺跡

一般国道52号（甲西道路）改築工事および中部横断自動車道建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書



2000.3

山梨県教育委員会
建設省甲府工事事務所
日本道路公団東京建設局

山梨県中巨摩郡八田村

石橋北屋敷遺跡

一般国道52号（甲西道路）改築工事および中部横断自動車道建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

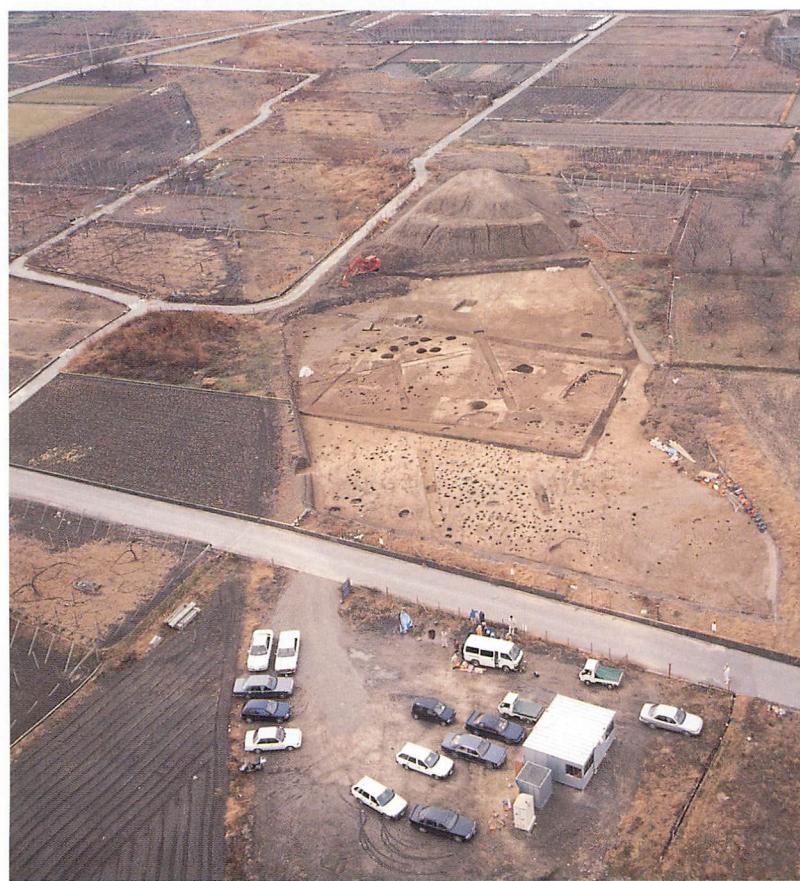
2000.3

山梨県教育委員会
建設省甲府工事事務所
日本道路公団東京建設局

1. 石橋北屋敷遺跡全景
(西から)



2. 2 a 区全景 (北東から)



3. 2 a 区 1 号溝 (北から)

卷頭図版 2



1. 2 b 区全景



2. 2 b 区 4 号土坑



3. 2 b 5 区号人骨 (28号土坑)

1. 3区全景（西から）



2. 3区 7号住居跡



3. 3区道路跡



巻頭図版 4



1. 奈良・平安時代の土器



2. 3区 7号住居跡出土長頸壺



3. 戦国時代の土器

序

本書は、1997（平成9）年度と1998（平成10）年度に実施した、中巨摩郡八田村に所在する石橋北屋敷遺跡の発掘調査報告書であります。この調査は、建設省甲府工事事務所が行う一般国道52号（甲西道路）改築工事並びに日本道路公団が行う中部横断自動車道建設工事に伴うもので、甲府盆地の西部、御勅使川扇状地内で行った大規模な発掘調査であります。この事業にかかわり現在までに富士川右岸の峠西地域では甲西町・若草町・櫛形町で10箇所の遺跡の調査が行われてきましたが、本遺跡はその後新たに確認された遺跡であります。

本遺跡は扇状地の北端部に位置し、北東から南西にかけて広範囲に広がっていることから、1・2a・2b・3の4区画に分け調査を進めました。その結果、奈良時代から中世を中心とした遺跡であることがわかりました。

遺構は長さ300mにわたる範囲に分布しており、奈良時代から中世初頭の住居跡17軒、奈良時代から中世とみられる掘立柱建物跡7棟、中世前半期と考えられる道路跡2条、中世から近世にかけての溝21条、縄文時代から中世にかけての土坑400基余り、1200基を越えるピットなどが発見されました。これらのうち、3区で発見された中世の道路跡は、県内では初めての発見となります。中世の遺構は一定の方位・区画に沿ってつくられており、道路跡は当時の公的な道であったものとみられます。土坑には地下式土坑や井戸が含まれており、さらに人骨が残る土坑墓もあり、中世末期にはこのあたりは墓地として利用されていたようです。

御勅使川は現在は遺跡の北側を流れていますが、旧来は遺跡の700mほど南を走っていたものであります。本遺跡の東側一帯は地元では「北屋敷」と呼ばれており、新たな御勅使川の開削に深く関わった、この地域を支配した人物の屋敷があったことも考えられ、本遺跡で発見された遺構との関係が注目されます。

この他にも縄文時代、弥生時代の土器も出土しており、さらに古くから集落が存在していたことがうかがえます。

甲府盆地における扇状地の遺跡の一例として、また本県における古代から中世にかけての集落の変遷の事例として、御活用いただければ幸いです。

末筆ながら調査にあたって御指導・御協力を賜った関係機関各位、並びに調査・整理に従事された方々に厚く御礼申し上げます。

2000年3月

山梨県埋蔵文化財センター
所長 大塚 初重

例　言

1. 本書は、1997（平成9）年度・1998（平成10）年度に実施した山梨県中巨摩郡八田村野牛島字石橋に所在する石橋北屋敷遺跡（いしばしきたやしきいせき）の発掘調査報告書である。
2. 調査は一般国道52号（甲西道路）改築工事・中部横断自動車道建設に伴う事前調査であり、山梨県教育委員会が建設省および日本道路公団より委託を受け、山梨県埋蔵文化財センターが実施したものである。
3. 本書の執筆・編集は小林健二が行った。付編1については山梨文化財研究所 河西 学氏にお願いした。また付編2の鉄滓分析については川鉄テクノリサーチ株式会社に、付編3の人骨鑑定については聖マリアンナ医科大学に、それぞれ委託した。
4. 遺物の写真は日本写真家協会会員、塚原明生氏に撮影委託した。
5. 遺物の実測、トレース、図面原稿整理については、大森仁美、垣内律子、土井みさほ、新津多恵、松田拓也、望月厚子の諸氏の協力を得た。
6. 本遺跡にかかる出土品・記録図面・写真等は一括して山梨県埋蔵文化財センターに保管してある。
7. 発掘調査・整理作業に際して、下記の方々から多大なる御教示・御配慮を賜った。記して感謝申し上げる。
佐野五十三（〈財〉静岡県埋蔵文化財調査研究所）、河野眞知郎（鶴見大学）、飯村 均（福島県教育庁）、三好美穂（奈良市埋蔵文化財調査センター）、畠 大介・平野 修・櫛原功一（山梨文化財研究所）、山下孝司（韮崎市教育委員会）、田中大輔（若草町教育委員会）

（順不同・敬称略）

凡　例

1. 遺構・遺物挿図の縮尺は原則として次のとおりである。
〔遺構〕 全体図・遺構配置図…1：300・1：400、住居跡・掘立柱建物跡実測図…1：60、カマド…1：30、土坑実測図…1：10・1：30、遺物出土状況実測図…1：20・1：30、溝実測図…任意
〔遺物〕 土器・陶磁器実測図・拓本…1：2・1：4、石器・石製品実測図…1：2・1：3・1：6、金属製品・鉄滓実測図…1：2、古錢拓本…1：2
2. 遺物図版中の土器・陶磁器のうち、断面が黒塗りは須恵器、斑点は灰釉陶器・綠釉陶器を表す。
3. 土器観察表中の色調名は、農林水産省水産技術会議事務局監修『新版 標準土色帖』1990年度版による。
4. 遺構断面図中のレベルポイント部分にある数字は、標高を表す。

目次

序

例言、凡例

第1章 調査の経緯と概要	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 発掘調査の概要	1
第3節 調査組織	2
第2章 地理的環境	3
第1節 遺跡の立地	3
第2節 周辺の遺跡	3
第3章 発見された遺構と遺物	5
第1節 1区の調査	5
(1) 堀立柱建物跡	5
(2) 溝	5
(3) 土坑・ピット他	5
第2節 2a区の調査	5
(1) 住居跡	5
(2) 壴穴状遺構	6
(3) 堀立柱建物跡	6
(4) 溝	6
(5) 道路跡	7
(6) 土坑・ピット他	7
第3節 2b区の調査	7
(1) 住居跡	7
(2) 壴穴状遺構	7
(3) 溝	7
(4) 土坑・ピット他	8
第4節 3区の調査	8
(1) 住居跡	8
(2) 壴穴状遺構	9
(3) 堀立柱建物跡	9
(4) 溝	9
(5) 道路跡	10
(6) 土坑・ピット他	10
第4章 調査の成果と課題	11
付編1 石橋北屋敷遺跡周辺の地形環境	103
付編2 八田村石橋北屋敷遺跡出土 鉄滓の分析・調査	106
付編3 石橋北屋敷遺跡の出土人骨鑑定結果	113

表目次

第1表 1区土坑一覧表	12
-------------	----

第2表 2a区土坑一覧表	12
第3表 2b区土坑一覧表	12
第4表 3区土坑一覧表	12
第5表 1区ピット一覧表	13
第6表 2a区ピット一覧表	13
第7表 2b区ピット一覧表	15
第8表 3区ピット一覧表	15
第9表 1区出土土器観察表	16
第10表 2a区出土土器観察表	16
第11表 2b区出土土器観察表	17
第12表 3区出土土器観察表	19
第13表 石器・石製品観察表	23
第14表 金属製品観察表	23
第15表 古錢観察表	23

挿図目次

第1図 発掘区域とグリッド	2
第2図 遺跡の位置	4
第3・4図 1区遺構実測図①・②	24・25
第5~13図 2a区遺構実測図①~⑨	26~34
第14~21図 2b区遺構実測図①~⑧	35~43
第22~35図 3区遺構実測図①~⑭	44~58
第36図 1区出土土器実測図	59
第36~42図 2a区出土土器実測図①~⑦	59~65
第43~53図 2b区出土土器実測図①~⑪	66~76
第53~71図 3区出土土器実測図①~⑯	76~94
第72~77図 石器・石製品実測図①~⑥	95~100
第78~79図 金属製品実測図①・②	101・102
付図1 石橋北屋敷遺跡全体図	
付図2 1区遺構配置図	
付図3 2a区遺構配置図	
付図4 2b区遺構配置図	
付図5 3区遺構配置図	

写真図版目次

卷頭図版1 1. 石橋北屋敷遺跡遠景 2. 2a区全景 3. 2a区1号溝	
卷頭図版2 1. 2b区全景 2. 2b区4号土坑 3. 2b5号人骨(28号土坑)	
卷頭図版3 1. 3区全景 2. 3区7号住居跡 3. 3区道路跡	
卷頭図版4 1. 奈良・平安時代の土器 2. 3区7号住居跡出土長頸壺 3. 戦国時代の土器	

- 図版1 1. 1区全景 2. 1区1号掘立柱建物跡 3. 1区2号掘立柱建物跡 4. 1区1号溝 5. 1区1号土坑 6. 1区ピット群 7. 2 a区全景 8. 2 a区1号住居跡 9. 2 a区1号住居跡実測風景 10. 2 a区1号住居跡遺物出土状況 11. 2 a区2号住居跡 12. 2 a区2号住居跡遺物出土状況
- 図版2 1. 2 a区3・4号住居跡 2. 2 a区3号住居跡遺物出土状況 3. 2 a区3号住居跡カマド 4. 2 a区4号住居跡カマド 5. 2 a区1号溝 6. 2 a区3号溝 7. 2 a区3号溝遺物出土状況 8. 2 a区2・6・7号溝、道路跡 9. 2 a区土坑群の調査風景 10. 2 a区2号土坑 11. 2 a区8号土坑 2. 2 a区13号土坑（井戸） 13. 2 a区25号土坑 14. 2 a区49号土坑 15. 2 a区1号人骨（16号土坑） 16. 2 a区2号人骨（15号土坑） 17. 2 a区3号人骨（14号土坑） 18. 2 a区1号竪穴状遺構、ピット群
- 図版3 1. 2 b区全景 2. 2 b区1号住居跡 3. 2 b区1号住居跡カマド 4. 2 b区1号住居跡遺物出土状況 5. 2 b区2号住居跡、2号竪穴状遺構 6. 2 b区2号住居跡カマド 7. 2 b区3号住居跡 8. 2 b区3号住居跡カマド 9. 2 b区3号住居跡遺物出土状況 10. 2 b区1号竪穴状遺構 11. 2 b区4号溝 12. 2 b区4号溝遺物出土状況 13. 2 b区5号溝 14. 2 b区5号溝調査風景 15. 2 b区1・2号土坑
- 図版4 1. 2 b区17号土坑 2. 2 b区21号土 3. 2 b区26号土坑 4. 2 b区1号人骨（7号土坑） 5. 2 b区2号人骨（4号溝内） 6. 2 b区1号人骨（59号土坑） 7. 2 b区4号人骨（104号土坑） 8. 2 b区5号人骨（28号土坑） 調査風景 9. 2 b区土坑群、ピット群 10. 3区全景 11. 3区1号住居跡 12. 3区1号住居跡カマド 13. 3区1号住居跡遺物出土状況 14. 3区2号住居跡 15. 3区3号住居跡、28・61号土坑
- 図版5 1. 3区3号住居跡カマド 2. 3区4号住居跡 3. 3区4号住居跡カマド 4. 3区5号住居跡 5. 3区5号住居跡遺物出土状況 6. 3区5号住居跡遺物出土状況 7. 3区6号住居跡 8. 3区6号住居跡カマド 9. 3区6号住居跡カマド内遺物出土状況 10. 3区7号住居跡実測風景 11. 3区7号住居跡カマド 12. 3区7号住居跡遺物出土状況 13. 3区7号住居跡長頸壺出土状況 14. 3区8・9号住居跡 15. 3区9号住居跡遺物出土状況 16. 3区9号住居跡遺物出土状況 17. 3区10号住居跡、4号掘立柱建物跡 18. 3区10号住居跡遺物出土状況
- 図版6 1. 3区1号掘立柱建物跡 2. 3区2号掘立柱建物跡 3. 3区3号掘立柱建物跡 4. 3区2・7号溝 5. 3区2号溝遺物出土状況 6. 3区2号溝遺物出土状況 7. 3区2号溝石臼出土状況 8. 3区2号溝ウマの下顎骨出土状況 9. 3区3号土坑 10. 3区4号土坑 11. 3区8号土坑 12. 3区3号土坑遺物出土状況 13. 3区9号土坑 14. 3区1号人骨（60号土坑） 15. 2 a区・2 b区・3区モザイク処理写真
- 図版7 1. 1区出土土器 2. 2 a区1号住居跡出土土器 3. 2 a区2号住居跡出土土器 4. 2 a区3号住居跡出土土器 5. 2 a区4号住居跡出土土器 6. 2 a区1・3号溝出土土器 7~10. 2 a区17号土坑出土土器（柱状高台Ⅲ）
- 図版8 1. 2 a区68号土坑出土土器 2. 2 a区1号遺構外出土土器 3. 2 b区1号住居跡出土土器 4. 2 b区3号住居跡出土土器 5. 2 b区4号溝出土土器 6. 2 b区5号溝出土土器 7. 2 b区土坑出土土器（かわらけ） 8. 2 b区土坑出土土器（内耳鍋）
- 図版9 1. 2 b区土坑出土土器（擂鉢） 2. 2 b区21号土坑出土土器 3. 3区1号住居跡出土土器 4. 3区1号住居跡出土土器 5. 3区4号住居跡出土土器 6. 3区5号住居跡出土土器 7. 3区6号住居跡出土土器 8. 3区7号住居跡出土土器
- 図版10 1. 3区9号住居跡出土土器 2. 3区10号住居跡出土土器 3. 3区2号溝出土土器 4. 3区5号溝出土土器 5~8. 3区6号溝出土青磁碗 9. 3区土坑出土土器（かわらけ）
- 図版11 1. 3区遺構外出土土器 2. 3区遺構外出土土器 3. 4. 2 a区出土石器 5. 2 a区出土石製品（ひで鉢他） 6. 2 b区出土石製品（石臼他） 7. 3区出土石製品（砥石） 8. 3区出土石製品（石臼） 9. 2 a区・2 b区・3区出土古鏡

第1章 調査の経緯と概要

第1節 調査に至る経緯

本遺跡は甲府盆地西部の富士川（釜無川）右岸地域に位置しているが、この一帯は建設省が行う国道52号（甲西バイパス）及び日本道路公団が行う中部横断自動車道の建設計画地に該当している。このことから山梨県教育委員会と日本道路公団東京第二建設局（現東京建設局）では、計画地内における埋蔵文化財の保護についての協議に入り、平成8年度（1996）から山梨県埋蔵文化財センターによる工事区域内の遺跡所在確認調査が始まられた。その結果中巨摩郡白根町在家塚～北巨摩郡双葉町竜地の5.5km間に、試掘調査以前から発掘調査の必要性が認識されていた堤跡と合わせ6箇所の遺跡が所在することが確認できた（第2図）。

本遺跡は平成8年度（1996）の試掘調査により発見された。この一帯は御勅使川の扇状地の北端地域で、集落遺跡についてはほとんど知られていなかったところであった。そんな中、平成7年度（1995）に本遺跡のすぐ西側で工業団地造成に伴い大塚遺跡が発掘され、古墳時代初頭、奈良・平安時代の集落が発見されたことから、今回の予定地内でも同時期の遺跡の存在が予想されていた。ところが試掘調査を始めて見ると、地表下70cm前後の深さから土坑やピット群が確認され、かわらけや内耳土器、擂鉢等の土器類が出土し、中世後半期の集落の存在が予測されるに至った。後に区分けした3区にあたる部分は用地買収が完了していなかったため試掘を行うことができなかつたが、以上の結果から判断し、この部分を含めて遺跡の範囲とした。

そこで山梨県教育委員会は建設省甲府工事事務所も交え改めて協議を行い、平成9年度から本格的な発掘調査を実施することとなった。遺跡の範囲が幅40m、長さ300mにも及ぶことから、2年次にわたり調査を行うことで了解された。遺跡は大字野牛島小字石橋地区に含まれるが、地元で古くから「北屋敷」と呼ばれる一帯の西側にあたることから、合わせて「石橋北屋敷遺跡」と命名した。そして平成10年度の調査に入る段階で、既設の道路により調査区を改めて1区～3区と区分し、2区については前年度の調査で発見された溝を境にさらに2a区と2b区に分けた（第1図）。

発掘調査は2a区を平成9年10月28日から平成10年1月30日まで、1区・2b区・3区は平成10年4月20日から同年12月7日まで実施し、報告書作成は平成11年度に行った。

第2節 発掘調査の概要

調査は道路工事が行われる幅約40m、長さ約300mを対象として行った。調査の方法は、重機により表土を除去することから始め、道路建設予定地内に打たれた杭をもとに一辺5mの方眼を設定した（第1図）。そしてベルトコンベアを用いながら人力により全面的な発掘を行い、それぞれの調査区で遺構が面的に掘りあがった状態でラジコンヘリコプターによる写真撮影を行った。

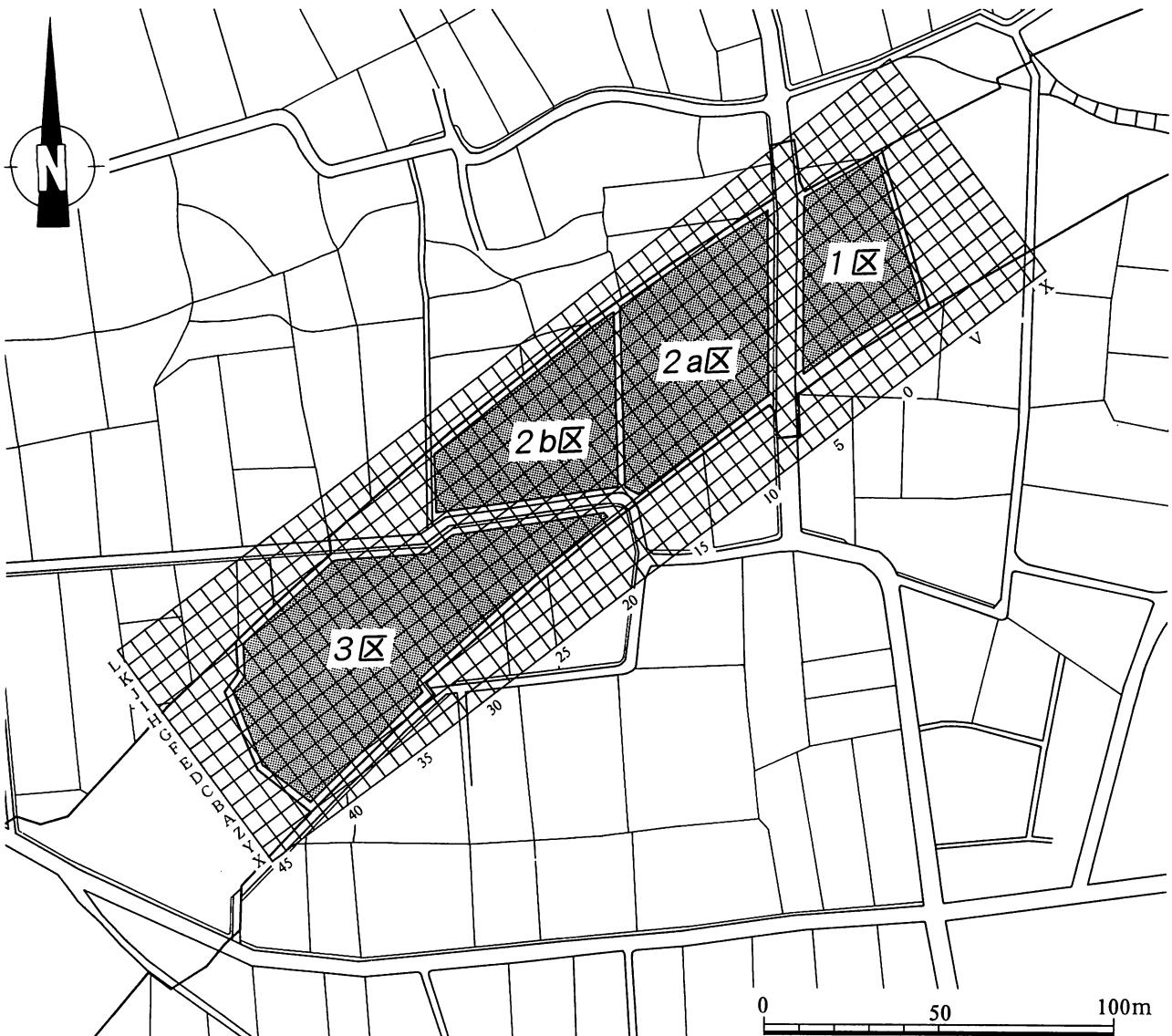
調査の結果発見された遺構は次のとおりである（付図参照）。

[1区] 掘立柱建物跡：2棟、溝：1条、土坑：80基、ピット：212基（縄文～弥生時代、戦国時代か。）

[2a区] 住居跡：4軒（鎌倉時代）、竪穴状遺構：1軒（縄文時代か）、掘立柱建物跡：1棟（時期不明）、道路跡：1条（鎌倉時代か）、溝：6条（鎌倉から戦国時代）、土坑：80基（縄文・鎌倉～戦国時代、土坑墓・井戸を含む）、ピット：634基（縄文・奈良～平安・戦国時代）

[2b区] 住居跡：3軒（奈良～平安時代）、竪穴状遺構：3軒（奈良～平安・戦国時代）、溝：3条（鎌倉～戦国時代）、土坑：101基（弥生・奈良～平安・戦国時代、土坑墓を含む）、ピット：209基（奈良～平安・戦国時代）

[3区] 住居跡：10軒（奈良～平安時代）、竪穴状遺構：1軒（奈良～平安時代か）、掘立柱建物跡：4棟（奈良～平安・戦国時代）、道路跡：1条（鎌倉～室町時代）、溝：12条（鎌倉～江戸時代）、土坑：123基（奈良～平安・戦国時代、土坑墓を含む）、ピット：196基（奈良～平安・戦国時代）



第1図 発掘区域とグリッド (1 : 2,000)

第3節 調査組織

調査主体 山梨県教育委員会

調査機関 山梨県埋蔵文化財センター

平成9年度 新津 健（山梨県埋蔵文化財センター副主幹・文化財主事）

崎田 哲（山梨県埋蔵文化財センター主任・文化財主事）

依田幸浩（山梨県埋蔵文化財センター非常勤嘱託）

平成10年度 小林健二（山梨県埋蔵文化財センター文化財主事）

依田幸浩（山梨県埋蔵文化財センター文化財主事）

作業員・整理員 秋山進也、秋山とみ、秋山正文、井戸 明、井上 清、井上時男、今津 勝、折居一男、折居きく、笠井真由美、越石 力、坂本小百合、齋藤利男、齋藤直江、柴田昭二、清水重雄、玉越ゆかり、時田 熱、原田みゆき、樋口きくゑ、樋口久子、深沢 繁、藤原洋子、望月 忠、森本通夫、安原敏夫、渡部さつみ、大森仁美、岡 和子、垣内律子、土井みさほ、新津多恵、松田拓也、望月厚子

協力者・協力機関 三枝幹男、齋藤秀樹、八田村教育委員会、八田村役場、八田村駐在所

第2章 地理的環境

第1節 遺跡の立地

本遺跡は富士川（釜無川）右岸に形成された御勅使川扇状地の扇央～扇端部の北側、標高330mを測る緩斜面上に位置している（第2図1）。遺跡の北側約200mには御勅使川が流れているが、現在の御勅使川（本御勅使川・北御勅使川）は、「石積み出し」や「将棋頭」が構築された戦国時代以降に現在の流路が開かれたもので、かつての御勅使川（前御勅使川・南御勅使川）は本遺跡の南方、現在の県道が走る部分を一部流れており、明治の中頃までは残っていた。したがって本遺跡で住居跡が確認された奈良時代～中世初頭は前御勅使川が機能していた時代である。また遺跡は戦国時代末期まで存続していることから、本御勅使川の解析されていた可能性がある。

なお、遺跡周辺の地形については付編1に詳しく記載されている。

第2節 周辺の遺跡（第2図）

野牛島の集落にはいくつかの神社仏閣があり、中世以降の伝承も多い。しかしそれ以前の時代になると、扇状地という地形から遺物が採集できず、これまで遺跡が少ない地域とされていた。発掘調査が行われた遺跡もなく、赤山遺跡（8）で縄文時代の土器や石器が採集されていたにすぎなかった。このような中で、本遺跡の西約300mで、平成7年度に工業団地建設に伴い大塚遺跡（6）で約2万m²が発掘され、古墳時代初頭の住居跡6軒、奈良～平安時代の住居跡33軒などが発見され、良好な資料が多数出土した。また本遺跡と大塚遺跡の間でも八田村教育委員会によって野牛島・大塚遺跡（7）の調査が行われ、本遺跡と同時期の住居跡・溝が発見されている。この他、八田村内では平安時代の土器が散布する舞台遺跡（9）が知られている。そして平成9年度からは国道52号の改築・中部横断自動車道建設工事関係の調査が開始された。本遺跡はこの地域で最初に本格的な調査を行った遺跡であるが、その後試掘調査により新たな遺跡が確認され、本調査が始まっている。北から見ていくと、八田村内では平成10年度には壱番下堤跡（3）が、本報告書作成中には中世の水田跡が発見された仲田遺跡（2）、奈良三彩が出土した立石下遺跡（4）、白根町では200軒を越える平安時代の住居跡が発掘された百々遺跡（5）がある。また図の範囲には入らなかったが、白根インターチェンジの南東部の横堀遺跡では弥生時代初頭の土器・石器が多数出土した。以上のように、峠西地域北部では遺跡の詳細な分布調査・発掘調査によって、空白だった扇状地の遺跡の実態が近年急速に明らかになりつつあり、「郷」や「牧」の存在を窺わせている。

御勅使川を越え韮崎市では、築地遺跡（11）、羽根前遺跡（12）、長塚道下遺跡（13）が縄文～弥生時代の遺跡として知られており、発掘された遺跡として甘利氏館跡の一部である大輪寺東遺跡（10）がある。

この他御勅使川治水関連の施設として、白根将棋頭（16）、竜岡将棋頭（15）、上流には石積み出しがあり、一方御座田遺跡（14）で確認された巨石は「十六石」の一部の可能性もあるが、考古学的に証明されていない。

【参考文献】

- ・文化庁 1981『全国遺跡地図』山梨県
- ・宮澤公雄 1989『将棋頭跡・須沢城址』白根町教育委員会
- ・新津 健 1990『大輪寺東遺跡』山梨県教育委員会
- ・新津 健 1997『大塚遺跡』山梨県教育委員会ほか
- ・第7回東日本埋蔵文化財研究会 1998『治水・利水遺跡を考える』東日本埋蔵文化財研究会・山梨県考古学協会
- ・保坂康夫 1999「御勅使川扇状地の古地形と遺跡立地－中部横断道の試掘調査の結果から－」『研究紀要』15 山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター
- ・保坂康夫ほか 1999「中部横断道建設に伴う試掘調査」『年報15 平成10年度』山梨県埋蔵文化財センター
- ・山梨県埋蔵文化財センター・山梨県考古学協会 1999『1999年度上半期遺跡調査発表会要旨』



第2図 遺跡の位置 (1 : 25,000)

第3章 発見された遺構と遺物

第1章で述べたように、1区～3区では様々な遺構が発見された。中でも土坑については地下式土坑・土坑墓・井戸などが含まれるが、本報告ではすべてを「土坑」として扱った。またピットとの区別が曖昧であり、重複しているものでも一つの遺構としたものが多数あったり、掘立柱建物跡の柱穴となっているものがある。したがって、実際の遺構数は前後することになる。これら土坑・ピットについては発掘調査中、整理作業中を通じてすべてに通し番号をつけたが、重複してしまい欠番にしたものもある。これらについては、紙幅の都合から遺物が出土したものを中心に若干触れ、あとは一覧表にまとめてある。

第1節 1区の調査

本調査区では、掘立柱建物跡2棟、溝1条、土坑80基、ピット212基が発見された。調査区の約3分の2が砂礫層に覆われ、遺物の多くはここから出土しており、流されてきたものとみられる。したがって遺構の時期については不明なものがほとんどであるが、他の調査区との関係から縄文～弥生時代、戦国時代の可能性がある。

(1) 掘立柱建物跡

1号掘立（第3図）[位置] D・E・F-I・IIグリッド。[規模] 東西3間（柱間約1.8m）、南北3間（柱間1.9～2.5m）の総柱建物で、主軸方向はN-14°-E。東側約半分は砂礫層上にピットが掘り込まれている。[遺物]なし。[時期]不明。

2号掘立（第4図）[位置] D・E-I・VIグリッド。[規模] 東西2間（柱間約1.4～1.8m）、南北2間（柱間2.0～2.1m）の総柱建物で、主軸方向はN-8°-E。砂礫層上にピットが掘り込まれており、北西コーナーの柱穴は確認できなかった。[遺物]なし。[時期]不明。

(2) 溝

1号溝（第4・36図）[位置] A・B-Iグリッド。[規模] 長さ6.36m、幅0.96m、深さ16～20cmを測り、ほぼ南北に真っ直ぐに伸びている。南側は確認できなかった。[遺物]縄文土器片。[時期]縄文時代晩期後半か。

(3) 土坑・ピット他（第1・5表）

遺物が出土したものは、2号ピットの弥生土器片のみである（第36図）。

第2節 2a区の調査

本調査区では鎌倉時代の住居跡4軒、時期不明（縄文時代か）竪穴状遺構1軒、時期不明（鎌倉時代か）掘立柱建物跡1棟、道路跡1条（鎌倉時代か）、溝6条（鎌倉～戦国時代）、縄文・鎌倉～戦国時代の土坑80基、縄文・奈良～平安・戦国時代のピット634基が発見された。掘立柱建物跡は調査後図上で検討した結果確認できたものである。また溝の番号は2b区と通しになっている。

(1) 住居跡

1号住居跡（第5・36・72図）[位置] F-9グリッド。[形状] 不整形。E-3°-Sか。[規模] ?m×4.25m。後世の境界壁の工事により東壁側約4分の1はなくなっているものとみられる。[カマド]不明。[床面]面積不明。深さ27cm。やや軟弱。北西側に浅いピット状の落ち込みがある。炭化材が集中（焼失住居）。[壁溝]なし。[柱穴]南北・西の壁際にピットが1個ずつある。[遺物]土師質土器、白磁。筵編み石器。[時期]13C前半。

2号住居跡（第5・36図）[位置] I-8・9、J-9グリッド。[形状] 隅丸方形。N-87°-Wか。[規模] 3.65

m × ? m。1号溝に切られている。[カマド] 不明。[床面] 面積不明。深さ10cm。やや軟弱。土坑、ピット、浅い落ち込みがある。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師質土器。[時期] 13C前半。

3号住居跡（第6・7・37・78図）[位置] H・I-9・10グリッド。[形状] 隅丸方形。N-12°-Eか。[規模] 5.63m × ? m。4号住と重複、新旧関係は不明（時期差はほとんどないものとみられる）、1号溝に切られている。[カマド] 南東コーナー。石組み。カマド内に石が崩落。焼土が顕著。[床面] 面積不明。深さ40cm。カマド前は堅固。南壁際に礫が散在。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師質土器、須恵器、常滑、鉄製品。[時期] 12C後半～末か。

4号住居跡（第6・7・37・78図）[位置] H・I-10グリッド。[形状] 隅丸方形。N-12°-Eか。[規模] 不明。3号住と重複、1号溝に切られている。[カマド] 南西コーナー。石組み。カマド内・前に石が崩落。焼土・炭化物が顕著。[床面] 面積不明。深さ34cm。カマド前は堅固。南壁際に土坑（本住居に伴わない）。南壁際に石が散在。[壁溝] 西壁から北壁にかけて巡るが、1号溝との境に壁が存在したかどうかは不明。幅7～19cm、深さ4～5cm。[柱穴] なし。[遺物] 土師質土器、須恵器、鉄製品。[時期] 12C後半。

（2）豎穴状遺構

1号豎穴状遺構（第7図）[位置] F・G-4グリッド。[形状] 不整形。[床面] 深さ12cm。軟弱であり、土坑状の落ち込み、ピットがある。[遺物] なし。[時期] 不明（縄文時代晩期か）。

（3）掘立柱建物跡

1号掘立柱建物跡（第7図）[位置] グリッド。[規模] 東西1間か（柱間約2.5m）、南北2間（柱間1.5～2.1m）、主軸方向はN-5°-E。中央部を南北に1号溝に切られている。[遺物] なし。[時期] 不明（鎌倉時代か）。

（4）溝

1号溝（第8・37図）[位置] B-10・11、C-10、D-9・10、E-8・9、F-8、G-7・8、H-7・8、I-8・9、J-9～12グリッド。[規模] 長さ62m以上、幅0.85～1.70m、深さ32～69cmを測り、南北方向に一致する区画溝。西側へほぼ直角に曲がり途中3号溝が交差している。溝は調査区外西側・南側へ続く。[遺物] 土師質土器。[時期] 14～16C末。

2号溝（第9図）[位置] B・C-11、C・D-12、D-13グリッド。[規模] 長さ12.4m以上、幅0.51～1.32m、深さ7～19cmで、ほぼ東西方向に沿っており、西側は広がりながらさらに続くとみられる。6・7号溝、道路跡を切っている。[遺物] なし。[時期] 不明（16Cか）。

3号溝（第8・37～39・73～75図）[位置] C・D-16、D～F-13、E・F-14、G・H-13、H・I-12、I・J-11グリッド。[規模] 長さ44m以上、幅1.00～1.8m、深さ28～59cm。1号溝と平行し南北方向に一致し、南側調査区外へ続く区画溝。途中西側に張り出した部分があり、遺物が集中。[遺物] 土師質土器、石製品。[時期] 14～16C末。

6号溝（第9図）[位置] B～F-12グリッド。[規模] 長さ20.20m、幅0.25～0.50m、深さ6～9cmで、7号溝と共に道路の側溝とみられる。本来は北西側・南東側にも続いていたものとみられる。途中確認できない部分があり南東側で2号溝に切られている。[遺物] なし。[時期] 不明（13Cか）。

7号溝（第9図）[位置] B～G-12グリッド。[規模] 長さ24.60m、幅0.19～0.45m、深さ9～21cmを測り、6号溝と共に道路の側溝をなしている。途中2号溝に切られ、南東側は調査区外へ続いている。北西側にも続く可能性がある。[遺物] なし。[時期] 不明（13Cか）。

8号溝（第9図）[位置] F・G-10グリッド。[規模] 長さ5.4m以上、幅0.12～0.28m、深さ6～11cm、[遺物] なし。[時期] 不明（16Cか）。

(5) 道路跡（第9図）

[位置] B～G-12グリッド。[規模] 長さ24.60m、幅1m前後で、両側に側溝を伴う（6・7号溝）。方向はN-40°-Wを取っている。硬質面は確認できなかった。[遺物] なし。[時期] 不明（13Cか）。

(6) 土坑・ピット他（第10～13・39・40図、第2・6表）

性格・時期不明のものが多く、特に1号溝の東側にはピットが密集しており、周辺から縄文時代晩期の土器片が出土していることから（第41・42図）、調査時は「建物群」としていた。他にも奈良～平安・戦国時代のピットも混在しているものとみられ、本報告では「ピット群」とした。また土坑のうち、13号は井戸（第11図）、14～16号は土坑墓で（第13図、付編3）、16C後半のものである。16号から鉄製品（第78図）、49号から用途不明銅製品（第78図）、15・16号土坑から古錢（第79図）が出土している。

第3節 2 b区の調査

本調査区では奈良～平安時代の住居跡3軒、奈良～平安・戦国時代の竪穴状遺構3軒、鎌倉～戦国時代の溝3条（番号は2a区と通し）、弥生・奈良～平安・戦国時代の土坑101基、奈良～平安・戦国時代のピット209基が発見された。

(1) 住居跡

1号住居跡（第14・43図）[位置] I-24グリッド。[形状] 隅丸方形。N-84°-E。5・46・47号土坑と重複、古い。[規模] ?m×3.82m。[カマド] 東壁中央やや北寄り。石組み。袖部・袖石・支脚石残存。焼土が顯著。[床面] 面積不明。深さ34cm。堅固。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師器、須恵器、土師質土器（覆土上層）。[時期] 8C末。

2号住居跡（第14・43図）[位置] J-20・21グリッド。[形状] 隅丸方形。E-16°-Sか。[規模] 不明。2号竪穴と重複、新しい。[カマド] 掘り方と支脚石が残存。焼土が顯著。[床面] 面積不明。深さ22cm。堅固。東壁際にピットがある。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 覆土上層から土師質土器。[時期] 不明（9Cか）。

3号住居跡（第15・43図）[位置] D・E-18・19グリッド。[形状] 隅丸方形。N-80°-E。[規模] 3.58m×3.02m。4号溝に切られている。[カマド] 東壁中央。石組み。袖部の粘土と支脚石が残存。焼土が顯著。[床面] 9.5m²。深さ27cm。やや軟弱。[壁溝] 北壁と西壁に落ち込みがあるが、壁溝とは見なしがたい。[柱穴] なし。[遺物] 土師器、須恵器。[時期] 8C末。

(2) 竪穴状遺構

1号竪穴状遺構（第15・44図）[位置] F-22グリッド。[形状] 不整形。[床面] 深さ28cm。軟弱。[遺物] 土師質土器。[時期] 16C後半。

2号竪穴状遺構（第14図）[位置] J-21グリッド。[形状] 隅丸方形。S-81°-Wか。2号住と重複、古い。[床面] 深さ55cm。堅固。[遺物] なし。[時期] 不明。

3号竪穴状遺構（第15図）[位置] E-17グリッド。[形状] 不整形。[床面] 面積不明。深さ12cm。堅固。[遺物] なし。[時期] 不明（16Cか）。

(3) 溝

4号溝（第16・20・44・45図）[位置] C-17、D-17～19、E-19～21、F-21～23、G-22～25、H-24・25グリッド。[規模] 長さ47.5m以上、幅1.35～2.50m、深さ41～67cm。東西方向に走る区画溝で、2a区3号溝と直交するものと思われる。途中に切れた部分があり（出入り口）、さらに西側は調査区外へ続く。3号住を切り、土坑

墓と重複していたとみられ、人骨が西向き北枕の状態で確認された（2号人骨）。[遺物] 土師質土器、須恵器、灰釉陶器、石製品、動物遺体（ウマか）。[時期] 14～16C末。

5号溝（第16・45～47図）[位置] G-20・21、H-19～21、I-19・20、18・19グリッド。[規模] 長さ20.2m以上、幅0.29～0.41m、深さ67～75cm。南北方向に一致する区画溝で、調査区外北側へ続く。59号土坑（3号人骨）が重複。[遺物] 土師質土器、土師器、須恵器。[時期] 14～16C末。

9号溝（第16図）[位置] F-21～23、G-23～25、H-25グリッド。[規模] 長さ20.0m以上、幅不明、深さ19～32cm。[遺物] なし。[時期] 14～16C末か。

（4）土坑・ピット他（第17～21・47～52図、第3・7表）

土坑は弥生・奈良～平安・戦国時代のものが混在しており、遺物の出土は2a区に比べ多い。1号は地下式土坑（第17図）で底部穿孔のかわらけが出土（第47図）、2号は近世になり再度掘削されたとみられる。4号では石と共に土器が廃棄されたような状態で出土した（第17・48図）。21号は弥生土器が出土した土坑（第18・50図）。7・28・55・59・104号は土坑墓で（第20・21図、付編3）、2a区同様16C後半のものである。11・32・35号では鉄滓が出土している（第79図、付編2）。ピットについては、柱穴の並びを確認することは難しい。

第4節 3区の調査

本調査区では奈良～平安時代の住居跡10軒、竪穴状遺構1軒、奈良～平安・戦国時代の掘立柱建物跡4棟、鎌倉～江戸時代の溝12条、鎌倉～室町時代の道路跡1条、弥生・奈良～平安・戦国時代の土坑123基、ピット196基が発見された。調査区南西端は砂礫層に覆われているが、その上から一部の遺構が掘り込まれている。

（1）住居跡

1号住居跡（第22・53図）[位置] E・F-39、E-40グリッド。[形状] 隅丸方形。N-24°-E。3号溝と重複、古い。[規模] 3.35m×2.85m。[カマド] 北壁中央。袖部が残存。土器が散在。[床面] 8.0m²。深さ14cm。砂礫層。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師器、須恵器。[時期] 8C末。

2号住居跡（第22・53図）[位置] Z-38・39グリッド。[形状] 隅丸方形。主軸不明。[規模] 不明。[カマド] 不明。[床面] 面積不明。深さ26cm。軟弱。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師器。[時期] 8C末か。

3号住居跡（第22・54・73図）[位置] F・G-30、G-31グリッド。[形状] 隅丸方形。E-2°-S。28・61号土坑と重複、古い。[規模] 2.87m×2.80m。[カマド] 東壁南東コーナー近く。掘り方のみ残存。土器が散在。焼土が顕著。[床面] 6.2m²。深さ25cm。やや軟弱。中央部と東壁、カマド前にピット状の浅い落ち込み。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師器、須恵器、土師質土器。[時期] 9C初。

4号住居跡（第23・54図）[位置] D・E-32グリッド。[形状] 隅丸方形。E-13°-W。[規模] 3.38m×3.98m。9号土坑と重複、古い。[カマド] 北東コーナー。石組み。掘り方と袖石が残存。[床面] 12.3m²。深さ15cm。堅固。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師器、須恵器、弥生土器、土師質土器。[時期] 8C末。

5号住居跡（第23・55図）[位置] B・C-29・30グリッド。[形状] 隅丸方形。E-3°-W。[規模] 4.30m×4.45m。8号溝と重複、古い。[カマド] 不明。[床面] 18.0m²。深さ30cm。堅固。東側に焼土が厚く堆積。鍛冶関連の遺構か。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師器、須恵器、鉄滓。[時期] 9C初。

6号住居跡（第24・56図）[位置] E・F-26・27グリッド。[形状] 隅丸長方形。E-5°-S。[規模] 3.25m×5.26m。東壁南寄りに土坑状の落ち込みがあるが、他の遺構との重複かどうか不明。[カマド] 東壁中央。掘り方と袖石が残存。焼土顕著。[床面] 13.7m²。深さ30cm。堅固。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師器、須恵器、弥生土器。[時期] 8C末か。

7号住居跡（第24・56・57・73図）[位置] C-23、D-22・23グリッド。[形状] 隅丸方形。N-85°-E。[規

模] 3.75m×3.35m。[カマド] 東壁中央やや南寄り。袖部が残存。前面に土器が散在。焼土が顯著。[床面] 10.2m²。深さ33cm。堅固。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師器、須恵器、石製品。[時期] 8C末。

8号住居跡（第25図）[位置] B-23・24グリッド。[形状] 隅丸方形。N-3°-Eか。[規模] 4.25m×?m。8号住と重複、古い。[カマド] 不明。[床面] 面積不明。深さ8cm。堅固。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] なし。[時期] 不明（8C前半か）。

9号住居跡（第25・58~60・73図）[位置] B-23~25グリッド。[形状] 隅丸方形。N-74°-E。[規模] 5.25m×?m。8号住、5号溝と重複、前者より新しく、後者より古い。[カマド] 不明。[床面] 面積不明。深さ56cm。堅固。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師器、須恵器、石製品、鉄製品。[時期] 8C末~9C初。

10号住居跡（第25・60・61図）[位置] C・D-25・26グリッド。[形状] 隅丸方形。N-85°-E。[規模] 3.80m×4.20m。4号掘立・6号溝と重複、両者より古い。[カマド] 不明。[床面] 13.3m²。深さ46cm。堅固。東壁際に土手状の高まり。[壁溝] なし。[柱穴] なし。[遺物] 土師器、須恵器。[時期] 8C末。

（2）竪穴状遺構

1号竪穴状遺構（第26・61図）[位置] D-30・31グリッド。[形状] 隅丸方形。11・81号土坑、137・138号ピットと重複、両者より古い。[規模] 3.25m×2.90m。[床面] 深さ23cm。軟弱。[遺物] 土師器、土師質土器。[時期] 9Cか。

（3）掘立柱建物跡

1号掘立（第26・61図）[位置] A・B-29・30グリッド。[規模] 東西3間（柱間1.4~1.7m）、南北2間以上（柱間1.4~1.7m）、主軸方向はN-85°-E。82・121号土坑と重複、両者より古い。[遺物] 土師器。[時期] 8C末~9C初か。

2号掘立（第27・61・74図）[位置] A・B-27、B・C-26グリッド。[規模] 東西2間（柱間2.1m）、南北3間以上（柱間1.5~2.1m）、主軸方向はN-86°-E。7号土坑、189号ピットと重複、古い。[遺物] 土師器、須恵器、石製品。[時期] 8C末~9C初か。

3号掘立（第27・61図）[位置] C-21・22、D-22グリッド。[規模] 東西・南北2間（柱間1.5~1.9m）、主軸方向はN-80°-E。[遺物] 土師器？。[時期] 不明（16Cか）。

4号掘立（第28図）[位置] B~D-25、C・D-26グリッド。[規模] 東西4間（柱間0.8~2.9?m）、南北3間（柱間1.5~1.6m）、主軸方向はN-87°-E。10号住、6号溝、109号土坑と重複、いずれより新しい。[遺物] なし。[時期] 16Cか。

（4）溝

1号溝（第29図）[位置] C-39・40、D-39~42、E-41・42グリッド。[規模] 長さ14.30m、幅0.32~1.90m、深さ7~12cm。両端部に水溜め状の施設。[遺物] 染め付け碗片（図化不可）。[時期] 18Cか。

2号溝（第29・62~64・74・76図）[位置] A-32・33、B-32~34、C-34~36、D-36~38、E-37~39、F-39~41グリッド。[規模] 長さ51.40m以上、幅0.90~1.95m、深さ8~37cm。東西方向に走る区画溝で、途中に切れた部分があり（出入り口）、さらに東側は調査区外へ続く。石が集中した箇所があり（石臼を含む）、その下からウマの下顎骨が出土。[遺物] 土師質土器、動物遺体。[時期] 14~16C末。

3号溝（第29・64図）[位置] D-38、E-39~40、F-40・41グリッド。[規模] 長さ18.10m、幅0.25~0.75m、深さ8~18cm。3号住と重複、新しい。2号溝と平行。[遺物] 土師質土器。[時期] 14~16C中頃。

4号溝（第29図）[位置] E-38グリッド。[規模] 長さ2.25m、幅0.30m、深さ10cm。[遺物] なし。[時期] 16C末か。

5号溝（第31・64・65図）[位置] B-25・26、C-26~28、D-28・29、E-29~31、F-31~33、G-32~35、

H-35・36、I-36グリッド。[規模] 長さ67.3m以上、幅0.65~1.38m、深さ15~36cm。6号溝とともに道路の側溝をなす。8・9号住、8号溝と重複、前者より新しく、後者より古い。西端溝中に22・36号土坑。[遺物] 弥生土器、土師器、須恵器、土師質土器。[時期] 14~16C末。

6号溝（第31・65・79図）[位置] B-22~24、C-23~29、D-26~28、E-27~29、F-31~33、G-31・32、H-32~34、I-34グリッド。[規模] 長さ71.2m以上、幅0.85~1.50m、深さ25~39cm。5号溝とともに道路の側溝をなす。10号住、4号掘立、8・12号溝、14・60・69号土坑と重複、10号住より新しく、他より古い。[遺物] 弥生土器、土師器、須恵器、土師質土器、青磁、石製品、古錢。[時期] 14~16C末。

7号溝（第29図）[位置] A-33・34、B-33~35グリッド。[規模] 長さ8.0m以上、幅0.60~0.92m、深さ12~25cm。56号土坑と重複、新しい？。2号溝と平行。[遺物] なし。[時期] 14~16C中頃。

8号溝（第30図）[位置] B-29、C・D-28・29、E-27・28、F-27グリッド。[規模] 長さ20.5m以上、幅0.20~3.38m、深さ12~16cm。5号住、5・6号溝と重複、いずれより新しい。[遺物] なし。[時期] 18Cか。

9号溝（第30図）[位置] D・E-24グリッド。[規模] 長さ7.65m、幅0.50m、深さ8cm。101号土坑と重複、新しい。途中で切れる。[遺物] なし。[時期] 18Cか。

10号溝（第30図）[位置] B-21グリッド。[規模] 長さ1.20m、幅0.45m、深さ14cm。[遺物] なし。[時期] 18Cか。

11号溝（第30図）[位置] B-21、C-20・21グリッド。[規模] 長さ5.3m以上、幅0.35~0.55m、深さ20~25cm。[遺物] なし。[時期] 18Cか。

12号溝（第30図）[位置] E・F-28グリッド。[規模] 長さ7.45m以上、幅0.40~0.95m、深さ9~15cm。5号溝と重複、新しい。[遺物] なし。[時期] 18Cか。

（5）道路跡（第31図）

[位置] B-22~25、C-24~26、D-26~28、E-28~30、F-30~32、G-31~33、H-33~36、I-34~36グリッド。[規模] 長さ68.70m以上、幅3.34~5.62mで、両側に側溝を伴い（5・6号溝）、東西方向を取っている。8~10号住、4号掘立、8・12号溝、19・25・41・42・50~52・69・111号土坑、13・14・16~20・35・36・38・41・54・55・56・62・86~90・93・183・184号ピットと重複、住居より新しく、その他の遺構より古い。多くの遺構と重複しており、硬質面は確認できなかったが、比較的平坦な路面であったとみられる。[遺物] なし。[時期] 14~15C。

（6）土坑・ピット他（第32~35・第66~69図、第4・8表）

土坑は2b区同様弥生・奈良～平安・戦国時代のものが混在しているとみられる。3・4号は坑底に石の並びがあり、8号では石と共に石臼が廃棄されたような状態で出土した（第32図）。2基の重複とみられるが、出土土器による時間的な差は認めにくい。60号は土坑墓である（第35図、付編3）。ピットは2a区、2b区に比べると数は少ないが、時期・性格の特定はやはり困難である。この他遺構外からは弥生時代中期の土器片が出土している（第69~71図）。

第4章 調査の成果と課題

石橋北屋敷遺跡では、幅40メートル、長さ300mの中で様々な遺構・遺物が発見された。本来ならば遺構・遺物の詳細な検討・考察を加えなければならないが、紙数の都合上それを行うことができない。これらについては稿を改めて検討することとし、今回の発掘調査で得られた成果についてわずかではあるが触れ、まとめとしたい。

まず主な出土土器について。奈良・平安時代では、3区7号住居跡からは壺Gを含む良好な土器が出土している。他の住居跡出土土器をみても8世紀末～9世紀初頭のものであり、大塚遺跡2・3段階、甲斐型土器VI・VII期、県史編年のIII・IV期の範疇に収まるものである。中世では2a区の3・4号住居跡出土土器から、壺、小皿、高台端部が角状化した柱状高台壺があり、12世紀後半に比定できる。また2a区2号住居跡で手づくねの小皿が出土しており、こちらは13世紀前半にすることができるよう。これらは西田町遺跡Ⅲ段階5・6期に対比できる。そして3区6号溝からは龍泉窯系とみられる青磁碗が出土しており、道路跡の年代に関わるものとしたい。中世後半期では、かわらけ、内耳鍋、擂鉢が多く出土しており、茶釜、香炉もわずかにみられる。内耳鍋の形態から15世紀後半～16世紀末のものであり、県内の出土も多いが、口縁部が真っ直ぐに開くタイプのもの（第44図20・第63図29）は胎土が異なり、他地域（上野？）からの搬入品かもしれない。

次に遺構について。奈良・平安時代の住居は大塚遺跡から続く集落のものであったことが考えられる。2b区5号溝や3区5・6号溝からも当該期の土師器、須恵器が多く出土しており、中世の遺構によって壊されたされたものが存在したのであろう。3区4号掘立柱建物跡は10号住居跡の竪穴外柱穴ではないかとも考えたが、住居の南壁にかかる柱穴が並ぶことから別の時期の遺構とみなした。また3区7号住居跡では、カマドの両側の土器の出土状況から、棚状施設が存在したかもしれない、調査時に掘削してしまったことが考えられる。3区の道路跡については側溝（6号溝）から出土した青磁碗の破片と遺構の切り合い関係から、中世前半期と考える。規模からみても当時の公的な道であったことは確かであろう。全体図をみてみると、区画溝はこの道路の両側に存在していることがわかり、一定の方位・区画に沿って造られている（付図1）。さらにこのあたりは現在でも道路や水田・畠が不自然な「鍵の手」になっているところがあり（第1図）、当時の区画が現在まで踏襲されてきたこともわかる。区画溝出土の土器は覆土の最上層（16世紀末）より出土していることから、それ以前には掘削されていることは確実であり、道路とある同じ時期（15世紀頃）には併存していた可能性が高い。しかし当該期の陶磁器がほとんど出土していないことから、本遺跡は屋敷そのものではなく、「北屋敷」はやはり本遺跡の南東側、現在の野牛島の集落の北側の中に求められ、本遺跡の区画溝はその西側に広がる施設としておきたい。その区画溝は16世紀末までには機能を終え埋められ、この地のは墓地として利用されたのである。

【参考文献】

- 甲斐型土器研究グループ 1992 『甲斐型土器－その編年と年代－』 山梨県考古学協会
森原明廣 1993 「山梨県地域における内耳土器の系譜」『研究紀要9』 山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター
櫛原功一 1997 『西田町遺跡調査報告書』 一宮町教育委員会ほか
新津 健 1997 『大塚遺跡』 山梨県教育委員会ほか
服部敬史 1997 「中世食器の地域性 3－関東・甲信」『国立歴史民俗博物館研究報告』 第71集
平野 修・櫛原功一 1992 『宮ノ前遺跡』 菅崎市教育委員会ほか
平野 修 1999 「山梨県内における古代竪穴住居跡の構造－北巨摩郡長坂町石原田北遺跡』 マート地点の事例から』『山梨考古学論集IV』 山梨県考古学協会
山下孝司・瀬田正明 1999 「5 奈良・平安時代の編年」『山梨県史』 資料編2 原始・古代2
小林健二 1999 「山梨・石橋北屋敷遺跡の中世道路跡」『発掘された中世古道Part2』 中世みちの研究会

第1表 1区土坑一覧表

土坑 No.	位置	平面形態	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	出土 遺物	備考
1	C・D・O	長方形	240.2	190.1	30.3		第1回
2	C・2	円形	63.4	57.0	19.9		
3	C・2	楕円形	64.0	55.9	14.7		
4	C・2	楕円形	57.2	28.0	12.2		
5	A・1	半円形	66.0	35.0	28.6		
6	B・II	円形	116.2	115.0	19.9		
7	C・2	楕円形	81.9	25.1	25.2		
8	C・0	楕円形	68.0	57.0	14.7		
9	E・0	楕円形	75.1	55.5	20.0		
10	E・1	楕円形	65.0	35.0	19.6		
11	E・0	不整形	132.0	29.8	17.6		
12	E・II	楕円形	60.2	42.0	24.4		
13	E・1	楕円形	110.0	81.0	28.2		
14	F・1	楕円形	150.2	50.0	29.1		

第2表 2a区土坑一覧表

土坑 No.	位置	平面形態	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	出土 遺物	備考
1	D・G	楕円形	144.0	97.0	30.0		第10回
2	E・13	円形	168.0	157.0	125.0	冠輪み石器	第10・72回
3	F・13	円形	179.5	153.0	126.5		第10回
4	F・13	円形	181.3	165.5	47.5		第10回
5	E・F・13	楕円形	180.4	150.7	82.3		第10回
6	E・13	楕円形	230.6	123.0	64.0		第10回
7	E・F・5	不整形	125.0	75.0	38.4		第10回
8	D・E・13	円形	190.6	185.0	43.5		第10回
9	D・13	不整形	144.0	102.0	81.6		第11回
10	G・H・11	楕円形	310.0	248.5	96.1		第11回
11	F・11	円形	213.0	194.0	159.5		第11回
12	E・13・14	楕円形	151.5	130.4	43.6		第11回
13	E・9・F・10	不整形	271.0	236.0	270.0	井戸、第11回	井戸、第11回
14	J・13・14	楕円形	125.0	81.0	6.9	3号人骨	第13回
15	I・13	楕円形	99.4	64.7	4.8	2号人骨、古鉢	第13・78回
16	E・13	楕円形	210.6	122.7	63.3	1号人骨、刀子、古鉢	第13・78回
17	I・J・10	不整形	88.0	76.6	18.3	土師質土器	第11・40回
18	I・11	円形	64.3	61.0	20.4		
19	G・10	楕円形	140.0	95.5	28.2		
20	G・10	円形	67.7	61.5	16.9		
21	G・9	楕円形	76.0	50.8	24.6		
22	F・G・12	楕円形	112.4	94.0	33.1		
23	F・13	楕円形	104.0	79.2	29.5		
24	F・12	円形	69.0	60.0	24.2		
25	E・9	不整形	115.5	90.3	18.1		
26	F・10	楕円形	70.0	60.0	19.5		第11回
27	F・12	楕円形	115.0	92.5	48.6		
28	F・11	円形	63.0	62.0	49.6		
29	E・F・11	円形	76.8	69.0	31.9		
30	D・E・10	楕円形	91.0	72.5	1.2		
31	D・10	円形	65.4	65.0	14.7		
32	E・11	円形	62.0	62.7	32.5		
33	E・11	円形	114.0	105.0	60.6		
34	D・11	円形	63.0	57.0	77.4		
35	D・8	楕円形	61.8	22.0	13.4		
36	D・14	楕円形	64.4	52.1	18.0		
37	D・E・14	楕円形	62.0	35.3	6.8		
38	D・13	円形	99.7	82.0	44.4		第11回
39	D・11	楕円形	101.5	78.5	45.5		
40	C・15	円形	77.0	76.0	16.6		
41	C・15	楕円形	130.0	93.0	6.2		
42	B・C・14	楕円形	111.0	75.4	17.2		第12回
43	D・13	円形	73.6	65.4	30.5		
44	D・13	円形	76.0	70.0	19.3		第12回
45	D・13	円形	94.3	85.0	22.8		第12回
46	C・13	楕円形	74.7	61.5	32.4		
47	B・12	円形	106.0	94.2	12.1		第12回
48	H・5	楕円形	81.6	60.0	12.2		
49	H・8	円形	144.4	103.0	29.5	用途不明鉄製品	第12・78回
50	H・8	楕円形	122.4	95.6	36.3		
51	G・8	不整形	142.0	35.3	26.0		
52	F・G・7	不整形	141.6	104.0	14.5		第12回
53	F・7	半円形	63.7	45.4	11.9		
54	E・F・6	不整形	72.0	55.8	24.3		
55	F・5・6	楕円形	145.0	98.6	17.2		第12回
56	F・5	不整形	181.0	65.2	23.2		第12回
57	E・5	不整形	117.6	70.0	14.1		
58	F・4・5	楕円形	167.3	43.6	7.9		
59	E・4	楕円形	67.5	21.4	17.2		
60	E・4	不整形	66.5	43.4	8.2		
61	E・5	楕円形	75.4	60.0	38.1		
62	E・6	楕円形	65.4	37.8	18.4		
63	E・6	卵形	73.5	65.4	16.8		
64	E・5	円形	63.9	32.8	36.4		
65	E・6	不整形	73.0	32.4	36.4		
66	F・4	不整形	80.0	35.5	24.9		
67	E・7	不整形	105.5	75.2	17.0		第12回
68	E・6	三角形	61.4	52.3	24.8	鰐文土器	第12・40回
69	E・5	長方形	165.4	105.0	33.7		第12回
70	E・6	不整形	61.8	38.0	15.5		
71	C・6	正方形	110.0	91.5	15.5	棒状灰製品	第12・78回
72	C・6	不整形	70.1	43.2	4.1		第12回
73	B・C・6	楕円形	147.6	113.0	27.8		
74	B・6・7	不整形	65.5	31.3	34.4		
75	C・7・8	楕円形	65.0	50.2	10.2		
76	D・8	不整形	73.4	32.0	19.8		
77	F・9	楕円形	65.0	52.8	8.6		
78	F・5	不整形	63.0	25.4	11.9		
79	F・6	三角形	63.2	23.4	10.5		
80	E・6	楕円形	70.6	30.2	9.4		

第3表 2b区土坑一覧表

土坑 No.	位置	平面形態	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	出土 遺物	備考
1	J・23	不整形	89.0	59.0	95.7	土師質土器、棒状灰製品	地下式土坑、第17・47回
2	J・23	不整形	216.0	178.0	137.3	土師質土器、縦器、棒状灰製品	第17・47・48回
3	J・24	楕円形	95.4	83.2	41.2	土師質土器	第17・48回
4	J・1・23	楕円形	205.0	153.0	70.0	土師質土器	第17・48回、袋状
5	H・1・22	半円形	77.4	46.5	18.0		
6	H・23・24	楕円形	130.0	102.0	47.2	弥生土器?、土師質土器	第17・48回
7	G・H・23	楕円形	133.4	93.0	41.7	1号人骨、土師質土器、古鉢	第17・48回
8	G・22	楕円形	125.0	93.3	43.8	土師質土器	第17・48回
9	J・22	楕円形	117.8	87.4	66.5		
10	J・22	不整形	131.0	122.3	26.5		
11	F・20	円形	104.5	98.3	62.4	土師質土器、鉄津	第17・48回
12	H・21	円形	126.4	120.0	26.9	土師質土器	第17・48回
13	I・21	長方形	120.0	103.6	32.4	土師質土器	第17・48回
14	I・21	卵形	122.2	90.3	16.5		
15	I・21・22	楕円形	115.6	62.4	67.0	土師質土器	第17・48回
16	G・H・21	円形	114.5	112.5	29.0	土師質土器、鰐口?	第17・48回
17	H・21	円形	135.0	130.4	8.2	土師質土器	第18・48回
18	J・23	円形	91.0	82.4	82.0	土師質土器	第17・48回
19	H・21	円形	63.4	62.1	47.5		
20	H・21・22	楕円形	158.4	124.0	54.8	土師質土器	第18・50回
21	I・17	卵形	90.2	80.0	36.8	弥生土器、土師質土器	第18・50回
22	E・18	楕円形	290.0	98.2	28.0	弥生土器、土師質土器	第18・50回

44	D - 26	精円形	61.4	55.0	39.9		4号擬立柱植物跡、第 28 図
45	F - 34	不整形	100.0	37.4	17.3		
46	F - 34	精円形	93.2	55.0	21.5		
47	F - 34	円形	68.4	65.0	18.7		
48	E - 34	円形	95.4	95.0	42.5		
49	E - 33 - 34	不整形	103.5	25.5	42.5		
50	G - 32	不整形	127.4	104.0	20.1		
51	G - 33	不整形	152.0	137.0	34.5		
52	H - 33	円形	98.4	98.0	24.3		
53	D - 32	卵形	105.3	85.7	25.7		
54	B - C - 33	不整形	197.0	120.5	61.7		
55	C - 34	精円形	67.0	49.0	27.3		
56	B - 33 - 34	円形	90.4	90.0	29.0		
57	G - 31	圓形	102.5	68.4	13.5		
58	G - 31	精円形	60.2	48.3	24.6		
59	G - 31 - 32	不整形	65.0	42.1	28.8		
60	G - 31	精円形	137.0	94.0	35.0	1号人骨、古墳	
61	G - 30	長方形	145.2	107.0	21.0		
62	F - 29	不整形	120.5	100.5	31.8		
63	F - 29	円形	70.4	68.5	30.6		
64	F - 30	不整形	127.4	80.0	92.4		
65	F - 28 - 29	円形	92.0	90.5	31.3		
66	F - 29	精円形	62.4	54.0	61.0		
67	欠番						
68	F - 28	精円形	65.3	47.0	35.4		
69	F - 31	精円形	127.3	100.0	22.9		
70	欠番						
71	E - 30	脛豆形	78.0	34.5	37.1		
72	D - 29	三角形	63.0	60.0	15.2		
73	E - 32 - 33	不整形	87.2	68.4	9.2		
74	E - 33	精円形	93.0	77.3	28.6		
75	E - 33	精円形	67.3	55.3	21.5		
76	E - 33	精円形	63.4	38.0	23.6		
77	F - 32 - 33	円形	60.4	56.3	23.5		
78	C - D - 31	精円形	93.0	76.4	25.0		
79	C - 30	精円形	110.4	94.5	34.9		
80	C - 30	円形	65.3	60.4	59.6		
81	D - 30	円形	72.0	72.0	22.3		
82	A - 30	不整形	165.5	53.0	50.9		
83	A - B - 31	精円形	107.4	76.0	7.7		
84	C - 31	長方形	128.0	105.4	37.1		
85	H - 31	不整形	65.0	62.3	22.7		
86	H - 31	円形	66.3	65.0	25.9		
87	H - 31	不整形	65.0	55.2	21.2		
88	H - 31 - 32	精円形	90.0	65.3	45.8		

第 5 表 1 区ピット一覧表

ピット No.	位置	平面形態	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	圖考	
1	C - 2	円形	70.1	60.0	22.9		
2	C - 2	精円形	69.4	49.9	38.0	第 35 図	
3	D - 1	精円形	61.0	37.2	26.7		
4	D - 0	円形	28.0	24.5	12.6		
5	D - 0	円形	32.5	30.3	24.1		
6	E - 0	円形	41.2	37.0	27.9		
7	E - 0 - 1	円形	53.2	33.9	32.9		
8	D - E - 0	円形	31.2	28.0	19.6		
9	E - 0	精円形	79.7	25.3	9.5		
10	B - 3	円形	49.9	47.0	19.2		
11	C - 3	円形	31.0	29.1	26.4		
12	C - 2	円形	19.5	17.4	29.9		
13	B - 2	円形	56.4	54.2	29.9		
14	C - 2	円形	20.2	18.0	13.5		
15	A - B - 2	円形	38.8	32.7	15.7		
16	B - 2	精円形	27.0	20.1	15.7		
17	B - 2	円形	20.3	19.0	14.9		
18	C - 2	円形	42.4	38.0	14.5		
19	B - 2	円形	17.7	16.9	11.6		
20	B - 2	精円形	49.8	48.1	7.9		
21	B - 2	円形	14.4	13.2	7.4		
22	B - C - 2	精円形	18.0	12.0	9.9		
23	C - 2	円形	22.1	20.0	12.9		
24	B - 2	円形	27.7	26.8	16.5		
25	B - 2	円形	35.1	32.0	16.4		
26	C - 1 - 2	円形	33.0	33.1	35.6		
27	C - 1 - 2	円形	26.4	16.3	7.7		
28	C - 1 - 2	円形	24.0	21.8	34.7		
29	B - 1	精円形	27.9	22.0	14.7		
30	B - 1	精円形	26.0	21.0	11.2		
31	B - 1	円形	20.7	19.4	12.1		
32	C - 1	円形	19.0	17.2	12.3		
33	C - 1	精円形	32.6	27.4	19.8		
34	A - 1	円形	25.0	22.6	12.1		
35	B - 1	円形	25.7	23.6	14.9		
36	B - 1	精円形	40.2	30.3	15.3		
37	B - 1	円形	19.6	18.3	10.5		
38	B - 1	円形	26.3	25.0	18.2		
39	B - 1	精円形	26.0	21.0	11.2		
40	C - 1	円形	35.0	33.1	11.4		
41	C - 1	精円形	27.3	18.1	11.6		
42	A - 0	円形	19.5	17.4	8.8		
43	B - 0	円形	18.9	17.0	13.6		
44	B - 0 - 1	円形	34.8	31.7	23.8		
45	B - 0 - 1	円形	35.4	30.2	40.5		
46	B - 0 - 1	精円形	26.0	21.0	11.2		
47	C - 1	精円形	27.7	26.8	16.5		
48	C - 1	円形	19.0	17.2	12.3		
49	C - 1	精円形	32.6	27.4	19.8		
50	C - 0 - 1	精円形	32.4	21.3	15.0		
51	B - 0	精円形	35.3	29.0	15.7		
52	B - 0	円形	25.0	22.1	10.5		

53	C - 0	円形	24.8	25.0	19.1		
54	C - 0	円形	48.2	45.7	5.3		
55	C - 0	円形	30.2	27.6	15.1		
56	B - 0	円形	25.2	24.5	16.0		
57	B - 0	円形	46.4	40.5	15.9		
58	B - 0	円形	35.0	31.2	12.5		
59	C - 0	精円形	34.5	28.4	14.5		
60	C - 0	精円形	25.0	19.0	5.1		
61	B - 0	精円形	30.8	26.0	18.3		
62	C - 0	円形	35.2	33.2	21.7		
63	C - 0	円形	11.1	11.0	4.5		
64	C - 0	円形	15.8	25.5	26.8		
65	C - 2	円形?	35.4	18.0	27.0		
66	C - 2	円形	34.2	33.0	21.2		
67	C - 2	円形?	31.7	23.6	26.0		
68	C - 2	精円形	32.0	21.4	16.8		
69	C - 2	円形	28.0	25.5	26.2		
70	C - 2	精円形	30.1	23.4	26.2		
71	D - 2	円形	25.0	18.8	13.8		
72	C - 2	円形	19.4	18.8	15.9		
73	C - 1 - 2	精円形	52.0	44.9	25.2		
74	C - 2	円形	20.3	18.1	10.9		
75	C - 1 - 2	円形	27.5	23.0	21.2		
76	D - 2	円形	23.0	22.0	31.8		
77	D - 2	精円形	32.4	19.1	10.5		
78	D - 2	円形	40.1	27.5	9.6		
79	D - 2	精円形?	46.0	21.0	25.6		
80	D - 2	精円形?	31.5	30.0	14.3		
81	D - 1 - 2	精円形	49.7	34.5	25.6		
82	C - 1	円形	27.0	25.4	18.9		
83	C - 1	円形	27.2	26.2	24.1		
84	C - 1	精円形	30.0	25.2	33.5		
85	C - 1	円形	22.6	21.8	20.3		
86	C - 1	精円形	49.0	32.3	23.3		
87	C - 1	円形	28.1	25.3	22.6		
88	C - 1	円形	13.3	13.1	14.9		
89	C - 1	不整形	47.4	45.0	32.7		
90	C - 1	円形	32.3	31.2	21.6		
91	D - 1	円形	28.0	25.3	22.0		
92	D - 1	精円形	42.5	31.2	17.2		
93	C - 1	精円形	33.4	31.0	23.5		
94	D - 1	円形	30.0	28.9	9.5		
95	D - 1	円形	25.7	23.2	8.8		
96	D - 1	円形	26.0	24.0	36.2		
97	C - 1	円形	25.5	22.0	36.2		
98	C - 1	円形	22.3	19.4	15.5		
99	C - 1 - 1	円形	33.2	30.1	12.4		
100	C - 1	円形	25.5	22.0	22.1		
101	C - 1	円形	21.2	20.9	19.9		
102	C - 1	円形	20.4	19.0	15.5		
103	C - 1	円形	20.0	19.4	9.8		
104	C - 1 - 1	円形	30.2	28.2	17.7		
105	D - 1	円形	21.0	20.0	10.0		
106	C - 0	円形	30.3	28.0	12.4		
107	C - 1 - 0	円形	52.0	28.0	10.0		
108	C - 0	円形	48.2	20.0	11.4		
109	C - 0	円形	30.3	29.4	18.0		
110	C - 0	円形	35.0	22.5	16.5		
111	C - 0	円形	25.0	22.2	16.5		
112	D - 0	精円形	42.3	35.6	17.0		
113	D - 0	不整形	13.7	12.0	3.8		
114	D - 0	円形	35.5	33.0	10.6		
115	D - E - 0	円形	37.0	35.1	33.0		
116	D - 0	円形	28.4	28.0	15.9		
117	D - 0	円形	20.0	19.8	14.0		
118	E - 0	円形	24.2	22.0	13.8		
119	E - 0	円形	20.0	18.0	22.2		
120	D - 0	円形	27.0	24.4	12.7		
121	D - 0	円形	20.3	20.0	10.0		
122	D - 0	円形	47.0	43.1	48.8		
123	E - 0	精円形	25.0	25.0	8.8		
124	D - 0	円形	21.0	20.0	1		

89	D - 8	円形	28.4	26.0	16.9
90	D - 8	円形	27.8	26.4	5.9
91	D - 8	円形	22.0	20.5	5.3
92	D - 8	楕円形	32.3	22.0	8.4
93	D - 9	楕円形	32.4	26.0	9.2
94	D - 9	円形	28.5	26.4	13.5
95	C - 8	楕円形	34.2	24.4	9.6
96	C - 8	楕円形	22.4	16.4	6.5
97	C - 8	楕円形	28.4	22.0	12.4
98	C - 8	楕円形	30.4	22.3	7.4
99	C - 8	円形	22.0	22.0	19.8
100	B - 8	円形	20.4	20.0	7.9
101	B - C - 9	円形	32.0	30.5	17.0
102	C - 9	円形	36.5	32.4	26.0
103	C - 9	楕円形	36.0	30.0	8.8
104	C - 9	円形	26.7	26.0	12.3
105	C - 9	円形	20.4	18.0	12.2
106	C - 9	円形	40.5	36.4	18.0
107	C - 9	円形	18.0	17.8	4.5
108	D - 9	円形	22.0	18.0	12.8 <small>1号番</small>
109	C - D - 9	円形	14.3	14.0	6.7
110	C - D - 9	円形	24.5	22.0	15.9 <small>1号番</small>
111	C - 9	円形	22.2	20.1	12.1
112	C - 9	円形	20.0	20.0	10.4
113	C - 9	円形	24.4	24.0	7.6
114	C - 9	円形	22.0	22.0	21.7
115	C - 10	円形	32.5	28.4	14.0 <small>1号番</small>
116	C - 10	楕円形	34.3	30.0	21.7
117	F - 13	円形	44.0	34.5	8.9
118	F - 13	円形	26.0	26.0	5.1
119	E - 13	円形	36.5	34.5	5.2
120	D - 14	円形	14.3	12.0	42.7
121	D - 13 - 14	円形	30.2	30.0	18.5
122	E - 12	楕円形	30.0	24.5	16.3
123	E - 12	円形	30.0	30.0	16.5
124	E - 13	円形	50.4	49.8	50.6
125	D - 12	円形	34.0	32.0	19.5
126	D - 12	円形	22.3	22.0	15.3
127	C - 10	円形	24.0	24.0	5.2 <small>1号番</small>
128	D - 10	楕円形	56.4	34.2	8.2
129	D - 10 - 11	円形	20.0	20.0	8.7
130	D - 11	円形	22.5	22.2	14.5
131	D - 11	楕円形	19.4	15.0	10.6
132	D - 11	円形	30.0	28.5	14.5
133	D - 11	円形	22.5	21.4	13.8
134	D - 11	円形	21.0	21.0	5.5
135	D - 11	楕円形	26.4	16.0	5.7
136	C - 10 - 11	円形	22.0	20.0	8.6
137	C - 11	円形	45.0	44.5	7.4
138	C - 11	楕円形	25.0	14.4	6.2
139	C - 11	円形	33.0	29.5	10.5
140	C - 11	円形	47.8	45.3	22.4
141	C - 11	三角形	35.0	23.0	7.5
142	D - 11	円形	35.0	34.0	13.5
143	D - 11	楕円形	33.3	28.0	16.6
144	D - 11	円形	22.0	20.5	15.5
145	D - 11	円形	29.0	26.4	13.0
146	D - 13	長方形	42.5	37.8	8.8
147	D - 13	円形	25.0	24.2	9.2
148	D - 13	円形	28.8	24.0	8.9
149	C - D - 13	円形	35.4	32.3	15.5
150	C - 12	円形	29.5	18.0	5.9
151	C - 12	円形	23.4	19.0	16.6
152	C - 12	円形	35.0	32.4	7.5
153	C - 13	円形	36.0	35.0	8.4
154	C - 13	楕円形	20.4	15.0	5.4
155	C - 13	円形	27.6	26.3	5.0
156	C - 13	円形	27.4	25.1	4.5
157	C - 13	三角形	42.7	36.0	14.7
158	C - 13	円形	25.0	22.4	9.5
159	I - 6	楕円形	32.6	25.7	10.4
160	I - 6	楕円形	32.5	26.0	11.0
161	I - 7	楕円形	32.3	29.2	11.8
162	I - 7	楕円形	27.0	21.6	10.5
163	H - 6	円形	35.0	23.4	18.1
164	H - 7	楕円形	25.5	18.0	5.1
165	H - 7	円形	24.0	23.2	7.9
166	H - 1 - 7	円形	30.0	29.6	27.2
167	H - 1 - 7	円形	53.4	49.0	32.4
168	J - 3	三角形	26.0	24.0	11.0
169	J - 3 - 4	円形	13.5	11.2	4.3
170	J - 4	楕円形	45.0	30.4	16.4
171	I - 3	円形	35.4	30.0	10.4
172	I - J - 4	楕円形	35.3	28.5	11.7
173	J - 4	楕円形	30.3	25.0	13.1
174	I - 3	円形	30.0	28.0	9.3
175	I - 3	円形	21.0	20.4	9.0
176	I - 3	円形	33.5	33.0	8.0
177	I - 3	円形	21.5	18.8	6.7
178	I - 4	円形	25.4	25.0	10.1
179	I - 4	円形	21.0	20.5	15.4
180	I - 4	楕円形	27.4	22.7	9.0
181	I - 4	円形	20.6	21.3	7.8
182	H - 4	円形	40.5	37.3	27.0
183	H - 4	円形	37.0	37.0	13.0
184	H - 4	楕円形	45.2	37.4	30.3
185	H - 4	円形	22.8	21.4	1.0
186	H - 6	楕円形	36.0	31.6	48.9
187	H - 6	円形	32.2	30.0	6.2
188	H - 3	円形	35.8	32.5	12.3
189	G - H - 3	円形	23.0	22.6	22.3
190	G - 3	三角形	32.4	25.6	14.1
191	G - 3	円形	26.0	24.0	13.7
192	G - 3	円形	20.0	19.6	5.7
193	欠番				
194	H - 7	円形	23.0	19.0	8.8
195	H - 7	円形	21.3	20.4	3.4
196	H - 7	楕円形	29.0	26.4	23.0
197	H - 7	円形	31.2	30.0	9.0
198	H - 8	楕円形	21.0	10.2	11.2
199	H - 8	円形	25.4	23.2	2.5
200	H - 8	円形	21.2	21.0	21.5
201	H - 8	円形	53.0	52.0	11.6
202	H - 8	楕円形	50.4	40.5	20.0
203	H - 8	円形	17.6	16.3	13.4
204	H - 8	円形	32.2	30.0	9.6
205	H - 8	円形	54.7	51.0	13.8
206	H - 8	楕円形	20.0	17.8	10.5
207	H - 8	円形	21.5	19.3	5.4
208	H - 8	楕円形	28.5	22.2	22.1
209	H - 8	不整形	34.5	27.2	8.7
210	G - 7	円形	18.0	17.6	9.5
211	G - 7	楕円形	30.9	33.3	12.0
212	G - 7 - 8	円形	21.0	18.0	8.2
213	G - 7	円形	35.6	35.0	6.1
214	G - 7	円形	15.0	14.0	5.1
215	G - 7	楕円形	23.4	17.7	6.7
216	G - 7 - 8	円形	33.0	32.0	19.0
217	G - 8	円形	32.0	27.0	11.5
218	H - 8	円形	21.0	21.0	17.2
219	G - H - 8	円形	30.3	26.5	32.5
220	H - 8	円形	20.7	19.0	11.5
221	H - 8	楕円形	15.0	14.3	12.1
222	H - 8	楕円形	37.2	32.4	4.8
223	H - 9	楕円形	29.0	23.2	10.1
224	G - 8	円形	22.2	21.0	5.0
225	G - 8	楕円形	31.2	28.4	2.8
226	G - 8	円形	24.0	23.4	9.6
227	G - 8	楕円形	22.5	16.3	10.0
228	G - 8	円形	29.8	28.4	13.8
229	G - 8	円形	36.0	34.5	11.5
230	G - 8	円形	15.6	12.3	4.7
231	G - 8	円形	32.0	28.0	7.4
232	G - 8	楕円形	15.2	11.5	6.0
233	G - 8	不整形	30.4	18.5	10.7
234	G - 8	円形	31.3	29.4	19.6
235	G - 8	円形	33.3	31.8	10.2
236	G - 8	円形	31.5	30.0	19.6
237	G - 8	円形	25.4	24.2	10.0
238	G - 8	楕円形	20.0	15.4	15.0
239	G - 8	円形	17.4	14.2	2.0
240	G - 8	楕円形	31.3	26.0	19.6
241	F - 8	円形	20.0	17.3	0.5
242	F - 8	楕円形	21.5	16.5	5.6
243	F - 8	楕円形	20.8	16.2	11.0
244	F - 8	楕円形	19.0	11.3	5.0
245	G - 9	楕円形	50.6	41.3	22.0
246	G - 9	三角形	22.5	18.3	7.1
247	H - 8	円形	31.0	29.0	13.7
248	H - 5	円形	32.4	31.0	23.3
249	H - 4	楕円形	51.0	36.8	12.2
250	H - 5	円形	23.2	21.0	5.9
251	H - 5	円形	22.4	21.0	5.9
252	H - 5	円形	32.0	21.3	7.6
253	H - 6	円形	18.0	18.0	9.5
254	H - 6	円形	23.4	23.0	7.2
255	H - 5	円形	30.2	28.0	19.8
256	H - 5	円形	27.4	26.7	21.4
257	H - 5	円形	50.2	36.4	24.7
258	G - 5	楕円形	34.0	28.4	14.9
259	G - 5	円形	31.0	23.2	6.1
260	G - 5	楕円形	28.0	25.0	28.6
261	G - 5	円形	24.3	21.4	12.7
262	G - 5	楕円形	26.5	24.0	11.2
263	H - 5	円形	26.5	25.0	24.7
264	H - 5	欠番			
265	H - 6	円形	30.0	28.9	13.9
266	H - 6	円形	24.5	23.2	9.0
267	H - 6	円形	20.0	18.0	11.0
268	G - 6	円形	24.0	23.4	25.6
269	G - 6	円形	14.5	10.0	5.7
270	G - 6	円形	27.0	27.0	22.0
271	G - 7	円形	21.7	17.7	5.3
272	G - 7	楕円形	20.0	16.0	5.4
273	G - 7	円形	31.4	10.0	3.3
274	G - 7	円形	27.0	20.0	12.1
275	G - 7	円形	35.4	27.0	22.8
276	G - 7	楕円形	23.4	19.2	17.1
277	G - 5	円形	35.3	33.6	4.9
278	G - 6	円形	27.0	27.0	22.0
279	G - 6	円形	15.4	15.0	11.5
280	G - 6	円形	21.4	18.5	11.7
281	G - 6	円形	27.9	16.0	13.0
282	F - 5	円形	27.0	20.0	12.1
283	H - 5	円形	26.5	23.2	9.0
284	H - 5	欠番			
285	H - 6	円形	30.0	28.9	13.9
286	H - 6	円形	24.5	23.2	9.0
287	H - 6	円形	20.0	18.0	11.0
288	H - 6	欠番			
289	H - 6	円形	23.4	17.5	8.9
290	H - 6	円形	26.0	23.2	12.6
291	H - 6	円形	22.0	21.2	7.4

609	F - 8	楕円形	26.0	21.0	12.3
610	F - 8	円形	18.2	17.2	9.8
611	F - 8	楕円形	21.0	14.0	11.8
612	F - 8	楕円形	28.4	24.1	11.1
613	E - 8	円形	18.2	16.0	13.6
614	E - 8	円形	25.0	23.4	11.8
615	E - F - 8	円形	18.0	18.0	9.4
616	E - 8	円形	20.0	19.6	9.7
617	E - 8	楕円形	27.0	20.3	32.1
618	E - 8	楕円形	17.0	16.1	9.6
619	E - 8	楕円形	18.5	12.6	12.6
620	欠番				
621	E - 7	楕円形	48.4	40.3	31.7
622	E - 8	円形	20.0	18.2	14.4
623	E - 8	楕円形	30.2	26.0	30.4
624	E - 8	楕円形	24.0	18.0	10.1
625	E - 8	不整形	35.0	32.0	15.1
626	E - 8	円形	30.2	28.0	16.3
627	E - 8	半円形	20.0	16.0	9.6
628	欠番				
629	欠番				
630	E - 8	楕円形	28.0	22.0	24.9
631	E - 8	楕円形	22.1	19.3	10.8
632	E - 8	円形	20.0	18.0	11.5
633	E - 8	円形	23.4	20.4	12.6
634	E - 8	円形	25.4	24.0	38.9
635	E - 8	円形	18.0	18.0	13.4
636	E - 8	楕円形	23.4	19.0	12.4
637	D - E - 8	楕円形	18.3	15.7	11.8
638	D - 8	楕円形	24.8	21.3	4.4

第7表 2 b区ピット一覧表

ピット No.	位置	平面形状	長軸 (mm)	短軸 (mm)	深さ (mm)	備考
1	H - 24	楕円形	43.0	30.2	6.0	
2	H - 24	楕円形	54.0	35.2	6.5	
3	I - 23 - 24	楕円形	53.0	35.4	26.0	
4	I - 23	円形	28.4	25.0	32.6	
5	I - 23	楕円形	45.0	39.1	58.0	
6	I - 23	円形	33.0	33.0	30.5	
7	I - 23	円形	27.0	22.8	36.9	
8	J - 21	円形	32.4	30.2	52.1	
9	J - 22	円形	48.0	45.3	50.5	
10	J - 21 - 22	円形	41.2	36.2	60.5	
11	I - J - 23	円形	40.0	34.0	61.2	
12	J - 22	楕円形	35.4	29.0	38.7	
13	J - 22	正方形	40.4	36.4	20.0	
14	J - 22	円形	32.0	32.0	31.0	
15	J - 22	円形	52.0	51.7	31.0	
16	J - 22	楕円形	39.2	32.0	32.3	
17	J - 22	円形	30.5	29.5	46.0	
18	J - 22	楕円形	36.0	30.8	46.0	
19	I - 22	円形	39.1	36.2	63.9	
20	I - 22	楕円形	31.0	25.2	45.6	
21	I - 22	楕円形	30.0	25.0	15.0	
22	I - 22	円形	45.3	40.2	37.5	
23	I - 22	円形	42.0	40.0	52.5	
24	I - 22	円形	34.5	30.3	20.1	
25	J - 22	楕円形	32.1	26.0	30.5	
26	J - 22	円形	30.0	28.0	11.0	
27	J - 22	円形	36.9	35.7	38.0	
28	I - 22	円形	56.0	55.0	38.5	
29	J - 22	楕円形	35.5	28.3	16.5	
30	I - 22	楕円形	52.4	41.0	48.4	
31	J - 22 - 23	楕円形	46.5	34.2	33.4	
32	J - 22	円形	55.0	54.0	46.1	
33	I - 23	円形	44.2	43.0	25.4	
34	G - 22	円形	28.0	28.0	37.0	
35	G - 22	円形	28.5	25.3	38.3	
36	G - 22	楕円形	37.8	31.4	38.5	
37	H - 23	円形	30.0	29.4	42.0	
38	H - 22	円形	33.7	31.2	22.5	
39	H - 22	円形	31.0	29.0	21.0	
40	H - 22 - 23	円形	27.5	25.6	21.0	
41	H - 23	円形	38.2	33.0	28.5	
42	H - 23	円形	34.0	29.2	26.5	
43	I - 23	楕円形	40.0	33.1	11.5	
44	F - 22	正方形	38.0	34.2	22.5	
45	F - G - 22	楕円形	40.3	33.3	24.1	
46	G - 22	楕円形	38.1	29.4	34.3	
47	G - 23	不整形	27.2	25.3	42.4	
48	G - 23	円形	40.0	37.3	32.6	
49	G - 22	楕円形	37.2	30.0	71.8	
50	G - 23	円形	36.8	35.0	43.0	
51	J - 20	楕円形	28.2	20.3	21.4	
52	J - 20	円形	37.4	23.4	18.5	
53	I - 21	円形	25.0	25.2	13.0	
54	H - 21	円形	25.3	23.0	18.5	
55	H - 21	楕円形	38.0	28.0	24.0	
56	I - 21	円形	30.5	28.4	19.3	
57	I - 21	円形	28.0	28.0	20.2	
58	I - 21	円形	26.4	25.0	22.6	
59	I - 21	円形	29.3	27.4	21.0	
60	I - 21	長方形	35.0	27.0	30.5	
61	I - 22	楕円形	36.0	30.0	50.2	
62	I - 22	円形	37.2	27.5	33.5	
63	I - 22	円形	45.5	32.0	47.4	
64	I - 22	円形	38.0	32.0	47.4	
65	I - 22	円形	35.5	32.0	47.4	
66	I - 22	円形	38.0	37.5	36.3	
67	I - 22	円形	28.2	26.0	30.5	
68	F - 21	楕円形	22.0	13.0	11.5	
69	F - 21	円形	40.0	38.4	29.0	
70	H - 18 - 19	円形	45.3	44.7	43.3	
71	I - 21	円形	35.8	33.0	52.7	
72	I - 20	楕円形	39.0	29.0	9.3	
73	I - 20	不整形	33.2	24.2	33.5	
74	I - 20	楕円形	20.0	12.0	11.3	
75	I - 20	円形	20.5	18.4	15.7	
76	I - 20	不整形	41.0	36.0	61.2	
77	I - 20	円形	32.2	31.4	20.2	
78	H - 19	円形	30.0	27.0	35.8	
79	I - 19	円形	12.0	12.0	8.5	
80	G - 20	円形	32.0	28.4	31.3	
81	G - 20	円形	30.0	29.0	17.3	
82	G - 20	円形	35.5	33.0	27.4	
83	H - 20	円形	30.5	30.0	31.5	
84	H - 20	円形	33.7	31.5	22.7	
85	H - 19 - 20	円形	44.3	40.4	54.7	
86	H - 19 - 20	円形	23.0	20.0	25.5	
87	H - 18	円形	39.0	36.3	20.3	
88	H - 18	円形	41.2	37.0	65.0	
89	I - 17	楕円形	27.8	18.3	7.3	
90	I - 17	円形	19.0	17.2	18.2	
91	I - 17	円形	45.5	40.0	49.2	
92	I - 17	円形	30.0	29.0	20.6	
93	I - 17	円形	39.3	31.7	51.9	
94	I - 17	円形	57.2	50.2	62.5	
95	I - 17	円形	38.0	34.0	55.4	
96	I - 17	楕円形	55.5	38.0	25.3	
97	I - 18	円形	45.3	44.2	60.5	
98	I - 18	円形	40.2	38.2	25.7	
99	I - 17	楕円形	31.0	26.4	18.4	
100	I - 17	円形	26.8	25.4	18.4	
101	E - 29	円形	40.0	35.0	20.0	
102	H - 19	円形	40.0	39.0	38.6	
103	H - 19	楕円形	53.3	45.4	25.1	
104	G - 19 - 19	楕円形	46.1	44.5	36.9	
105	E - 19	円形	55.3	47.0	62.8	
106	E - 19	楕円形	35.0	23.0	7.4	
107	E - 22	円形	44.8	41.0	26.3	
108	E - 22	楕円形	41.0	34.0	13.8	
109	E - 33	不整形	50.2	40.3	26.9	
110	E - 33	円形	40.0	40.0	17.0	
111	E - 32 - 33	円形	48.5	42.2	26.0	
112	F - 33	円形	44.9	42.4	19.2	
113	E - 32 - 33	円形	43.0	38.2	15.9	
114	E - 32	楕円形	46.0	38.0	21.5	
115	D - 30 - 31	円形	45.4	30.0	26.6	
116	E - 31	円形	45.0	41.1	24.8	
117	I - 31	円形	50.5	50.0	28.3	
118	E - 31	円形	30.4	30.2	28.3	
119	E - 31	円形	33.0	27.3	24.9	
120	E - 31	円形	38.3	35.0	30.0	
121	E - 31	円形	30.3	30.1	29.2	
122	E - 31	楕円形	46.2	37.3	30.6	
123	E - 31	円形	44.8	42.1	32.3	
124	E - 31	円形	37.0	32.2	17.9	
125	E - 29	楕円形	51.0	40.0	24.5	
126	D - 31	円形	55.2	52.0	30.5	
127	E - 31	円形	51.0	45.7	24.9	
128	D - 29	楕円形	45.2	38.0	32.0	
129	E - 29	三角形	40.0	35.0	32.7	
130	E - 29 - 30	円形	34.9	30.0	52.9	
131	E - 30	円形	30.1	28.1	9.1	
132	D - 30	円形	32.2	30.0	32.3	
133	D - 30	楕円形	30.0	23.0	13.7	
134	C - 30	円形	30.0	29.7	10.8	
135	C - 30	不整形	42.3	33.1	13.1	
136	C - 30	円形	23.4	22.0	10.5	
137	D - 30	円形	30.0	25.4	14.4	1号警
138	D - 30	不整形	30.5	25.5	12.9	1号警
139	C - 29	円形	-41.2	38.2	44.9	
140	B - 31	円形	50.0	47.0	16.0	
141	B - 31	楕円形	50.2	41.3	26.7	
142	H - 31	円形	50.0	47.0	16.0	
143	H - 31	円形	37.0	32.2	23.4	
144	H - 31	円形	26.3	25.8	9.3	
145	H - 31	円形	45.5	42.5	25.1	
146	H - 32	円形	36.3	36.0	22.9	
147	H - 32	円形	27.0	27.0	12.0	
148	H - 32	円形	38.3	34.8	20.8	
149	G - 29	楕円形	44.4	37.1	19.7	
150	F - 29	円形	60.0	55.1	32.7	
151	F - 29	円形	34.4	28.2	29.3	
152	F - 29	円形	40.0	32.0	26.4	
153	F - 29	円形				

第9表 1区出土土器観察表

地図 No.	出土地点 No.	種別	器種	法量 (cm)	形態・技法の特徴	色調	胎土	残存率 その他	(法量は上から口径、底径、器高の順)	
									横幅	縦幅
36	1区 C-III	1	縄文土器 深鉢	-	波状口縁・上方に押圧、4条の平行沈線	純い黄褐色	赤色粒子・白色 粒子	破片		
36	1区 B-IV	2	縄文土器 深鉢	-	3条の平行沈線	褐	白色粒子	破片		
36	1区 D-0	3	縄文土器 深鉢	-	小突起・突起上に押圧・浮線文	純い黄褐色	赤色粒子・白色 粒子	破片		
36	1区 C-I	4	縄文土器 深鉢	-	凹線状のナテ	浅黄褐色	赤色粒子・白色 粒子・雲母	破片		
36	1区 C-III	5	縄文土器 深鉢	-	沈線	褐	赤色粒子・白色 粒子	破片		
36	1区 C-IV	6	縄文土器 深鉢	-	3条の沈線	褐	白色粒子	破片		
36	1区 C-II	7	縄文土器 深鉢	-	沈線	黒褐	白色粒子・雲母	破片		
36	1区 2号ビット	8	弥生土器 深鉢	-	口縁端部に刺突	黒褐	赤色粒子・白色 粒子・雲母	破片		
36	1区 E-IV	9	縄文土器 深鉢	-	細密条痕文	明褐色	赤色粒子・白色 粒子	破片		
36	1区 E-III	10	縄文土器 深鉢	6.5	無文	外面純い褐色	赤色粒子・白色 粒子	破片		
36	1区 D-IV	11	縄文土器 深鉢	5.6	無文	純い黄褐色	赤色粒子・白色 粒子	破片		
36	1区 C-1	12	土師質土器	5.1 1.3	ロクロナデ、底部静止糸切り	褐	白色粒子・雲母	1/2		

第10表 2区出土土器観察表

地図 No.	出土地点 No.	種別	器種	法量 (cm)	形態・技法の特徴	色調	胎土	残存率 その他	(法量は上から口径、底径、器高の順)	
									横幅	縦幅
36	2a区 1号坑	1	土師質土器	1.8 2.1	ロクロナデ、底部回転糸切り	褐	雲母	完形		
36	2a区 1号坑	2	土師質土器	1.8 1.3	ロクロナデ、底部回転糸切り	外面暗褐色 内面赤褐色	雲母	2/3		
36	2a区 1号坑	3	白磁	-	ロクロナデ、底部回転糸切り	帶褐色 地灰白	堅練	破片		
36	2a区 2号坑	1	土師質土器	1.8 2.2	ロクロナデ、底部回転糸切り	外面赤褐色 内面黃褐色	雲母	1/3		
36	2a区 2号坑	2	土師質土器	1.8 2.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	褐	赤色粒子・雲母	完形		
36	2a区 2号坑	3	土師質土器	1.8 2.5	ロクロナデ、底部回転糸切り	外面暗褐色 内面褐	雲母	1/3		
36	2a区 2号坑	4	土師質土器	1.8 1.8	ロクロナデ、底部回転糸切り	褐	雲母	完形		
36	2a区 2号坑	5	土師質土器	1.8 6.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	外面暗褐色 内面褐	雲母	完形		
36	2a区 2号坑	6	土師質土器	1.8 5.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	外面暗褐色 内面明褐色	赤色粒子	完形		
36	2a区 2号坑	7	土師質土器	1.8 4.0	手づくね成形	褐	雲母	完形		
36	2a区 2号坑	8	土師質土器	1.8 2.0	手づくね成形	褐	暗褐	雲母	完形	
36	2a区 2号坑	9	土師質土器	1.8 1.9	手づくね成形	明褐色	赤色粒子・雲母	完形		
36	2a区 2号坑	10	土師質土器	1.8 7.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	赤褐	赤色粒子	皿底部-高台部		
37	2a区 3号坑	1	土師質土器	1.8 1.6	ロクロナデ、底部回転糸切り	暗褐	赤色粒子・雲母	3/4		
37	2a区 3号坑	2	土師質土器	1.8 7.5	ロクロナデ、底部回転糸切り	褐	黑色雲母・雲母	1/3		
37	2a区 3号坑	3	土師質土器	1.8 4.6	ロクロナデ、底部回転糸切り	明褐色-褐	赤色粒子	1/3		
37	2a区 3号坑	4	土師質土器	1.8 4.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	赤褐	白色粒子	1/3		
37	2a区 3号坑	5	土師質土器	1.8 5.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	外面樹脂 内面赤褐色	雲母	破片		
37	2a区 3号坑	6	土師質土器	1.8 5.3	ロクロナデ、底部回転糸切り	黃褐色-褐色	雲母	破片		
37	2a区 3号坑	7	土師質土器	1.8 8.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	赤褐-暗褐	小石	环部底部-高台部		
37	2a区 3号坑	8	土師質土器	1.8 8.2	ロクロナデ、底部回転糸切り	暗褐	赤色粒子	破片		
37	2a区 3号坑	9	土師質土器	1.8 4.0	手づくね成形	褐	雲母	完形		
37	2a区 3号坑	10	土師質土器	1.8 7.5	ロクロナデ、底部回転糸切り	褐	黑色雲母・雲母	1/3		
37	2a区 3号坑	11	土師質土器	1.8 5.3	ロクロナデ、底部回転糸切り	明褐色-暗褐	赤色粒子	破片		
37	2a区 3号坑	12	土師質土器	1.8 7.5	ロクロナデ、底部回転糸切り	外面暗褐色 内面明褐色	白色粒子	破片		
37	2a区 3号坑	13	土師質土器	1.8 7.5	ロクロナデ、底部回転糸切り	白色粒子	雲母	破片		
37	2a区 3号坑	14	須恵器	1.8 7.5	ロクロナデ	灰白	堅練	破片、自然 釉付着		
37	2a区 3号坑	15	須恵器	-	ヨコナデ	灰白	堅練	破片		
37	2a区 3号坑	16	須恵器	-	外面タキ	灰白	堅練	破片		
37	2a区 3号坑	17	常滑	-	内外面ナデ	灰白	堅練	破片		
37	2a区 4号坑	1	土師質土器	1.8 1.8	ロクロナデ、底部回転糸切り	暗褐色	雲母	1/2完形		
37	2a区 4号坑	2	土師質土器	1.8 8.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	外面黃褐色 内面明褐色	黑色雲母・雲母	完形		
37	2a区 4号坑	3	土師質土器	1.8 8.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	白色粒子	雲母	破片		
37	2a区 4号坑	4	土師質土器	1.8 7.5	ロクロナデ、底部回転糸切り	外面赤褐	雲母	破片		
37	2a区 4号坑	5	須恵器	-	外面タキ	灰白	堅練	破片		
37	2a区 1号坑	1	土師質土器	1.8 6.6	ロクロナデ、底部回転糸切り	外面褐	雲母	完形		
37	2a区 1号坑	2	土師質土器	1.8 7.0	ロクロナデ	灰白	堅練	破片		
37	2a区 1号坑	3	土師質土器	1.8 7.0	ロクロナデ	浅黄褐色	赤色粒子・雲母	破片		
37	2a区 1号坑	4	土師質土器	1.8 8.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	純い黄橙	白色粒子・雲母	破片		
37	2a区 1号坑	5	常滑	-	ヨコナデ	純い黄橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片、自然 釉付着		
37	2a区 1号坑	6	常滑	-	ヨコナデ	白色粒子	赤色 粒子・雲母	破片		
37	2a区 1号坑	7	常滑	-	ヨコナデ	白色粒子	破片、自然 釉付着			
37	2a区 1号坑	8	常滑	-	ヨコナデ	白色粒子	破片、自然 釉付着			
37	2a区 3号坑	1	土師質土器	1.8 6.2	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰白	白色粒子	3/4		
37	2a区 3号坑	2	土師質土器	1.8 6.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰白	雲母	1/4		
37	2a区 3号坑	3	土師質土器	1.8 10.2	ロクロナデ、底部回転糸切り	橙	白色粒子・雲母	1/3		
37	2a区 3号坑	4	土師質土器	1.8 8.6	ロクロナデ	浅黄褐色	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片		
37	2a区 3号坑	5	土師質土器	1.8 7.6	ロクロナデ	黄橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片		
37	2a区 3号坑	6	土師質土器	1.8 11.4	ロクロナデ	浅橙	白色粒子	破片		
37	2a区 3号坑	7	土師質土器	1.8 12.0	ロクロナデ	浅黄褐色	白色粒子・雲母	破片		
37	2a区 5号坑	1	土師質土器	1.8 6.2	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰白	白色粒子	3/4		
37	2a区 5号坑	2	土師質土器	1.8 6.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰白	雲母	1/4		
37	2a区 5号坑	3	土師質土器	1.8 10.2	ロクロナデ、底部回転糸切り	橙	白色粒子・雲母	1/3		
37	2a区 5号坑	4	土師質土器	1.8 8.6	ロクロナデ	浅黄褐色	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片		
37	2a区 5号坑	5	土師質土器	1.8 7.6	ロクロナデ	黄橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片		
37	2a区 5号坑	6	土師質土器	1.8 11.4	ロクロナデ	浅橙	白色粒子	破片		
37	2a区 5号坑	7	土師質土器	1.8 12.0	ロクロナデ	浅黄褐色	白色粒子・雲母	破片		
37	2a区 10号坑	1	土師質土器	1.8 5.6	ロクロナデ	灰白	雲母	破片		
37	2a区 10号坑	2	土師質土器	1.8 5.6	ロクロナデ	浅黄褐色	白色粒子	破片		
37	2a区 10号坑	3	土師質土器	1.8 5.6	ロクロナデ	白色粒子	雲母	破片		
37	2a区 10号坑	4	土師質土器	1.8 5.6	ロクロナデ	白色粒子	雲母	破片		
37	2a区 10号坑	5	土師質土器	1.8 5.6	ロクロナデ	白色粒子	雲母	破片		
37	2a区 10号坑	6	土師質土器	1.8 5.6	ロクロナデ	白色粒子	雲母	破片		
37	2a区 10号坑	7	土師質土器	1.8 5.6	ロクロナデ	白色粒子	雲母	破片		
37	2a区 10号坑	8	土師質土器	1.8 5.6	ロクロナデ	白色粒子	雲母	破片		
37	2a区 10号坑	9	土師質土器	1.8 5.6	ロクロナデ	白色粒子	雲母	破片		
37	2a区 10号坑	10	土師質土器	1.8 5.6	ロクロナデ	白色粒子	雲母	破片		

40	2 a 区 10号工坑	3 土師質土器	皿	ロクロナデ	橙	赤色粒子・雲母	破片
40	2 a 区 10号工坑	4 土師質土器	内耳鍋	口縁部エビオサエ後ヨコナデ 内外面ケズリ・エビナデ後ナデ	白色粒子・赤色 粒子・雲母	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
40	2 a 区 16号工坑	1 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り	純い橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	3/1
40	2 a 区 16号工坑	2 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り	橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
40	2 a 区 16号工坑	3 土師質土器	内耳鍋	口縁部ヨコナデ	外面褐 内面純い橙	赤色粒子	破片
40	2 a 区 16号工坑	4 土師質土器	内耳鍋	内面ナデ	純い橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
40	2 a 区 17号工坑	1 土師質土器	高台皿	外面ユビオサエ・ヘラ調整、内面ユビナデ・ナデ	黄褐色～褐	白色粒子	皿部底部～ 高台部
40	2 a 区 68号工坑	1 横文土器	深鉢	無文	暗褐	白色粒子・雲母	1/5
40	2 a 区 H-10	1 須恵器	壺	外面ナデ、内面ユビオサエ	外面部オーリップ 内面部AI	練密 破片、自然 袖付着	
40	2 a 区 H-10	2 須恵器	壺	外面タキ	灰	練密	破片
40	2 a 区 H-9	3 須恵器	壺	外面タキ	灰	練密	破片
40	2 a 区 F-9	4 白磁	皿	口縁部に押圧によるナデ	釉乳白落地 灰白	堅練	破片
40	2 a 区 D-15	5 土師質土器	皿	ロクロナデ	純い橙	雲母	破片
40	2 a 区 E-15	6 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り (不解明)	純い橙	雲母	破片
40	2 a 区 G-13	7 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り	純い橙	雲母	破片
40	2 a 区 J-10	8 土師質土器	皿	ロクロナデ	外面純い橙 内面灰褐色	赤色粒子	破片
40	2 a 区 H-13	9 土師質土器	皿	ロクロナデ	揭	赤色粒子	破片
40	2 a 区 C-10	10 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り	赤褐～暗褐	白色粒子	破片
40	2 a 区 E-12	11 土師質土器	皿	ロクロナデ	純い橙	雲母	破片
40	2 a 区 F-10	12 土師質土器	皿	ロクロナデ	黄褐	白色粒子	破片
40	2 a 区 E-14	13 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り	純い橙	雲母	破片
40	2 a 区 D-12	14 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り	純い橙	白色粒子・雲母	破片
40	2 a 区 C-13	15 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り (不解明)	揭	雲母	破片
40	2 a 区 C-13	16 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り	赤褐	雲母	破片
40	2 a 区 C-15	17 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り	純い橙	雲母	破片
40	2 a 区 E-9	18 土師質土器	皿	ロクロナデ、底部回転系切り	純い橙	雲母	破片
41	2 a 区 D-12	19 薬戸・ 美濃系	茶碗	ロクロナデ	淡釉灰地灰白	堅練	破片
41	2 a 区 F-5	20 背磁	碗	神奈川リヤ 紫地灰白	堅練	破片	
41	2 a 区 H-12	21 土師質土器	内耳鍋	口縁部エビオサエ後ヨコナデ 体部内外面ユビオサエ後ナデ	赤褐色・青白 内面青白・結晶	白色粒子	破片
41	2 a 区 G-11	22 土師質土器	内耳鍋	口縁部エビオサエ後ヨコナデ、 体部内外面ユビオサエ後ナデ	外面暗褐 内面明褐	雲母	破片
41	2 a 区 F-6	23 土師質土器	内耳鍋	ヨコナデ	外面暗褐 内面明褐	雲母	破片
41	2 a 区 E-13	24 土師質土器	内耳鍋	ヨコナデ	暗褐	雲母	破片
41	2 a 区 H-7	25 土師質土器	内耳鍋	ヨコナデ	白色粒子	破片	
41	2 a 区 I-8	26 土師質土器	内耳鍋	ヨコナデ	外面暗褐 内面純い橙	赤色粒子	破片
41	2 a 区 G-9	27 土師質土器	内耳鍋	外面ユビオサエ・ケズリ、内面 ヨコナデ	白色粒子・雲母	破片	
41	2 a 区 H-10	28 土師質土器	内耳鍋	2内外面ユビオサエ後ナデ	外面暗褐 内面褐	白色粒子	破片
41	2 a 区 E-13	29 土師質土器	内耳鍋	内外面ユビオサエ後ナデ	外面暗褐 内面褐	白色粒子	破片
41	2 a 区 G-10	30 土師質土器	深鉢	ヨコナデ	純い橙	赤色粒子・雲母	破片
41	2 a 区 G-10	31 土師質土器	鉢	内外面ナデ	純い橙	雲母	破片
41	2 a 区 G-10	32 土師質土器	鉢	口縁部ヨコナデ、外面ユビオサエ 内面ナデ	外面暗褐 内面純い橙	雲母	破片
41	2 a 区 G-5	33 横文土器	深鉢	口縁直下に四線状の沈線	暗褐	白色粒子・雲母	破片
41	2 a 区 E-6	34 横文土器	深鉢	口縁直下に四線状の沈線	暗褐	白色粒子	破片
41	2 a 区 E-7	35 横文土器	深鉢	2条の平行沈線	外面赤褐内 黄褐色	白色粒子	破片
41	2 a 区 H-3	36 横文土器	深鉢	口縁直下に四線状の沈線	外面褐内 面青白	白色粒子・雲母	破片
41	2 a 区 F-7	37 横文土器	深鉢	口縁直下に四線状の沈線(蔭瀬 により解明)	明褐	白色粒子・雲母	破片
42	2 a 区 D-7	38 横文土器	深鉢	沈線(不鮮明)	外面赤褐 内面黄褐色	白色粒子・赤色 粒子	破片
42	2 a 区 G-5	39 横文土器	深鉢	沈線・細条目直痕(磨滅により 不鮮明)	純い橙	白色粒子	破片
42	2 a 区 E-4	40 横文土器	深鉢	2条の平行沈線	褐	白色粒子・雲母	破片
42	2 a 区 G-4	41 横文土器	深鉢	2条の平行沈線	白色粒子・雲母	破片	
42	2 a 区 E-8	42 横文土器	深鉢	波状口縁、2条の平行沈線	黄褐	白色粒子・雲母	破片
42	2 a 区 C-7	43 横文土器	深鉢	2条の平行沈線	黄褐	赤色粒子	破片
42	2 a 区 E-5	44 横文土器	深鉢	3条の平行沈線	黄褐	白色粒子・雲母	破片
42	2 a 区 F-4	45 横文土器	深鉢	口縁直下に四線状の沈線	白色粒子・雲母	破片	
42	2 a 区 H-3	46 横文土器	深鉢	沈線(不鮮明)	暗褐	白色粒子	破片
42	2 a 区 F-6	47 横文土器	深鉢	2条の平行沈線	外面暗褐 内面純い橙	白色粒子	破片
42	2 a 区 F-5	48 横文土器	深鉢	内外面に2条の平行沈線	白色粒子・雲母	破片	
42	2 a 区 D-7	49 横文土器	深鉢	掲	雲母	破片	
42	2 a 区 F-4	50 横文土器	深鉢	3条の平行沈線	掲	白色粒子	破片
42	2 a 区 E-5	51 横文土器	深鉢	掲	白色粒子・雲母	破片	
42	2 a 区 E-5	52 横文土器	深鉢	外面明褐 内面純い橙	白色粒子	破片	
42	2 a 区 G-5	53 横文土器	深鉢	底部網代模	暗褐	雲母	破片
42	2 a 区 G-3	54 横文土器	深鉢	底部網代模	外面明褐 内面純い橙	雲母	破片
42	2 a 区 G-4	55 横文土器	深鉢	無文	外面褐 内面暗褐	小石	破片
42	2 a 区 H-6	56 横文土器	深鉢	羽状沈線、突起	外面黃褐 内面純い橙	白色粒子・雲母	破片
42	2 a 区 E-6	57 横文土器	深鉢	無文	外面赤褐 内面黃褐	白色粒子・雲母	破片
42	2 a 区 F-4	58 横文土器	深鉢	外面褐 内面黒褐	小石	白色粒子	破片

(法量は上から口径、底径、器高の順)									
第11表 2 b 区出土土器観察表	出土地点	遺物 No.	種別	器種	法量 (cm)	形態・技法の特徴	色調	胎土	残存率 その他
43	2 b 区 1号住	1	土師器	壺	5.8	ロクロナデ、底部回転系切り (磨滅により不鮮明)	純い橙	赤色粒子	破片
43	2 b 区 1号住	2	土師器	鉢	11.8	ロクロナデ	橙	白色粒子・雲母	破片
43	2 b 区 1号住	3	須恵器	壺	7.2	ロクロナデ、底部回転系切り	灰白	白色粒子	1/3
43	2 b 区 1号住	4	須恵器	壺	12.2 2.8	ロクロナデ、底部回転系切り	灰白	白色粒子・雲母	1/3 完形
43	2 b 区 1号住	5	須恵器	壺	13.1 4.2	ロクロナデ、底部回転系切り	灰白	白色粒子・雲母	
43	2 b 区 1号住	6	須恵器	壺	10.8	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
43	2 b 区 1号住	7	須恵器	壺	10.0	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
43	2 b 区 1号住	8	土師器	甕	-	ヨコナデ	橙	白色粒子	破片
43	2 b 区 1号住	9	須恵器	高台壺	10.6	ロクロナデ、ヘラケズリ・高台付	灰	白色粒子・雲母	破片
43	2 b 区 1号住	10	須恵器	蓋	16.6	ロクロナデ、外面回転ヘラケズ リ	灰白～灰	白色粒子	破片
43	2 b 区 1号住	11	土師器	甕	13.6	外面ヘラナデ、内面ナデ	橙	白色粒子	破片
43	2 b 区 1号住	12	須恵器	甕	-	外面タキ	灰	白色粒子	破片
43	2 b 区 1号住	13	須恵器	規頭甕	10.0 7.0 2.5	ロクロナデ、ヘラナデ、底部ナ デ	灰白	白色粒子	1/2
43	2 b 区 1号住	14	土師質土器	皿	12.0	ロクロナデ	浅黄橙	赤色粒子・雲母	破片
43	2 b 区 1号住	15	土師質土器	皿	12.6 6.8	ロクロナデ、底部回転系切り	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
43	2 b 区 1号住	16	土師質土器	内耳鍋	-	ヨコナデ	浅黄橙～暗 褐	雲母	破片
43	2 b 区 2号住	1	土師質土器	皿	-	ロクロナデ	橙	白色粒子	破片
43	2 b 区 2号住	2	土師質土器	鉢	-	ロクロナデ	純い褐～灰 褐	白色粒子	破片
43	2 b 区 3号住	3	土師器	甕	-	ロクロナデ	赤色粒子	破片	
43	2 b 区 3号住	4	須恵器	蓋	13.6 3.4	ロクロナデ、外面回転ヘラケズ リ	灰白	白色粒子	完形
43	2 b 区 3号住	5	須恵器	甕	-	外面タキ	灰白	白色粒子	破片
43	2 b 区 3号住	6	須恵器	甕	-	外面タキ	灰白	白色粒子	破片
43	2 b 区 3号住	7	須恵器	鉢	31.2	口縁部ヨコナデ、体部外面タキ ナデ	灰白	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 1号堅穴	1	土師質土器	皿	8.2	ロクロナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 1号堅穴	2	土師質土器	内耳鍋	-	純い黄橙～ 純い橙	白色粒子・雲母	破片	
44	2 b 区 1号堅穴	3	土師質土器	内耳鍋	-	内外面ナデ	黑褐～褐	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 1号堅穴	4	土師質土器	内耳鍋	-	ロクロナデ、底部回転系切り	外面淡黄	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 4号溝	1	土師質土器	皿	7.0 1.5	ロクロナデ、底部回転系切り	橙	白色粒子・雲母	2/3
44	2 b 区 4号溝	2	土師質土器	皿	10.8 2.5	ロクロナデ、底部回転系切り	外面浅黄 内面黄灰	白色粒子・赤色 粒子	1/4、焼付 着
44	2 b 区 4号溝	3	土師質土器	皿	11.1 2.5	ロクロナデ、底部回転系切り	橙	赤色粒子	破片
44	2 b 区 4号溝	4	土師質土器	皿	12.6 2.8	ロクロナデ、底部回転系切り	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子	1/4
44	2 b 区 4号溝	5	土師質土器	皿	8.4	ロクロナデ	浅黄橙	雲母	破片
44	2 b 区 4号溝	6	土師質土器	皿	6.0	ロクロナデ、底部回転系切り	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 4号溝	7	土師質土器	内耳鍋	7.0	ロクロナデ、底部回転系切り	白色粒子・雲母	破片	
44	2 b 区 4号溝	8	土師質土器	皿	7.6	ロクロナデ、底部回転系切り	純い橙	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 4号溝	9	土師質土器	皿	6.0	ロクロナデ、底部回転系切り	橙	白色粒子・赤色 粒子	破片
44	2 b 区 4号溝	10	土師質土器	皿	-	ロクロナデ、底部回転系切り (磨滅により不鮮明)	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子	破片
44	2 b 区 4号溝	11	土師質土器	皿	-	ロクロナデ、底部回転系切り	純い橙	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 4号溝	12	須恵器	壺	-	ロクロナデ	灰オリーブ 白色粒子・赤色 粒子	破片	
44	2 b 区 4号溝	13	須恵器	壺	-	ロクロナデ	綠灰	白色粒子	破片
44	2 b 区 4号溝	14	灰軸陶器	壺	8.8	ロクロナデ	灰黄	白色粒子	破片
44	2 b 区 4号溝	15	土師質土器	内耳鍋	21.0	口縁部ヨコナデ、内外面ナデ	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 4号溝	16	土師質土器	内耳鍋	-	内外面ナデ	橙	白色粒子	破片
44	2 b 区 4号溝	17	土師質土器	内耳鍋	-	内外面ナデ	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 4号溝	18	土師質土器	釜	13.2	ヨコナデ	純黄橙	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 4号溝	19	土師質土器	内耳鍋	21.1	口縁部ヨコナデ、外面部エビオ サエ後ナデ、内面ナデ	純黄褐～ 黒褐	白色粒子・雲母	破片
44	2 b 区 4号溝	20	土師質土器	内耳鍋	21.2	口縁部ヨコナデ、外面部エビオ サエ後ナデ、内面ナデ	灰オリーブ 後ナデ	白色粒子	破片
44	2 b 区 4号溝	21	土師質土器	内耳鍋	-	外面部エビオサエ後ナデ、内面 純黄褐	白色粒子	雲母	破片
44	2 b 区 4号溝	22	土師質土器	内耳鍋	21.2 2.5	口縁部ヨコナデ、外面部エビオ サエ後ナデ、内面ナデ	外面部純 黄褐	白色粒子	破片
45	2 b 区 4号溝	23	土師質土器	内耳鍋	19.4	ヨコナデ	外面部純 小褐	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
45	2 b 区 4号溝								

50	2 b 区 21号土坑	2	弥生土器 後期	壺	10	外面ハケ調整、内面ナデ、底部ナデ	橙	白色粒子	破片
50	2 b 区 21号土坑	3	弥生土器 後期	甕	-	外面ハケ調整、内面ナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
50	2 b 区 21号土坑	4	弥生土器 後期	甕	30.2 23.1	口縁部ヨコナデ、外面ハケ調整 (不鮮明)、内面ナデ、底部	純い橙～黒	白色粒子・ 雲母	1/2
50	2 b 区 22号土坑	1	土師質土器	皿	13.8	ロクロナデ	浅黄橙	赤色粒子・雲母	破片
50	2 b 区 22号土坑	2	土師質土器	擂鉢	32.4	口縁部ヨコナデ、内面ナデ	浅黄橙	赤色粒子・雲母	破片
50	2 b 区 22号土坑	3	土師質土器	擂鉢	-	口縁部ヨコナデ、外面ユビナ デ、内面ナデ	純い浅黄橙	雲母	破片
50	2 b 区 22号土坑	4	土師質土器	擂鉢	15.1	外面ユビナデ、内面ナデ	浅黄橙	雲母	1/5
50	2 b 区 22号土坑	5	弥生土器 中期	甕	-	外面条痕	純い黄橙	白色粒子	破片
50	2 b 区 23号土坑	1	土師質土器	擂鉢	-	内外面ナデ	純い橙	雲母	破片
50	2 b 区 23号土坑	2	土師質土器	釜	11.6	ヨコナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
51	2 b 区 24号土坑	1	土師質土器	内耳鉢	-	ヨコナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
51	2 b 区 24号土坑	2	土師質土器	内耳鉢	22.0	内外面ユビナデ後ナデ	純い褐	白色粒子・雲母	破片
51	2 b 区 24号土坑	3	土師質土器	擂鉢	-	削減により調整確認不可	褐	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
51	2 b 区 24号土坑	4	土師質土器	擂鉢	-	ヨコナデ	浅黄橙	雲母	破片
51	2 b 区 24号土坑	5	土師質土器	皿	5.0	ロクロナデ、底部回転糸切り (不鮮明)	浅黄橙	雲母	破片
51	2 b 区 25号土坑	1	土師質土器	皿	12.2 2.6	ロクロナデ	外面内面 純い橙	白色粒子・雲母	破片
51	2 b 区 25号土坑	2	土師質土器	皿	11.2	ロクロナデ	純い褐	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
51	2 b 区 25号土坑	3	土師質土器	皿	7.6	ロクロナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
51	2 b 区 25号土坑	4	土師質土器	皿	5.6	ロクロナデ、底部回転糸切り (不鮮明)	純い橙	白色粒子・雲母	破片
51	2 b 区 25号土坑	5	土師質土器	皿	6.1	ロクロナデ、ヘラナデ、底部回 転糸切り	純い橙～純 い褐	白色粒子・雲母	破片
51	2 b 区 25号土坑	6	土師質土器	皿	-	ロクロナデ	純い橙	雲母	破片
51	2 b 区 25号土坑	7	土師質土器	皿	-	ロクロナデ	純い橙	雲母	破片
51	2 b 区 25号土坑	8	土師質土器	内耳鉢	-	ヨコナデ	純い橙	赤色粒子・雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	1	土師質土器	擂鉢	32.0	口縁部ヨコナデ、外面ユビナ デ・ヘラナデ、内面ナデ	純い褐～純 い橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	1/3
51	2 b 区 26号土坑	2	土師質土器	皿	6.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	純い橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	3	土師質土器	皿	7.0	ロクロナデ、底部回転糸切り (不鮮明)	純い橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	4	土師質土器	皿	10.4 2.8	ロクロナデ、底部回転糸切り	純い橙～純 い褐	白色粒子・赤色 粒子・雲母	はぼ完形
51	2 b 区 26号土坑	5	土師質土器	皿	-	ロクロナデ、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	6	土師質土器	皿	-	ロクロナデ	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	7	土師質土器	皿	12.0	ロクロナデ	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	8	土師質土器	皿	9.8 6.4	ロクロナデ、底部回転糸切り 後三足貼り付け	純い褐	白色粒子・赤色 粒子・雲母	1/2
51	2 b 区 26号土坑	9	土師質土器	擂鉢	-	外面ユビナデ・ヘラナデ、内面 ナデ	純い橙～純 い褐	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	10	土師質土器	皿	7.6	ロクロナデ、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	11	土師質土器	内耳鉢	29.0	口縁部ヨコナデ、外面ユビナ デ・ヘラナデ、内面ナデ	外面内面 暗褐色	雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	12	土師質土器	内耳鉢	21.5	口縁部ヨコナデ、外面内面エビオ サエ後ナデ	外面内面 暗褐色	雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	13	土師質土器	内耳鉢	-	ヨコナデ	外面内面 暗褐色	雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	14	土師質土器	内耳鉢	-	内外面ユビオサエ後ナデ	外面内面 暗褐色	雲母	破片
51	2 b 区 26号土坑	15	土師質土器	擂鉢	-	外面ユビオサエ、内面ナデ	赤褐	白色粒子	破片
52	2 b 区 30号土坑	16	土師質土器	内耳鉢	-	内外面ユビオサエ後ナデ	外面暗褐色 内面褐	精良	破片
52	2 b 区 30号土坑	17	土師質土器	内耳鉢	21.0	内外面ナデ	暗褐色	精良	破片
52	2 b 区 30号土坑	18	土師質土器	擂鉢	38.0	口縁部ヨコナデ、内外面ユビオ サエ	外面明褐色 内面純い橙	白色粒子	1/6
52	2 b 区 30号土坑	19	縄袖陶器	小壺	1.6 2.4	-	暗綠	微密	1/3
52	2 b 区 31号土坑	1	須恵器	甕	-	外面タキ	灰白	白色粒子	破片
52	2 b 区 32号土坑	1	土師器	甕	-	ヨコナデ	赤褐	白色粒子	破片
52	2 b 区 33号土坑	1	土師質土器	皿	10.2	ヨコナデ	浅黄橙	白色粒子	破片
52	2 b 区 33号土坑	2	土師質土器	皿	-	ヨコナデ	純い橙	白色粒子	破片
52	2 b 区 33号土坑	3	土師質土器	皿	-	ヨコナデ	橙	赤色粒子	破片
52	2 b 区 34号土坑	1	土師質土器	内耳鉢	-	内外面ナデ	暗褐	白色粒子・雲母	破片
52	2 b 区 37号土坑	1	土師質土器	釜	-	肩部に耳・把手	灰褐	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
52	2 b 区 37号土坑	2	土師質土器	擂鉢	-	内外面ナデ	灰白	白色粒子	破片
52	2 b 区 38号土坑	1	土師質土器	皿	9.0	ロクロナデ	純い橙	白色粒子・赤色 粒子	破片
52	2 b 区 38号土坑	2	土師質土器	皿	-	ロクロナデ	淺黃橙	白色粒子	破片
52	2 b 区 38号土坑	3	土師質土器	皿	-	ロクロナデ	浅黄橙	白色粒子	破片
52	2 b 区 38号土坑	4	土師質土器	内耳鉢	-	内外面ナデ	純い褐	白色粒子・赤色 粒子	破片
52	2 b 区 39号土坑	1	土師質土器	内耳鉢	-	内外面ナデ	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片
52	2 b 区 41号土坑	1	土師質土器	皿	6.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片

52	2 b 区 41号土坑	2	弥生土器 中期	甕	-	条痕	外側灰オリーブ 内面灰い出し	白色粒子・赤色 粒子	破片
52	2 b 区	1	土師質土器	擂鉢	-	ヨコナデ	淡黄橙	白色粒子・赤色 粒子	破片
52	2 b 区 43号土坑	1	土師質土器	皿	-	ロクロナデ	橙	白色粒子・雲母	破片
52	2 b 区 43号土坑	2	土師質土器	皿	5.6	ロクロナデ、底部回転糸切り	橙	白色粒子・雲母	破片
52	2 b 区 43号土坑	3	弥生土器 中期	甕	-	条痕	外面淡黄 内面灰白	白色粒子・赤色 粒子	破片
53	2 b 区 I - 20	1	土師質土器	香炉?	11.0 7.5	ロクロナデ	灰褐	雲母	破片
53	2 b 区 G - 23	2	土師質土器	皿	13.0 7.5	ロクロナデ、底部回転糸切り (不鮮明)	外面暗褐 内面褐	白色粒子・雲母	1/2
53	2 b 区 H - 20	3	土師質土器	皿	13.5	ロクロナデ	黄褐	雲母	破片
53	2 b 区 E - 19	4	土師質土器	皿	12.0	ロクロナデ	外面褐 内面暗褐	雲母	破片
53	2 b 区 G - 18	5	土師質土器	皿	13.0	ロクロナデ	明褐	白色粒子	破片
53	2 b 区 H - 20	6	土師質土器	皿	13.0	ロクロナデ	純い橙	雲母	破片
53	2 b 区 I - 19	7	土師質土器	皿	12.0	ロクロナデ	赤褐	雲母	破片
53	2 b 区 G - 16	8	土師質土器	皿	6.0	ロクロナデ、底部回転糸切り (不鮮明)	純い橙	雲母	破片
53	2 b 区 F - 15	9	土師質土器	香炉?	-	三足貼付	外面褐 内面赤褐	精良	破片
53	2 b 区 I - 23	10	土師質土器	内耳鉢	-	ヨコナデ	外面暗褐 内面褐	精良	破片
53	2 b 区 D - 18	11	土師質土器	内耳鉢	-	ヨコナデ	外面褐 内面明褐	白色粒子	破片
53	2 b 区 G - 24	12	土師質土器	内耳鉢	-	外面エビオサエ後ナデ、内面ナ デ	暗褐	精良	破片
53	2 b 区 D - 16	13	弥生土器 中期	甕	-	円弧文	外面灰褐 内面灰褐	白色粒子	破片
53	2 b 区 I - 17	14	弥生土器 中期	甕	-	条痕	外面灰褐 内面灰褐	白色粒子・赤色 粒子	破片

第12表 3区出土土器観察表 (法量は上から口径、底径、器高の順)

箇園 No.	出土地点 地名	遺物 No.	種別	器種	法量 (cm)	形態・技法の特徴	色調	胎土	我存率 その他
53	3 区 1号住	1	須恵器	高台壺	12.6 9.0 3.3	ロクロナデ、底部糸切り後回転 ヘラケズリ、高台貼り付け	灰白	白色粒子	2/3
53	3 区 1号住	2	須恵器	蓋	15.8	ロクロナデ、外面回転ヘラケズリ	灰	白色粒子	1/4
53	3 区 1号住	3	須恵器	蓋	23.8	ロクロナデ、外面回転ヘラケズリ	灰	白色粒子	1/4
53	3 区 1号住	4	須恵器	甕	-	外面タキ	灰褐	白色粒子	破片
53	3 区 1号住	5	土師器	甕	-	ロクロナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
53	3 区 1号住	6	土師器	甕	-	ロクロナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
53	3 区 1号住	7	土師器	甕	-	ロクロナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
53	3 区 1号住	8	土師器	甕	10.0	外面ハケ調整後ナデ、内面ナデ	橙	白色粒子・雲母	破片
53	3 区 1号住	9	土師器	甕	-	内外面ハケ調整後ナデ	黑褐	白色粒子・雲母	破片
53	3 区 1号住	10	土師器	甕	28.6	削減により調整確認不可	橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
53	2 区 2号住	1	土師器	甕	-	黒褐～純い褐	黑褐～純 い褐	白色粒子	破片
54	3 区 3号住	1	須恵器	蓋	21.0	ロクロナデ、外面回転ヘラケズリ	灰	白色粒子	破片・焼成 時に歪み
54	3 区 3号住	2	須恵器	蓋	-	ロクロナデ、外面回転ヘラケズリ	灰	白色粒子	破片
54	3 区 3号住	3	須恵器	蓋	-	ロクロナデ、外面回転ヘラケズリ	灰白	白色粒子	破片
54	3 区 3号住	4	須恵器	甕	-	外面ナデ、内面エビオサエ	赤褐	白色粒子	破片
54	3 区 3号住	5	須恵器	甕	9.8	削減により調整確認不可、 内面エビオサエ	赤褐～赤 褐色	白色粒子	破片
54	3 区 3号住	6	土師器	甕	10.4	ロクロナデ	純い橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	1/2
54	3 区 3号住	7	土師器	甕	-	ロクロナデ	黄灰～灰黄	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片
54	3 区 3号住	8	土師器	甕	-	内外面エビオサエ	浅黄橙～赤 褐色	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片・煤付
54	3 区 4号住	1	須恵器	蓋	12.0	ロクロナデ、底部回転糸切り後 ヘラケズリ	灰白	白色粒子	破片
54	3 区 4号住	2	須恵器	蓋	-	ロクロナデ、底部糸切り後回転 ヘラケズリ	灰	白色粒子	1/2
54	3 区 4号住	3	土師器	坏	7.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	純い黄橙	白色粒子	破片
54	3 区 4号住	4	須恵器	坏	14.0	ロクロナデ	灰白	白色粒子	破片
54	3 区 4号住	5	須恵器	坏	12.0	ロクロナデ	灰白	白色粒子	破片
54	3 区 4号住	6	須恵器	坏	12.0	ロクロナデ、底部回転糸切り後 ヘラケズリ	灰白	白色粒子	破片
54	3 区 4号住	7	須恵器	坏	-	ロクロナデ、底部回転糸切り	青灰	白色粒子	1/4
54	3 区 4号住	8	土師器	甕	25.6	ロクロナデヨコナデ、頭部外面エビ オサエ後ナデ、内面ナデ	赤褐	雲母	破片
54	3 区 4号住	9	土師器	甕	22.0	1号部ヨコナデ、頭部外側エビオ サエ後ナデ、内面ナデ	赤褐	小石	破片
54	3 区 4号住	10	弥生土器	甕	8.0	ロクロナデ	外面暗褐 内面明褐	白色粒子	破片
54	3 区 5号住	1	土師質土器	皿	12.9 13.3	ロクロナデ、底部回転糸切り (削減により不鮮明)	白色粒子・赤色 粒子	破片	ほほ完形

55	3区 5号住	13	須恵器	坏	-	ロクロナデ	灰白	白色粒子	破片	
55	3区 5号住	14	須恵器	高台坏	8.6	ロクロナデ、底部糸切り(不鮮明) 後側持ちヘラケズリ、高台附付	灰白	白色粒子	1/5	
55	3区 5号住	15	須恵器	堺	-	ロクロナデ	橙	白色粒子・赤色 粒子	破片	
55	3区 5号住	16	土師器	堺	22.1 32.1 36.8	ロクロナデ、底部回転糸切り	橙	白色粒子・赤色 粒子	1/2	
55	3区 5号住	17	土師器	堺	7.4	外面ハケ調整、内面ユビオサエ 外面部赤褐色 内面暗文	白色粒子	白色粒子	1/4	
55	3区 5号住	18	須恵器	堺	-	外面タタキ	外面オーリーブ 里 内面青灰	白色粒子	破片	
55	3区 5号住	19	須恵器	堺	-	外面タタキ	青灰	白色粒子	破片	
56	3区 6号住	1	土師器	堺	7.5	磨減により外面調整確認不可、 内面ユビオサエ	黄褐	白色粒子	破片	
56	3区 6号住	2	土師器	坏	8.0	ロクロナデ	赤褐	白色粒子	破片	
56	3区 6号住	3	土師器	堺	-	外面ナデ、内面ハケ調整後ナデ 赤褐	白色粒子・小石	破片		
56	3区 6号住	4	須恵器	堺	9.5	外面タタキ	灰	小石	破片	
56	3区 6号住	5	弥生土器 中期	堺	-	円弧文	黄褐	雲母	破片	
56	3区 6号住	6	弥生土器 中期	堺	-	条紋文	褐	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片	
56	3区 7号住	1	土師器	坏	10.8 6.1	ロクロナデ、底部回転糸切り後 外面部赤褐色 内面青灰色	白色粒子	白色粒子	1/2	
56	3区 7号住	2	土師器	坏	11.0 4.5	ロクロナデ、底部回転糸切り(不鮮明) 後側持ちヘラケズリ	黄色 黃 黃褐	白色粒子・赤色 粒子・雲母	2/3	
56	3区 7号住	3	土師器	坏	12.1	ロクロナデ	橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片	
56	3区 7号住	4	土師器	坏	10.8 3.5	ロクロナデ、底部回転ヘラケズ リ、ケズリ出、萬台	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片		
56	3区 7号住	5	土師器	坏	-	ロクロナデ	鈍い黄橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片	
56	3区 7号住	6	土師器	坏	12.0	ロクロナデ	淡黄	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片	
56	3区 7号住	7	土師器	坏	7.5 (不鮮明)	ロクロナデ、底部回転糸切り	浅黄褐	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片	
56	3区 7号住	8	土師器	坏	7.4	ロクロナデ、底部回転ヘラケズ リ	赤色粒子	破片		
56	3区 7号住	9	土師器	蓋	-	ロクロナデ、外面回転ヘラケズ リ	橙	赤色粒子	破片	
56	3区 7号住	10	土師器	蓋	10.6	ロクロナデ、外面回転ヘラケズ リ	白色粒子・赤色 粒子	破片		
56	3区 7号住	11	須恵器	蓋	12.6 4.3	ロクロナデ、外面回転ヘラケズ リ	オリーブ灰	白色粒子	ほぼ完形	
56	3区 7号住	12	須恵器	蓋	10.6 3.8	ロクロナデ、外面回転ヘラケズ リ	灰白	白色粒子	1/2	
56	3区 7号住	13	須恵器	蓋	-	ロクロナデ、外面回転ヘラケズ リ	灰白	白色粒子	破片	
56	3区 7号住	14	須恵器	蓋	14.0	ロクロナデ、外面回転ヘラケズ リ	オリーブ灰	白色粒子	破片	
56	3区 7号住	15	須恵器	蓋	14.4	ロクロナデ、外面回転ヘラケズ リ	明オリーブ灰	白色粒子	破片	
56	3区 7号住	16	須恵器	坏	11.1 3.8	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰	白色粒子	完形、火燐	
56	3区 7号住	17	須恵器	坏	12.0 7.3 3.9	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰白～オ リーブ褐	白色粒子	2/3、煤付 着	
56	3区 7号住	18	須恵器	坏	12.0 6.3 3.9	ロクロナデ、底部回転糸切り	オリーブ灰	白色粒子	1/4、火燐	
56	3区 7号住	19	須恵器	坏	12.0 6.0 4.1	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰白	白色粒子	1/2	
56	3区 7号住	20	須恵器	坏	12.4 3.8	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰白	白色粒子・赤色 粒子	ほぼ完形	
56	3区 7号住	21	須恵器	坏	12.8	ロクロナデ	オリーブ灰	白色粒子	破片	
56	3区 7号住	22	須恵器	坏	12.6	ロクロナデ	灰白	白色粒子	破片	
56	3区 7号住	23	須恵器	高台坏	8.4 6.8	ロクロナデ、底部糸切り後高台 貼付	灰白	白色粒子	3/4	
56	3区 7号住	24	須恵器	坏	-	ロクロナデ	灰白	白色粒子	破片	
56	3区 7号住	25	須恵器	坏	-	ロクロナデ	灰白	白色粒子	破片	
56	3区 7号住	26	須恵器	坏	9.0	ロクロナデ、底部糸切り	オリーブ灰	白色粒子・小石	破片、工具 痕?	
56	3区 7号住	27	須恵器	高台坏	8.6	ロクロナデ、底部糸切り後高台 貼付	灰白	白色粒子	破片	
57	3区 7号住	28	須恵器	長頸瓶	6.2 5.2 19.2	ロクロナデ、静止回転糸切り	灰オリーブ	白色粒子	ほぼ完形	
57	3区 7号住	29	須恵器	鉢	18.8 10.0	ロクロナデ、静止回転糸切り	灰白～浅黄 橙	白色粒子	ほぼ完形	
57	3区 7号住	30	須恵器	堺	-	外面ユビナデ・オサエ	灰白	白色粒子	破片、自然 剥離	
57	3区 7号住	31	須恵器	堺	15.6	ロクロナデ	外面タタキ	灰白	白色粒子	破片
57	3区 7号住	32	土師器	堺	-	ロクロナデ	明赤褐	白色粒子・赤色 粒子	破片	
57	3区 7号住	33	土師器	堺	-	ロクロナデ	鈍い黄橙	白色粒子・赤色 粒子	破片	
57	3区 7号住	34	土師器	堺	-	ユビオサエ・ハケ調整後ヨコナ デ	橙	白色粒子・赤色 粒子	破片	
57	3区 7号住	35	土師器	堺	23.0	ロクロナデ	明褐	白色粒子	破片	
57	3区 7号住	36	土師器	堺	-	ロクロナデ	褐	赤色粒子・小石	破片	
57	3区 7号住	37	土師器	堺	21.4	ロクロナデ	鈍い褐	白色粒子・赤色 粒子	2/3	
57	3区 7号住	38	土師器	堺	23.1	ロクロナデ	鈍い褐	白色粒子・赤色 粒子	1/2	
57	3区 7号住	39	土師器	堺	14.4	内外面ハケ調整	橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片	
57	3区 7号住	40	土師器	堺	15.0	磨減により調整確認不可	橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片	
58	3区 9号住	1	土師器	坏	15.0 7.5 5.8	ロクロナデ、底部回転糸切り後 ハラケズリ、内面暗文	鈍い橙	赤色粒子・雲母	2/5	
58	3区 9号住	2	土師器	坏	10.8 6.2 4.6	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	橙	赤色粒子・雲母	1/3	
58	3区 9号住	3	土師器	坏	11.2 4.4	ロクロナデ、底部回転糸切り後体 部持ちヘラケズリ、内面暗文	橙～浅黄橙	赤色粒子	ほぼ完形	
58	3区 9号住	4	土師器	坏	11.2 4.4	ロクロナデ、底部回転糸切り後 体部持ちヘラケズリ	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片		
58	3区 9号住	5	土師器	坏	10.3 4.6	ロクロナデ、底部回転糸切り(不鮮 明) 後体・底部手持ちヘラケズリ	白色粒子・赤色 粒子	1/2		
58	3区 9号住	6	土師器	坏	10.7	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	橙	赤色粒子	2/3	
58	3区 9号住	7	土師器	坏	11.6 4.2	ロクロナデ、底部回転糸切り後体 部持ちヘラケズリ、内面暗文	橙～鈍い橙	白色粒子・赤色 粒子	2/3	
58	3区 9号住	8	土師器	坏	12.2 4.6	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	赤色粒子	1/3		
58	3区 9号住	9	土師器	坏	12.2 4.5	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	鈍い橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	10	土師器	坏	10.6 4.0	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	橙	赤色粒子・雲母	1/3	
58	3区 9号住	11	土師器	坏	11.2 7.5	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	鈍い橙	赤色粒子	1/2	
58	3区 9号住	12	土師器	坏	12.0 7.0	ロクロナデ(磨減により外面調 整不鮮明)、内面暗文	橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	13	土師器	坏	11.1 4.7	ロクロナデ、底部回転糸切り後体 部持ちヘラケズリ、内面暗文	鈍い橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	14	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	15	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	鈍い橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	16	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	17	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	鈍い橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	18	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	19	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	鈍い橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	20	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	21	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	鈍い橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	22	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	23	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	鈍い橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	24	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	25	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	鈍い橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	26	土師器	坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	橙	赤色粒子	破片	
58	3区 9号住	27	土師器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白～鈍い 黄橙	白色粒子	1/3	
58	3区 9号住	28	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	29	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	30	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	31	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	32	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	33	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	34	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	35	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	36	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	37	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	38	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	39	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	40	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	41	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	42	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	43	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	44	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	45	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	46	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	47	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	48	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	49	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	50	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	破片	
58	3区 9号住	51	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	小石/1/4	
58	3区 9号住	52	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	小石/1/3	
58	3区 9号住	53	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	小石/1/3	
58	3区 9号住	54	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	小石/1/4	
58	3区 9号住	55	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	小石/1/4	
58	3区 9号住	56	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	小石/1/3	
58	3区 9号住	57	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ(磨減により調整不 鮮明)	灰白	白色粒子	小石/1/3	
58	3区 9号住	58	土師器	蓋	16.2	ロクロナデ、外面部回転ヘラケズ リ(磨減により調整不鮮明)	浅黄橙	白色粒子・雲母	1/5	
58	3区 9号住	59	須恵器	蓋	12.2 4.2	ロクロナデ、外面部回転ヘラケズ リ	灰白	白色粒子	小石/2/3	
58	3区 9号住	60	須恵器	蓋	13.2	ロクロナデ、外面部回転ヘラケズ リ(磨減により調整不鮮明)	灰白	白色粒子	小石/1/3	
58	3区 9号住	61	須恵器	蓋	-	ロクロナデ、外面部回転ヘラケズ リ	灰白	赤色粒子	小石/1/3	
60	3区 9号住	6								

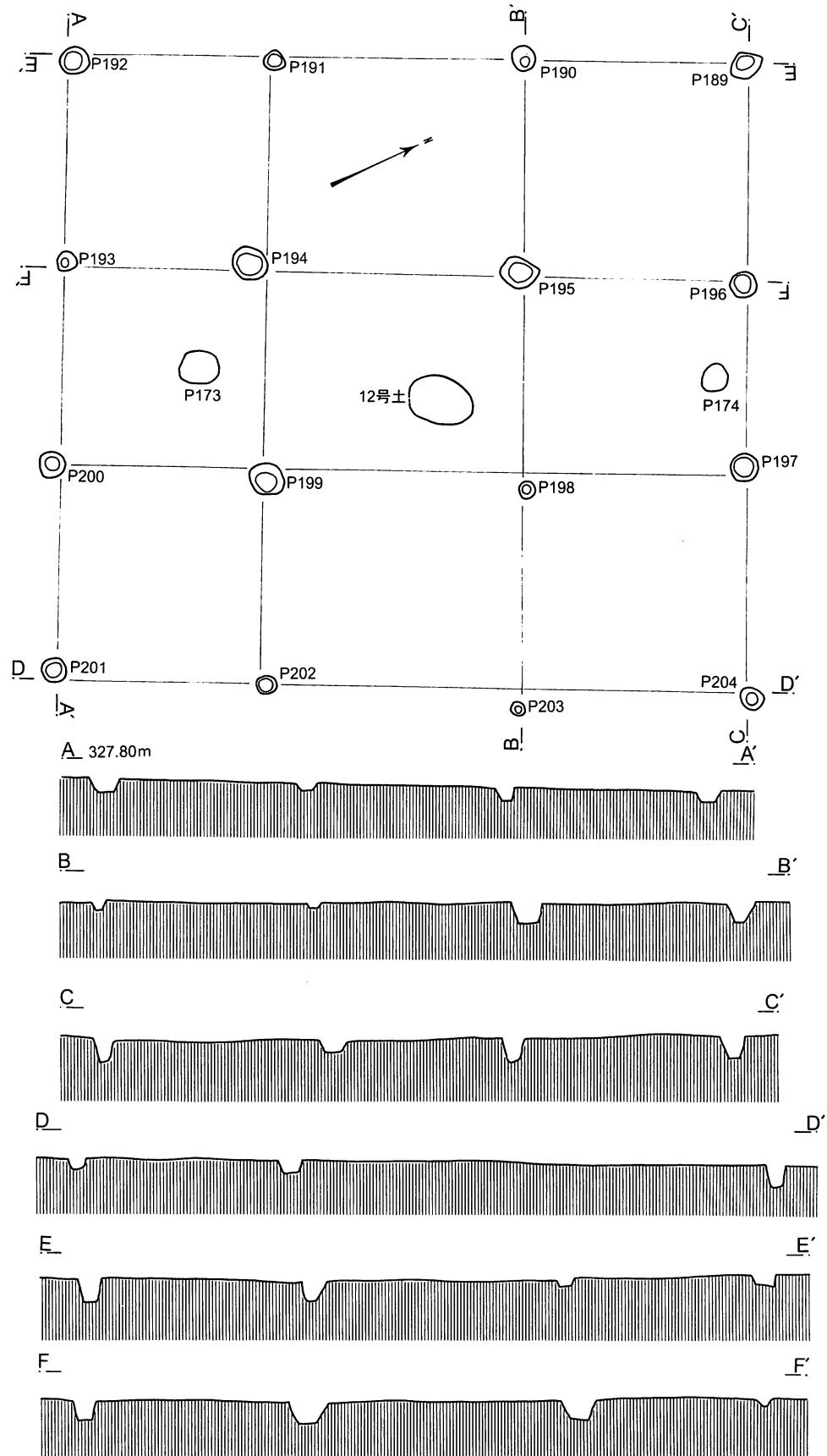
60	3区 10号住	6	須恵器	坏	128 21	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰	白色粒子	1/2
60	3区 10号住	7	須恵器	坏	120 68	ロクロナデ(磨滅により調整不鮮明)	灰白	白色粒子	破片
60	3区 10号住	8	須恵器	坏	110 16	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰白	白色粒子	1/4
60	3区 10号住	9	須恵器	坏	69 36	ロクロナデ、底部回転糸切り(不鮮明)後体・底部手持ちへヶ調整	灰	白色粒子・小石	1/2
60	3区 10号住	10	須恵器	坏	126 36	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰	雲母	破片
60	3区 10号住	11	須恵器	坏	—	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
61	3区 10号住	12	須恵器	坏	63	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰	白色粒子	1/4
61	3区 10号住	13	須恵器	坏	81	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰	白色粒子	破片
61	3区 10号住	14	須恵器	坏	78	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰	白色粒子	破片
61	3区 10号住	15	須恵器	坏	72	ロクロナデ、底部回転糸切り後体手持ちへヶ調整	灰	白色粒子	破片
61	3区 10号住	16	須恵器	蓋	114	ロクロナデ、外面回転ヘラヶズリ	灰	白色粒子	破片
61	3区 10号住	17	須恵器	蓋	150	ロクロナデ、外面回転ヘラヶズリ	灰	白色粒子	破片
61	3区 10号住	18	須恵器	蓋	—	ロクロナデ、外面回転ヘラヶズリ	灰	白色粒子	破片
61	3区 10号住	19	須恵器	蓋	—	ロクロナデ	灰	白色粒子・雲母	破片
61	3区 10号住	20	土師器	甕	310	ロクロナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
61	3区 10号住	21	土師器	甕	—	ロクロナデ	橙	白色粒子・赤色粒子・小石	破片
61	3区 10号住	22	土師器	甕	—	ロクロナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
61	3区 10号住	23	土師器	甕	94	外面へラ調整	明褐	白色粒子	破片
61	3区 10号住	24	土師器	甕	70	外面ヘラヶズリ、内面ユビオサエ、底部木漆痕	棕	白色粒子・雲母	底部
61	3区 10号住	25	土師器	甕	110	外面ヘラナデ内面ユビナデ	純い橙	白色粒子・雲母	破片
61	3区 10号住	26	須恵器	甕	—	外面タタキ	灰	白色粒子	破片
61	3区 10号住	27	須恵器	甕	—	外面タタキ	灰	白色粒子	破片
61	3区 10号住	28	土師器	鉢	106	口縁部ヨコナデ、外面ヘラヶズリ・ユビナデ、内面ユビナデ	明赤褐	白色粒子・雲母	破片
61	3区 1号掘立	1	土師質土器	皿	115	ロクロナデ	明褐	雲母	破片
61	3区 1号掘立	1	土師器	坏	110	ロクロナデ	赤褐	赤色粒子・雲母	124号土坑
61	3区 2号掘立	2	須恵器	坏	70	ロクロナデ、底部回転糸切り(磨滅により調整不鮮明)	灰	白色粒子	破片
61	3区 3号掘立	1	土師器?	甕?	—	磨滅により調整認証不可	外面黃褐・内面褐	白色粒子・雲母	125号土坑
61	3区 1号盛穴	1	土師器	坏	74	ロクロナデ、底部回転糸切り後体手持ちへヶ調整、内面暗赤	橙→褐	赤色粒子・雲母	1/5
61	3区 1号盛穴	2	土師質土器	皿	62	ロクロナデ、底部回転糸切り	橙	雲母	破片
62	3区 2号甕	1	土師質土器	皿	125	ロクロナデ、内面ユビオサエ、底部回転糸切り	純い橙	雲母	ほぼ完形
62	3区 2号甕	2	土師質土器	皿	60	ロクロナデ、底部回転糸切り	雲母	—	—
62	3区 2号甕	3	土師質土器	皿	25	ロクロナデ、底部回転糸切り	明褐	雲母	—
62	3区 2号甕	4	土師質土器	皿	120	ロクロナデ、底部回転糸切り後体手持ちへヶ調整、内面暗赤	外面明褐	雲母	破片
62	3区 2号甕	5	土師質土器	皿	105	ロクロナデ、底部回転糸切り	純い橙	雲母	破片
62	3区 2号甕	6	土師質土器	皿	81	ロクロナデ、底部回転糸切り	浅黄褐	白色粒子・雲母	1/2
62	3区 2号甕	7	土師質土器	皿	—	ロクロナデ	灰褐→純	雲母	破片
62	3区 2号甕	8	土師質土器	皿	120	ロクロナデ	明褐	白色粒子・雲母	破片
62	3区 2号甕	9	土師質土器	皿	130	ロクロナデ	明褐	雲母	破片
62	3区 2号甕	10	土師質土器	皿	130	ロクロナデ	褐	白色粒子・雲母	破片
62	3区 2号甕	11	土師質土器	皿	120	ロクロナデ	黃褐	精良	破片
62	3区 2号甕	12	土師質土器	皿	140	ロクロナデ	明褐	白色粒子・雲母	破片
62	3区 2号甕	13	土師質土器	皿	130	ロクロナデ	明褐	白色粒子・雲母	破片
62	3区 2号甕	14	土師質土器	皿	110	ロクロナデ	明褐	雲母	破片
62	3区 2号甕	15	土師質土器	皿	116	ロクロナデ	黃褐	雲母	1/4
62	3区 2号甕	16	土師質土器	皿	60	ロクロナデ、底部回転糸切り	橙→純い褐	白色粒子・赤色粒子・雲母	破片
62	3区 2号甕	17	土師質土器	皿	60	ロクロナデ、底部回転糸切り	淡黄	白色粒子・雲母	破片
62	3区 2号甕	18	土師質土器	皿	54	ロクロナデ、底部回転糸切り	浅黄褐	白色粒子・赤色粒子・雲母	破片
62	3区 2号甕	19	土師質土器	皿	70	ロクロナデ、底部回転糸切り	明褐	雲母	破片
62	3区 2号甕	20	土師質土器	皿	60	ロクロナデ、底部回転糸切り	明褐	雲母	破片
62	3区 2号甕	21	土師質土器	皿	50	ロクロナデ、底部回転糸切り	明褐	雲母	破片
62	3区 2号甕	22	土師質土器	皿	80	ロクロナデ、底部回転糸切り	純い橙	雲母	破片
62	3区 2号甕	23	土師質土器	皿	50	ロクロナデ、底部回転糸切り	明褐	白色粒子・雲母	破片
62	3区 2号甕	24	土師質土器	内耳鍋	276	ヨコナデ	外面灰黄褐・内面浅黄	白色粒子・雲母	破片
62	3区 2号甕	25	土師質土器	内耳鍋	265	縁部ユビオサエ後ヨコナデ、外内面ユビオサエ後ナデ	外面暗褐・内面黄褐	精良	破片
62	3区 2号甕	26	土師質土器	内耳鍋	315	縁部ヨコナデ、外内面ナデ	外面灰黄褐・内面黄褐	白色粒子・赤色粒子・雲母	破片
62	3区 2号甕	27	土師質土器	内耳鍋	221	縁部ヨコナデ、外内面ナデ	純い橙	白色粒子・赤色粒子	破片
62	3区 2号甕	28	土師質土器	内耳鍋	250	縁部ヨコナデ、外内面ユビオサエ後ナデ	外面暗褐・内面黄褐	雲母	1/5
62	3区 2号甕	29	土師質土器	内耳鍋	320	縁部ヨコナデ、外内面ユビオサエ後ナデ	外面暗褐・内面黄褐	精良	1/8
62	3区 2号甕	30	土師質土器	内耳鍋	300	縁部ヨコナデ、外内面ナデ	純い橙	白色粒子・赤色粒子	破片
63	3区 2号甕	31	土師質土器	内耳鍋	310	縁部ヨコナデ、外内面ナデ	外内面ユビオサエ後ヨコナデ、外内面ユビオサエ後ナデ	精良	1/6
63	3区 2号甕	32	土師質土器	内耳鍋	—	ヨコナデ	外面暗褐・内面黄褐	白色粒子	破片
63	3区 2号甕	33	土師質土器	内耳鍋	—	ヨコナデ	褐	小石	破片
63	3区 2号甕	34	土師質土器	内耳鍋	—	ヨコナデ	外面暗褐・内面褐	雲母	破片
63	3区 2号甕	35	土師質土器	内耳鍋	—	ヨコナデ	褐	白色粒子	破片
63	3区 2号甕	36	土師質土器	内耳鍋	—	縁部ヨコナデ、外内面ユビオサエ後ナデ	外面暗褐・内面明褐	精良	破片
63	3区 2号甕	37	土師質土器	内耳鍋	—	ユビオサエ後ヨコナデ	明褐	白色粒子	破片
63	3区 2号甕	38	土師質土器	内耳鍋	—	内外面ユビオサエ	黃褐	白色粒子	破片
63	3区 2号甕	39	土師質土器	内耳鍋	—	内外面ユビオサエ後ナデ	黒褐	白色粒子・赤色粒子	破片
63	3区 2号甕	40	土師質土器	内耳鍋	—	内外面ナデ	外面暗褐・内面褐	白色粒子・赤色粒子・雲母	破片
63	3区 2号甕	41	土師質土器	内耳鍋	—	内外面ナデ	外面暗褐・内面褐	白色粒子・雲母	破片
63	3区 2号甕	42	土師質土器	内耳鍋	214	内外面ナデ	黃褐	雲母	破片
63	3区 2号甕	43	土師質土器	内耳鍋	224	内外面ナデ	純い褐	白色粒子・雲母	破片
63	3区 2号甕	44	土師質土器	内耳鍋	160	外面ユビオサエ後ナデ、内面ナデ	外面褐・内面赤褐	精良	破片
63	3区 2号甕	45	土師質土器	内耳鍋	180	外面ユビオサエ後ナデ、内面ナデ	外面暗褐・内面褐	白色粒子	破片
63	3区 2号甕	46	土師質土器	内耳鍋	200	内外面ナデ	外面褐・内面黃褐	雲母	破片
63	3区 2号甕	47	土師質土器	内耳鍋	110	内外面ナデ	外面褐	—	破片
63	3区 2号甕	48	土師質土器	内耳鍋	190	内外面ナデ	白色粒子	破片	
63	3区 2号甕	49	土師質土器	内耳鍋	192	内外面ナデ	灰褐	白色粒子	破片
63	3区 2号甕	50	土師質土器	内耳鍋	—	内外面ナデ	外面褐・内面黃褐	精良	破片
63	3区 2号甕	51	土師質土器	内耳鍋	—	内外面ナデ	外面褐・内面暗褐	雲母	破片
63	3区 2号甕	52	土師質土器	内耳鍋	—	内外面ナデ	純い褐	雲母	破片
63	3区 2号甕	53	土師質土器	内耳鍋	—	内外面ナデ	純い黄褐	白色粒子・雲母	破片
63	3区 2号甕	54	土師質土器	内耳鍋	110	外面ユビナデ後ナデ	暗褐	雲母	破片
63	3区 2号甕	55	土師質土器	内耳鍋	190	外面ユビナデ後ナデ	外面暗褐・内面淺黃褐	白色粒子・赤色粒子	破片
64	3区 2号甕	56	土師質土器	擂鉢	—	外面ユビナデ・オサエ後ナデ、内面ナデ	黃褐	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	57	土師質土器	擂鉢	—	外面ユビオサエ後ナデ、内面ナデ	明褐	精良	破片
64	3区 2号甕	58	土師質土器	擂鉢	—	ユビオサエ後ヨコナ	外面黃褐・内面明褐	雲母	破片
64	3区 2号甕	59	土師質土器	擂鉢	—	ユビオサエ後ヨコナデ	外面黃褐・内面黃褐	雲母	破片
64	3区 2号甕	60	常滑	甕	—	外面ユビオサエ、内面ナデ	純い褐	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	61	常滑	甕	—	内外面ナデ	灰褐	白色粒子・小石	破片
64	3区 2号甕	62	常滑	甕	—	内外面ユビオサエ	外面灰褐・内面赤	小石	破片
64	3区 2号甕	63	土師器	擂鉢	—	内外面ナデ	純い橙	精良	破片
64	3区 2号甕	64	土師器	擂鉢	—	内外面ナデ	純い橙	精良	破片
64	3区 2号甕	65	土師器	坏	140	ロクロナデ、底部回転糸切り(音成に20.45mm)後体・底付手持ちヘラヶズリ	純い橙	精良	破片
64	3区 2号甕	66	土師器	坏	128	ロクロナデ(磨滅により不鮮明)	純い橙	精良	破片
64	3区 2号甕	67	土師器	坏	130	ロクロナデ(磨滅により不鮮明)	明褐	精良	破片
64	3区 2号甕	68	土師器	坏	50	ロクロナデ(磨滅により不鮮明)	赤褐	精良	破片
64	3区 2号甕	69	土師器	坏	50	ロクロナデ(磨滅により不鮮明)	赤褐	精良	破片
64	3区 2号甕	70	土師器	坏	50	ロクロナデ(磨滅により不鮮明)	赤褐	精良	破片
64	3区 2号甕	71	土師器	坏	60	ロクロナデ、底部回転糸切り(音成に20.45mm)後体・底付手持ちヘラヶズリ(音成に20.45mm)	赤褐	赤色粒子	破片
64	3区 2号甕	72	土師器	坏	50	ロクロナデ、底部回転糸切り(音成に20.45mm)後体・底付手持ちヘラヶズリ(音成に20.45mm)	赤褐	赤色粒子	破片
64	3区 2号甕	73	土師器	坏	50	ロクロナデ、底部回転糸切り(音成に20.45mm)後体・底付手持ちヘラヶズリ(音成に20.45mm)	赤褐	赤色粒子	破片
64	3区 2号甕	74	土師器	坏	60	ロクロナデ、底部回転糸切り(音成に20.45mm)後体・底付手持ちヘラヶズリ(音成に20.45mm)	赤褐	赤色粒子	破片
64	3区 2号甕	75	土師器	坏	60	ロクロナデ、底部回転糸切り(音成に20.45mm)後体・底付手持ちヘラヶズリ(音成に20.45mm)	赤褐	赤色粒子	破片
64	3区 2号甕	76	土師器	坏	60	ロクロナデ、底部回転糸切り(音成に20.45mm)後体・底付手持ちヘラヶズリ(音成に20.45mm)	赤褐	赤色粒子	破片
64	3区 2号甕	77	須恵器	坏	160	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	78	須恵器	坏	190	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	79	須恵器	坏	110	ロクロナデ	灰	微密	破片
64	3区 2号甕	80	須恵器	坏	—	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	81	須恵器	坏	—	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	82	須恵器	坏	—	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	83	須恵器	坏	—	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	84	須恵器	坏	—	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	85	須恵器	坏	—	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	86	須恵器	坏	—	ロクロナデ	灰	白色粒子	破片
64	3区 2号甕	87	須恵器	坏	—	ロクロナデ	灰	微密	破片
64	3区 2号甕</								

65	3区 6号溝	9	須恵器	甕	-	外面タタキ	暗褐色	白色粒子	破片
65	3区	10	須恵器	壺	-	外面タタキ	灰褐色	白色粒子	破片
65	3区 6号溝	11	須恵器	甕	-	外面タタキ	外面灰 内面灰白	极密	破片
65	3区 6号溝	12	土師質土器	皿	14.0	ロクロナデ'	黄褐	云母	破片
65	3区 6号溝	13	土師質土器	皿	12.0	ロクロナデ'	浅い橙	白色粒子	破片
65	3区 6号溝	14	土師質土器	皿	11.0	ロクロナデ'	黄褐	精良	破片
65	3区 6号溝	15	土師質土器	皿	11.0	ロクロナデ'	揭	云母	破片
65	3区 6号溝	16	土師質土器	皿	16.0	ロクロナデ'	揭	精良	破片
65	3区 6号溝	17	土師質土器	皿	7.2	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄橙	赤色粒子	破片
65	3区 6号溝	18	土師質土器	皿	5.0	ロクロナデ'、底部回転糸切り	黄褐	白色粒子・云母	破片
65	3区 6号溝	19	土師質土器	皿	5.8	ロクロナデ'、底部回転糸切り	外面赤褐色	白色粒子・云母	破片
65	3区 6号溝	20	土師質土器	皿	5.4	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子	破片
65	3区 6号溝	21	土師質土器	皿	8.0	ロクロナデ'、底部回転糸切り	赤褐	赤色粒子	破片
65	3区 6号溝	22	土師質土器	内耳鍋	-	外面ユビオサエ	外面部揭 内面明揭	白色粒子	破片
65	3区 6号溝	23	弥生土器 中期	甕	-	条痕文	揭	云母	破片
65	3区 6号溝	24	弥生土器 中期	甕	-	条痕文	暗褐	白色粒子・赤色 粒子	破片
65	3区 6号溝	25	弥生土器 後期?	甕	5.0	外面ハケズリ、内面ユビオサエ	外面赤褐色 内面明揭	白色粒子・赤色 粒子	破片
65	3区 6号溝	26	龍泉系 青磁	碗	5.6	底部内面にヘラ彫り又魚文	釉被 灰白	1/5	
66	3区	1	土師質土器	皿	7.6	ロクロナデ'、底部回転糸切り	外面淡黄 内面明揭	白色粒子・云母	はげて完形
66	3号土坑	2	土師質土器	皿	10.0	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	3号土坑	3	土師質土器	皿	12.0	ロクロナデ'	浅黄	云母	破片
66	3号土坑	4	土師質土器	皿	10.4	ロクロナデ'	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	3号土坑	5	土師質土器	皿	8.1	ロクロナデ'	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	3号土坑	6	土師質土器	皿	7.6	ロクロナデ'	浅黄橙	赤色粒子・雲 母・小石	破片
66	3号土坑	7	土師質土器	皿	4.9	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	3号土坑	8	土師質土器	皿	5.0	ロクロナデ'、底部回転糸切り	外面浅黄 内面純い橙	赤色粒子・云母	破片
66	3号土坑	9	土師質土器	皿	5.6	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	3号土坑	10	土師質土器	皿	-	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子	破片
66	4号土坑	1	土師質土器	皿	6.4	ロクロナデ'、底部回転糸切り	橙	赤色粒子	破片
66	4号土坑	2	土師質土器	皿	7.4	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・云母	破片
66	4号土坑	3	土師質土器	皿	8.6	ロクロナデ'、底部回転糸切り	灰黄	白色粒子・云母	破片
66	4号土坑	4	土師質土器	内耳鍋	-	外面ナデ	灰黄褐	白色粒子・赤色 粒子	破片
66	4号土坑	5	土師質土器	内耳鍋	-	外面ナデ	外面黒褐 内面純い橙	赤色粒子	破片
66	4号土坑	6	土師質土器	内耳鍋	35.2	口縁部ヨコナデ'、内外面ユビオサエ後ナデ'	内面純い橙	云母	破片
66	4号土坑	7	土師質土器	内耳鍋	34.2	ユビオサエ後ヨコナデ'	内面褐 内面橙	白色粒子・云母	破片
66	5号土坑	1	須恵器	坏	-	ロクロナデ'	灰	白色粒子	破片、自然 釉
66	6号土坑	1	弥生土器 中期	甕	19.6	外面ナデ	外面明小泡 内面純い橙	白色粒子・云母	破片
66	3区 6号土坑	2	弥生土器 中期	甕	-	条痕文	外面褐 内面黒褐	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	3区 6号土坑	3	弥生土器 中期	甕	-	条痕文	明赤褐	白色粒子	破片
66	3区 6号土坑	4	弥生土器 中期	甕	-	条痕文	外面褐 内面黒褐	白色粒子・赤色 粒子	破片
66	3区 6号土坑	5	弥生土器 中期	甕	-	条痕文	揭	白色粒子・赤色 粒子	破片
66	3区 6号土坑	6	弥生土器 中期	甕	5.4	外面ユビオサエ'、内面ナデ'	明褐	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	6号土坑	7	土師質土器	擂鉢	-	外面ナデ	外面純い黄 褐 内面褐	白色粒子・云母	破片
66	7号土坑	1	須恵器	甕	-	外面タタキ	外面灰 内面灰白	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	7号土坑	2	須恵器	甕	-	外面タタキ	外面灰 内面灰白	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	8号土坑	1	土師質土器	高台坏	12.4	ロクロナデ'、底部糸切り後回転 ハラズリ、高台貼り付け	オリーブグリーン	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	8号土坑	2	土師質土器	皿	-	ロクロナデ'	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	8号土坑	3	土師質土器	皿	9.8	ロクロナデ'、底部回転糸切り	灰白	白色粒子・赤色 粒子・云母	完形
66	8号土坑	4	土師質土器	皿	15.0	ロクロナデ'、底部回転糸切り	白色粒子・赤色 粒子・云母	完形	
66	8号土坑	5	土師質土器	皿	7.1	ロクロナデ'、底部回転糸切り	橙	白色粒子・赤色 粒子・云母	はげて完形
66	8号土坑	6	土師質土器	皿	6.0	ロクロナデ'	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	8号土坑	7	土師質土器	皿	8.4	ロクロナデ'	浅黄	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	8号土坑	8	土師質土器	皿	8.8	ロクロナデ'	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
66	8号土坑	9	土師質土器	皿	8.0	ロクロナデ'	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・云母	破片
67	3区 9号土坑	1	土師質土器	香炉	6.6	ロクロナデ'、底部回転糸切り後 三足貼り付け	揭～純い橙	白色粒子・云母	破片
67	3区 9号土坑	2	土師質土器	内耳鍋	24.6	口縁部ユビオサエ後ヨコナデ'、 内外面ユビオサエ後ナデ'	浅い黄	白色粒子・云母	破片
67	3区 9号土坑	3	土師質土器	内耳鍋	18.6	外面ナデ	灰褐	白色粒子・云母	破片
67	3区 10号土坑	1	土師質土器	皿	11.6	ロクロナデ'、底部回転糸切り	橙～浅黄	白色粒子・云母	2/3
67	3区 10号土坑	2	土師質土器	皿	12.0	ロクロナデ'	灰褐	赤色粒子・云母	破片
67	3区 11号土坑	1	土師質土器	皿	10.4	ロクロナデ'	浅黄	云母	破片
67	3区 11号土坑	2	土師質土器	皿	8.6	ロクロナデ'	浅黄	云母	破片
67	3区 11号土坑	3	土師質土器	皿	9.0	ロクロナデ'	浅黄	云母	破片
67	3区 12号土坑	1	土師質土器	皿	12.4	ロクロナデ'、底部回転糸切り	黄灰	白色粒子・云母	1/2
67	3区 12号土坑	2	土師質土器	皿	13.6	ロクロナデ'	橙	赤色粒子・云母	破片
67	3区 12号土坑	3	土師質土器	皿	4.8	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子	破片
67	3区 12号土坑	4	土師質土器	皿	6.0	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄橙	赤色粒子・云母	破片
67	3区 12号土坑	5	土師質土器	擂鉢	-	外面ユビオサエ'、内面ナデ'	外面灰 内面純い黄	白色粒子・云母	破片
67	3区 12号土坑	6	土師質土器	内耳鍋	26.0	口縁部ヨコナデ'、内外面ユビオサエ'、 オサエ後ナデ'	内耳鍋	白色粒子・赤色 粒子	破片
67	3区 12号土坑	7	土師質土器	内耳鍋	11.0	外面ユビオサエ'、内面ナデ'	内耳鍋	赤色粒子	破片
67	3区 13号土坑	1	須恵器	高台坏	-	ロクロナデ'、高台貼り付け	ロクロナデ'	白色粒子	破片
67	3区 13号土坑	2	須恵器	凸帯盃	-	底部に凸帯、外面タタキ	灰	白色粒子	破片
67	3区 13号土坑	3	土師質土器	皿	16.2	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄	白色粒子・云母	1/4
67	3区 13号土坑	4	土師質土器	皿	11.4	ロクロナデ'	橙	云母	1/4
67	3区 13号土坑	5	土師質土器	皿	10.8	ロクロナデ'	浅黄	白色粒子	破片
67	3区 13号土坑	6	土師質土器	皿	8.0	ロクロナデ'、底部回転糸切り	浅黄	云母	破片
67	3区 13号土坑	7	土師質土器	皿	7.7	ロクロナデ'	浅黄	云母	破片
67	3区 13号土坑	8	土師質土器	皿	12.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	9	土師質土器	皿	11.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	10	土師質土器	皿	10.2	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	11	土師質土器	皿	9.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	12	土師質土器	皿	8.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	13	土師質土器	皿	7.8	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	14	土師質土器	皿	7.5	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	15	土師質土器	皿	7.2	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	16	土師質土器	皿	7.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	17	土師質土器	皿	6.8	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	18	土師質土器	皿	6.5	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	19	土師質土器	皿	6.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	20	土師質土器	皿	5.8	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	21	土師質土器	皿	5.5	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	22	土師質土器	皿	5.2	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	23	土師質土器	皿	5.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	24	土師質土器	皿	4.8	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	25	土師質土器	皿	4.5	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	26	土師質土器	皿	4.2	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	27	土師質土器	皿	4.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	28	土師質土器	皿	3.8	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	29	土師質土器	皿	3.6	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	30	土師質土器	皿	3.4	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	31	土師質土器	皿	3.2	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	32	土師質土器	皿	3.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	33	土師質土器	皿	2.8	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	34	土師質土器	皿	2.6	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	35	土師質土器	皿	2.4	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	36	土師質土器	皿	2.2	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	37	土師質土器	皿	2.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	38	土師質土器	皿	1.8	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	39	土師質土器	皿	1.6	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	40	土師質土器	皿	1.4	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	41	土師質土器	皿	1.2	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	42	土師質土器	皿	1.0	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	43	土師質土器	皿	0.8	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	44	土師質土器	皿	0.6	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	45	土師質土器	皿	0.4	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	46	土師質土器	皿	0.2	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	47	土師質土器	皿	-	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	48	土師質土器	皿	-	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	49	土師質土器	皿	-	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	50	土師質土器	皿	-	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	51	土師質土器	皿	-	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	52	土師質土器	皿	-	ロクロナデ'	白色粒子	云母	破片
67	3区 13号土坑	53							

69	3区 G-30	8	土師質土器	皿 12.0 2.3	ロクロナデ、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子・雲母	破片	
69	3区 G-31	9	土師質土器	皿 11.8	ロクロナデ、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・雲母	1/5	
69	3区 F-36	10	土師質土器	皿 12.0 2.0	ロクロナデ、底部回転糸切り (不鮮明)	浅黄橙	白色粒子・雲母	1/5	
69	3区 E-29	11	土師質土器	皿 -	ロクロナデ	浅黄橙	小石	破片	
69	3区 B-33	12	土師質土器	皿 -	ロクロナデ	浅黄橙	雲母	破片	
69	3区 E-33	13	土師質土器	皿 8.0	ロクロナデ、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片	
69	3区 E-32	14	土師質土器	皿 6.4	ロクロナデ、底部回転糸切り	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片	
69	3区 E-32	15	土師質土器	皿 6.4	ロクロナデ、底部回転糸切り	灰褐	白色粒子・雲母	破片	
69	3区 B-34	16	土師質土器	香炉 6.4	ロクロナデ・ハラナデ、底部回 転糸切り後、三足貼り付け	浅黄橙	雲母	1/3	
69	3区 D-37	17	土師質土器	内耳罐 1.8	ヨコナデ	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片	
69	3区 D-37	18	土師質土器	内耳罐 2.6	外面部ユビナデ・オサエ後ナデ	白色粒子・雲母	破片		
69	3区 C-33	19	土師質土器	内耳罐 2.6	外面部ナデ	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片	
69	3区 C-36	20	土師質土器	内耳罐 2.6	外面部ナデ	灰褐	白色粒子・雲母	破片	
69	3区 C-35	21	土師質土器	内耳罐 -	外面部ナデ、内面部ナデ	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片	
69	3区 B-30	22	弥生土器	甕 -	外面部直筋、内面部ナデ、底 部網代張	白色粒子	雲母	破片	
69	3区 B-32	23	弥生土器	甕 13.0	外面部ハラケナデ、内面部 ニビナデ、底部網代張	白色粒子・赤色 粒子	破片		
69	3区 D-31	24	弥生土器	甕 6.0	外面部ハラケナデ、内面部ニビナデ、底 部網代張(底端に上部不鮮明)	浅黄橙	白色粒子・雲母	破片	
69	3区 D-32	25	弥生土器	甕 6.4	外面部ハラケナデ、内面部ニビナデ、底 部網代張(底端に上部不鮮明)	浅黄橙	白色粒子・赤色 粒子	破片	
69	3区 D-32	26	弥生土器	甕 5.8	外面部ハラケナデ、内面部ニビナデ、底 部網代張(底端に上部不鮮明)	浅黄橙	白色粒子	破片	
69	3区 B-31	27	弥生土器	甕 6.1	外面部ハラケナデ、内面部ニビナデ、底 部網代張(底端に上部不鮮明)	明黄	白色粒子・小石	破片	
69	3区 D-32	28	弥生土器	甕 4.2	外面部ハラケナデ、内面部ニビナデ、底 部網代張(底端に上部不鮮明)	浅黄橙	白色粒子	破片	
70	3区 D-31	29	弥生土器	甕 9.5	綾杉文・直線文、内面部ニビナデ (底端により不鮮明)	白泥表面・小石 (底端により不鮮明)	白色粒子	1/3	
70	3区 D-31	30	弥生土器	甕 5.0	内外面部斜筋により調整確認不可 底部網代張	外面部斜筋 底部網代張	雲母	破片	
70	3区 D-31	31	弥生土器	甕 7.5	内面部ニビナデサウ後ハラ・調整、底部 へア調整(底端により不鮮明)	褐・黑褐	雲母	体部下半～ 底部	
70	3区 D-33	32	弥生土器	甕 11.2	外面部斜筋により調整確認不可 底部網代張	外面部赤褐	白色粒子	破片	
70	3区 E-32	33	弥生土器	甕 -	綾杉文(底端により不鮮明)	外面部木褐	雲母	破片	
70	3区 D-31	34	弥生土器	甕 -	綾杉文(底端により不鮮明)	外面部赤褐	赤色粒子・雲母	破片	
70	3区 D-33	35	弥生土器	甕 -	刺突文(底端により不鮮明)	褐	小石	破片	
70	3区 D-32	36	弥生土器	甕 -	刺突文・直線文(底端により不 鮮明)	褐	雲母	破片	
70	3区 D-33	37	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	赤褐	白色粒子	破片	
70	3区 E-33	38	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	明褐	雲母	破片	
70	3区 D-31	39	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	褐	白色粒子・雲母	破片	
70	3区 D-31	40	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	白色粒子・雲母	破片		
70	3区 D-32	41	弥生土器	甕 -	刺突文・直線文(底端により不 鮮明)	白色粒子	破片		
70	3区 D-32	42	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	褐	赤色粒子・雲母	破片	
70	3区 D-32	43	弥生土器	甕 -	直線文(底端により不鮮明)	褐	白色粒子	破片	
70	3区 B-31	44	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	褐～暗褐	白色粒子	破片	
70	3区 D-31	45	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	外面部黃褐	白色粒子	破片	
70	3区 D-31	46	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	外面部黃褐	白色粒子	破片	
70	3区 D-32	47	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	褐	雲母	破片	
70	3区 B-31	48	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	赤褐色	赤色粒子・雲母	破片	
71	3区 D-33	49	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	外面部赤褐	白色粒子	破片	
71	3区 D-31	50	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	外面部赤褐	白色粒子	破片	
71	3区 D-32	51	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	赤褐色	赤色粒子・雲母	破片	
71	3区 D-32	52	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	外面部赤褐	白色粒子	破片	
71	3区 E-33	53	弥生土器	甕 -	綾杉文(底端により不鮮明)	外面部褐～赤褐	雲母	破片	
71	3区 D-33	54	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	外面部黃褐	白色粒子	破片	
71	3区 D-31	55	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	外面部黃褐	赤色粒子・雲母	破片	
71	3区 D-33	56	弥生土器	甕 -	綾杉文(底端により不鮮明)	褐	雲母	破片	
71	3区 D-33	57	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	外面部黃褐	白色粒子	破片	
71	3区 D-33	58	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	外面部黃褐	白色粒子・雲母	破片	
71	3区 E-33	59	弥生土器	甕 -	綾杉文・直線文(底端により不 鮮明)	外面部赤褐	白色粒子	破片	
71	3区 G-30	60	弥生土器	甕 -	条纹文(底端により不鮮明)	外面部黃褐	白色粒子・雲母	破片	
71	3区 H-30	61	弥生土器	甕 -	条纹文(底端により不鮮明)	外面部褐	白色粒子・雲母	破片	
71	3区 E-32	62	弥生土器	甕 -	条纹文(底端により不鮮明)	外面部黃褐	白色粒子	破片	
71	3区 C-31	63	弥生土器	甕 -	条纹文(底端により不鮮明)	外面部赤褐	赤褐	雲母	破片
71	3区 E-33	64	弥生土器	甕 -	条纹文(底端により不鮮明)	赤褐	雲母	破片	
71	3区 D-33	65	弥生土器	甕 -	条纹文(底端により不鮮明)	褐	雲母	破片	

第13表 石器・石製品観察表

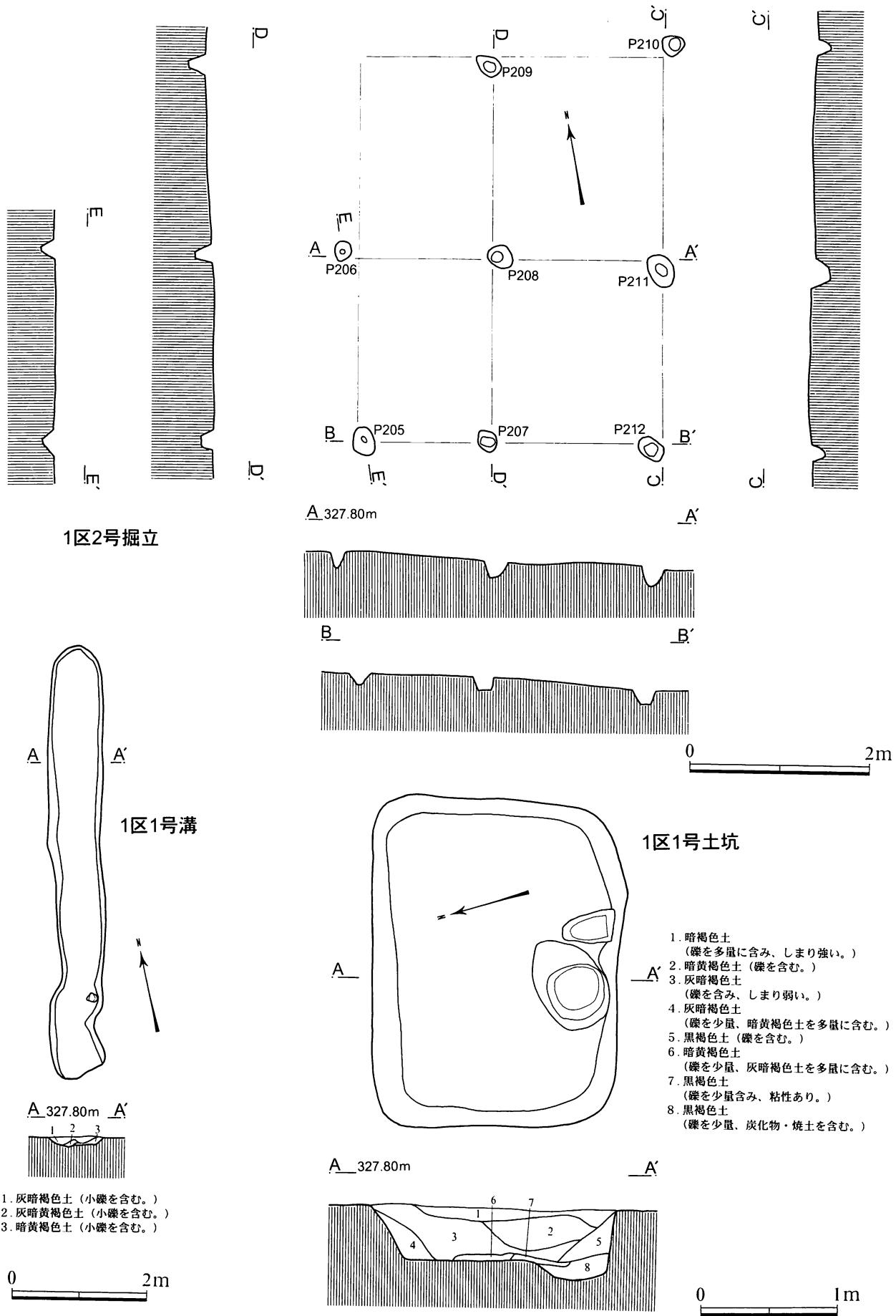
序号 No.	出土地点 出土地点	品種 品種	法 量 (cm) 長さ 幅 厚さ	形態・技法の特徴 形態・技法の特徴	石材 石材	重 量 (g) 重量	残存率 その他の その他の
72	1	2n区 C-6	打製石斧 15.2	6.7 1.7	粘板岩	191	
72	2	2n区 G-4	刮削 4.3	2.0 1.4	黑曜石	12.9	
72	3	2n区 1号住	研磨み石器 11.3	4.0 3.1	自然石利用	168	
72	4	2n区 1号住	研磨み石器 12.1	4.6 2.4	自然石利用	183	
72	5	2n区 2号住	研磨み石器 14.3	6.2 3.2	自然石利用	375	
72	6	2n区 2号住	研磨み石器 18.1	4.0 3.3	自然石利用	472	
72	7	2n区 2号住	研磨み石器 17.5	6.0 4.0	自然石利用	518	
72	8	2n区 C-6	研磨み石器 6.7	2.1 1.8	自然石利用	42	
73	9	3区 3号住	研石 13.0	4.1 2.9	中粗?	298	
73	10	2n区 3号住	研石 20.1	10.3 5.2	瓦砾?	1087	
73	11	3区 5号住	研石 8.1	4.0 3.1	花崗岩	177	



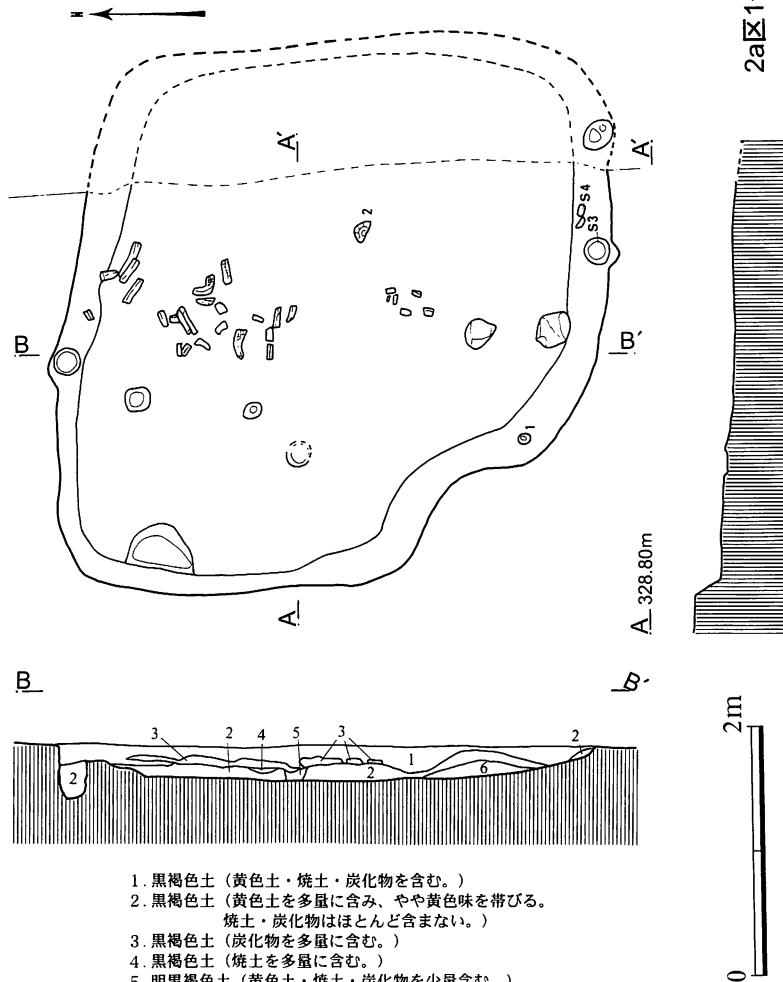
1区1号掘立

0 2m

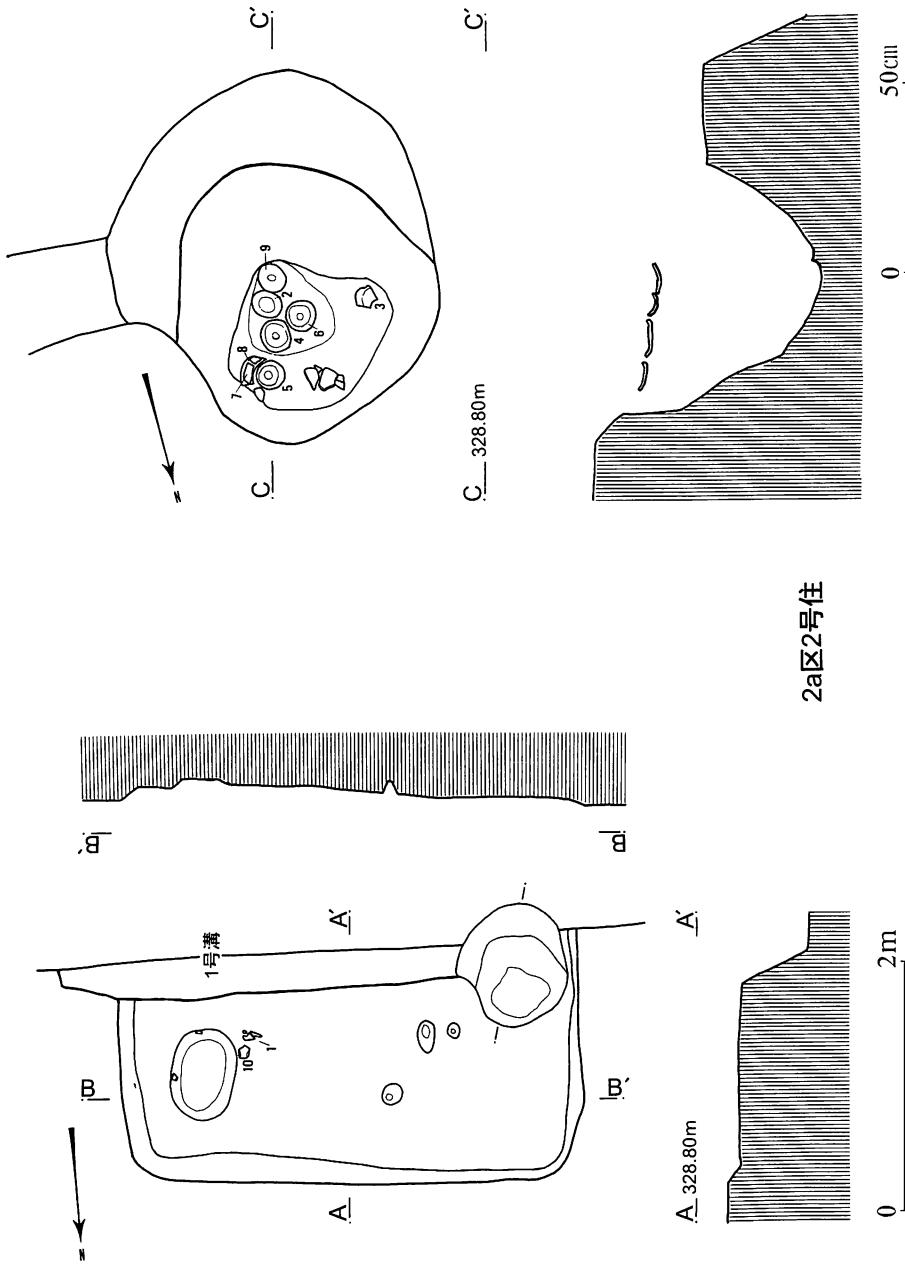
第3図 1区遺構実測図① (1:60)



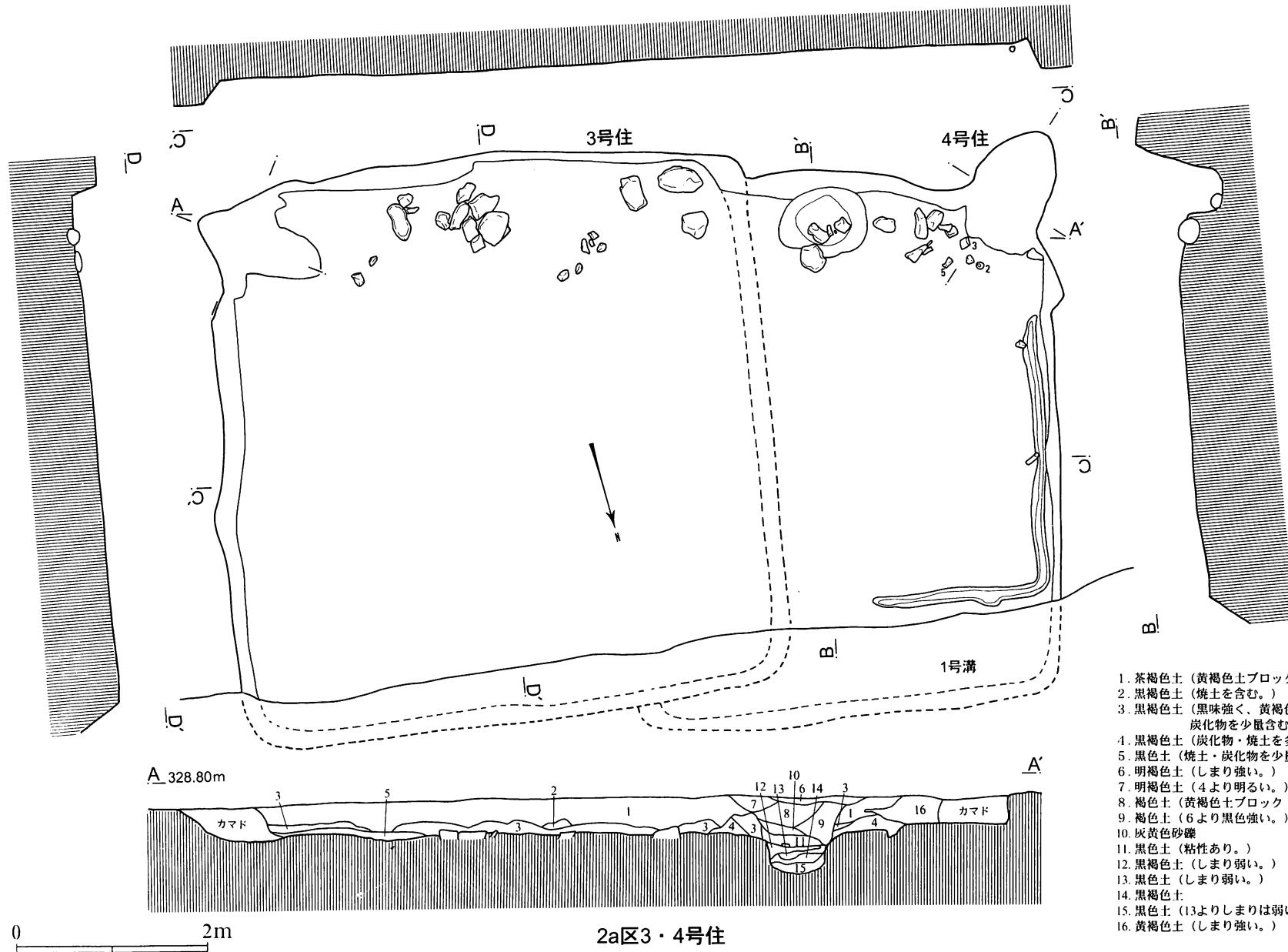
第4図 1区遺構実測図② (1:40・1:60・1:80)



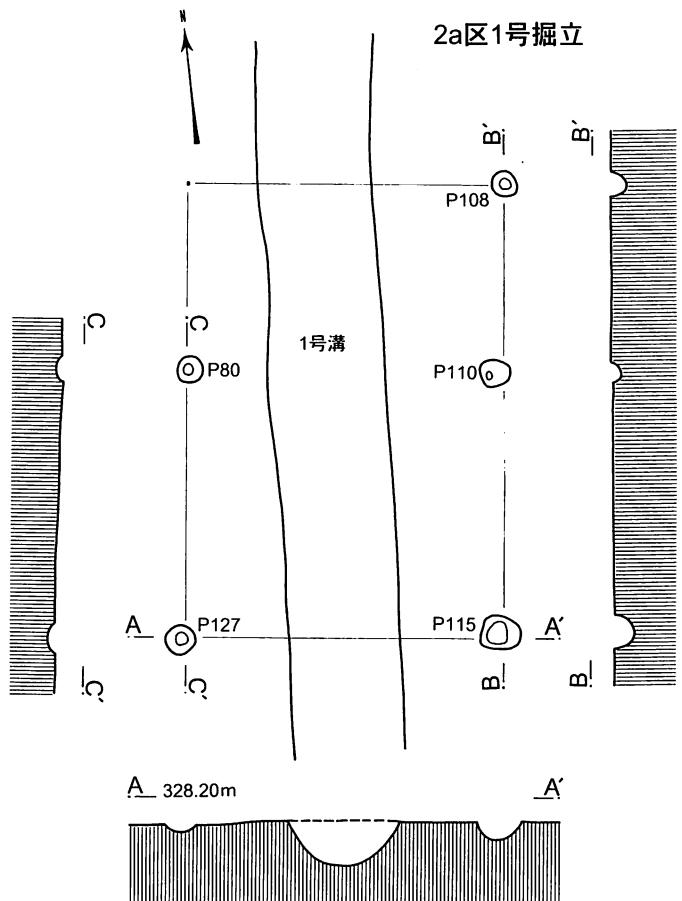
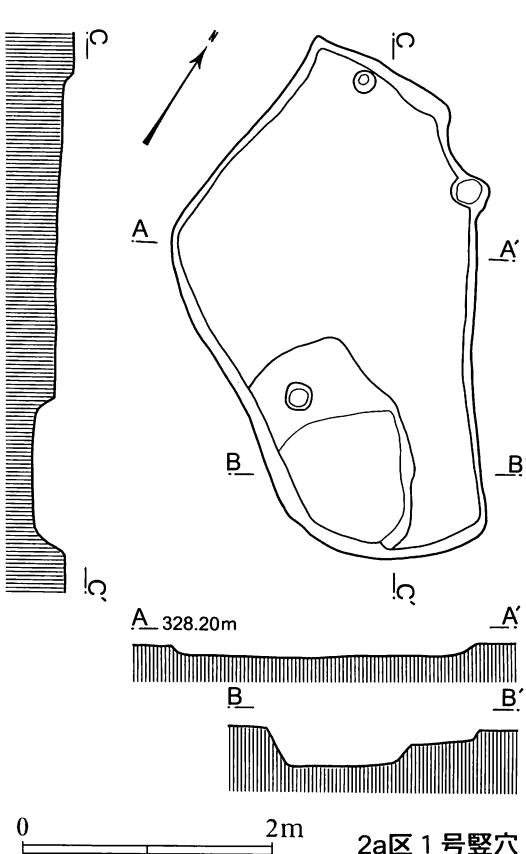
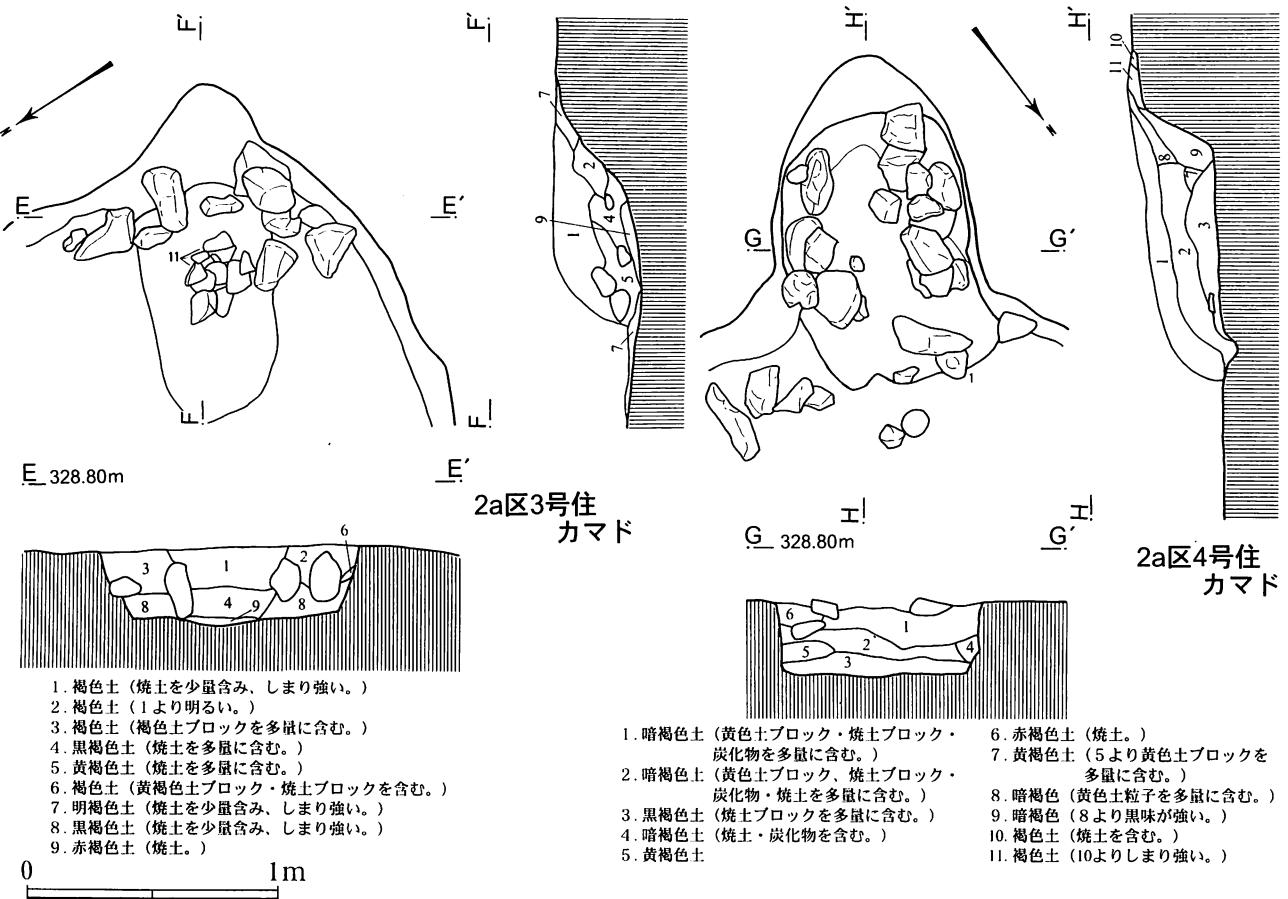
1. 黒褐色土（黄色土・焼土・炭化物を含む。）
2. 黒褐色土（黄色土を多量に含み、やや黄色味を帯びる。焼土・炭化物はほとんど含まない。）
3. 黒褐色土（炭化物を多量に含む。）
4. 黑褐色土（焼土を多量に含む。）
5. 明黒褐色土（黄色土・焼土・炭化物を少量含む。）
6. 黑褐色土（焼土・炭化物を少量含む。）



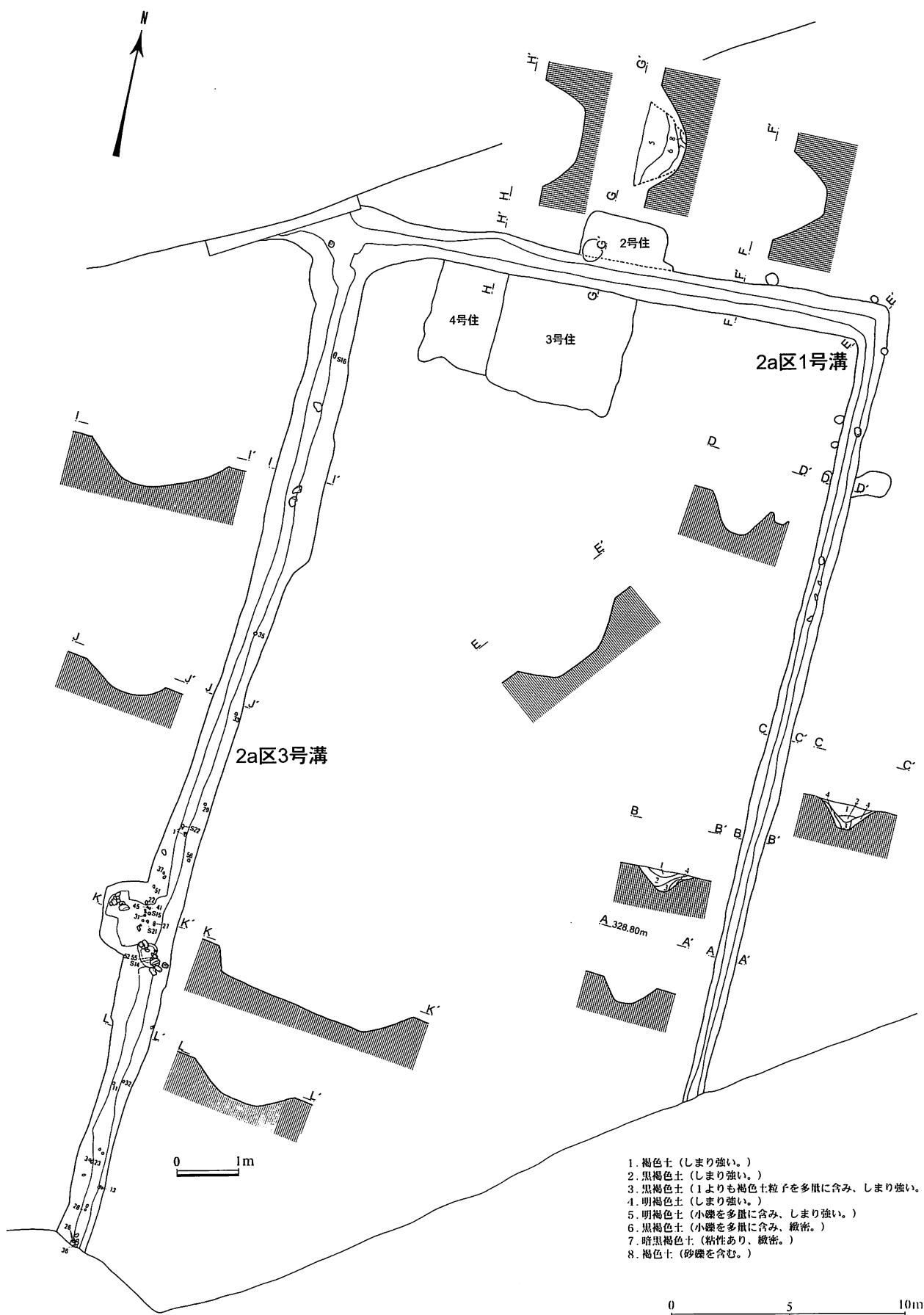
第5図 2a区遺構実測図①(1:20・1:60)



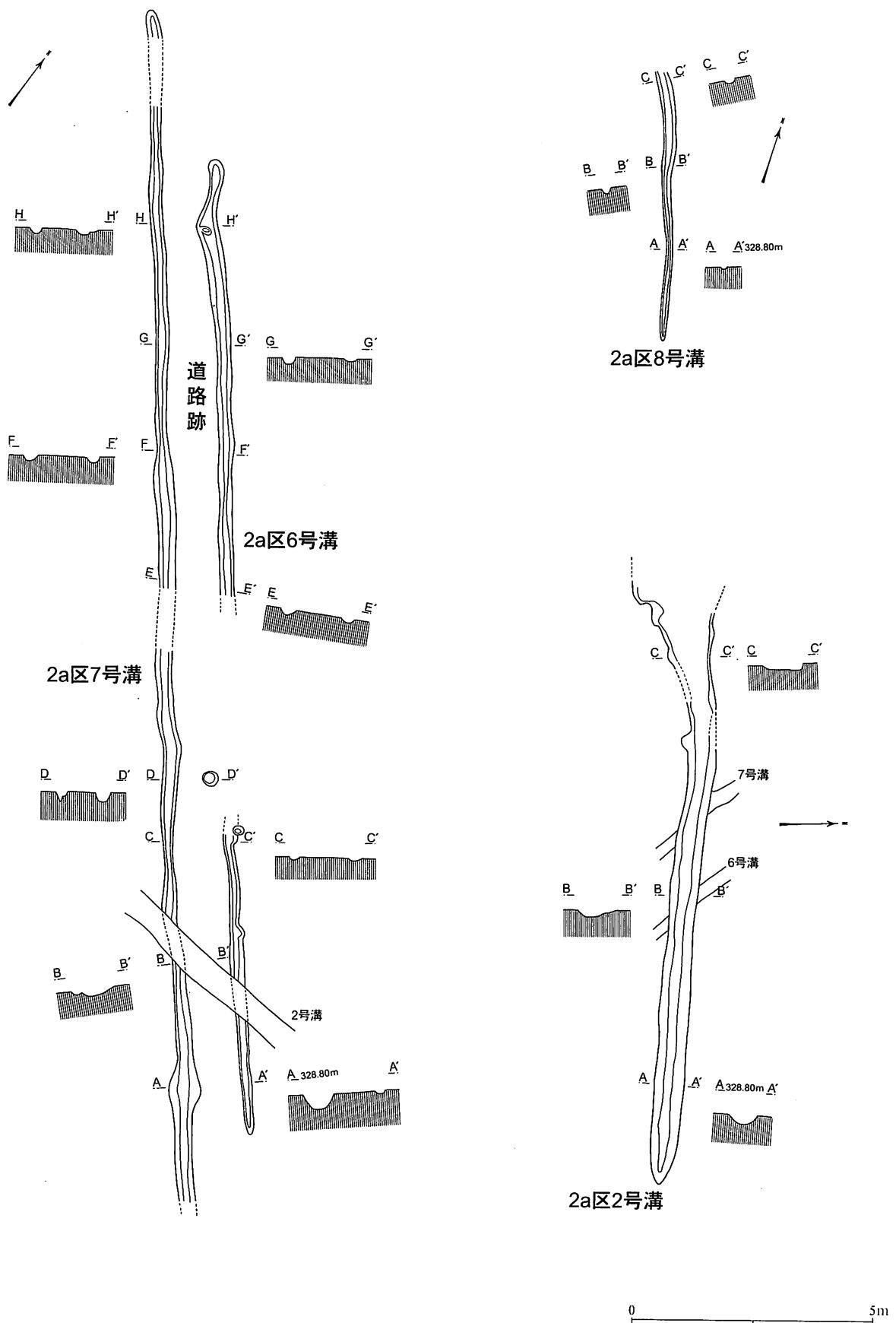
第6図 2 a 区遺構実測図② (1 : 60)



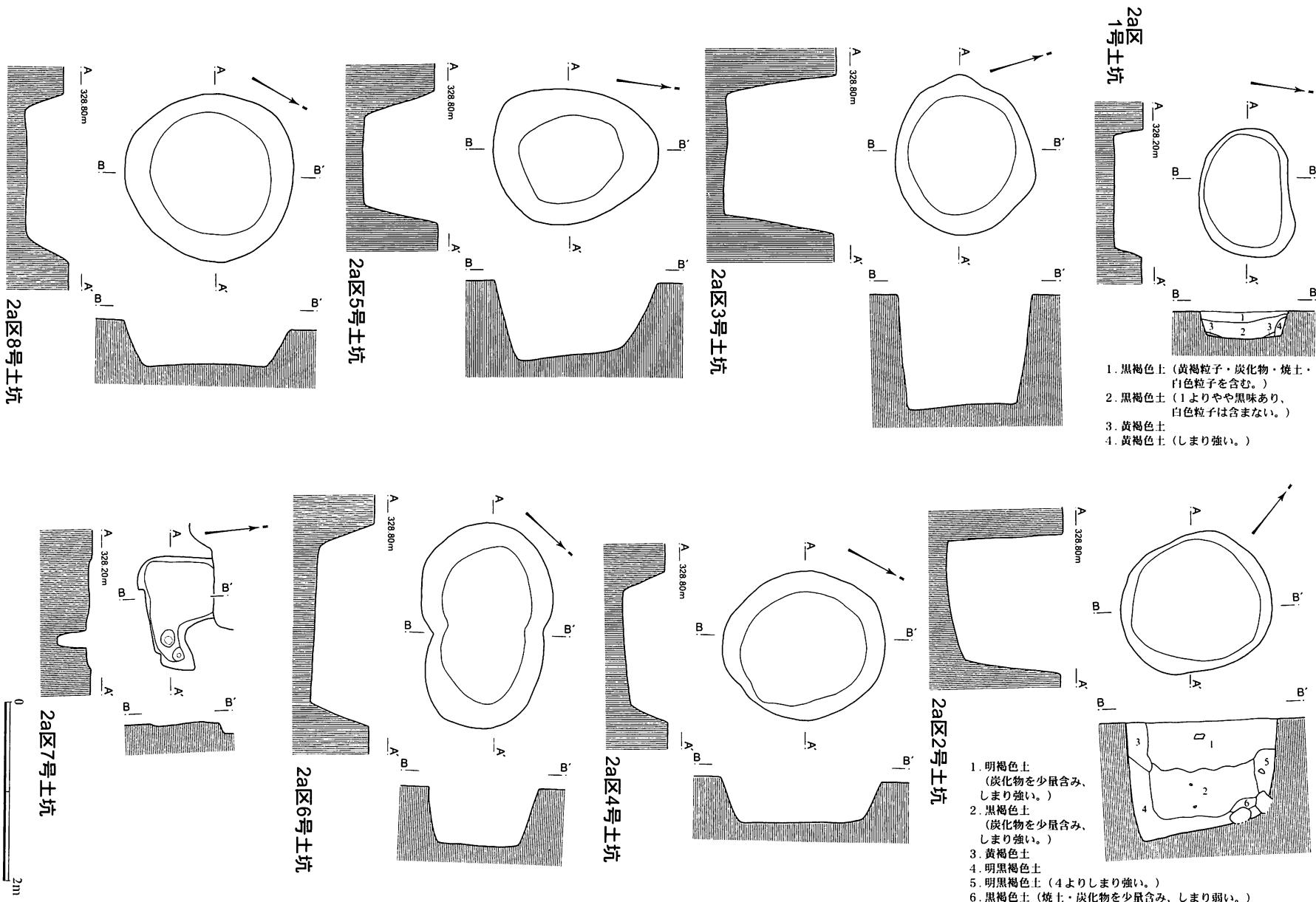
第7図 2a区遺構実測図③ (1:30・1:60)



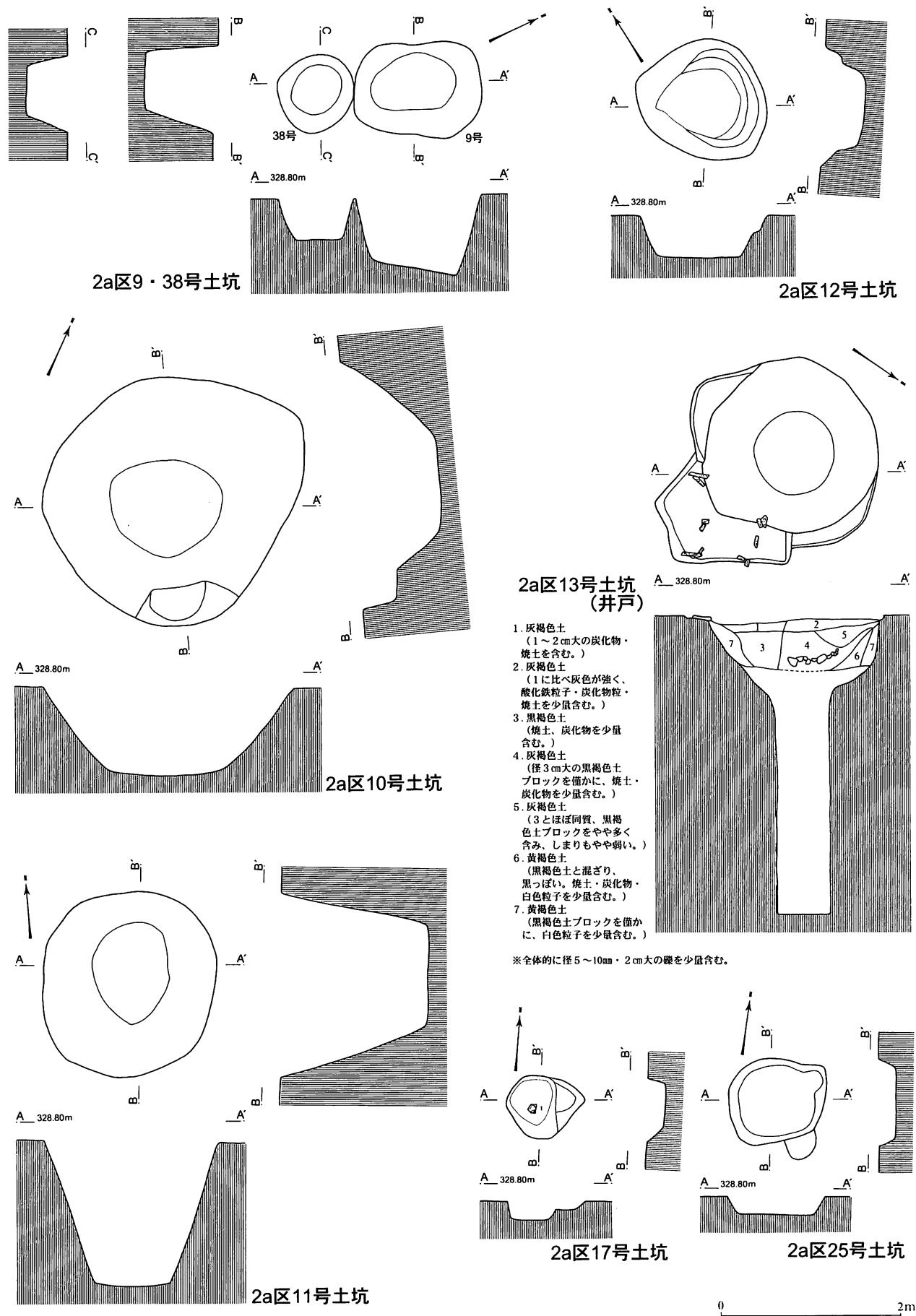
第8図 2 a 区遺構実測図④ (1:240、セクション・エレベーションは1:90)



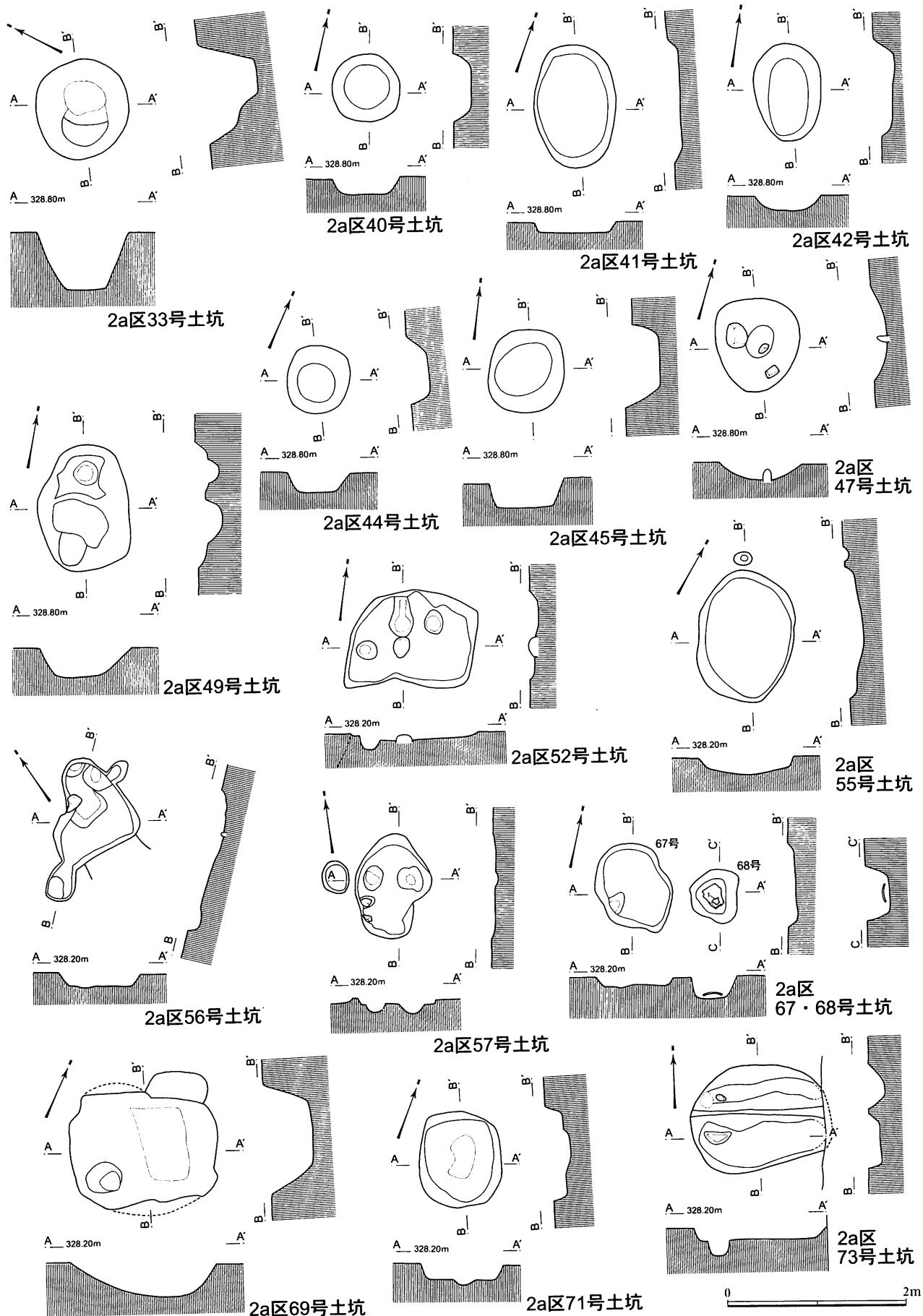
第9図 2 a 区遺構実測図⑤ (1 : 120)



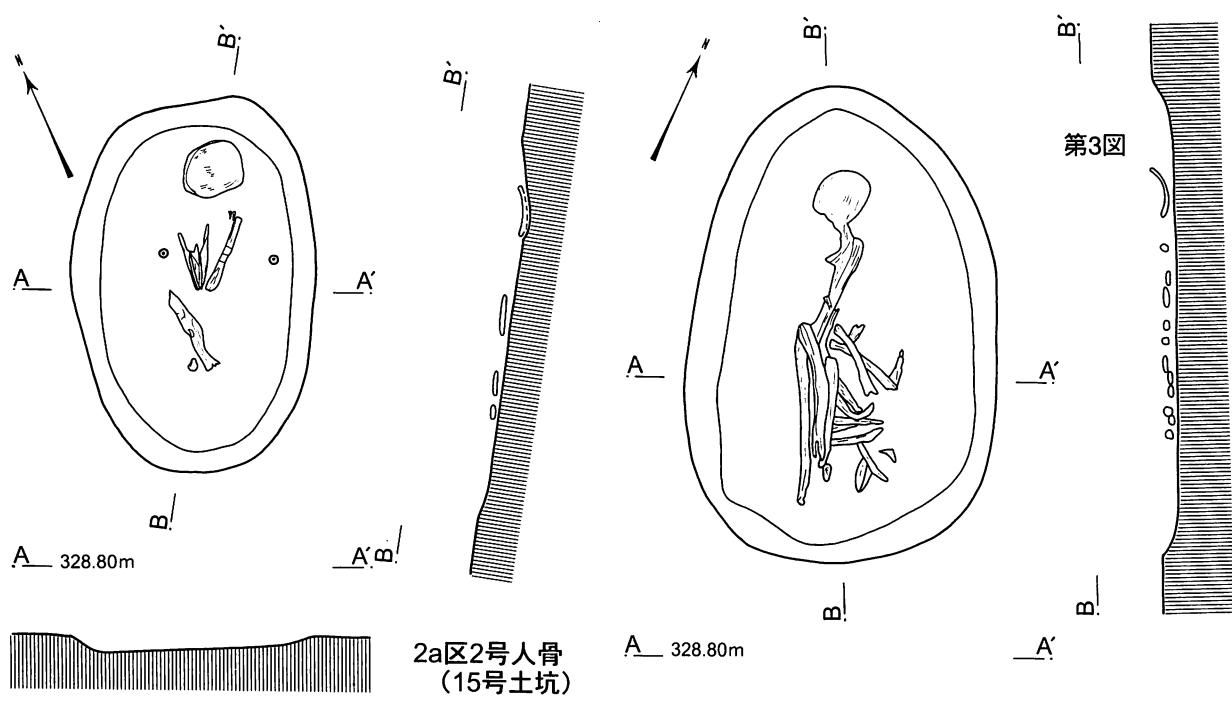
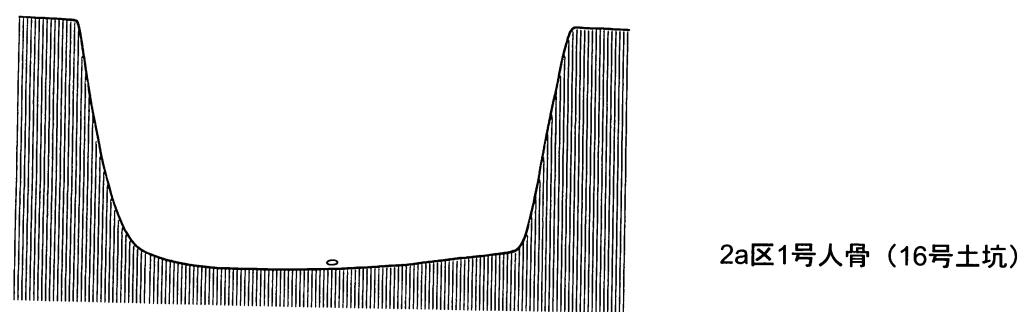
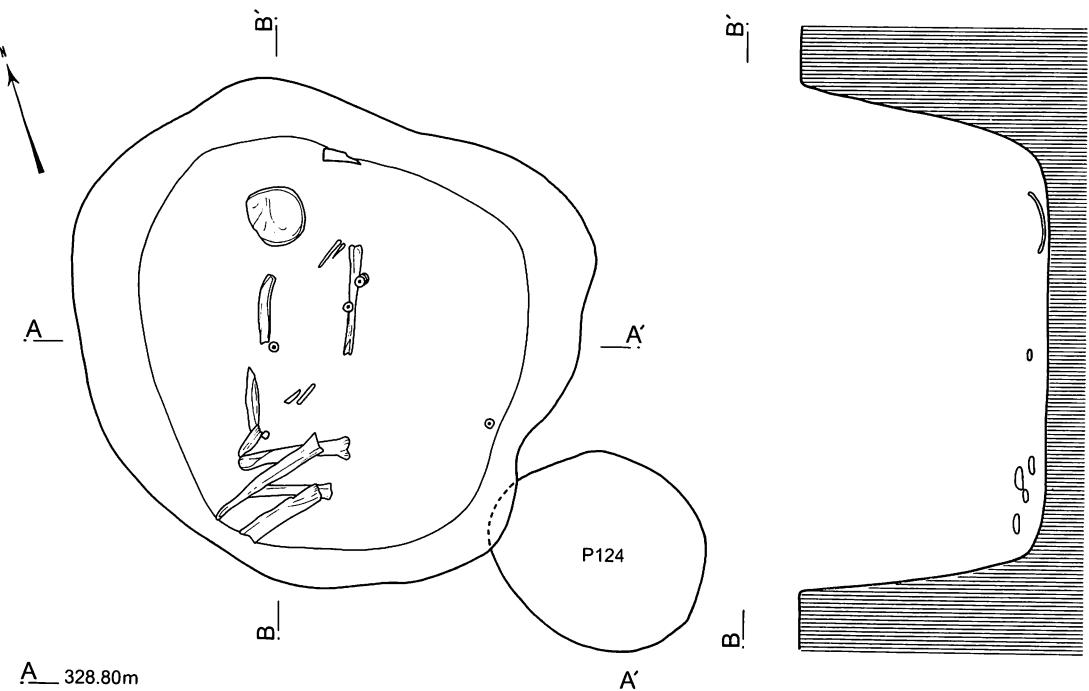
第10図 2a区遺構実測図⑥ (1 : 60)



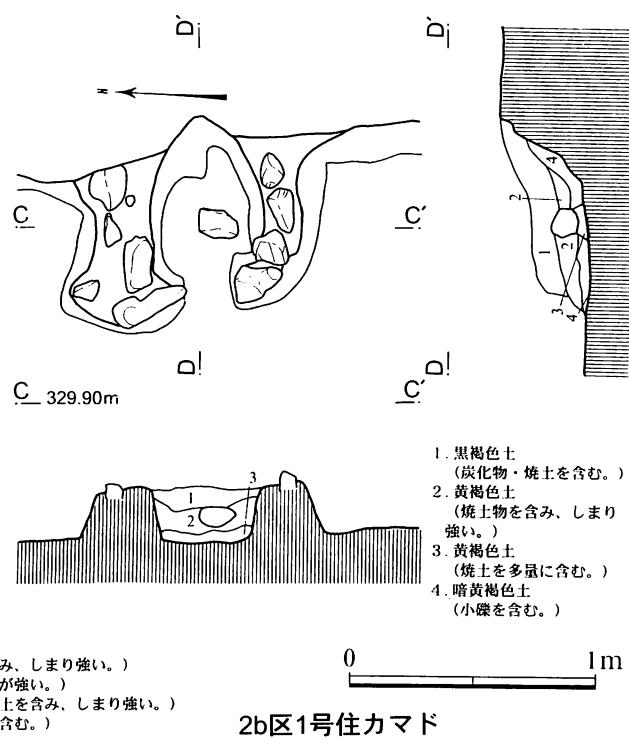
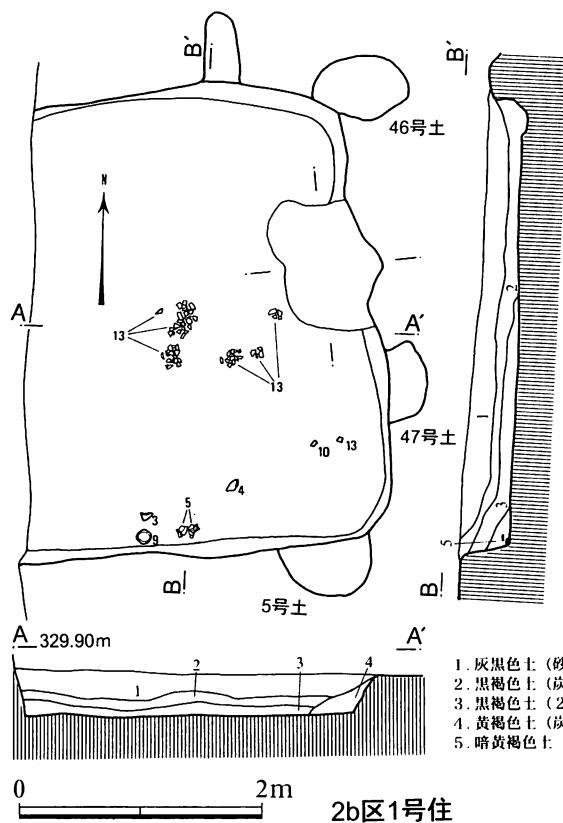
第11図 2 a 区遺構実測図⑦ (1 : 60)



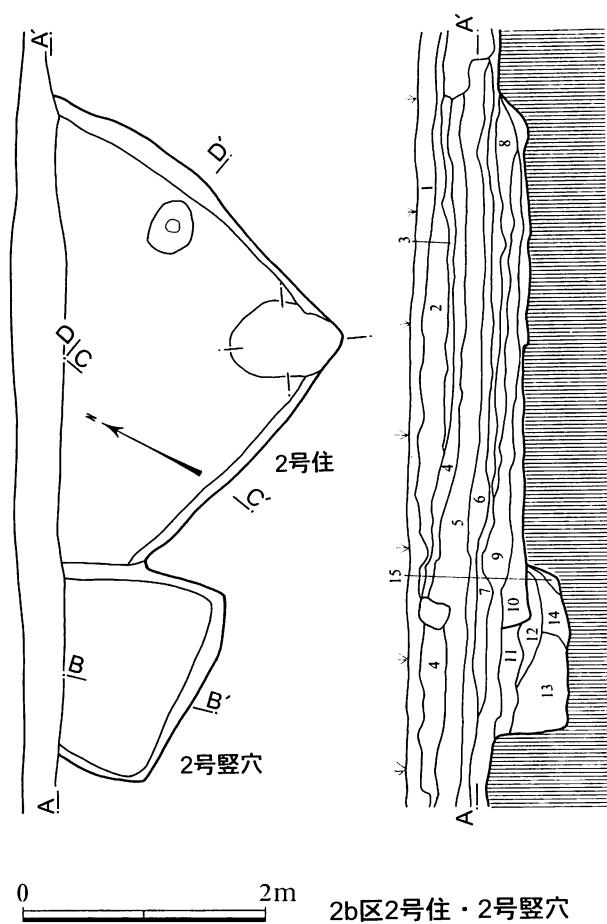
第12図 2a区遺構実測図⑧ (1:60)



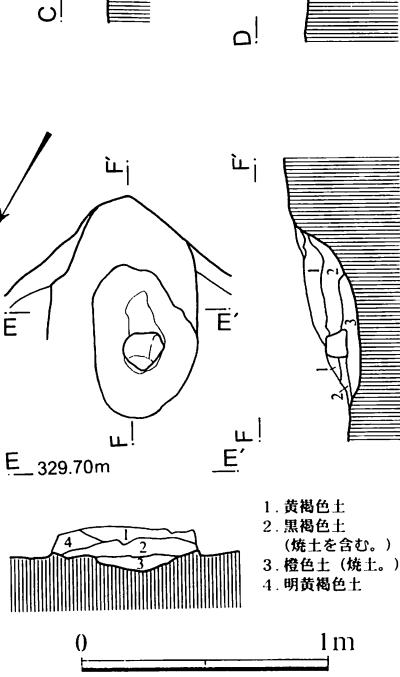
第13図 2a区遺構実測図⑨ (1:20)



2b区1号住カマド

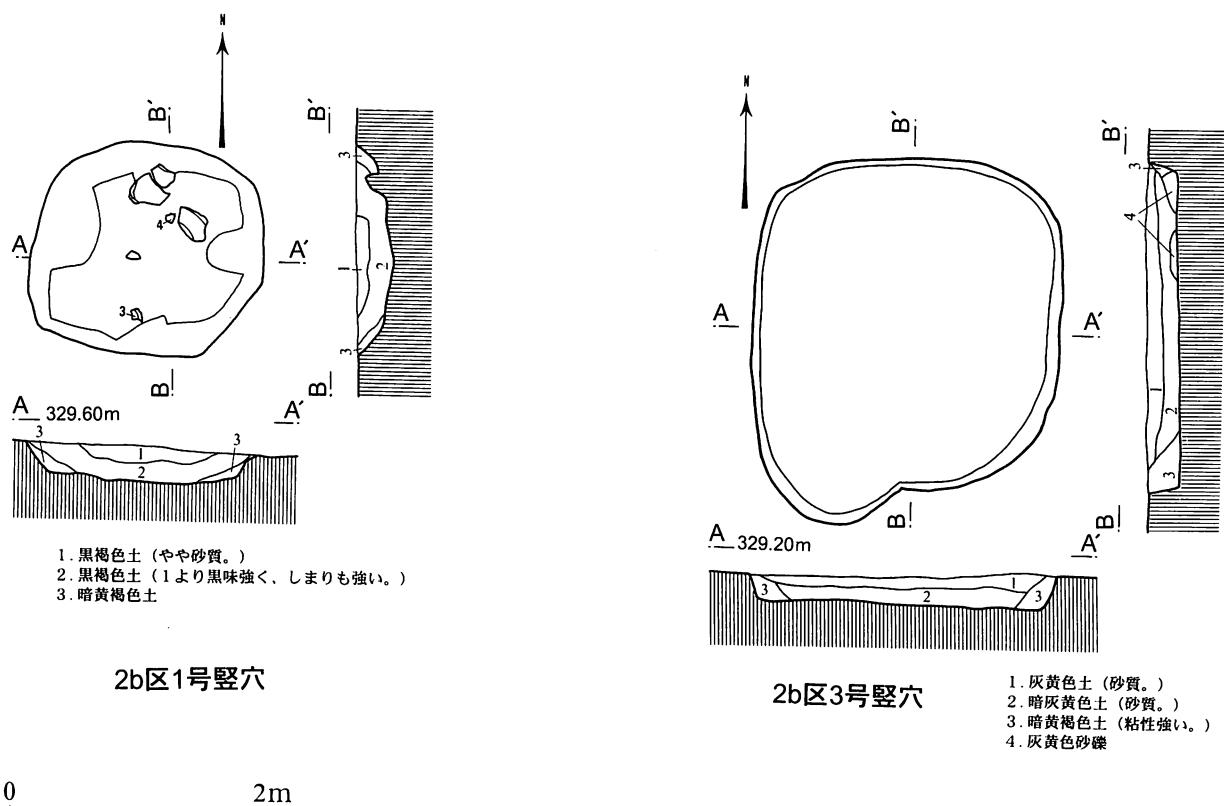
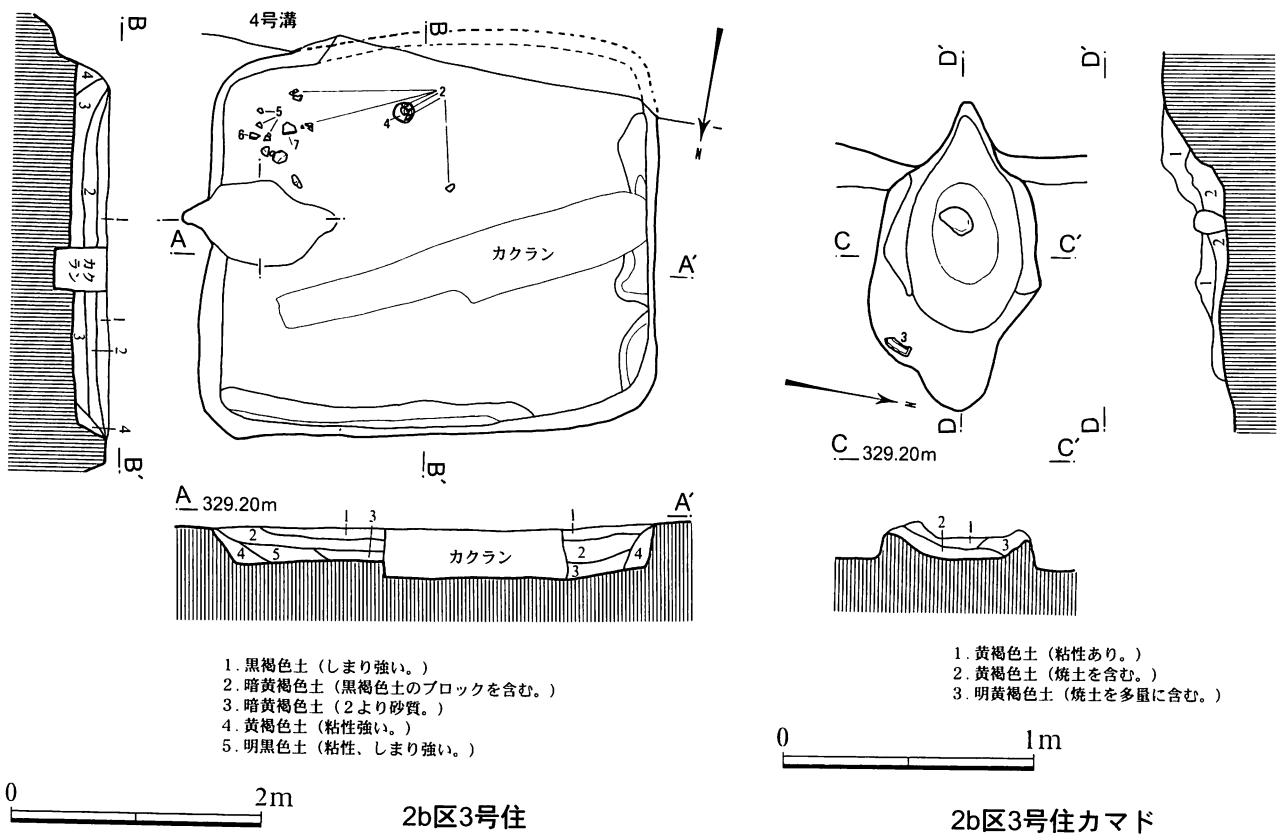


1. 表土
2. 灰褐色土
3. 明里褐色土
4. 明黒褐色土 (3より砂粒を含む。)
5. 明黄褐色土 (4より砂粒を多量に含む。)
6. 明黄褐色土 (5より砂粒は少なく、しまり強い。)
7. 黑褐色土 (やや砂質。)
8. 黑褐色土 (7より黒味が強い。)
9. 暗黒褐色土 (9よりしまり強い。)
10. 暗黒褐色土 (10より砂粒を多量に含む。)
11. 暗黒褐色土
12. 黑褐色土
13. 黑褐色土 (13より明るい。)
14. 黑褐色土
15. 暗黄褐色土

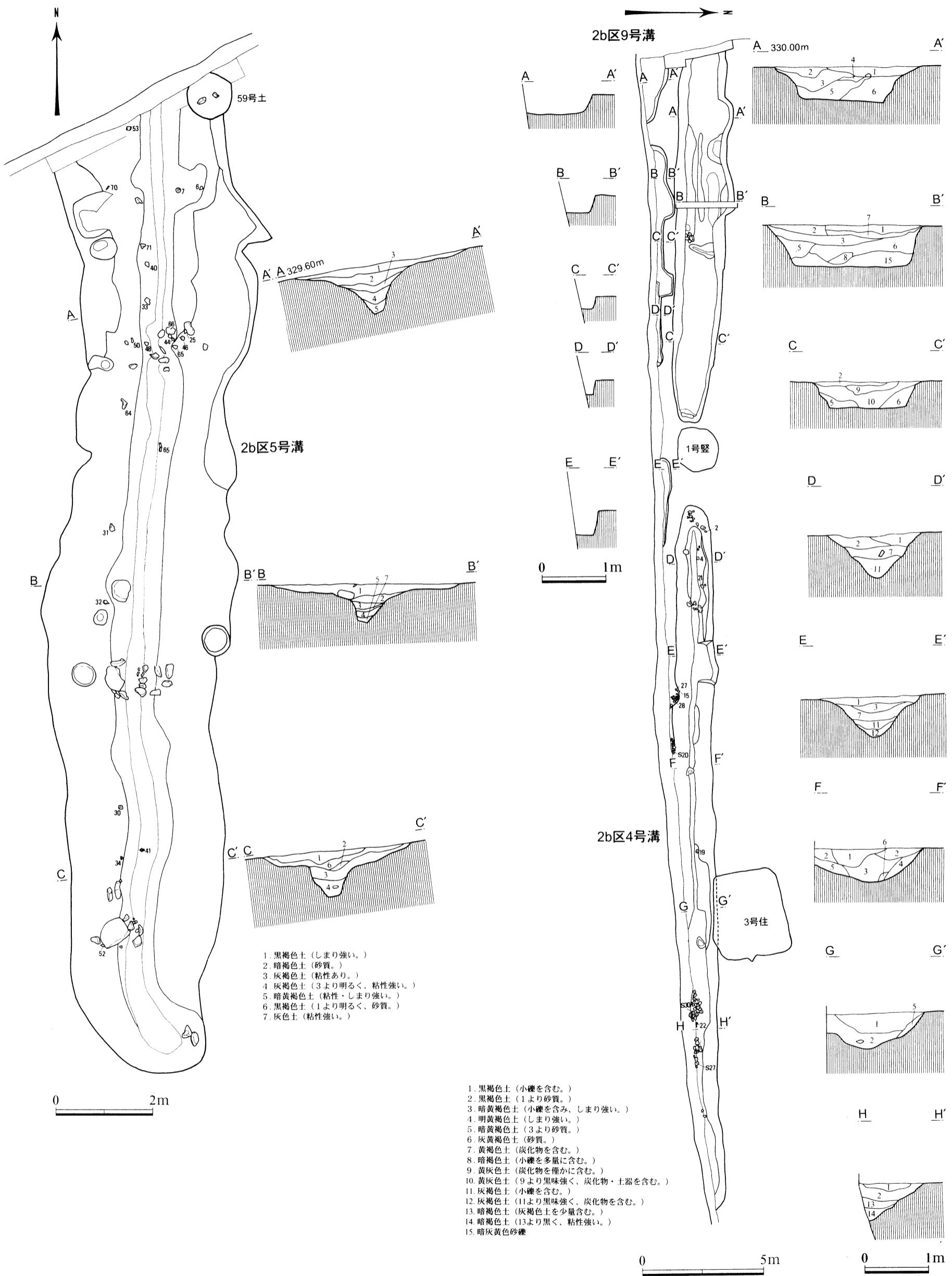


2b区2号住カマド

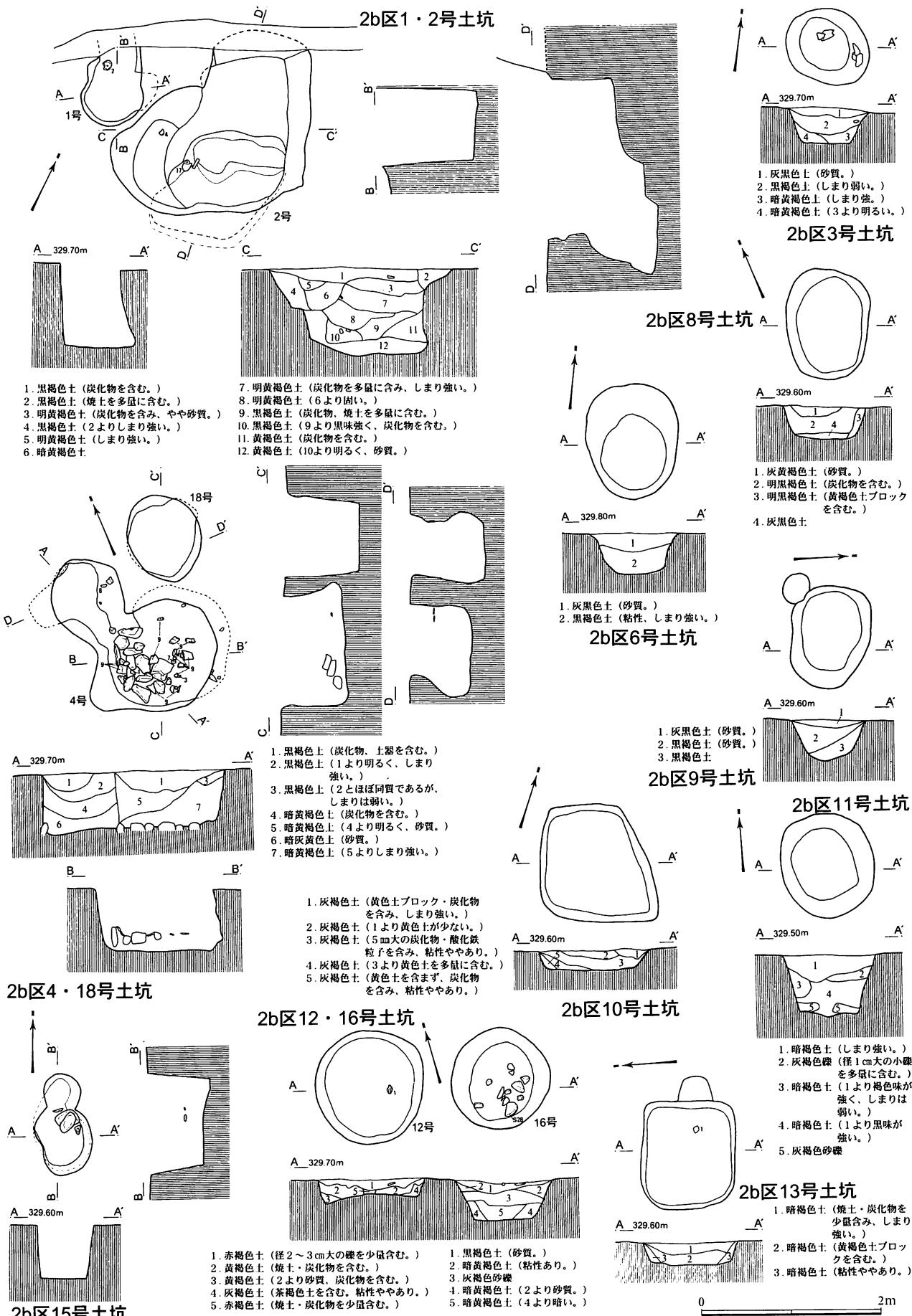
第14図 2b区遺構実測図① (1:30・1:60)



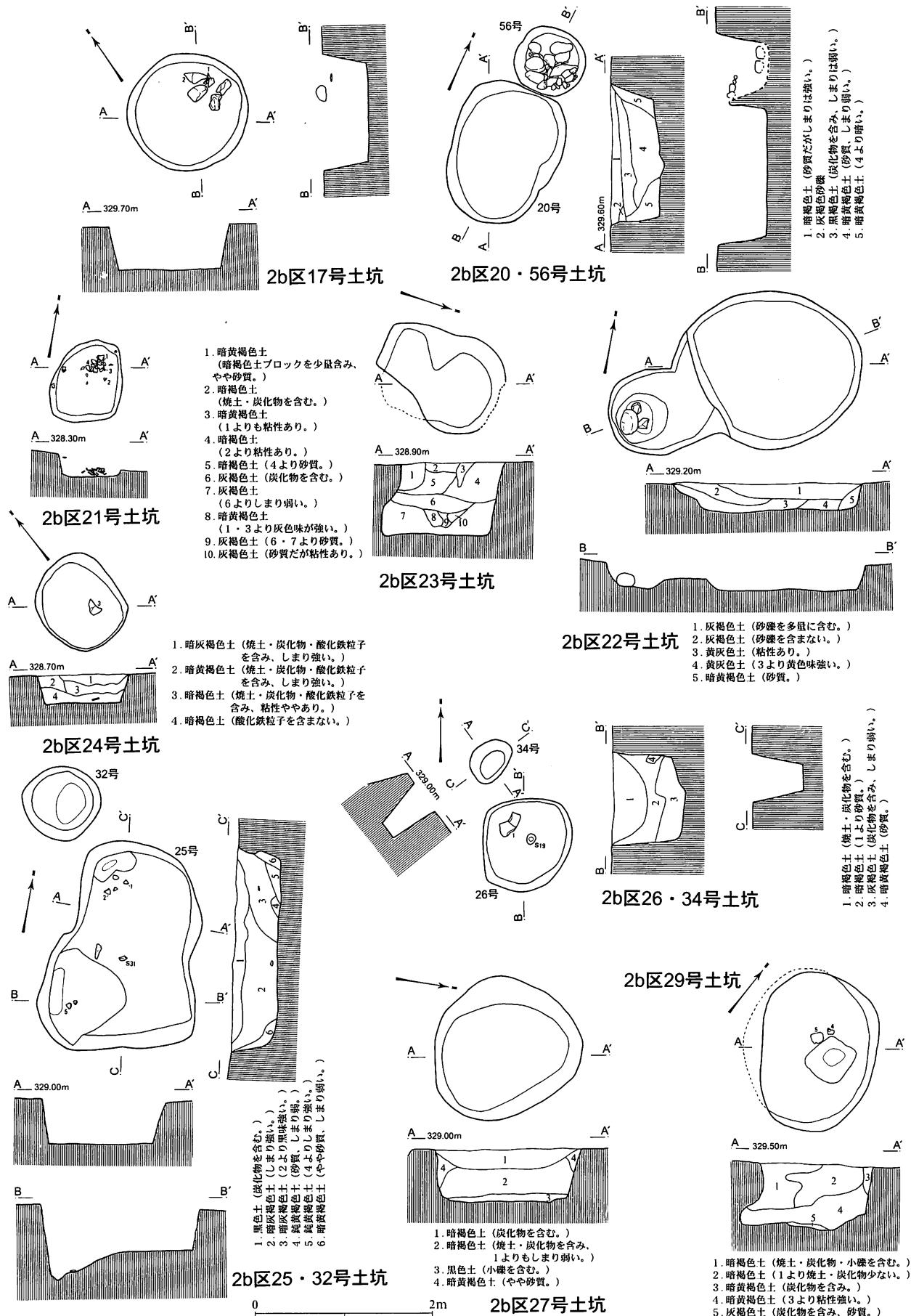
第15図 2b区遺構実測図② (1:30・1:60)



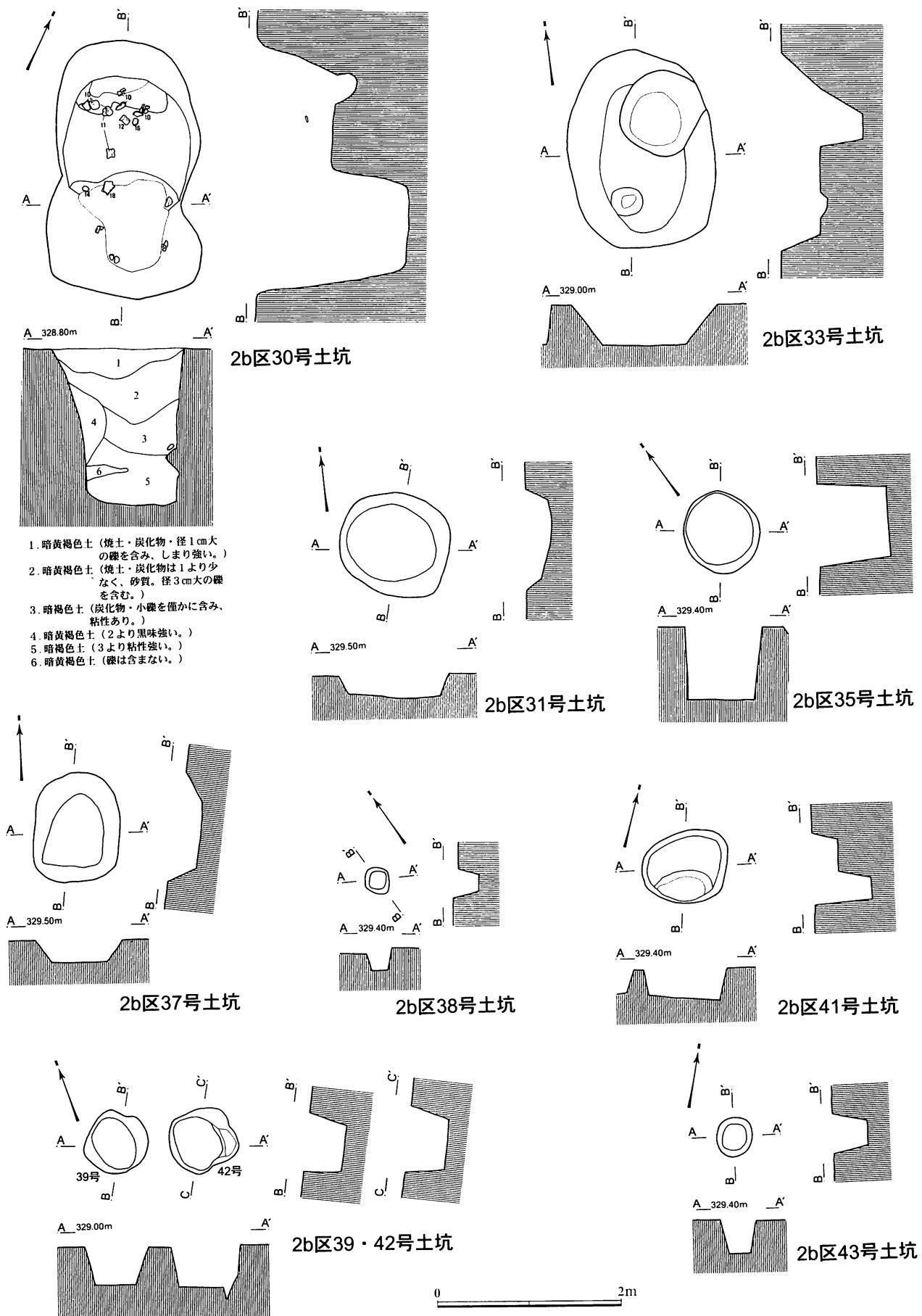
第15図 2b区遺構実測図③ (1:80・1:160、4号溝のセクション・エレベーションは1:60)



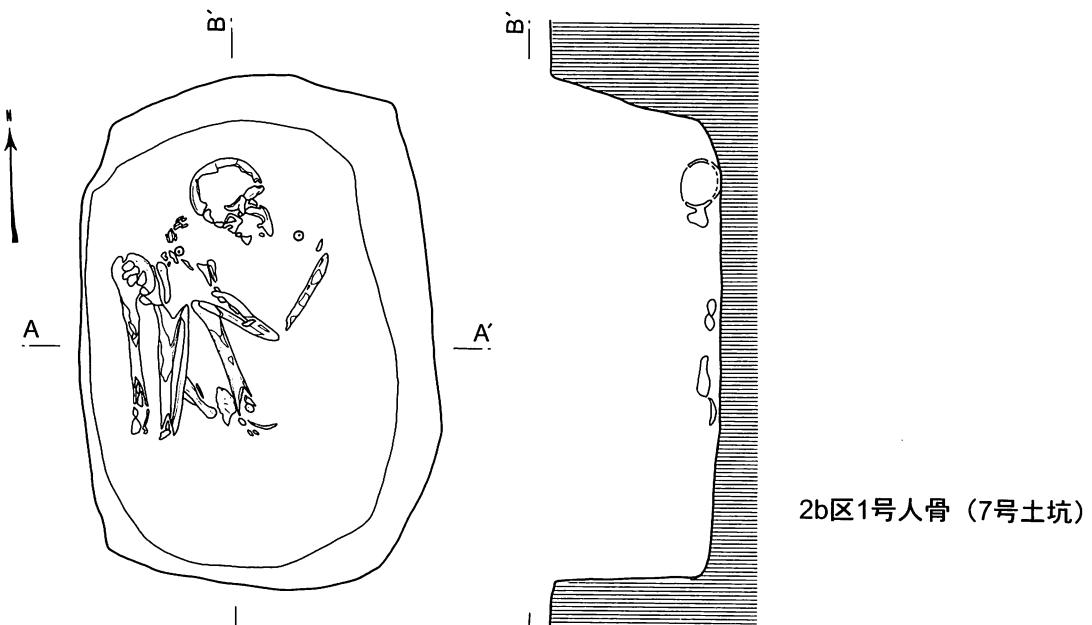
第17図 2 b 区遺構実測図④ (1:60)



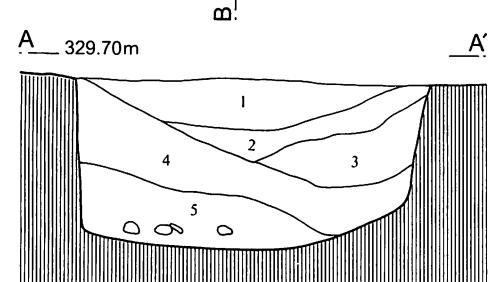
第18図 2 b 区遺構実測図⑤ (1 : 60)



第19図 2 b 区遺構実測図⑥ (1 : 60)

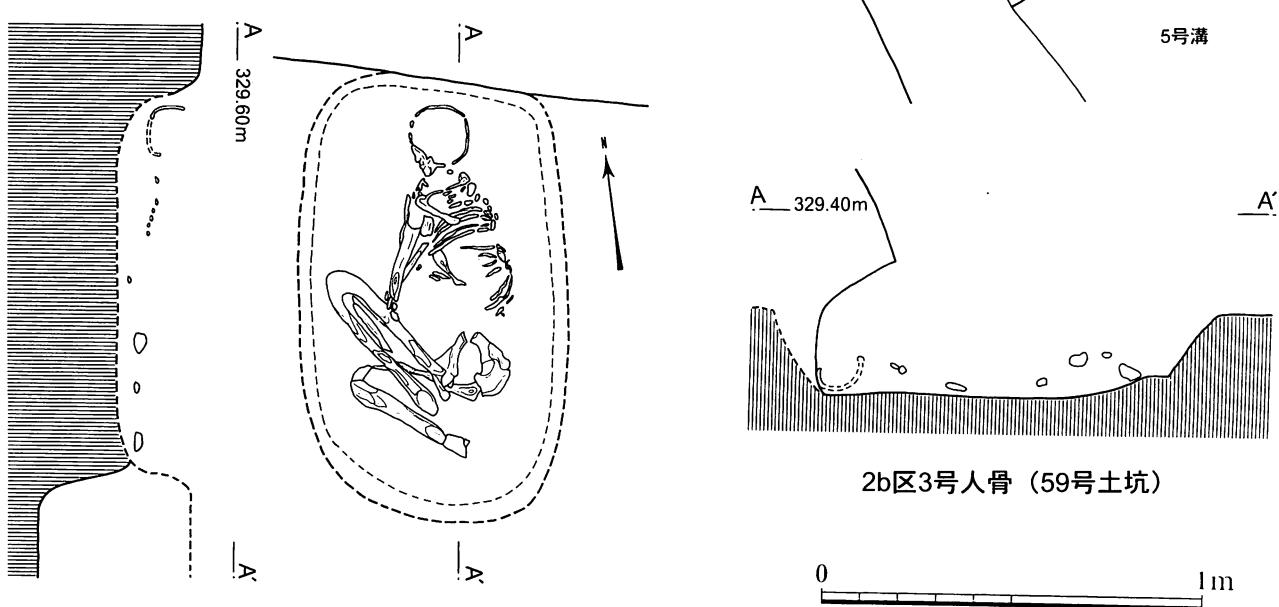
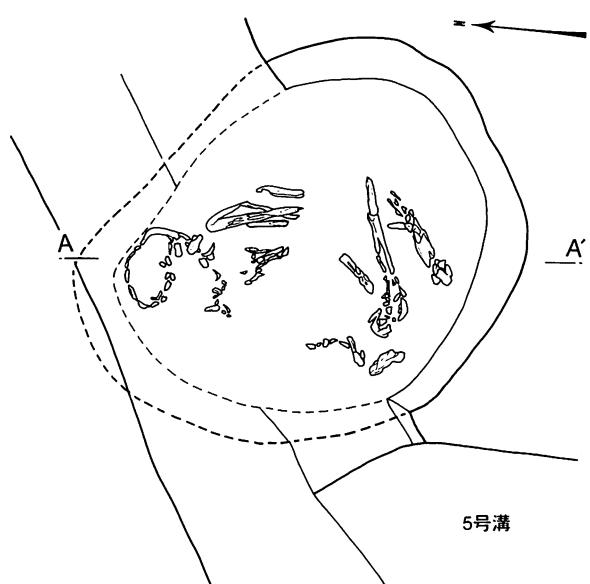


2b区1号人骨 (7号土坑)



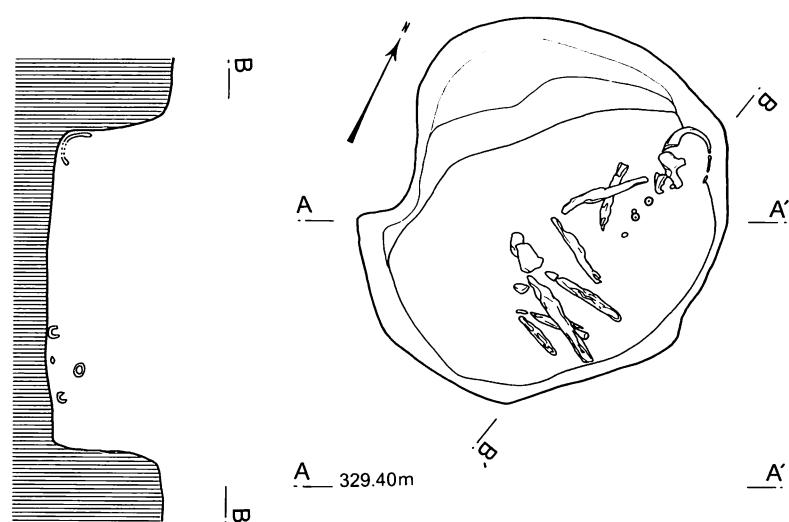
1. 茶褐色土(炭化物、焼土粒子含む。)
2. 灰褐色土(黄色土ブロック・酸化鉄粒子を含む。)
3. 黄色土(灰褐色土を少量含む。)
4. 灰褐色土(焼土を少量・酸化鉄粒子を含む。)
5. 茶褐色土(灰褐色土を少量・酸化鉄粒子を多量に含み、砂質。)

2b区2号人骨 (4号溝内)

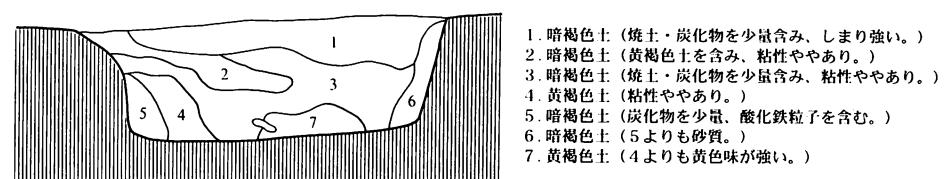


2b区3号人骨 (59号土坑)

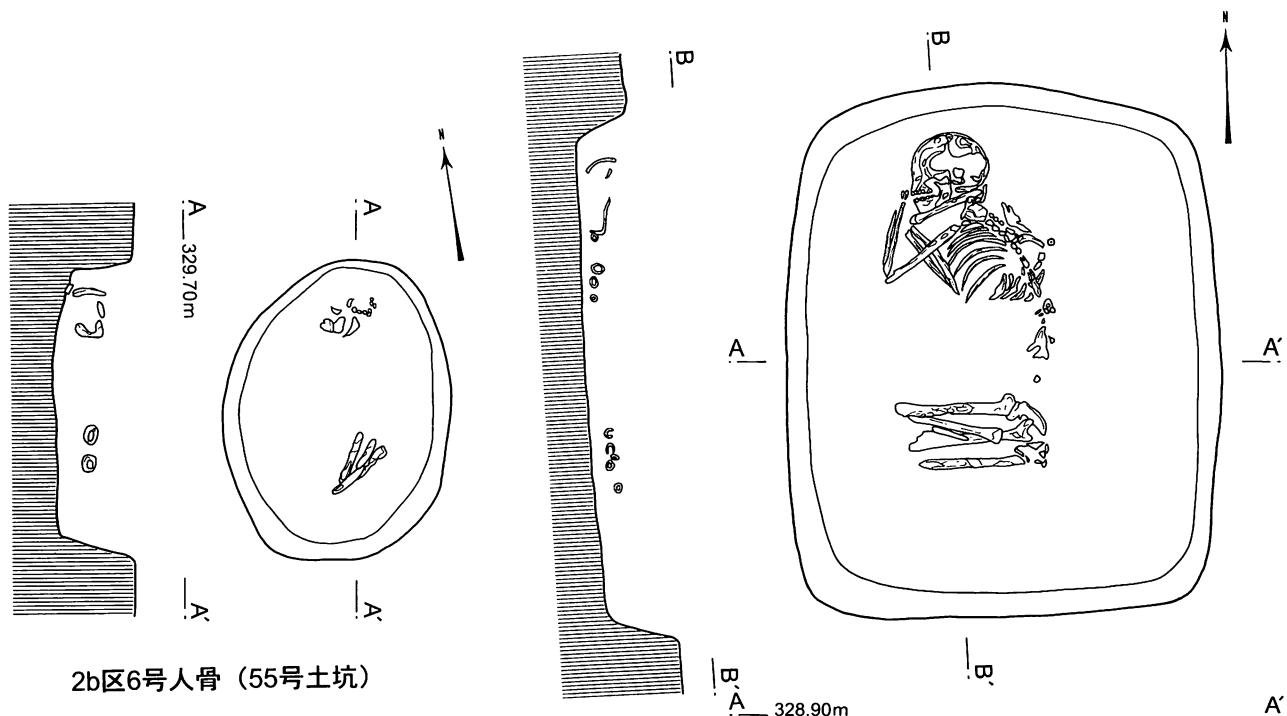
第20図 2 b 区遺構実測図⑦ (1 : 20)



2b区4号人骨 (104号土坑)

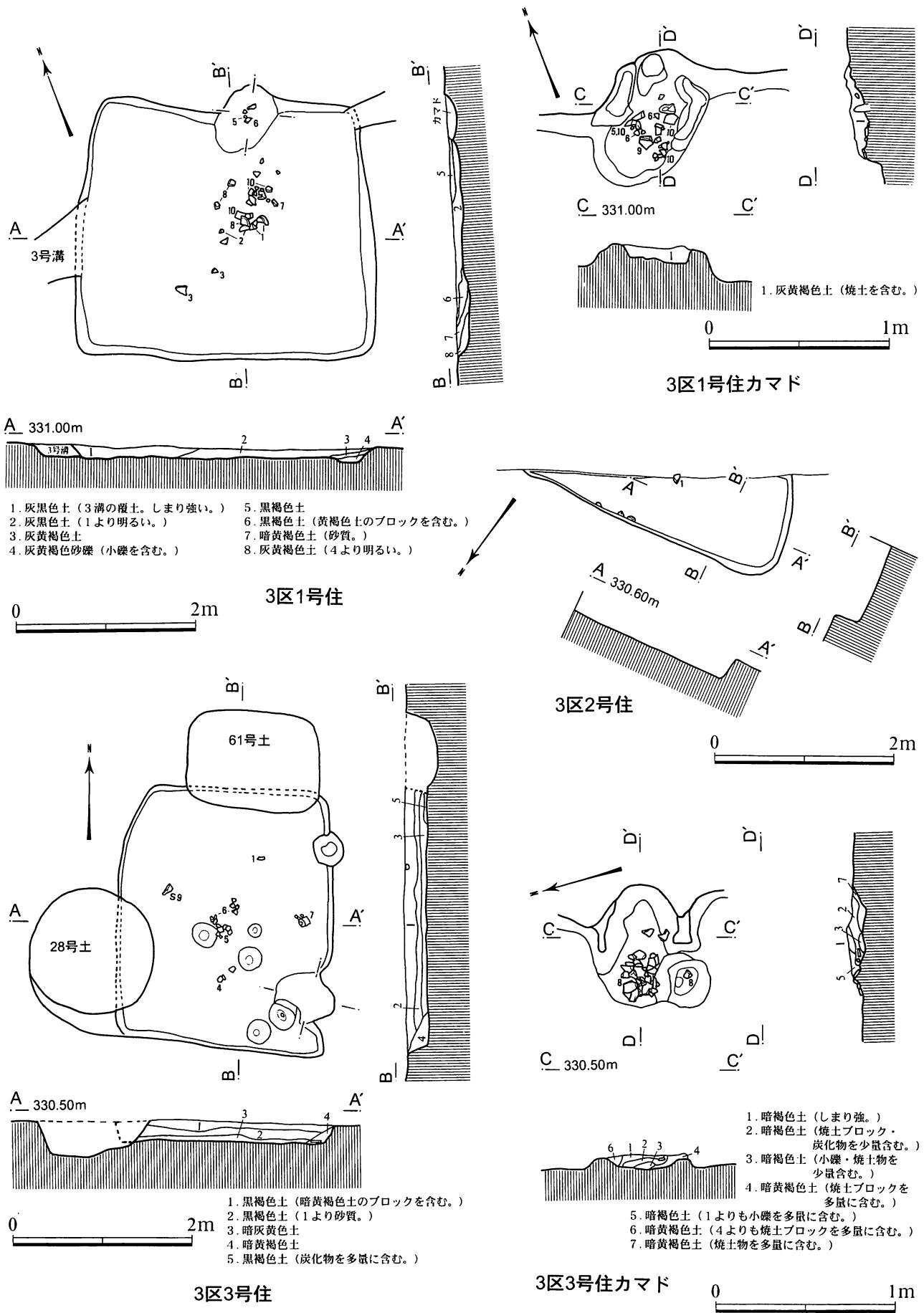


2b区5号人骨 (28号土坑)

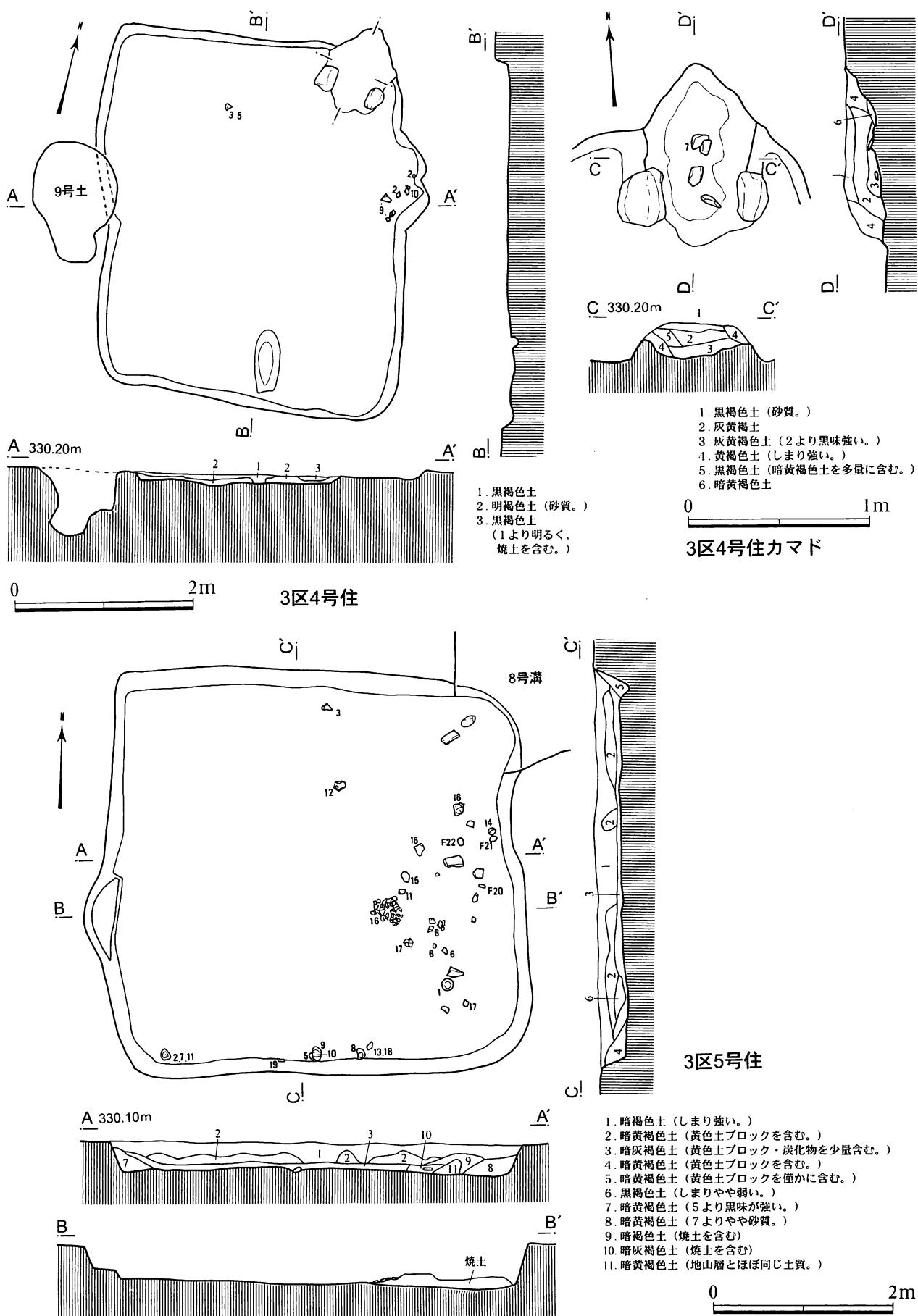


2b区6号人骨 (55号土坑)

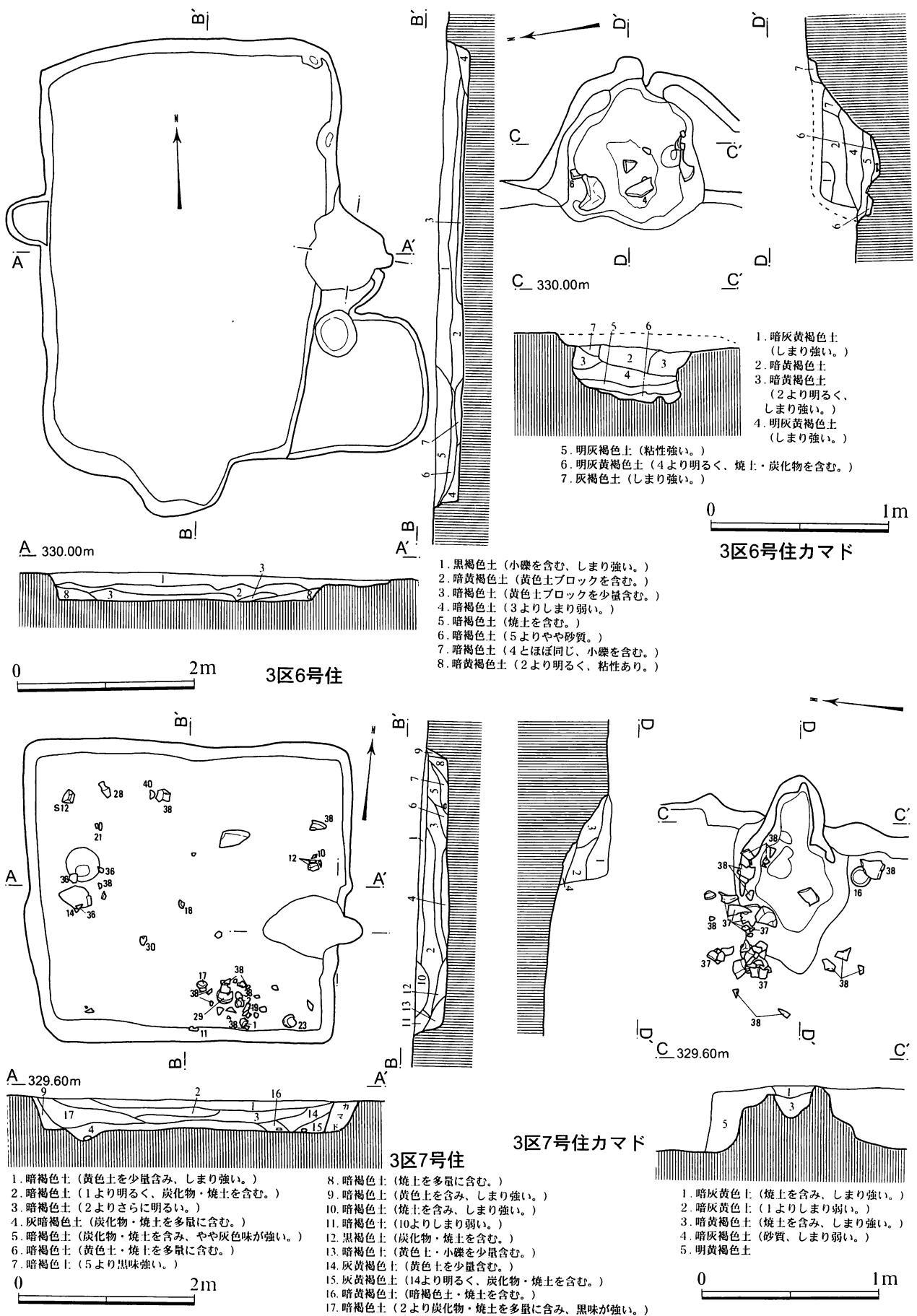
第21図 2 b 区遺構実測図⑧ (1 : 20)



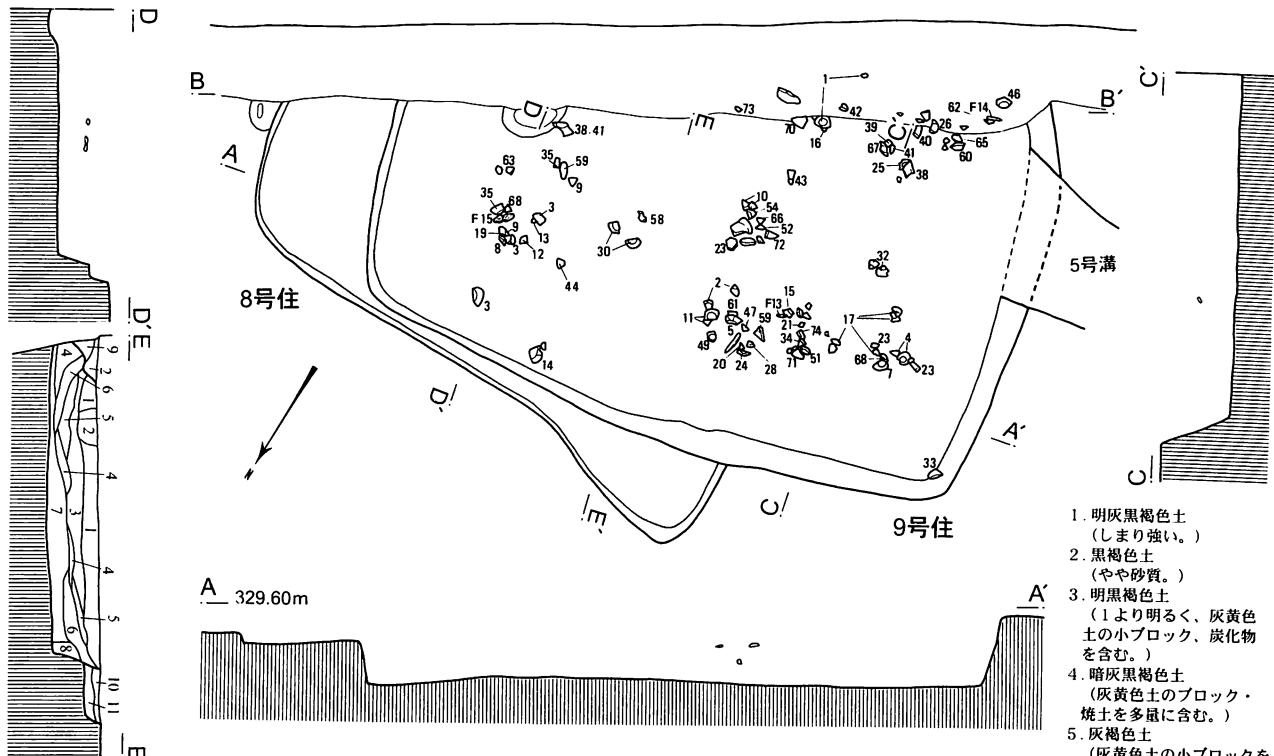
第22図 3区遺構実測図① (1:30・1:60)



第23図 3区遺構実測図② (1:30・1:60)

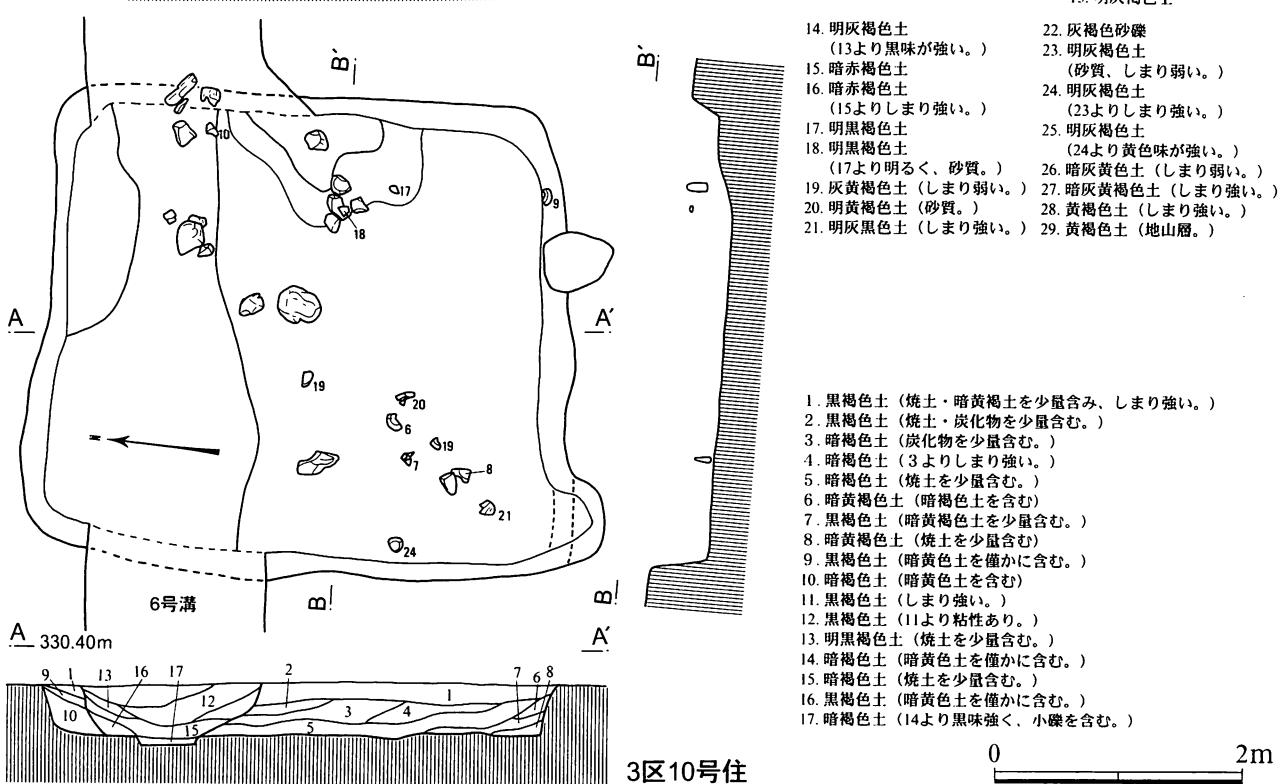


第24図 3区遺構実測図③ (1:30・1:60)



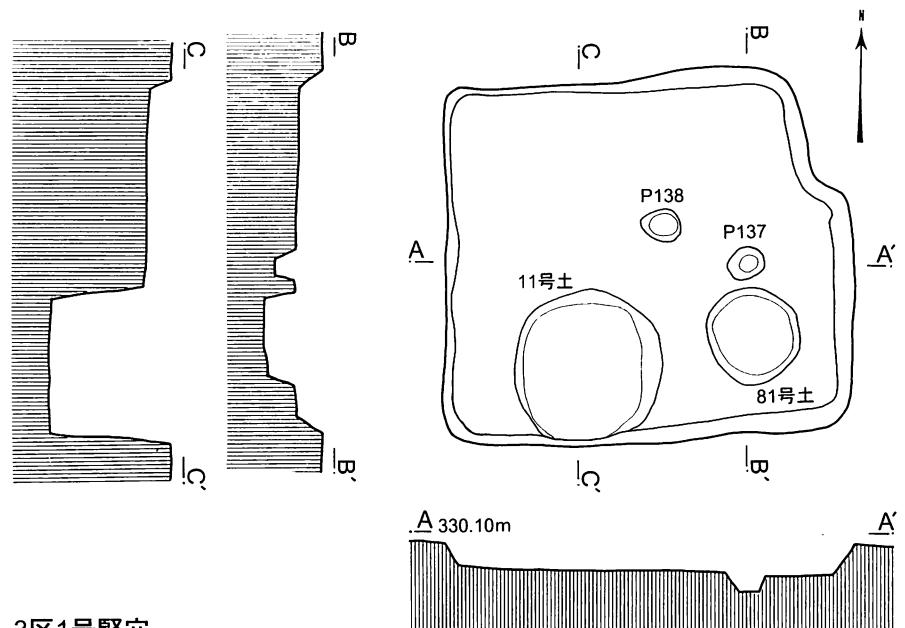
1. 明灰黒褐色土
(しまり強い。)
2. 黒褐色土
(やや砂質。)
3. 明黒褐色土
(1より明るく、灰黄色土の小ブロック、炭化物を含む。)
4. 暗灰黒褐色土
(灰黄色土のブロック・焼土を多量に含む。)
5. 灰褐色土
(灰黄色土の小ブロックを含み、しまりは弱い。)
6. 明灰褐色土
(やや砂質。)
7. 明灰褐色土
(6より明るい。)
8. 暗黄褐色土
(しまり弱い。)
9. 暗黄褐色土
(8よりしまり強い。)
10. 明灰色土
(しまり強い。)
11. 明黄褐色土(砂質。)
12. 表土
13. 明灰褐色土

3区
8・9号住

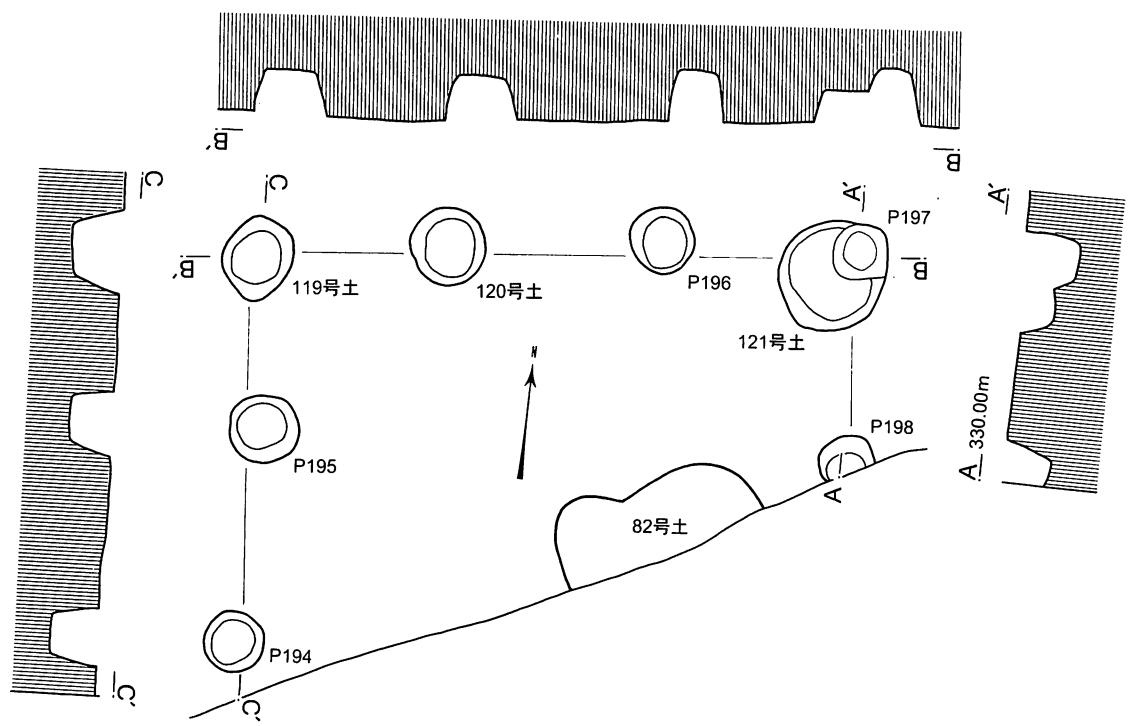


1. 黒褐色土(焼土・暗黄褐色土を少量含み、しまり強い。)
2. 黒褐色土(焼土・炭化物を少量含む。)
3. 暗褐色土(炭化物を少量含む。)
4. 暗褐色土(3よりしまり強い。)
5. 暗褐色土(焼土を少量含む。)
6. 暗黄褐色土(暗褐色土を含む)
7. 黑褐色土(暗黄褐色土を少量含む。)
8. 暗褐色土(焼土を少量含む)
9. 黑褐色土(暗黄色土を僅かに含む。)
10. 暗褐色土(暗黄色土を含む)
11. 黑褐色土(しまり強い。)
12. 黑褐色土(1より粘性あり。)
13. 明黒褐色土(焼土を少量含む。)
14. 暗褐色土(暗黄色土を僅かに含む。)
15. 暗褐色土(焼土を少量含む。)
16. 黑褐色土(暗黄色土を僅かに含む。)
17. 暗褐色土(14より黒味強く、小礫を含む。)

第25図 3区遺構実測図④ (1:60)



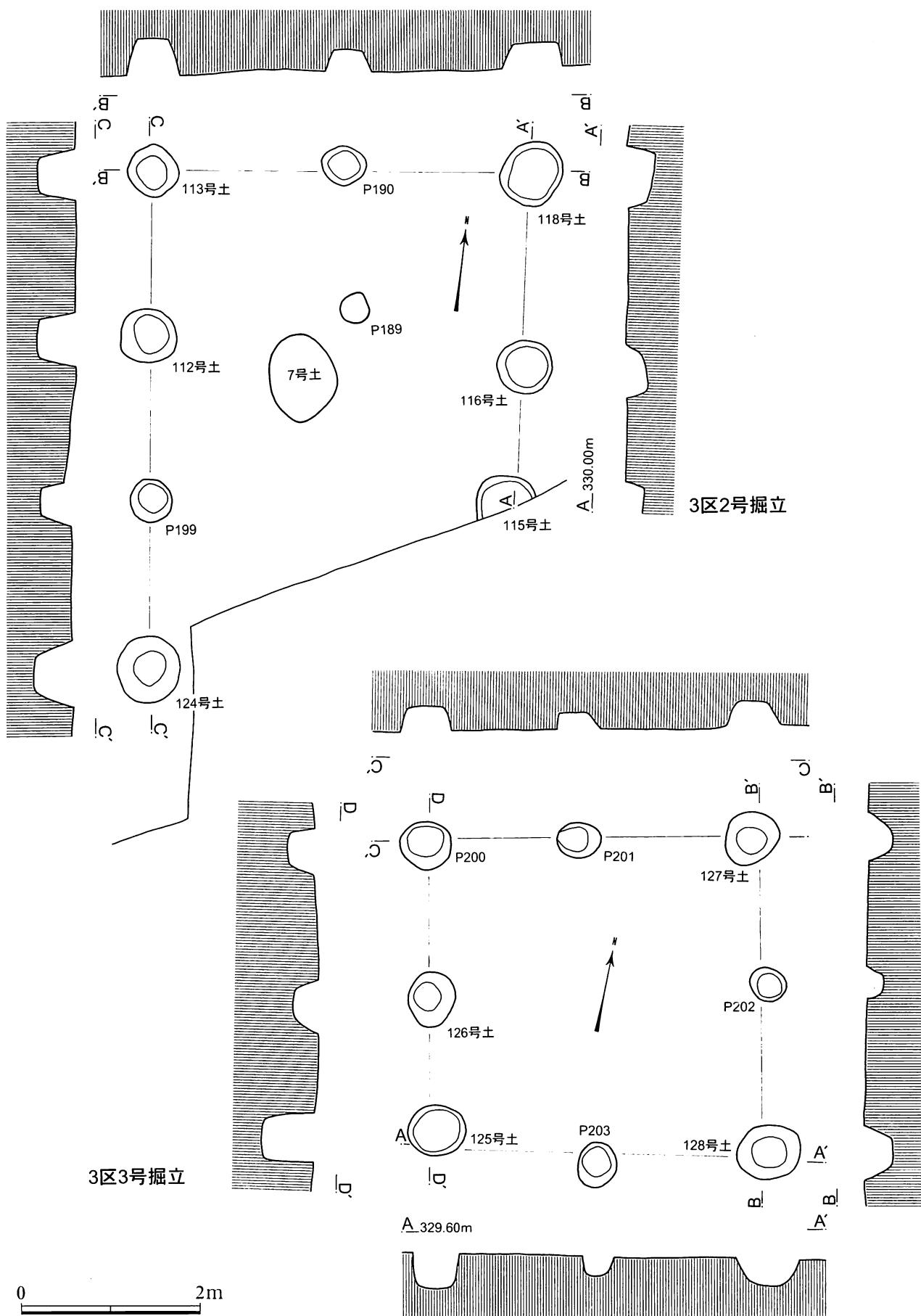
3区1号竪穴



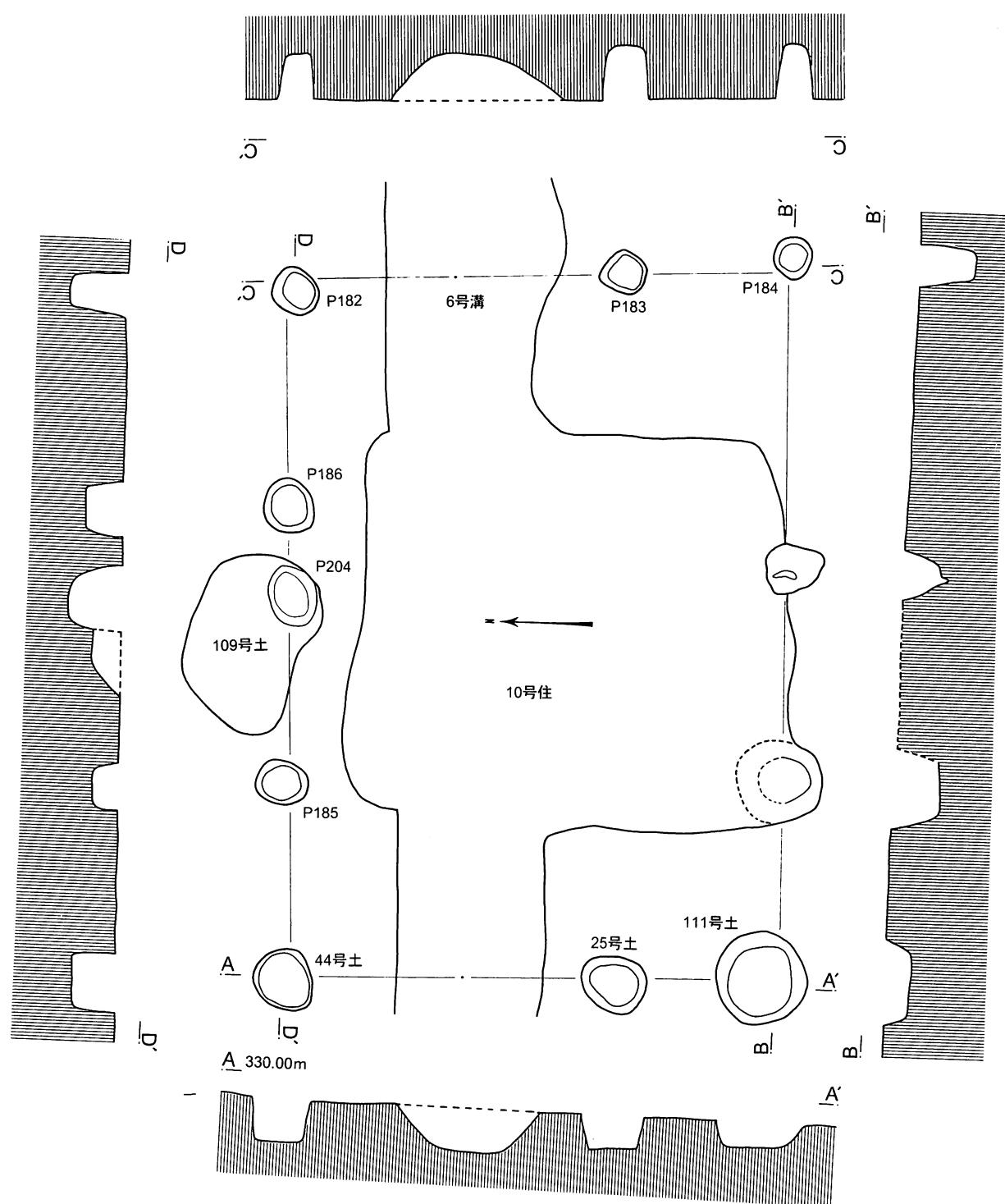
3区1号掘立

0 2m

第26図 3区遺構実測図⑤ (1:60)



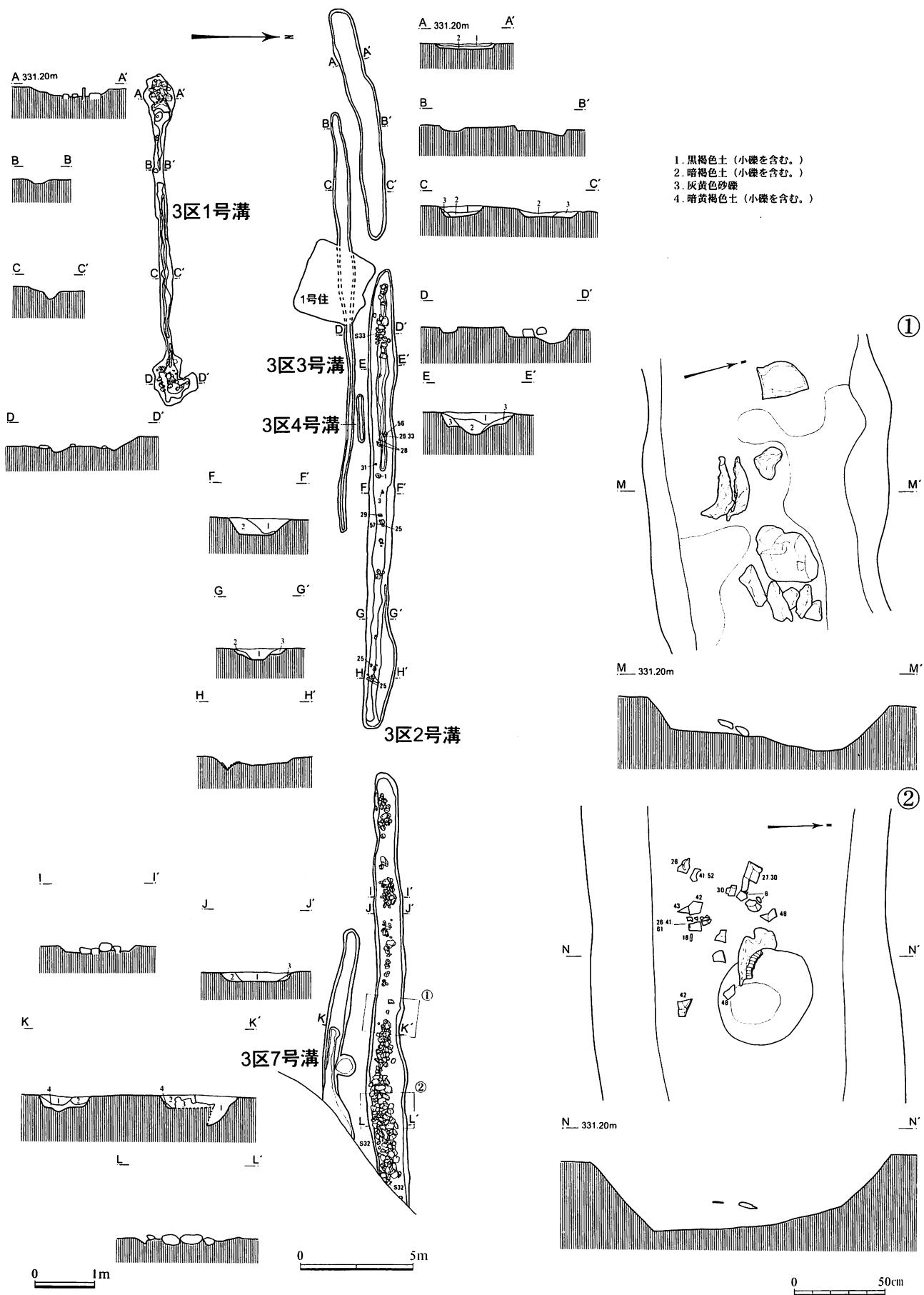
第27図 3区遺構実測図⑥ (1:60)



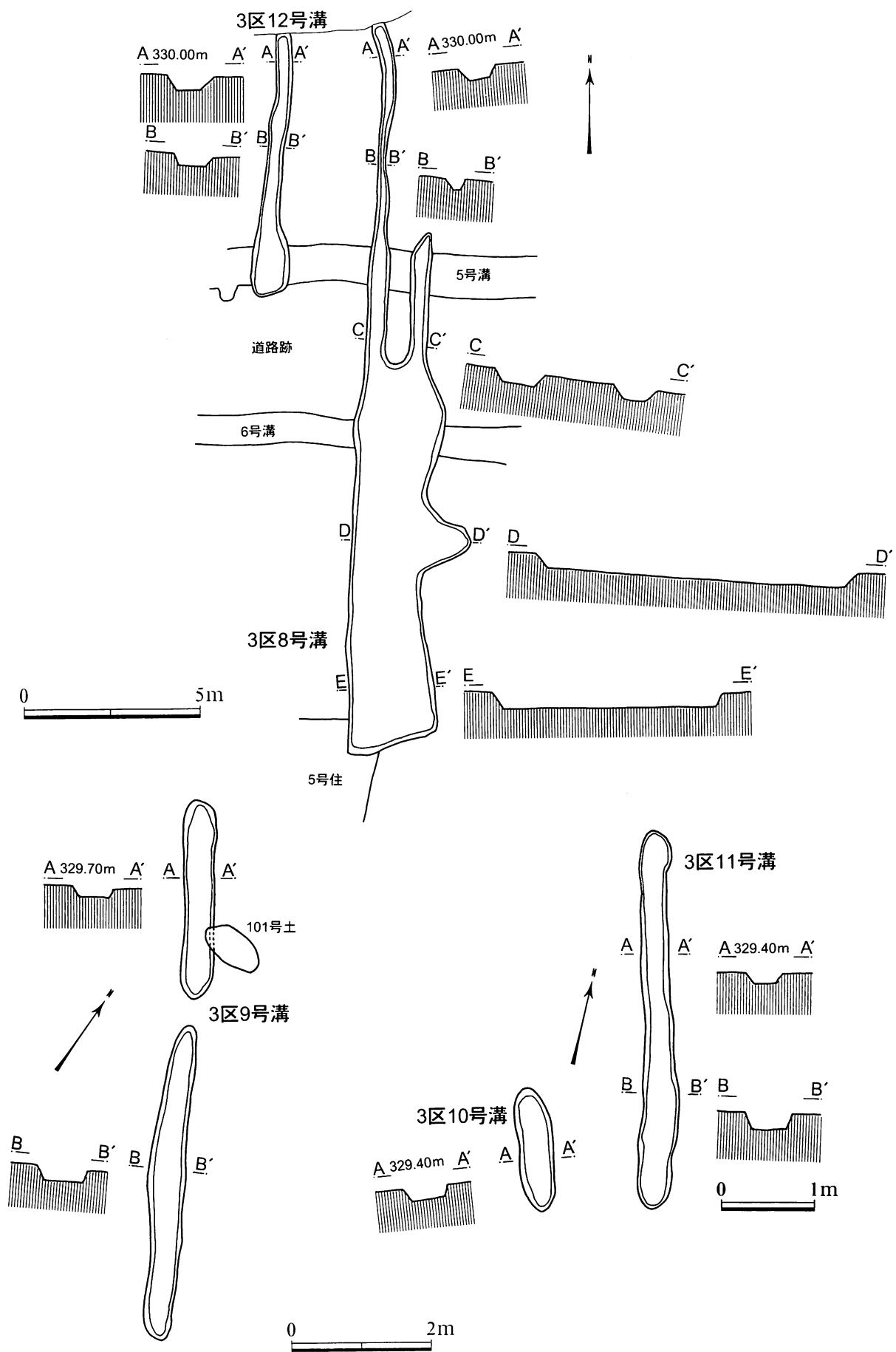
3区4号掘立

0 2m

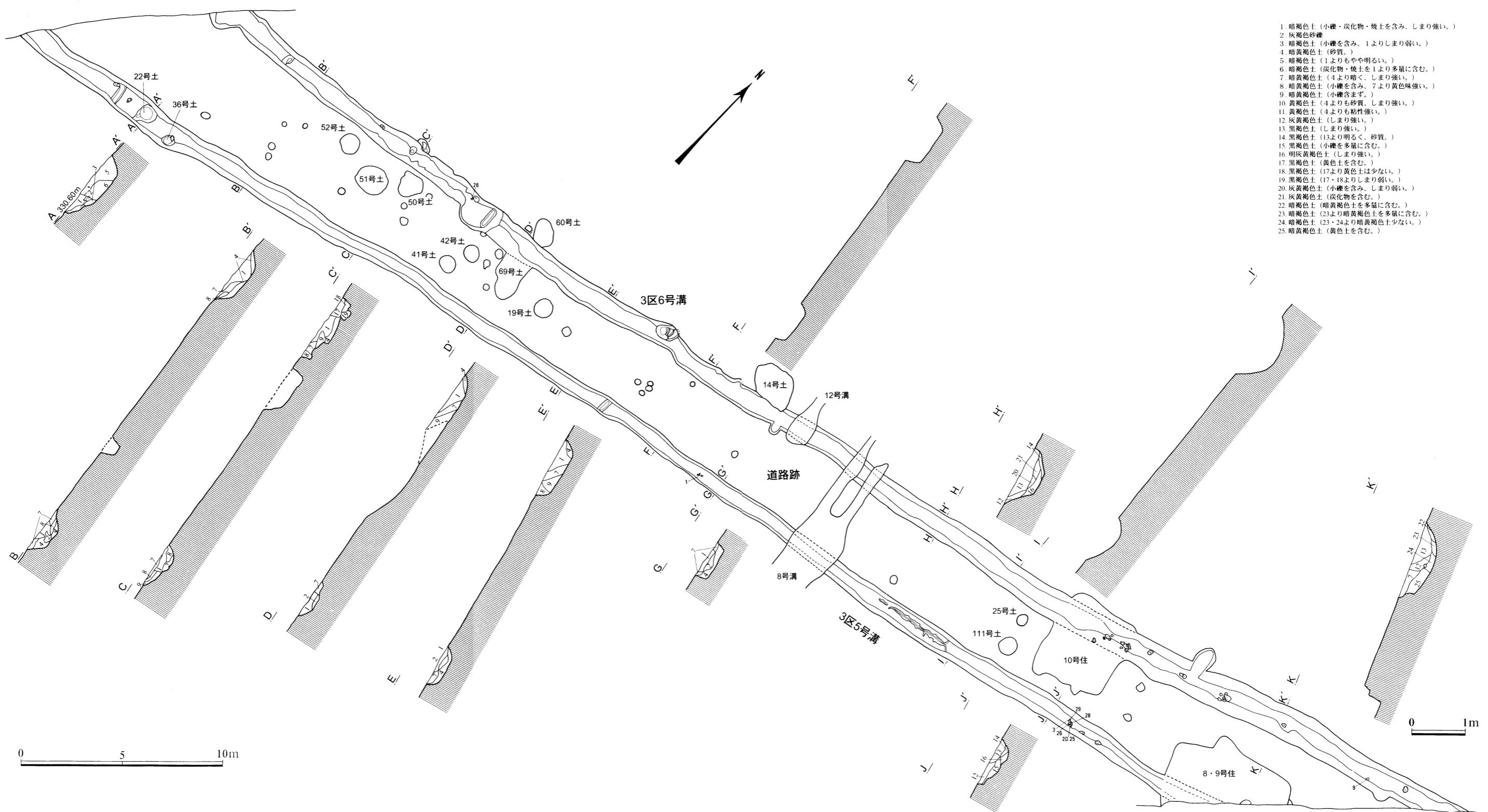
第28図 3区遺構実測図⑦ (1:60)



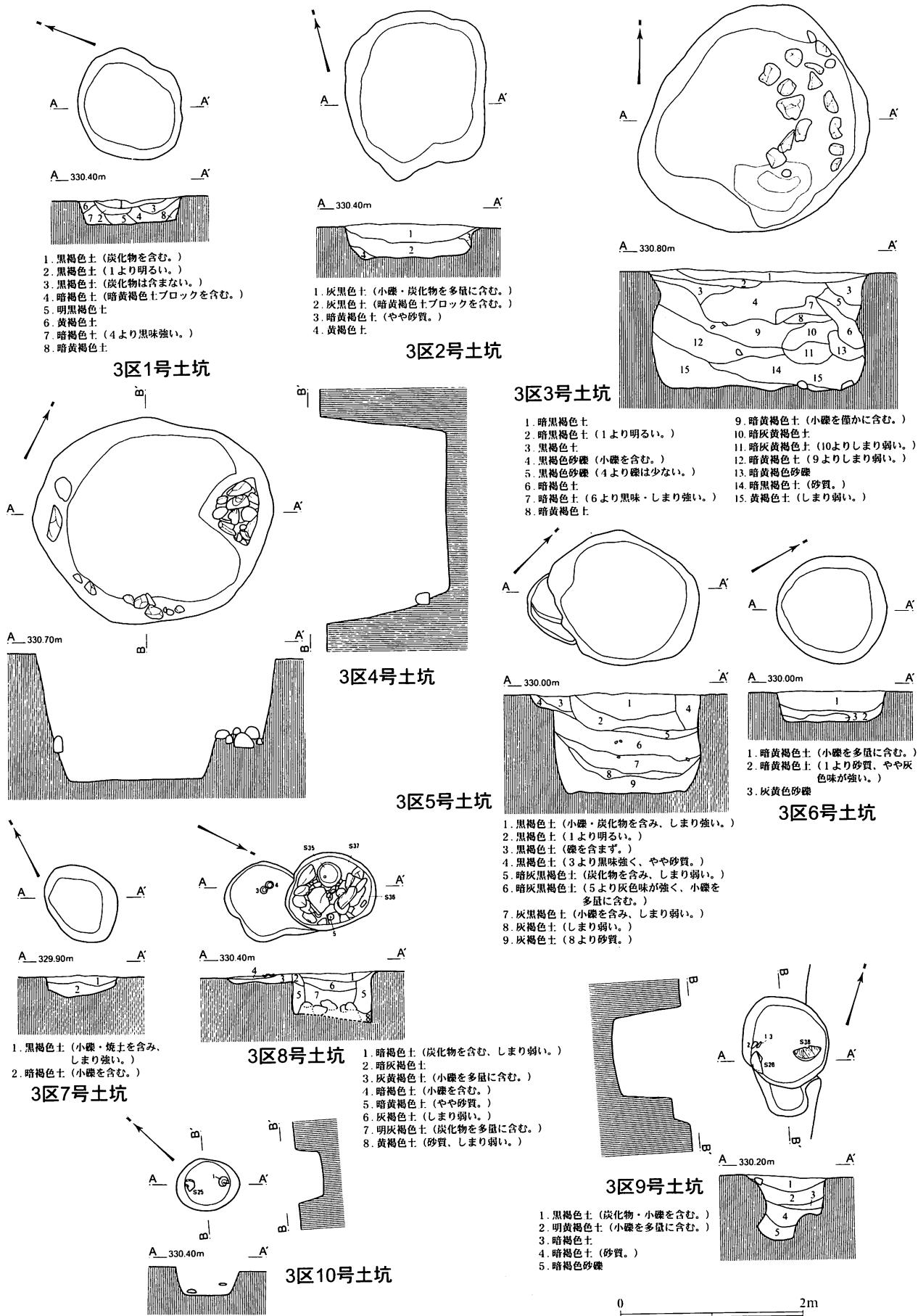
第29図 3区遺構実測図⑧ (1:240、セクション・エレベーションは1:90、微細図は1:30)



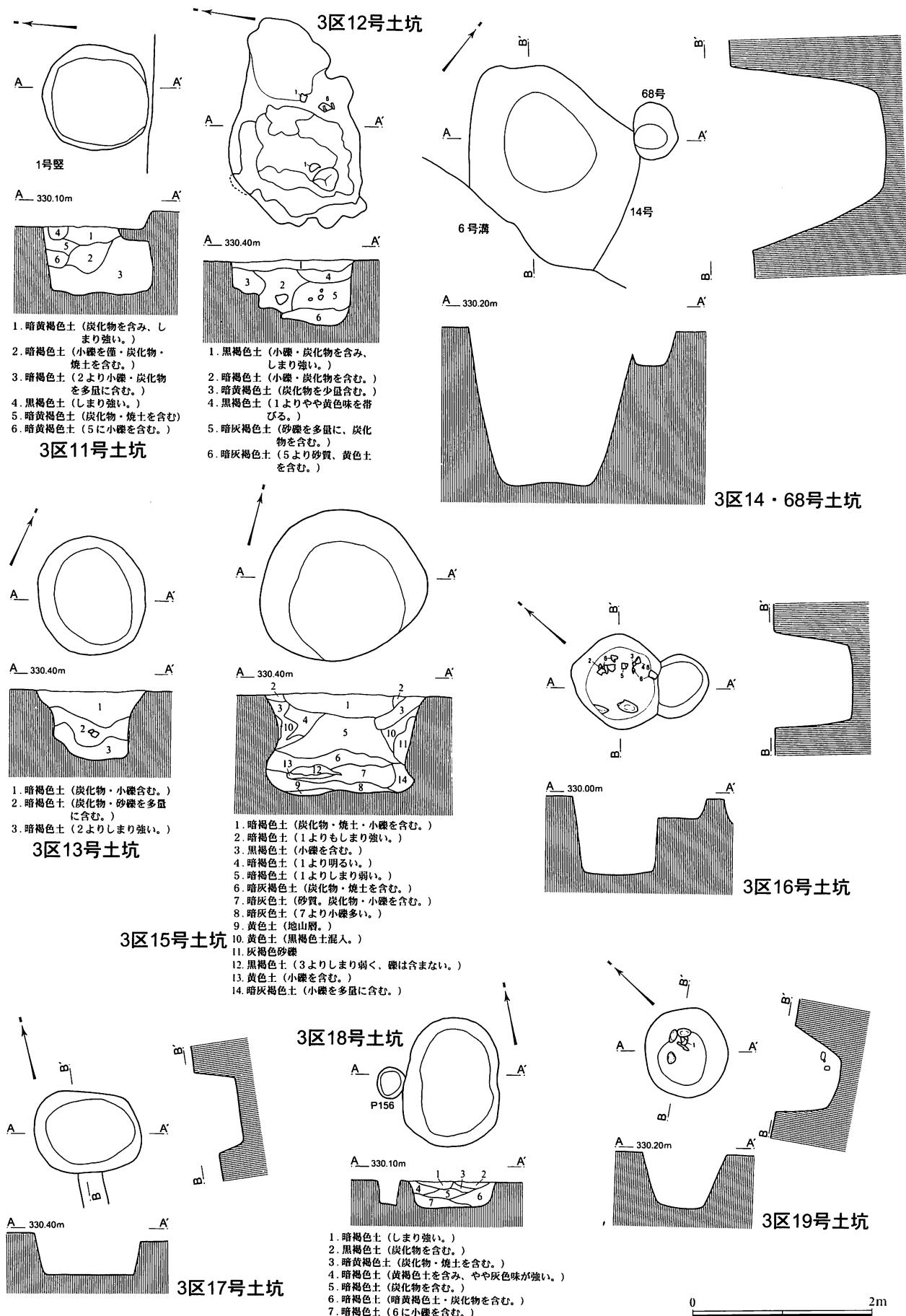
第30図 3区遺構実測図⑨ (1:80・1:160、エレベーションは1:60)



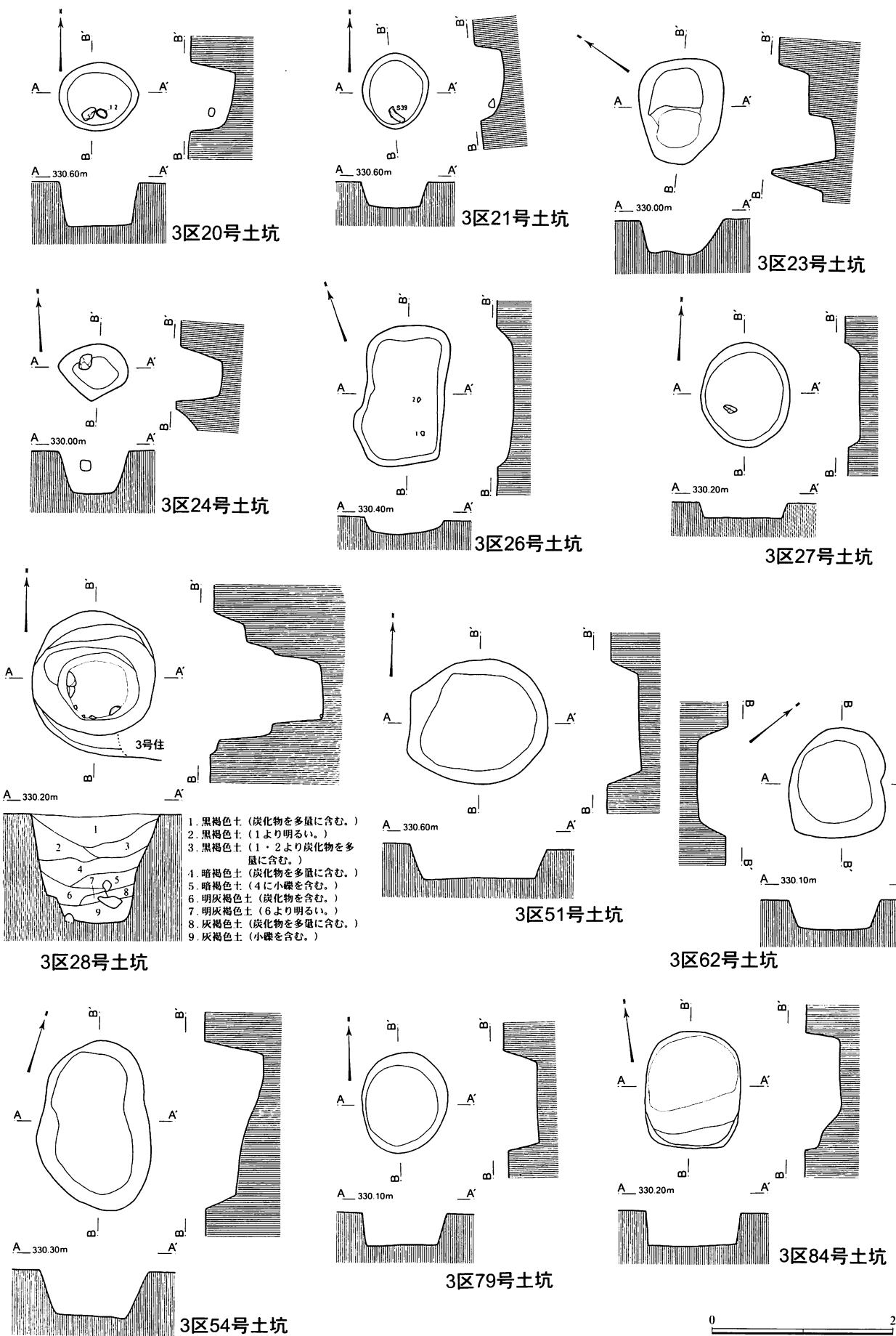
第31図 3区遺構実測図⑩ (1:160、エレベーションは1:60)



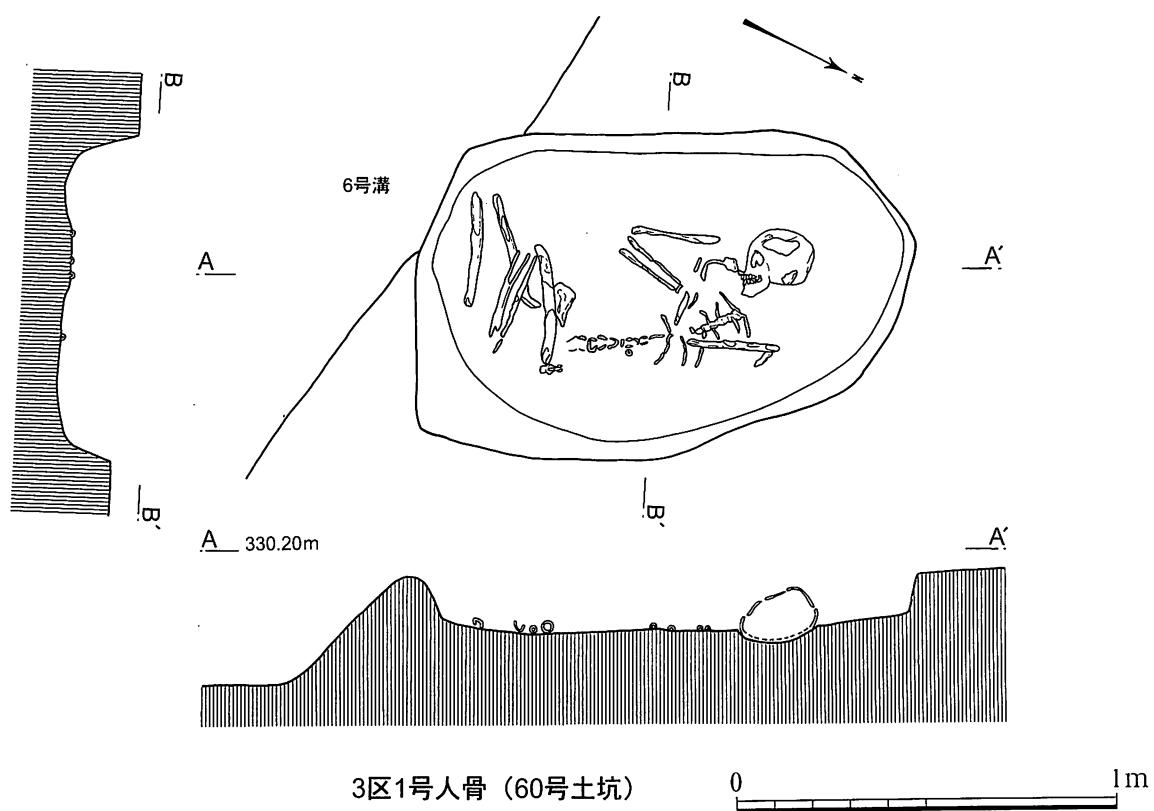
第32図 3区遺構実測図⑪ (1:60)



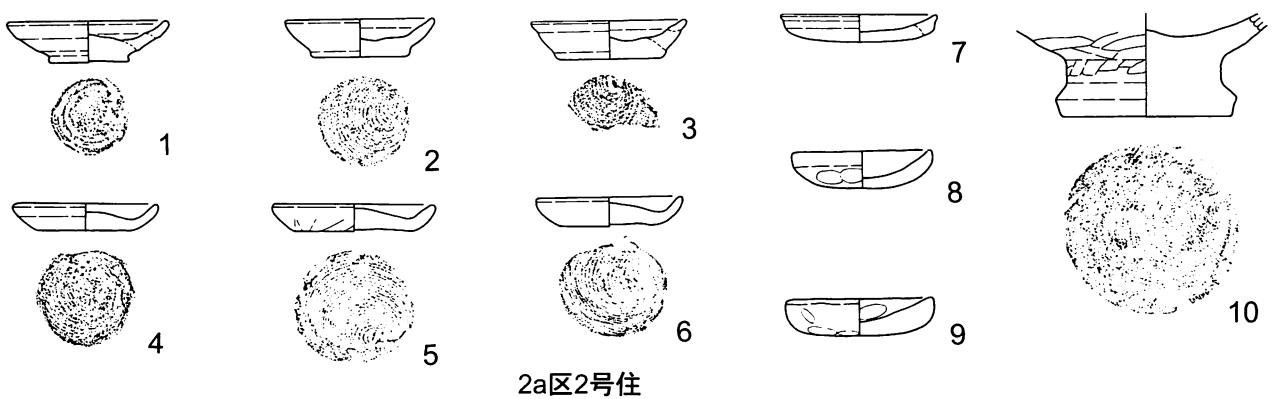
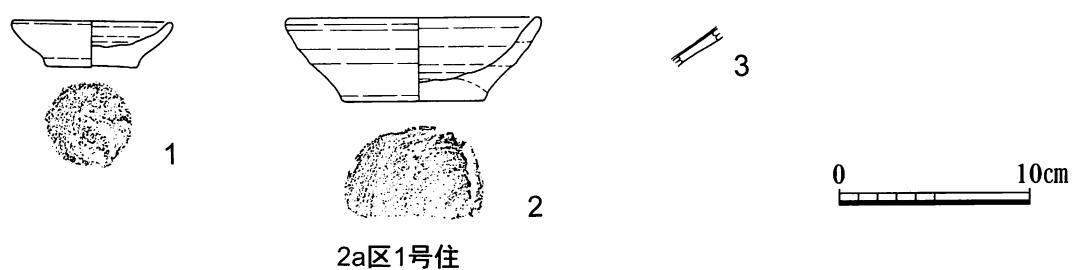
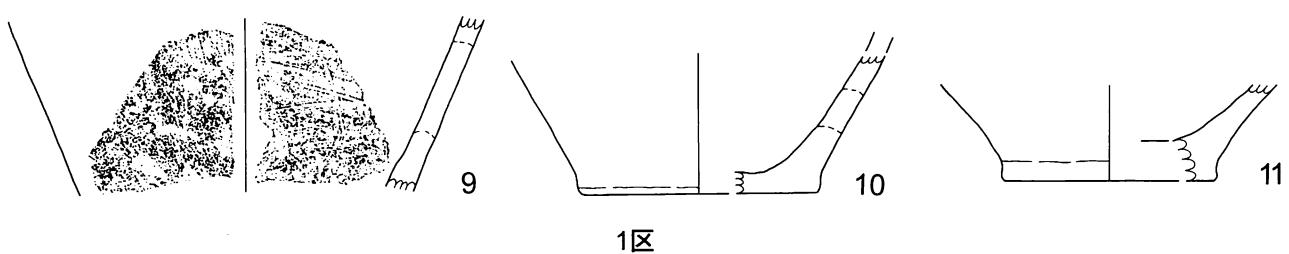
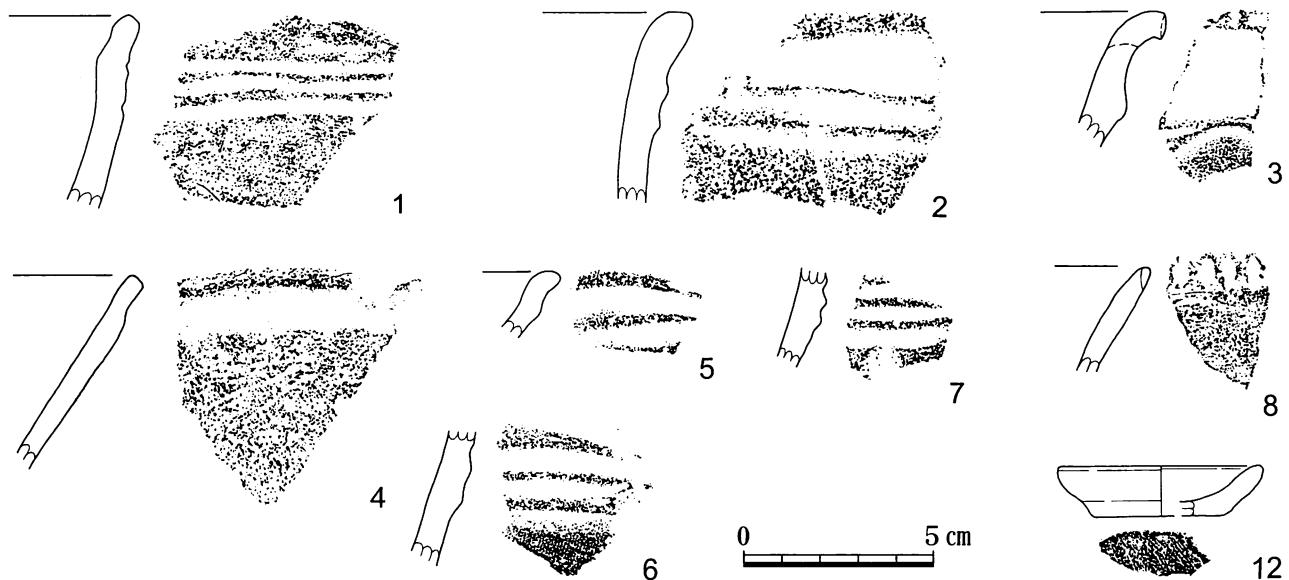
第33図 3区遺構実測図⑫ (1:60)



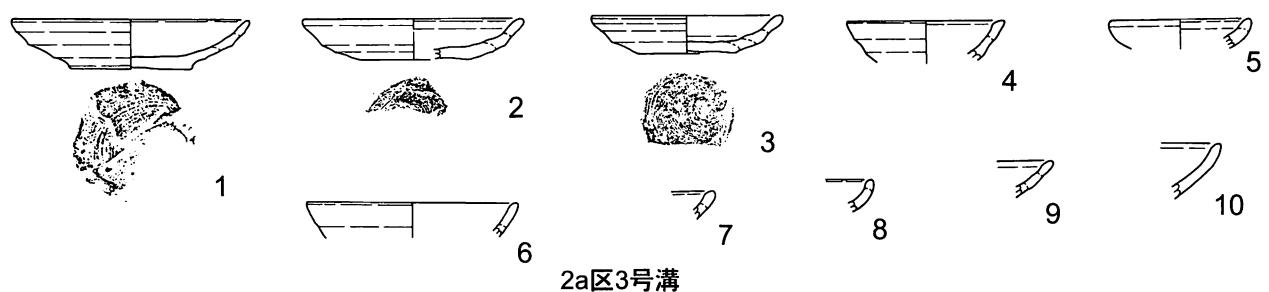
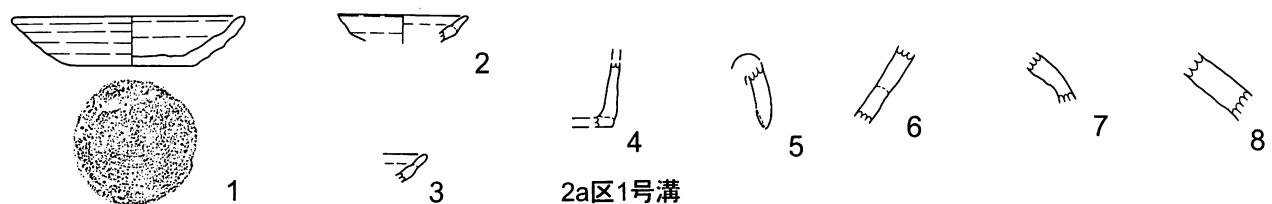
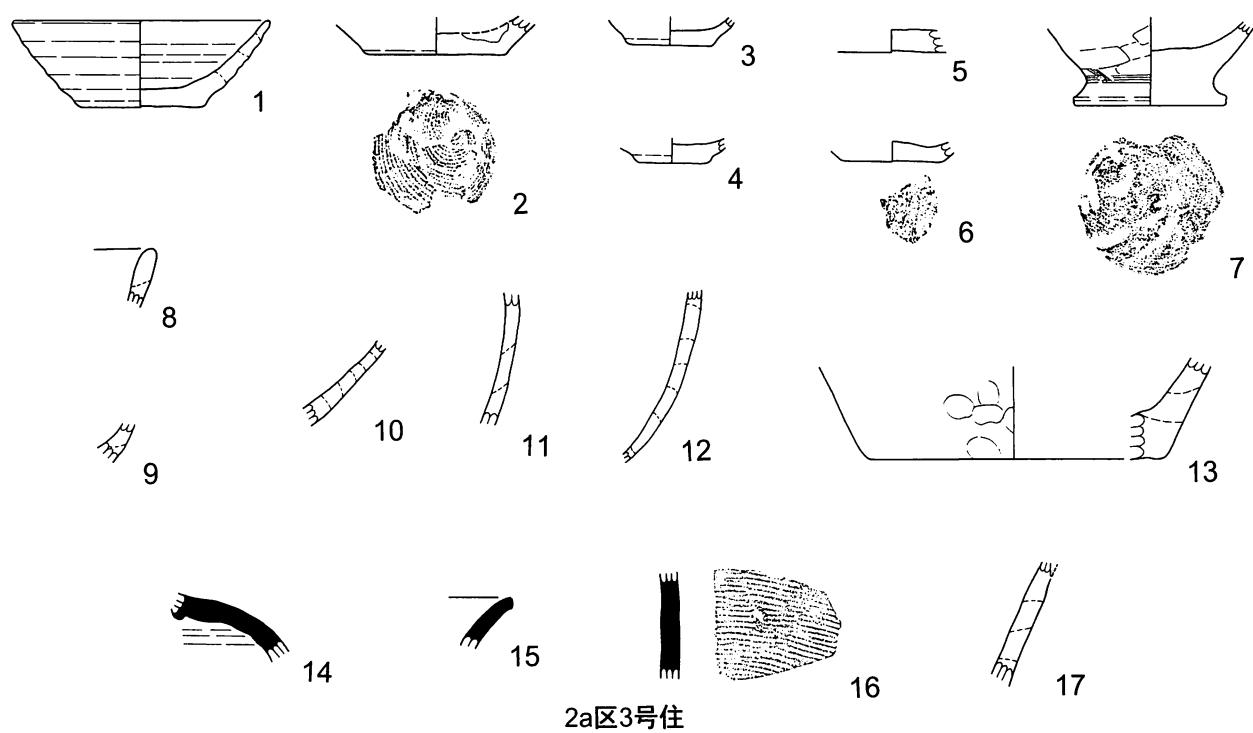
第34図 3区遺構実測図⑬ (1 : 60)



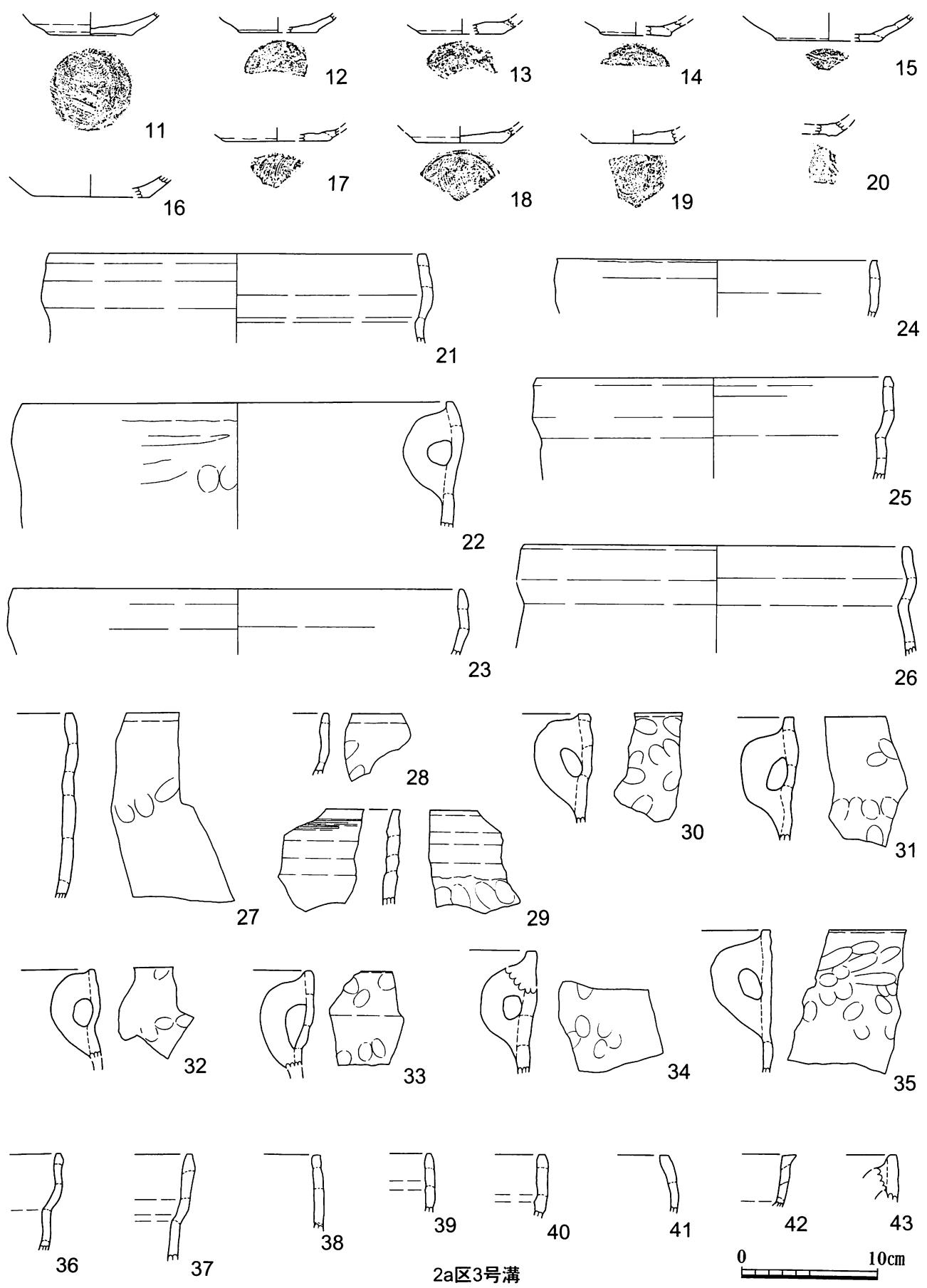
第35図 3区遺構実測図⑭ (1:20)



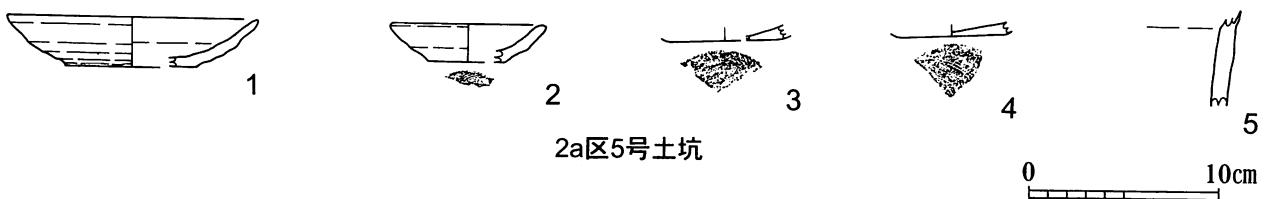
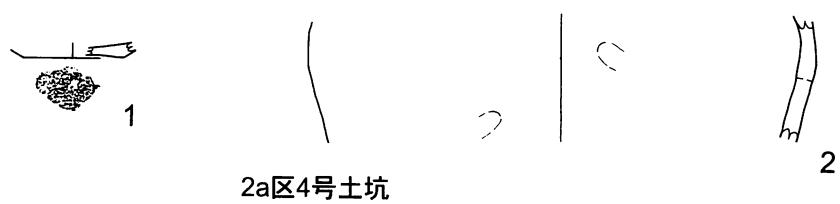
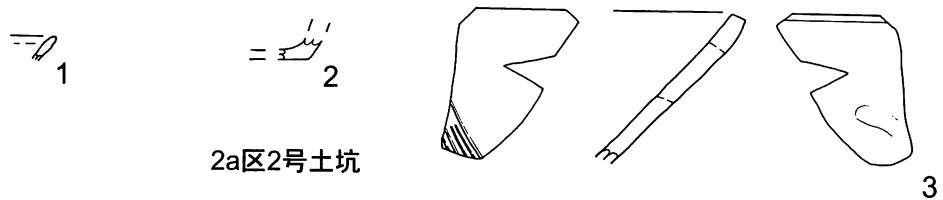
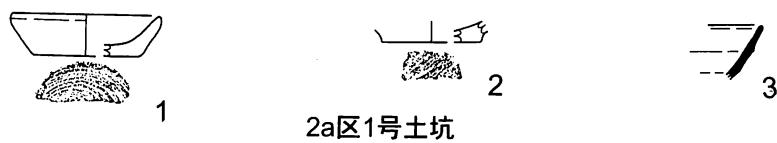
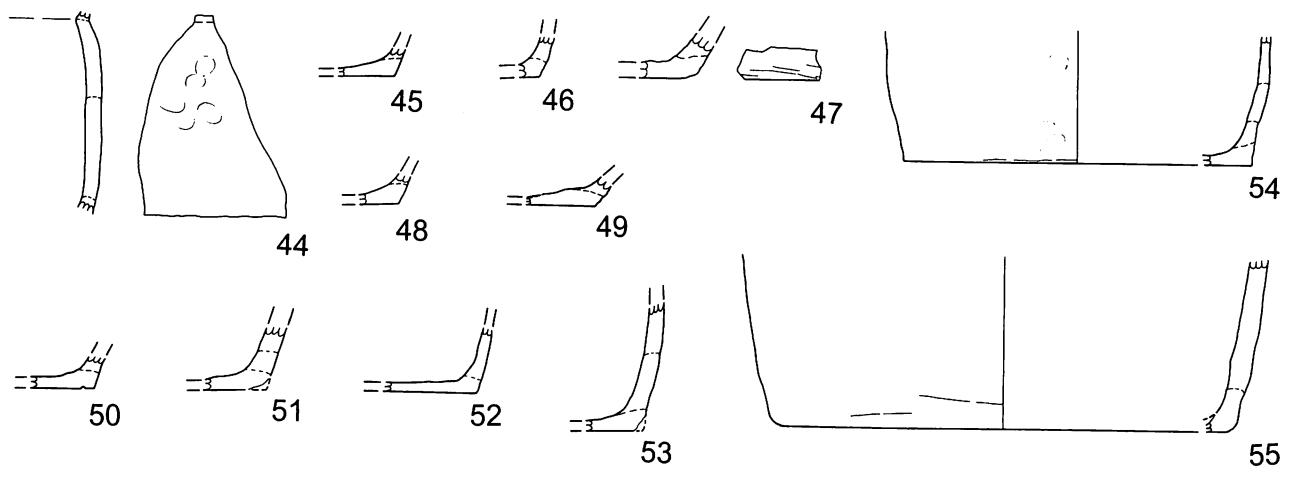
第36図 1区出土土器実測図・2a区出土土器実測図① (1:2・1:4)



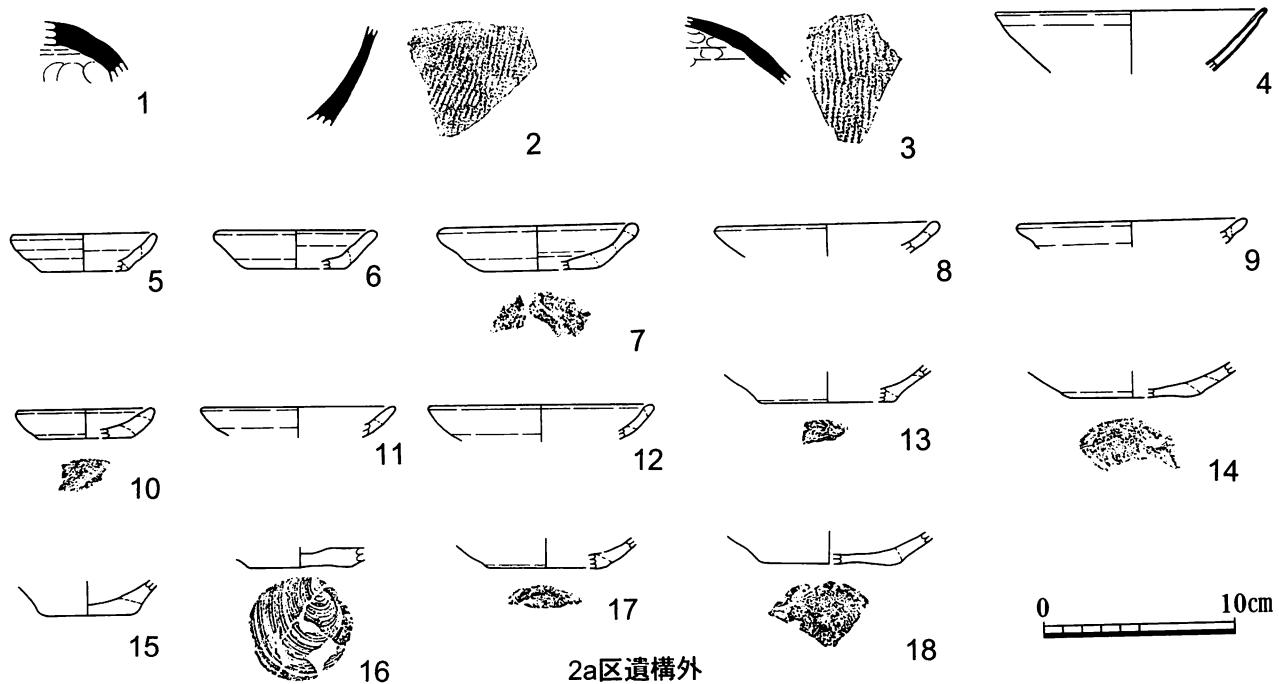
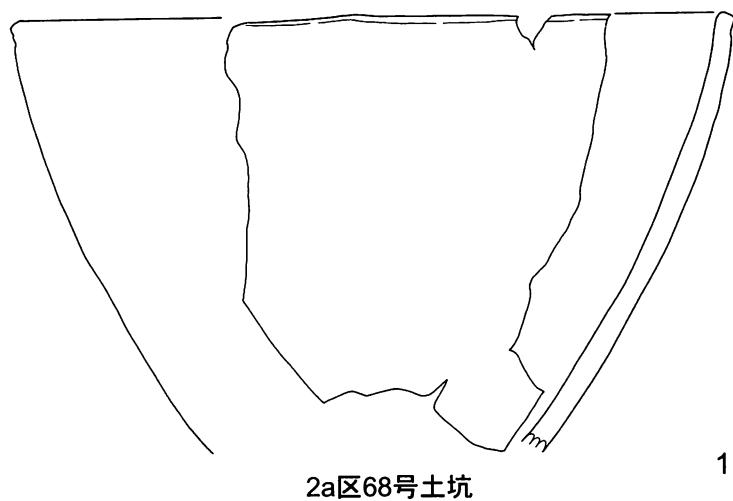
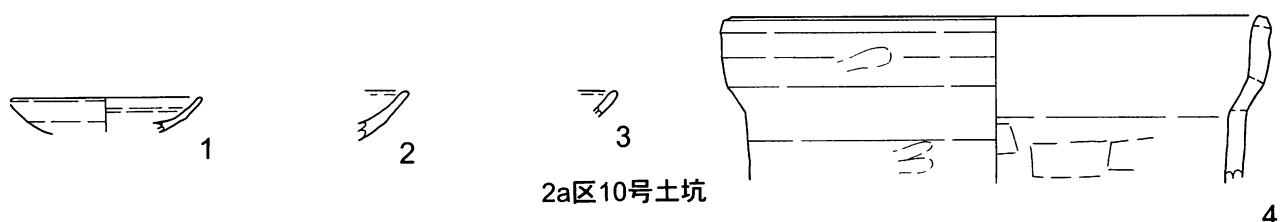
第37図 2 a 区出土土器実測図② (1 : 4)



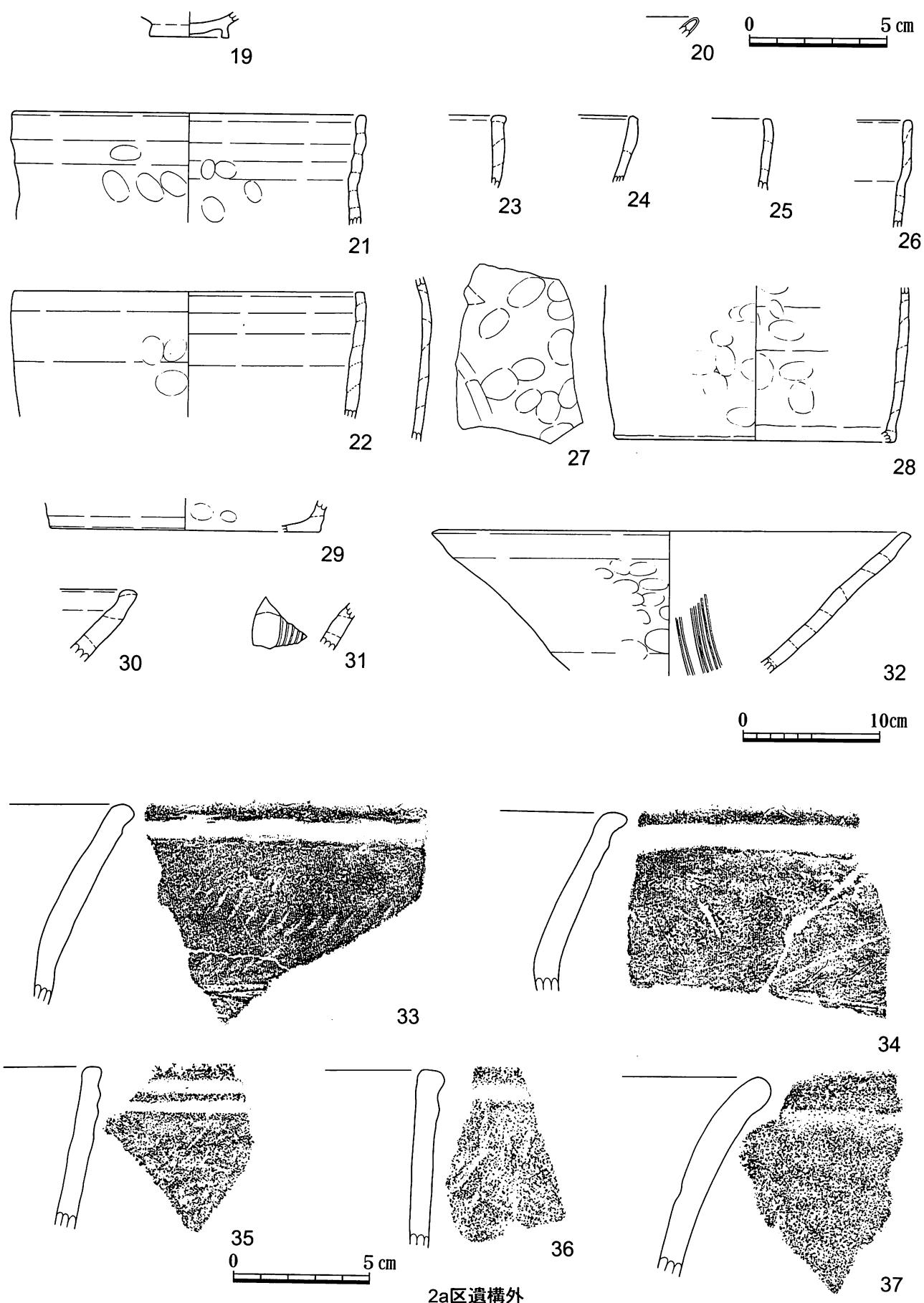
第38図 2 a 区出土土器実測図③ (1 : 4)



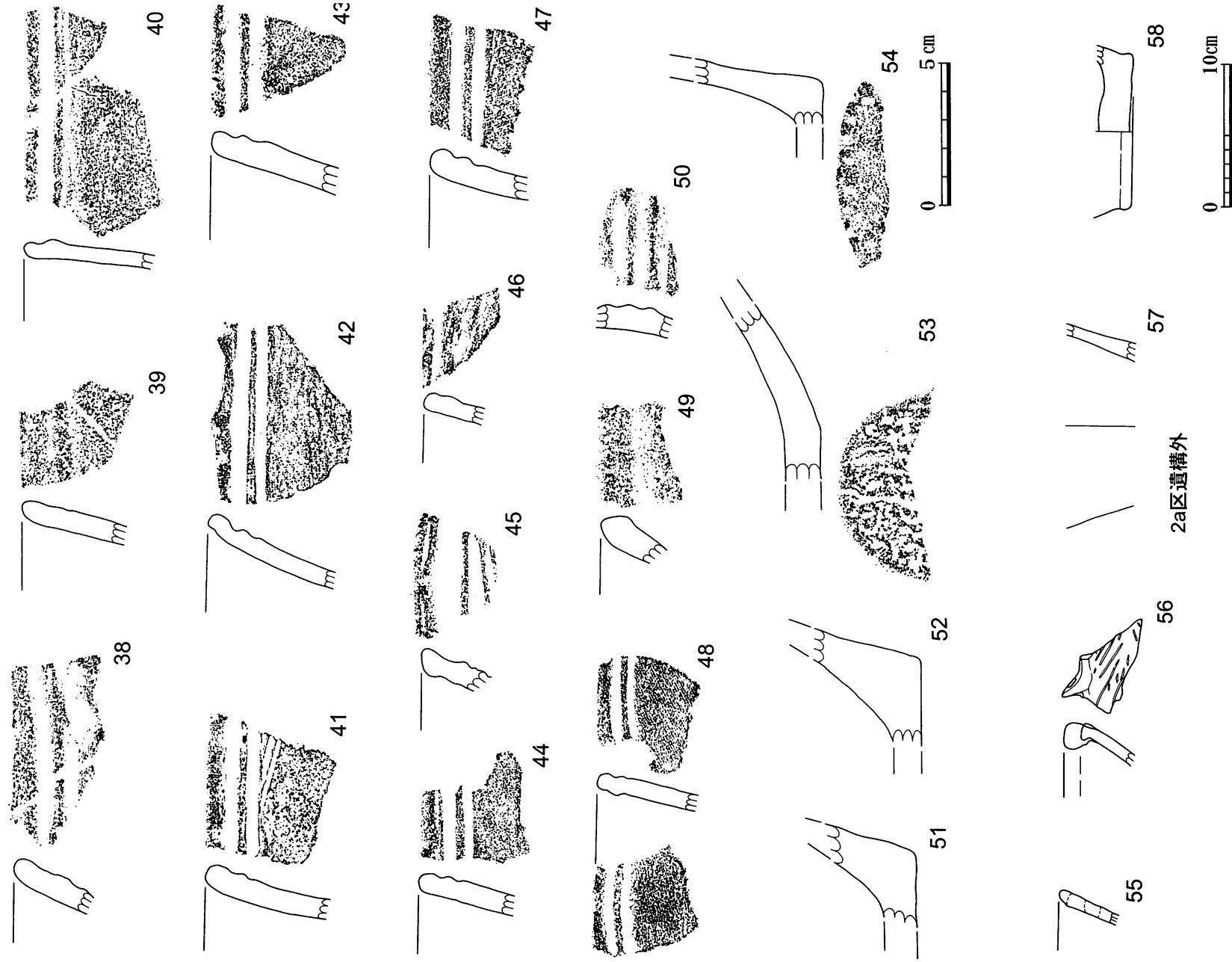
第39図 2 a 区出土土器実測図④ (1 : 4)



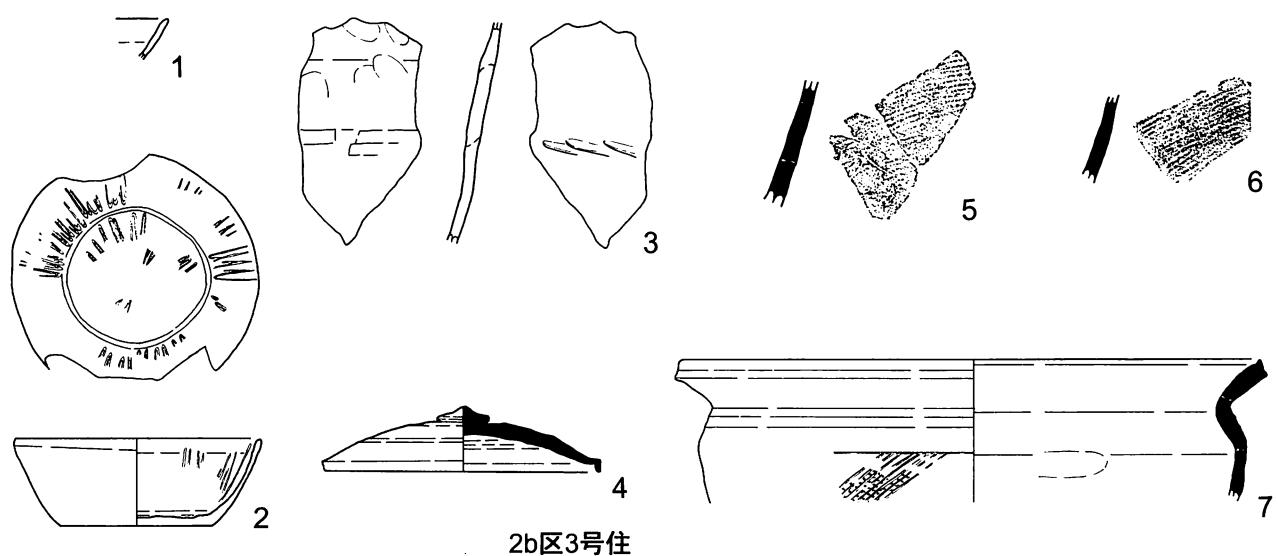
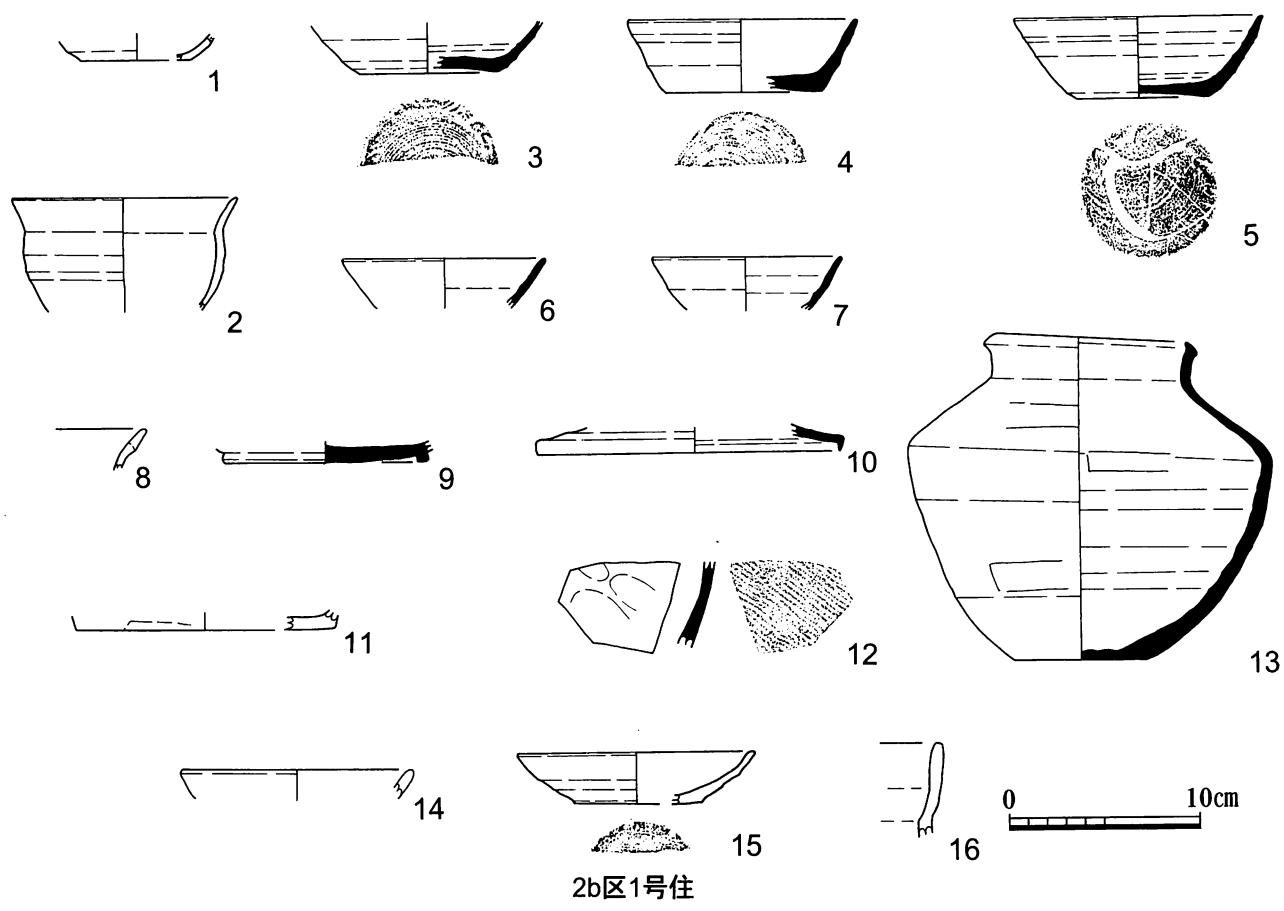
第40図 2a区出土土器実測図⑤ (1:4)



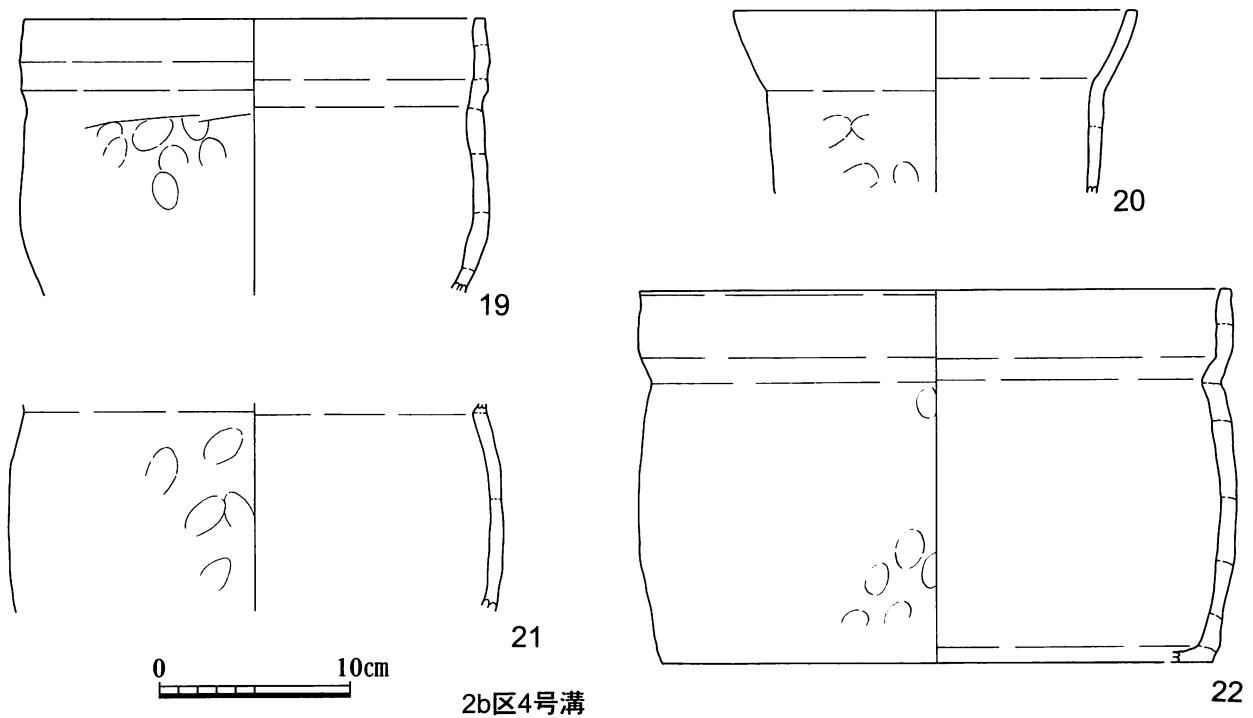
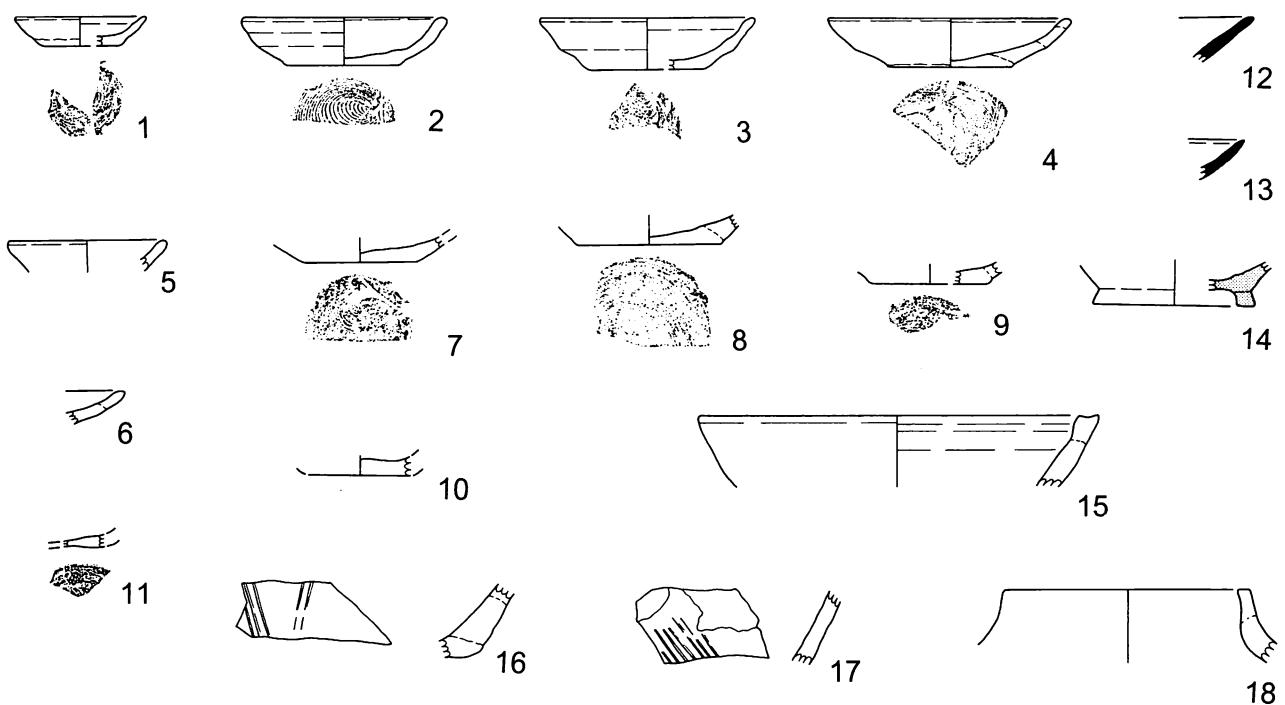
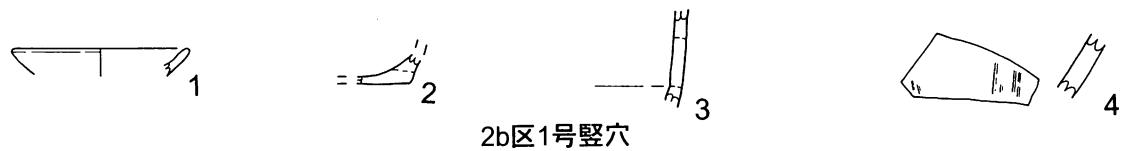
第41図 2 a 区出土土器実測図⑥ (1:2・1:4)



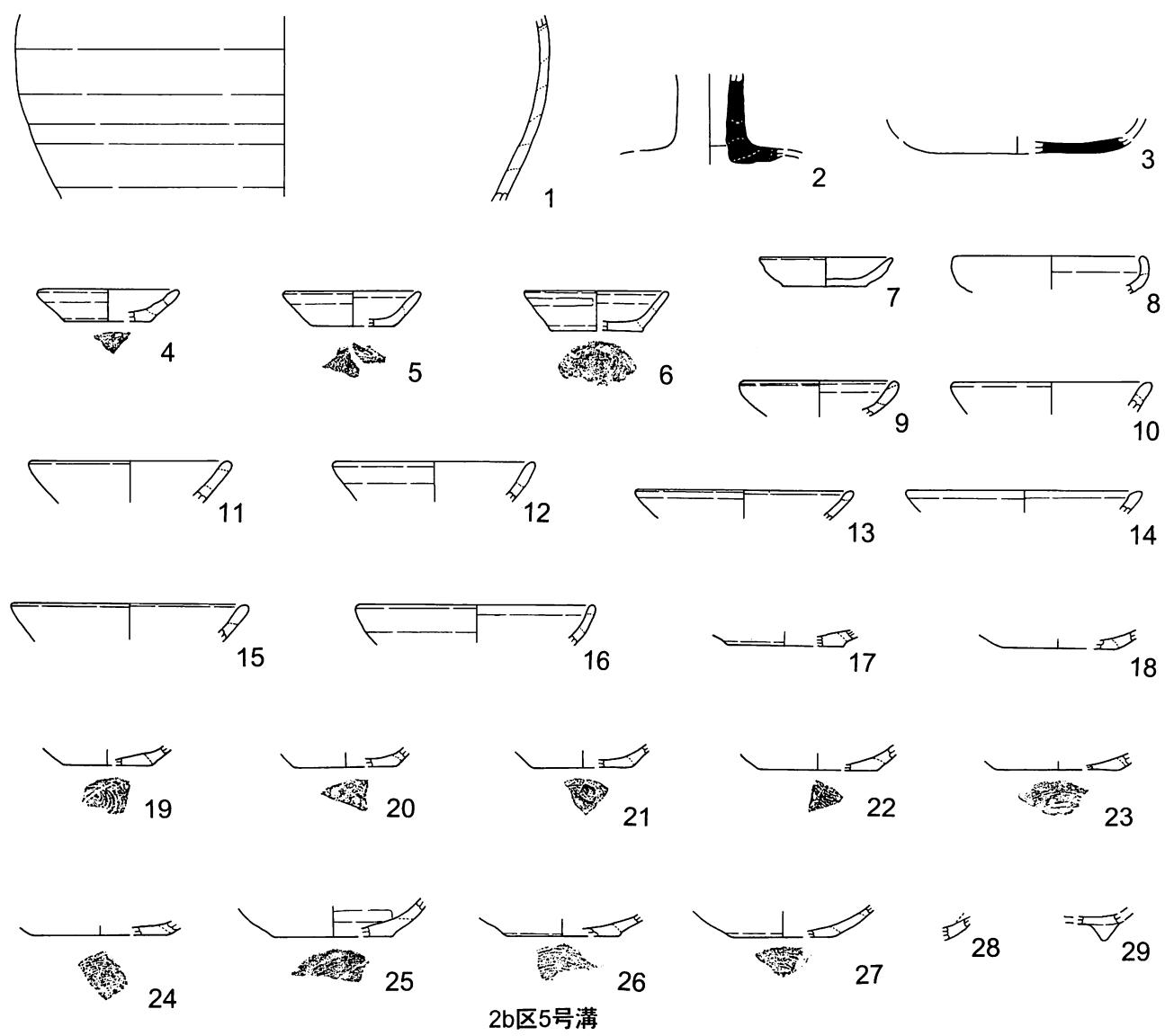
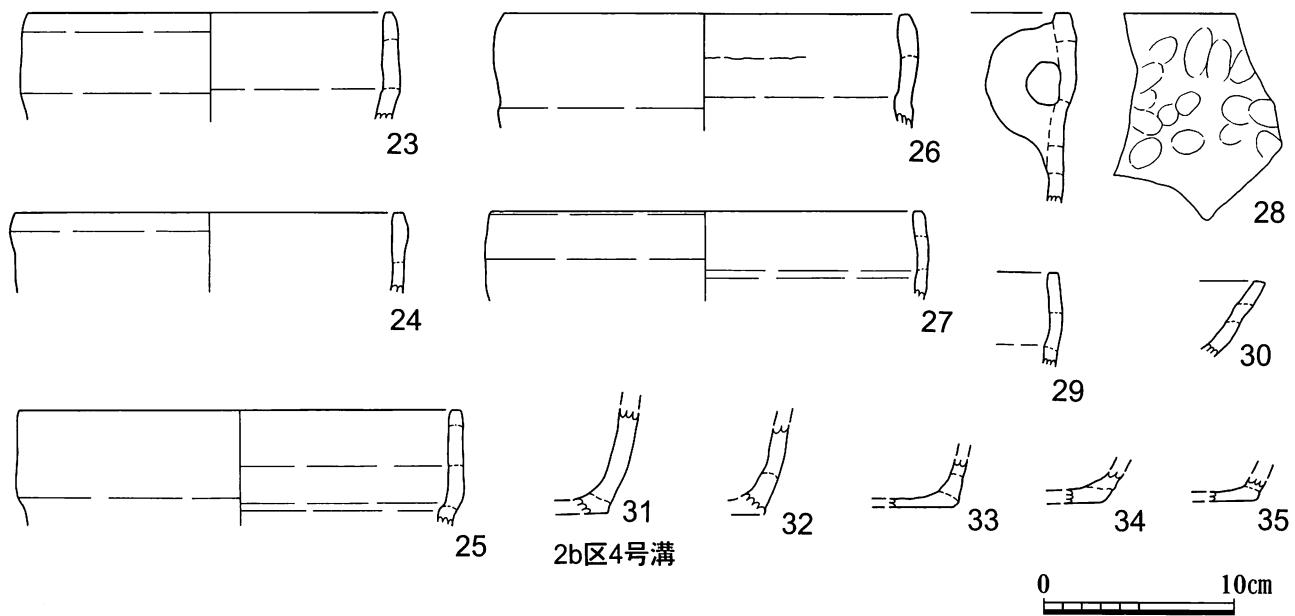
第42図 2a区出土土器実測図⑦ (1:2・1:4)



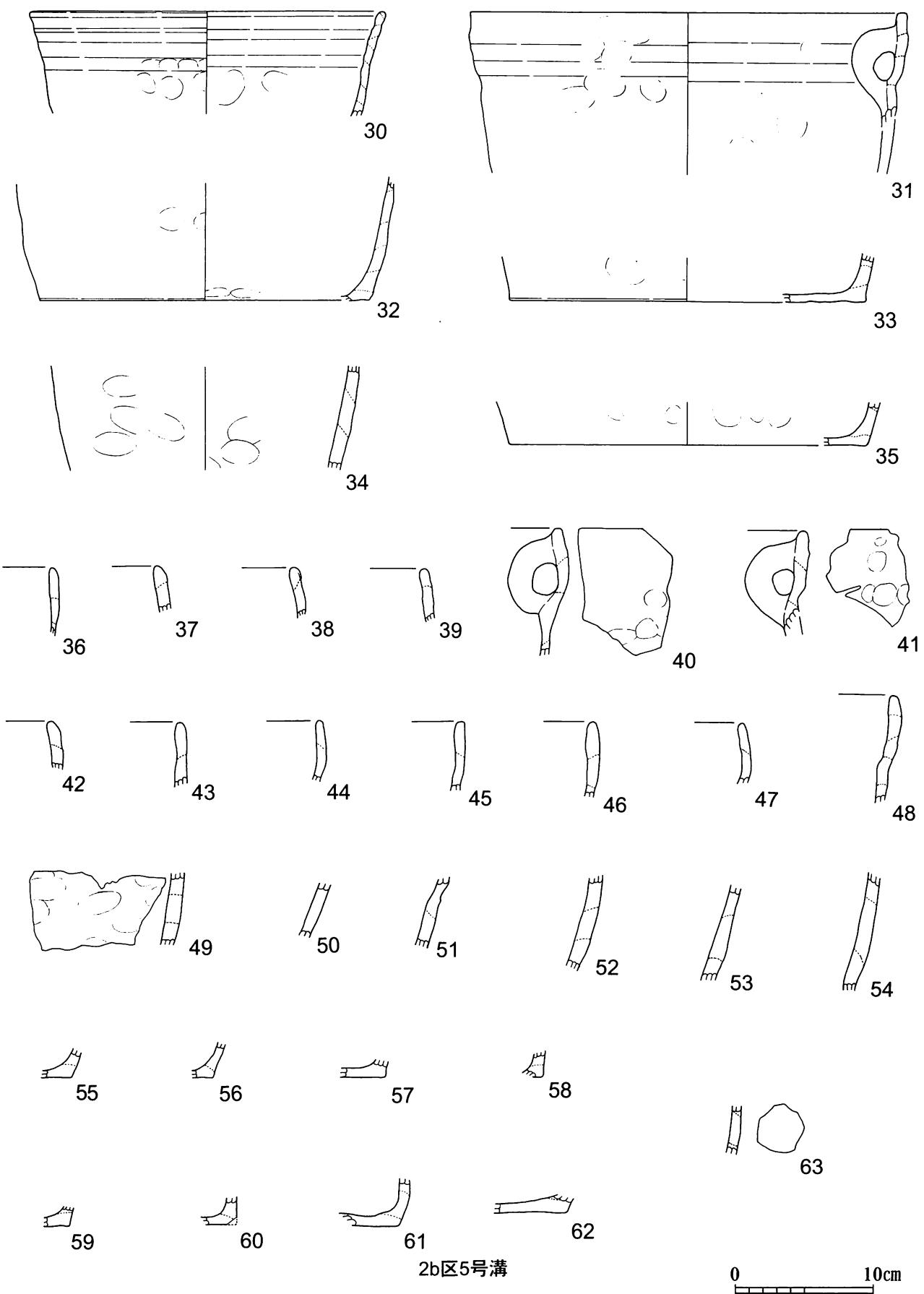
第43図 2 b 区出土土器実測図① (1 : 4)



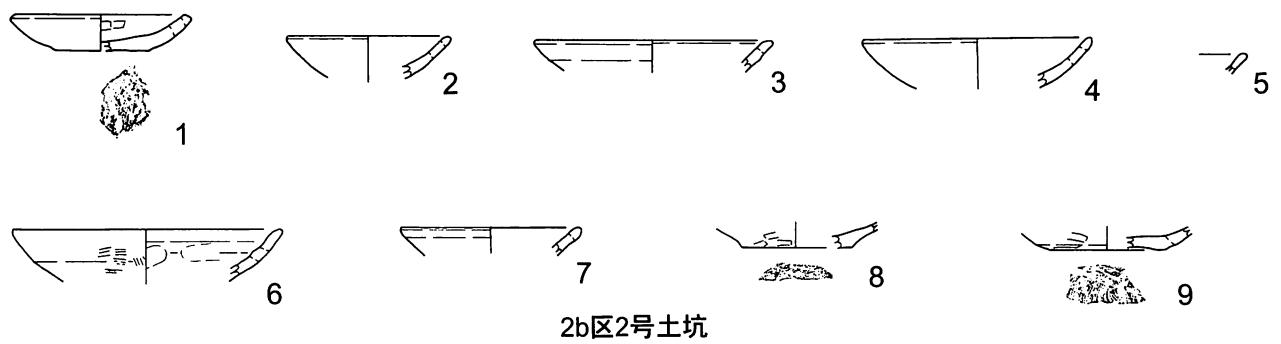
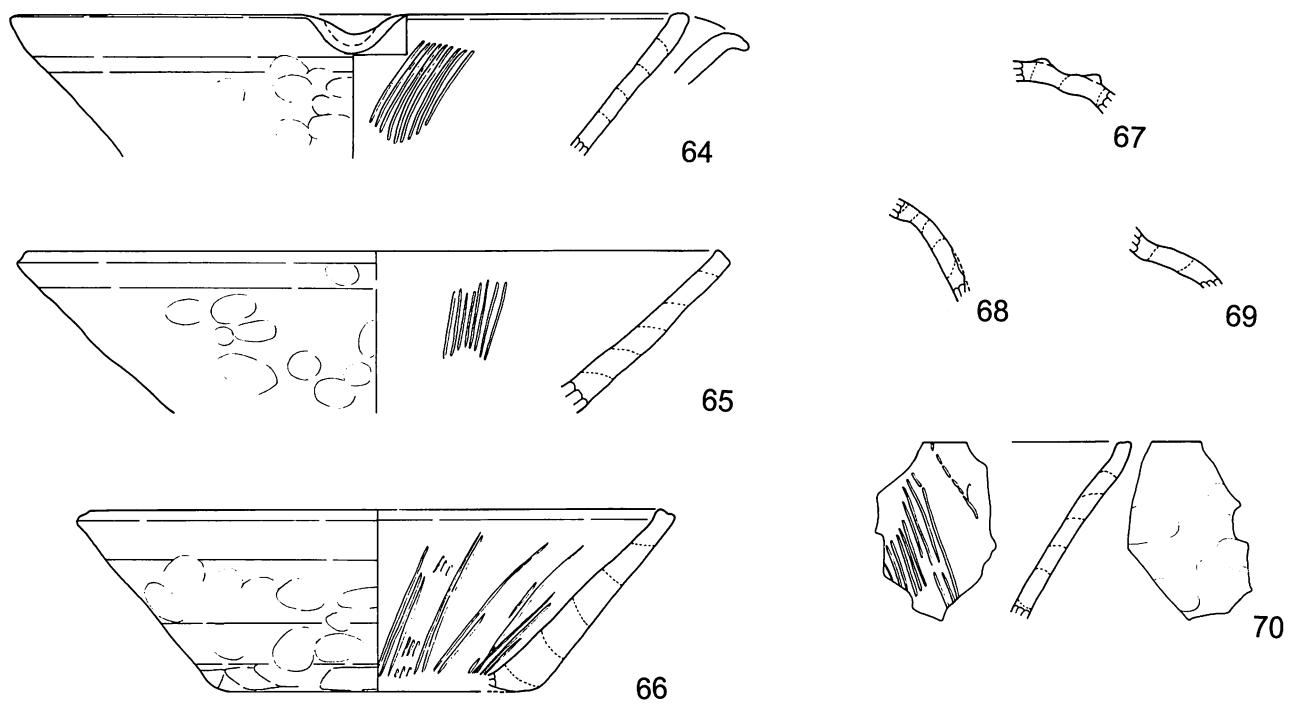
第44図 2 b 区出土土器実測図② (1 : 4)



第45図 2 b 区出土土器実測図③ (1 : 4)

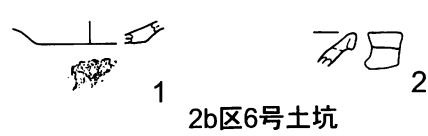
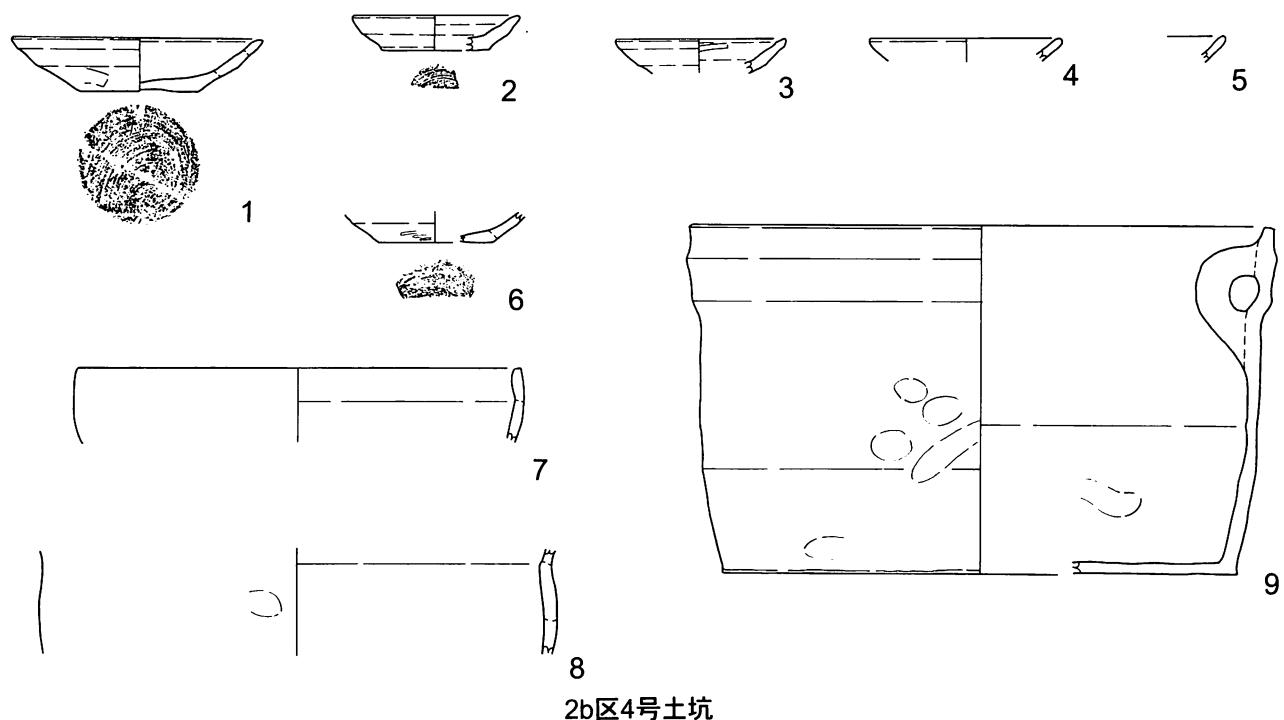
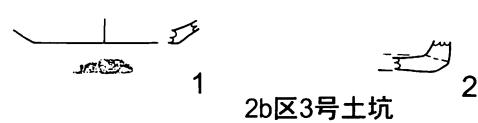
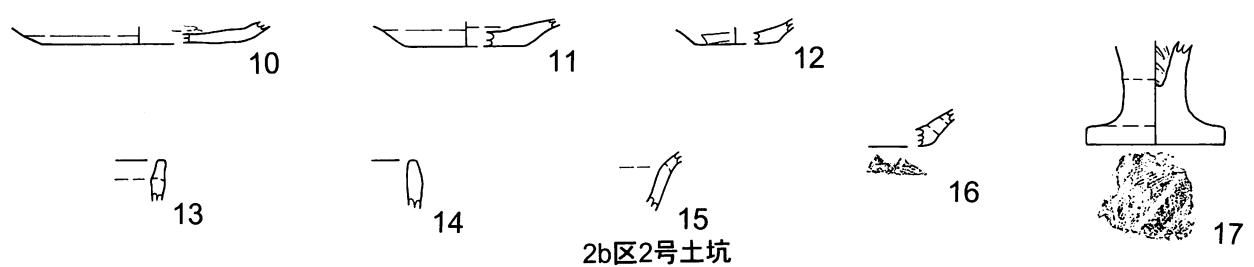


第46図 2 b 区出土土器実測図④ (1 : 4)



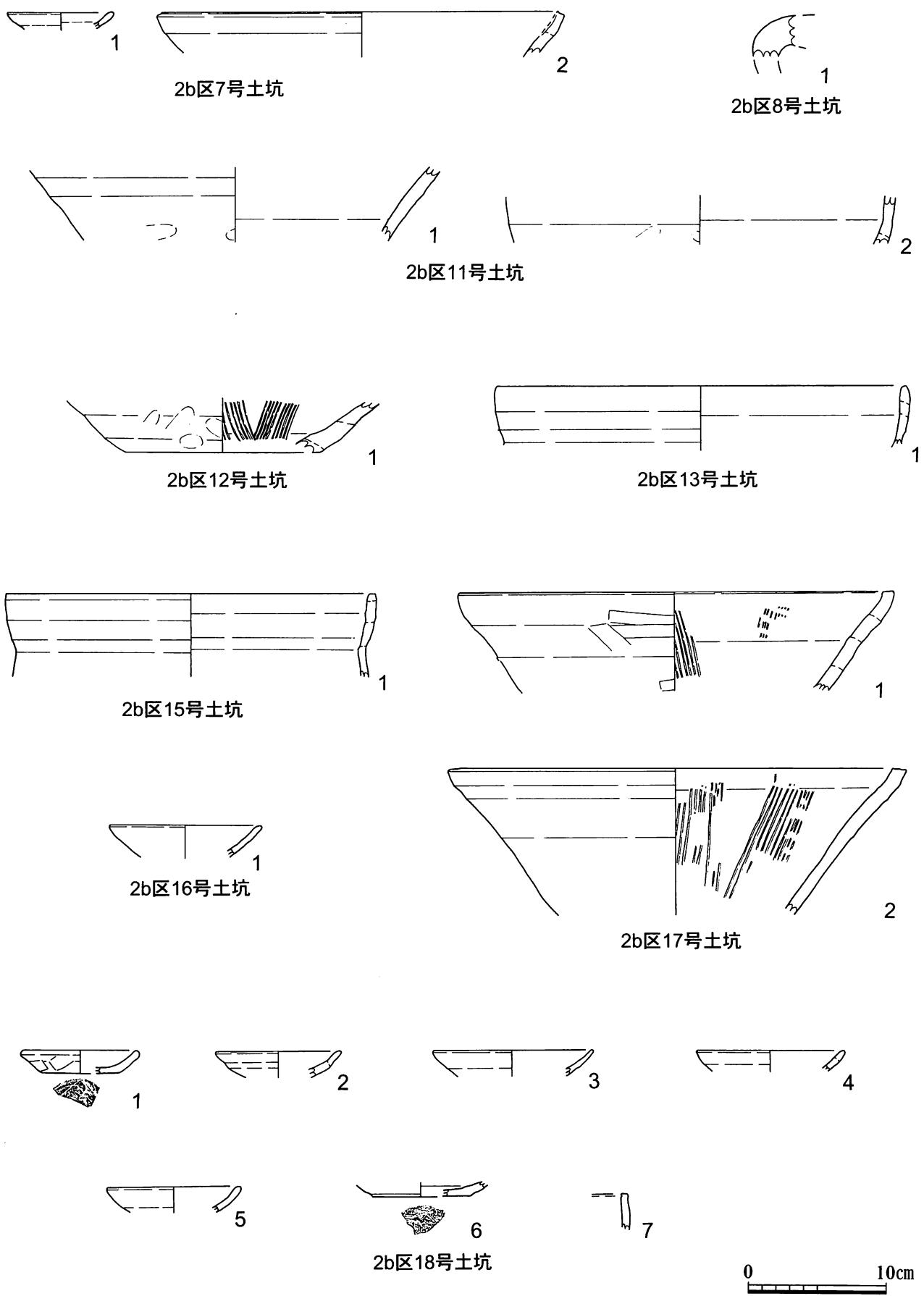
0 10cm

第47図 2 b 区出土土器実測図⑤ (1 : 4)

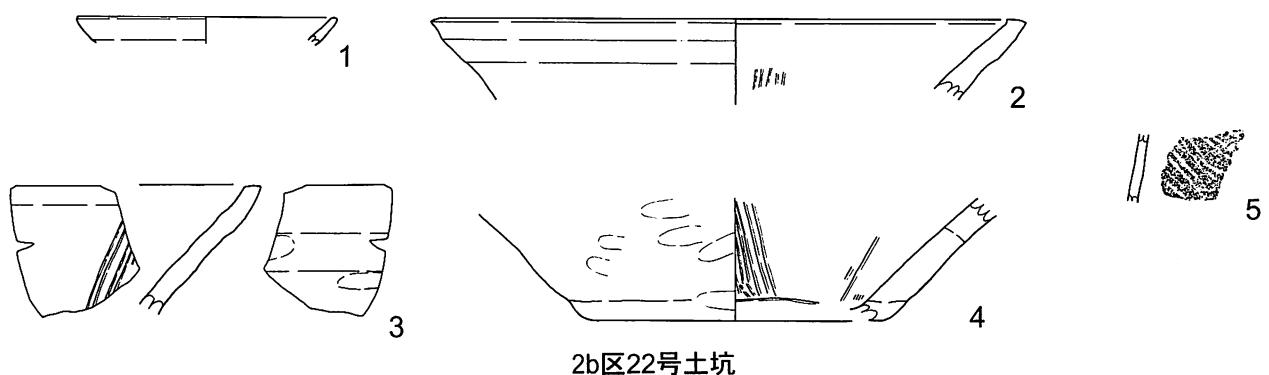
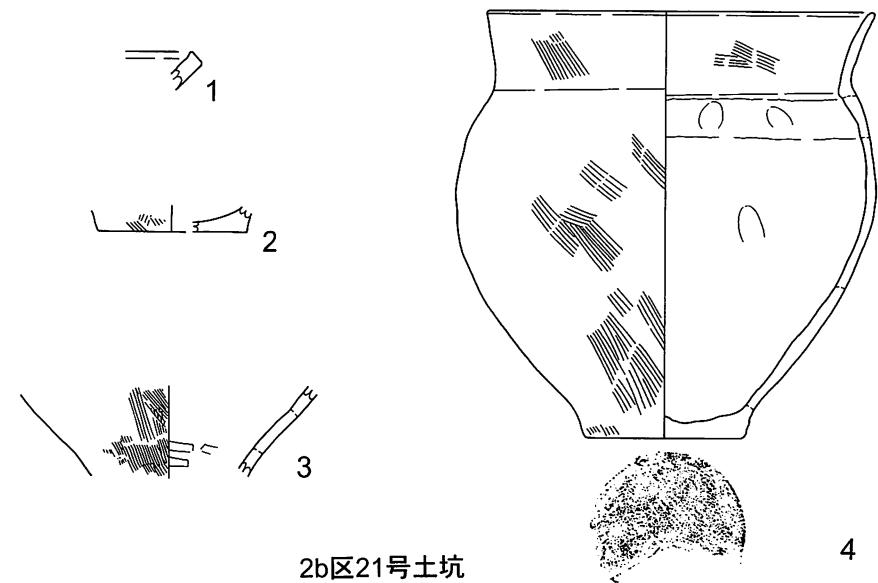
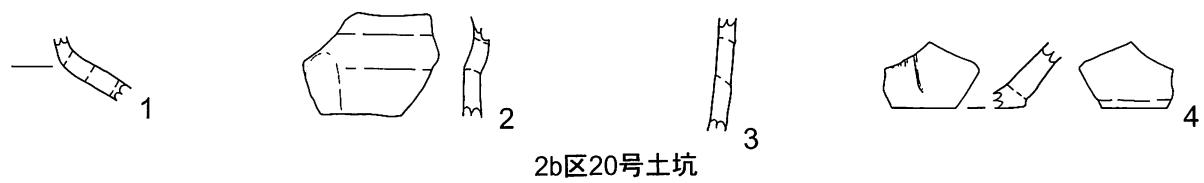


0 10cm

第48図 2 b 区出土土器実測図⑥ (1 : 4)



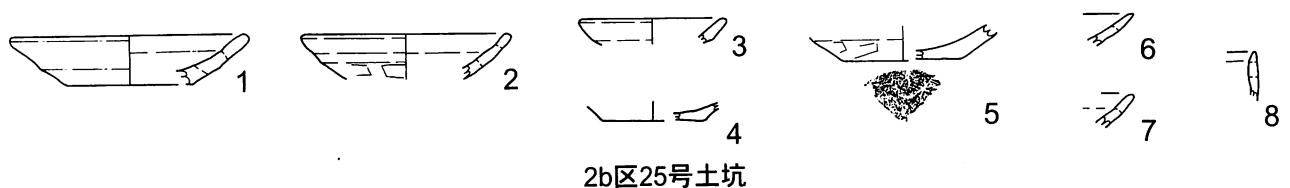
第49図 2 b 区出土土器実測図⑦ (1 : 4)



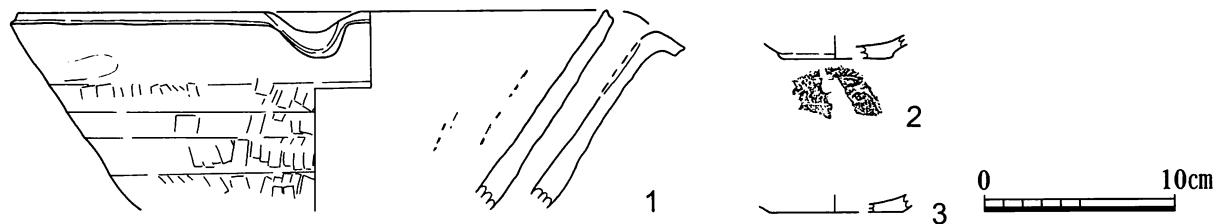
第50図 2 b 区出土土器実測図⑧ (1 : 4)



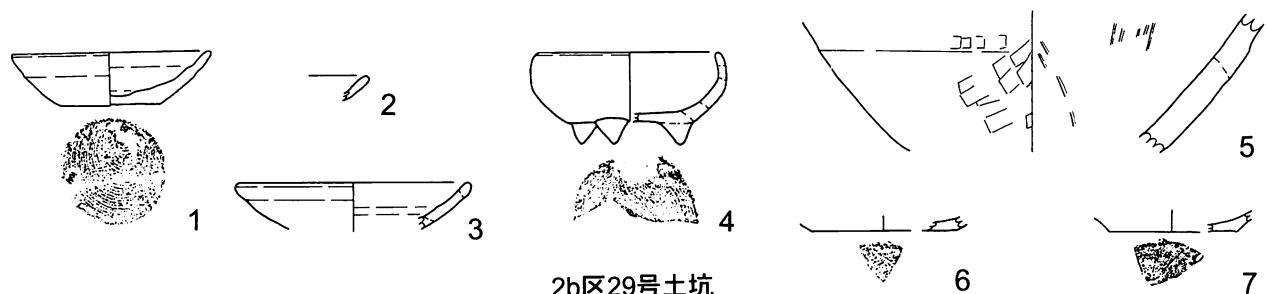
2b区24号土坑



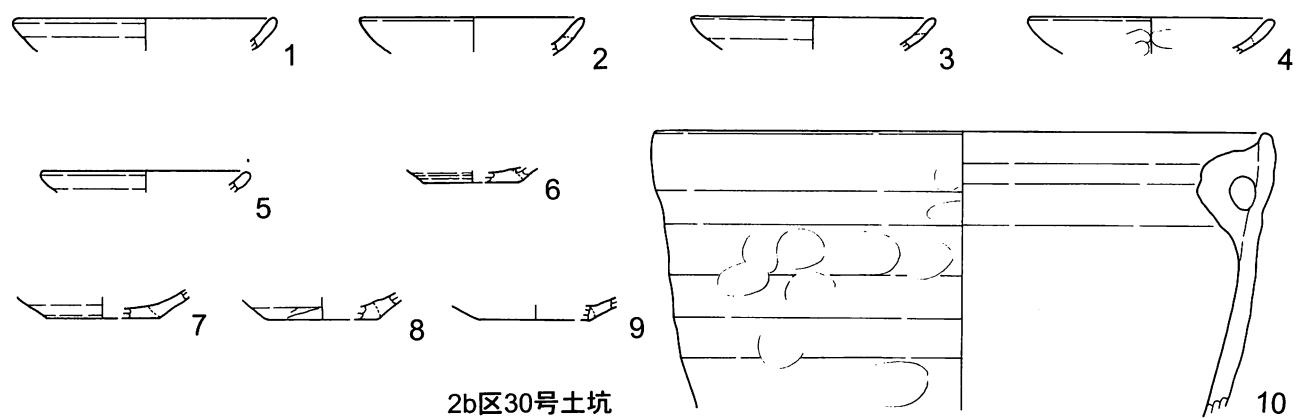
2b区25号土坑



2b区26号土坑

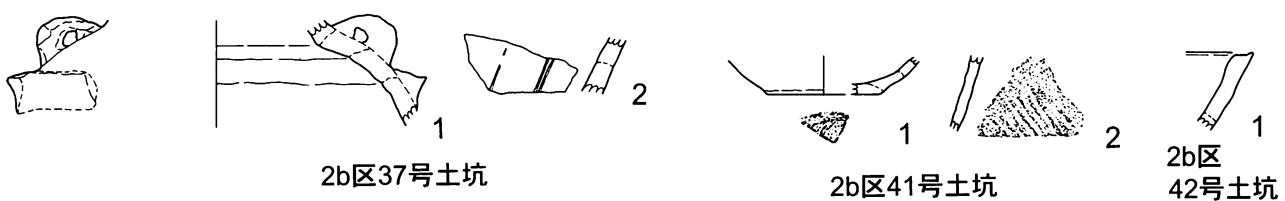
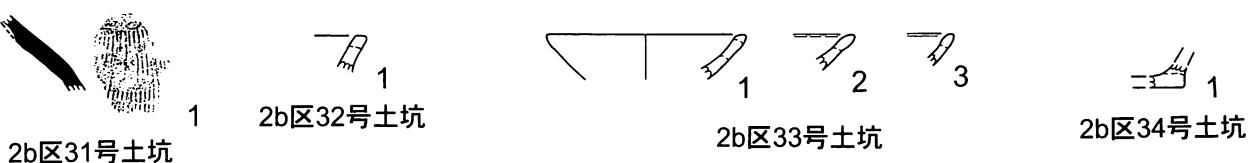
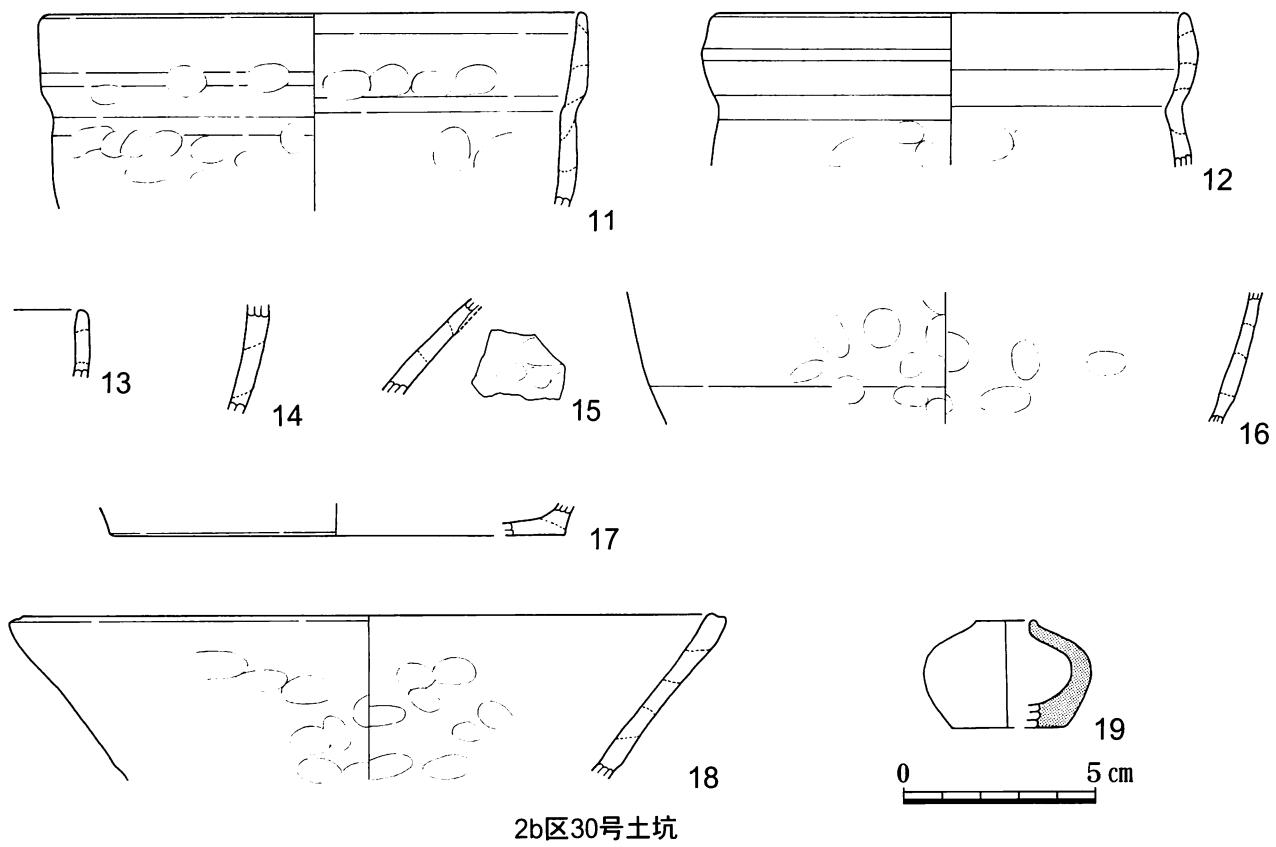


2b区29号土坑

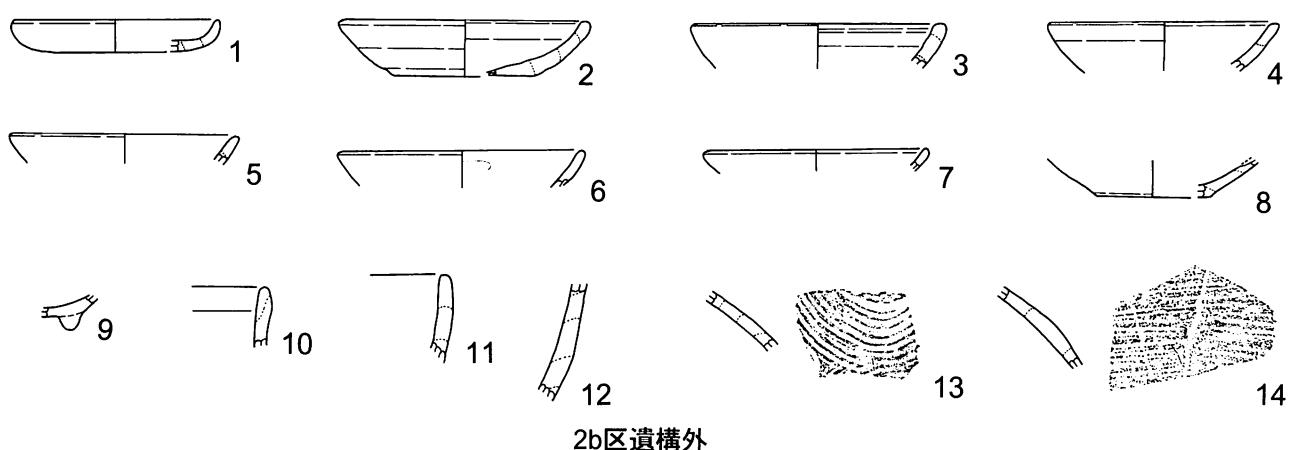


2b区30号土坑

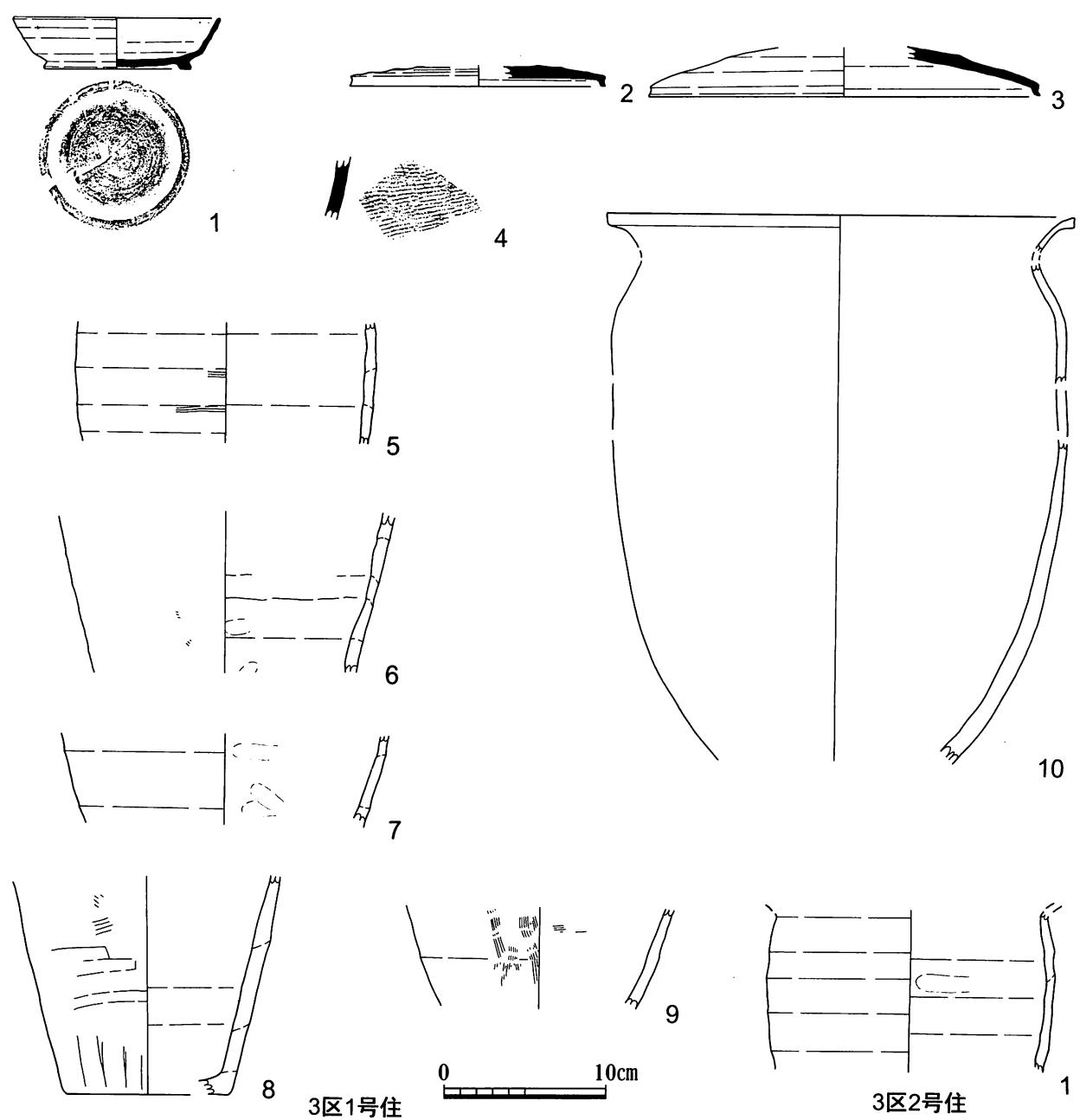
第51図 2 b 区出土土器実測図⑨ (1 : 4)



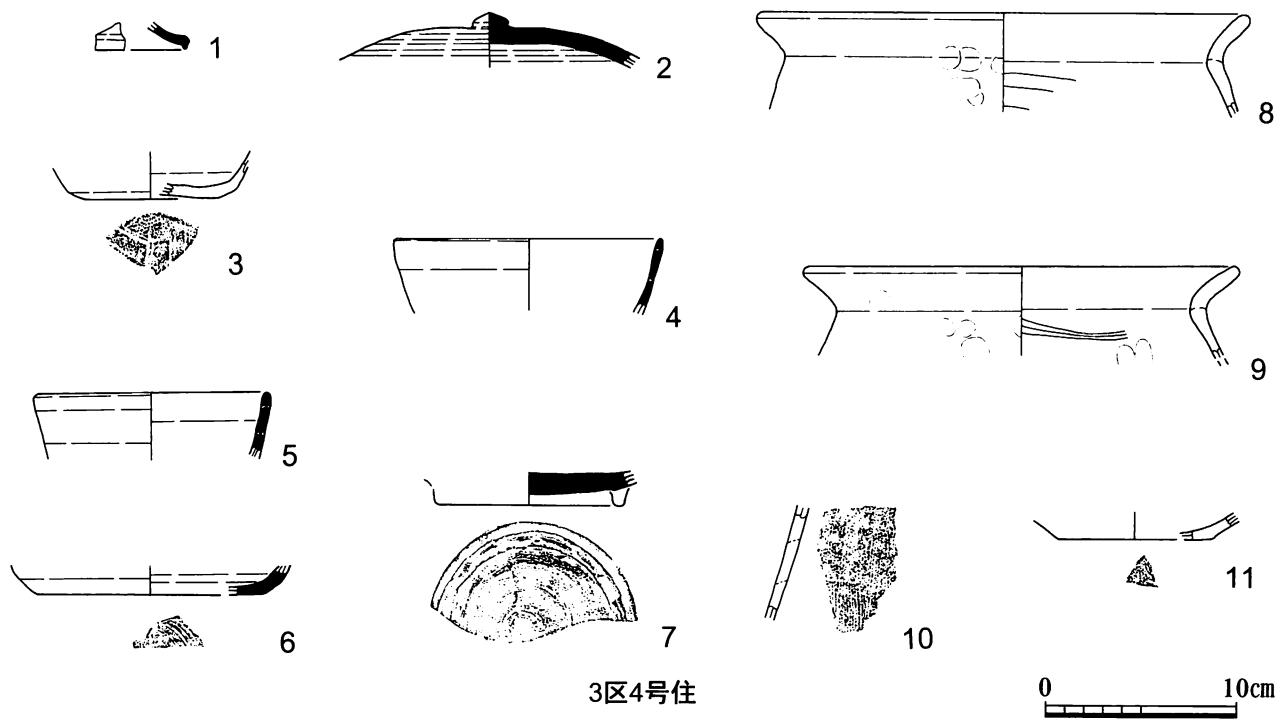
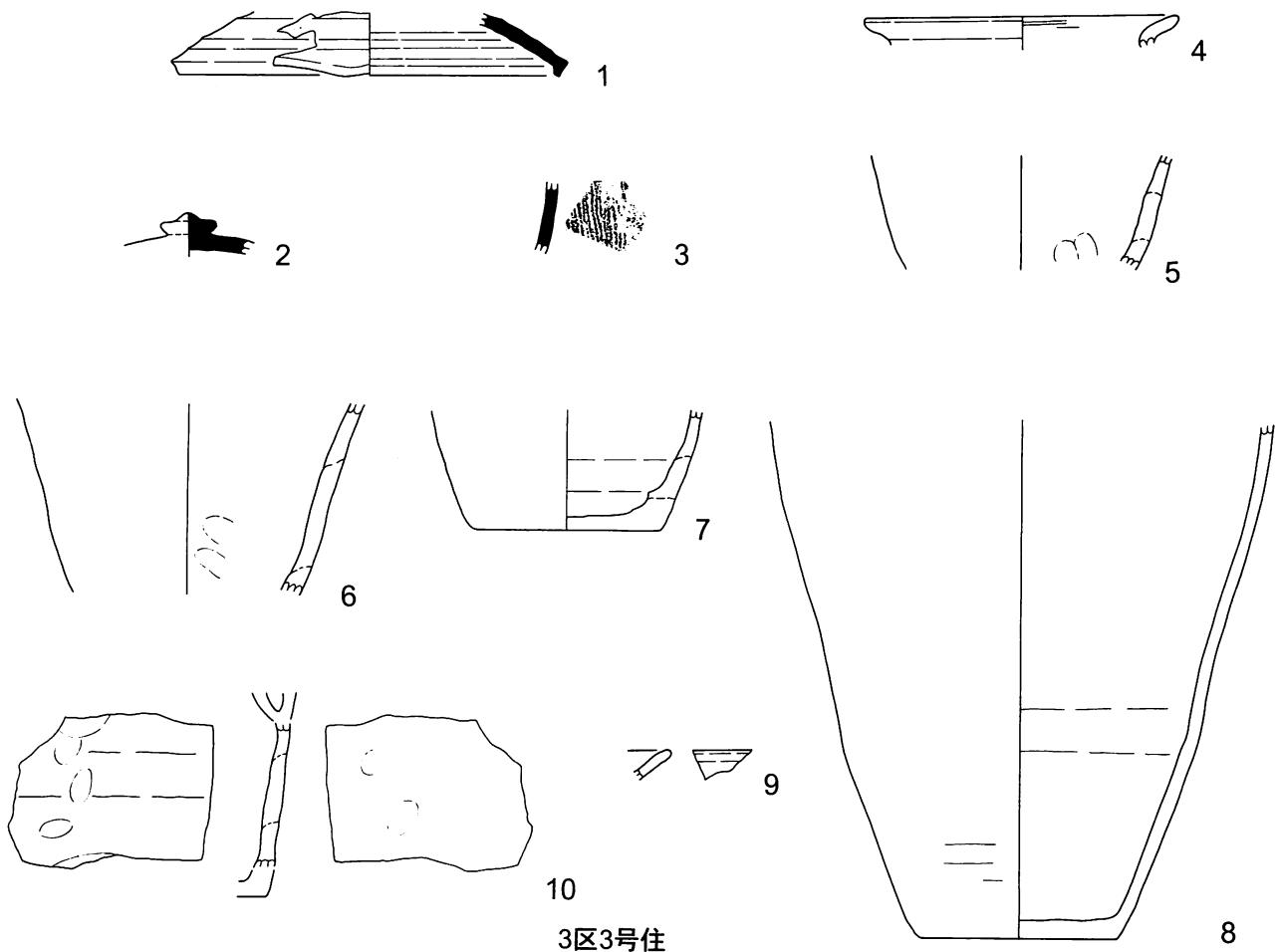
第52図 2 b 区出土土器実測図⑩ (1 : 4)



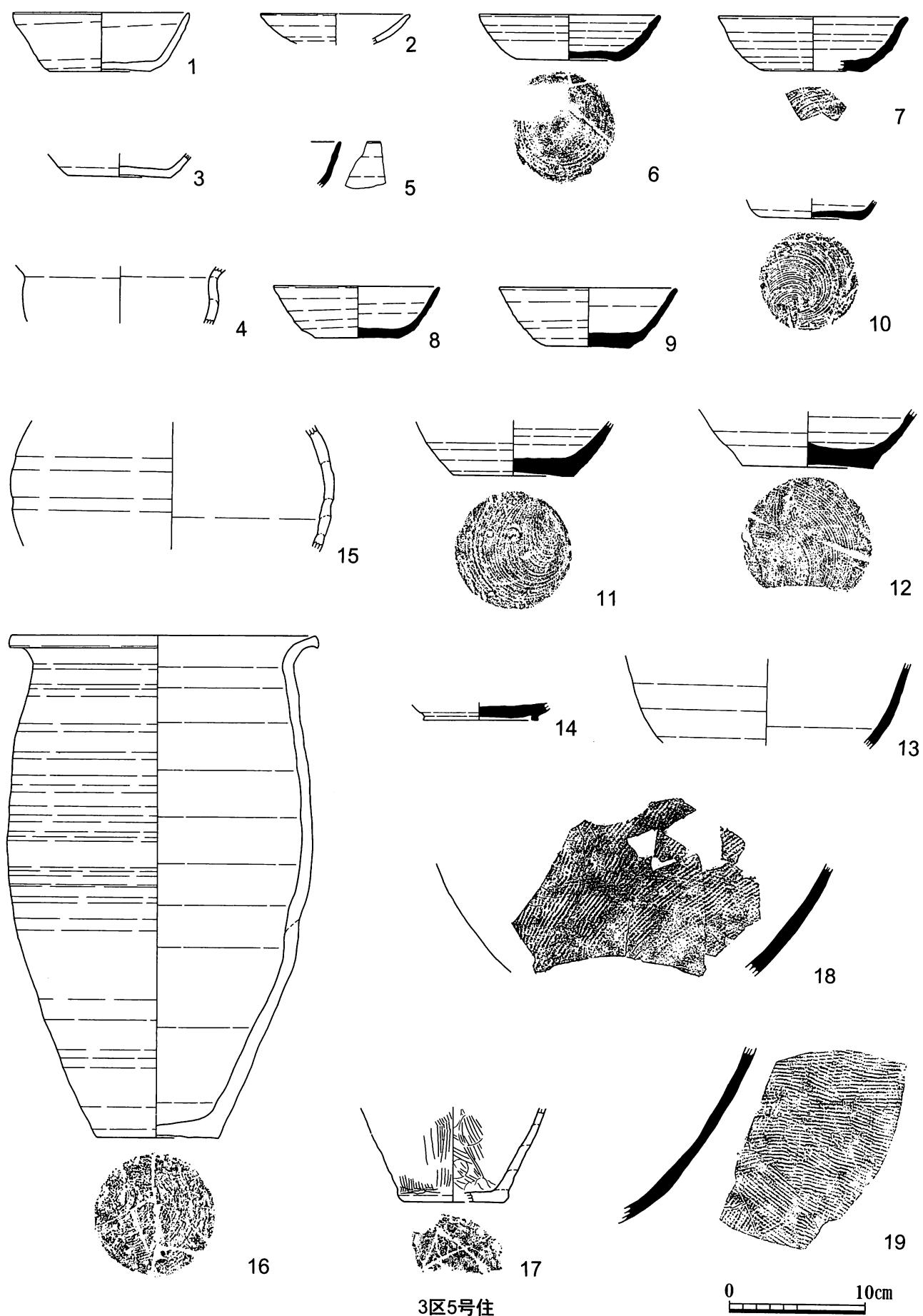
2b区遺構外



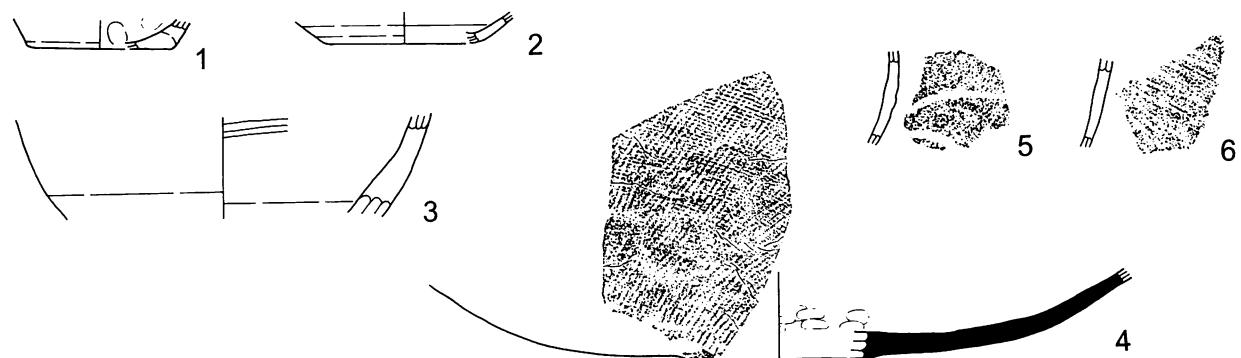
第53図 2 b 区出土土器実測図①・3 区出土土器実測図① (1 : 4)



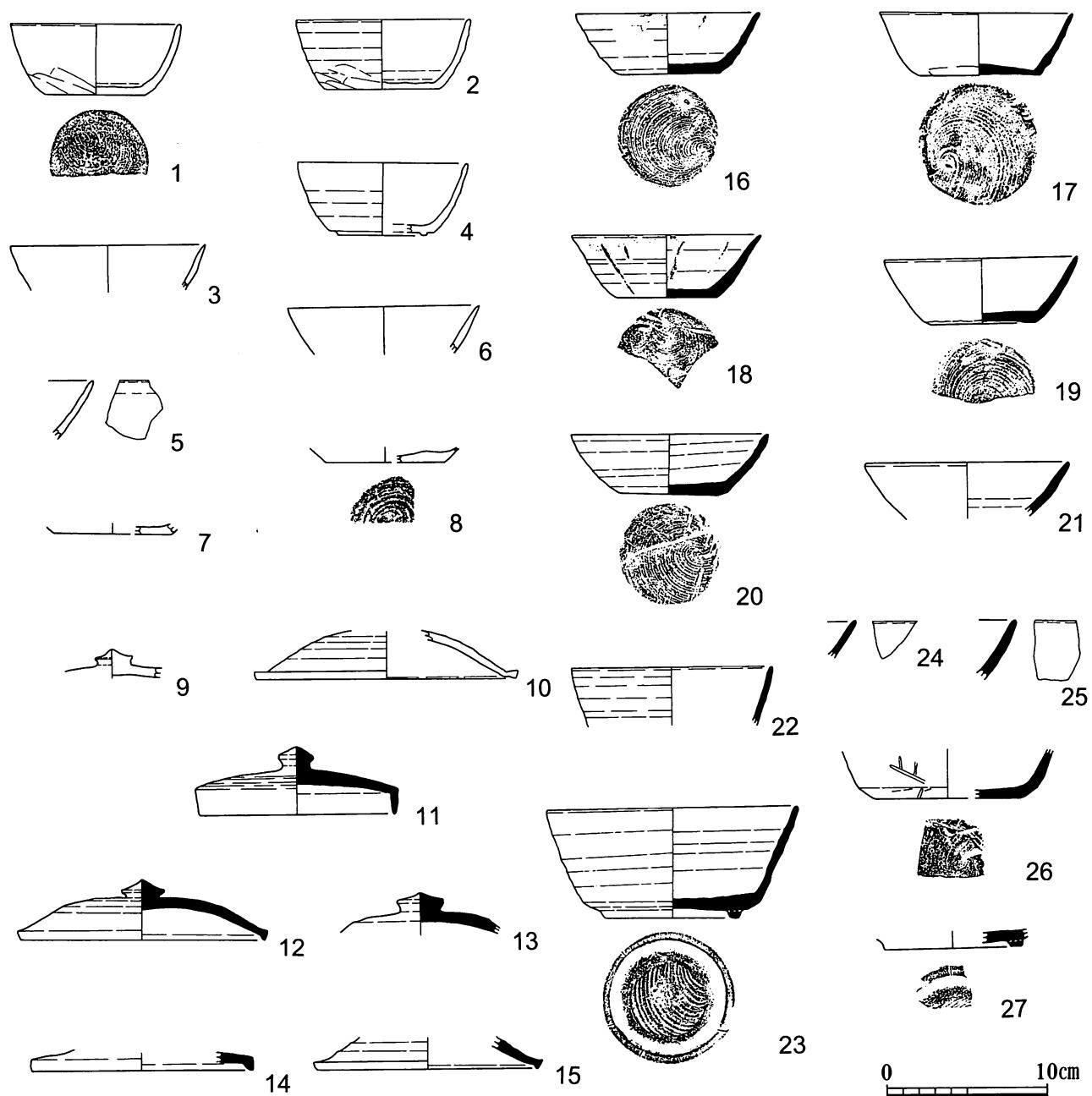
第54図 3区出土土器実測図② (1:4)



第55図 3区出土土器実測図③ (1:4)

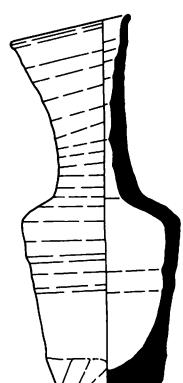


3区6号住

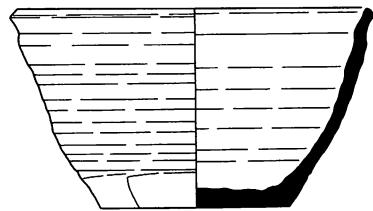


3区7号住

第56図 3区出土土器実測図④ (1:4)



28



29



30



31



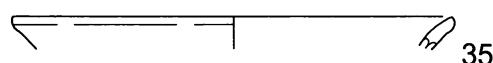
32



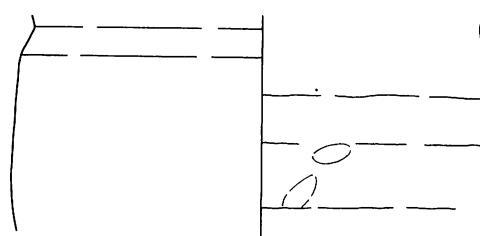
33



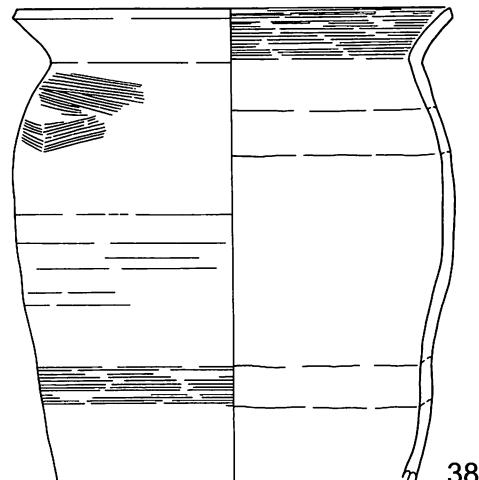
34



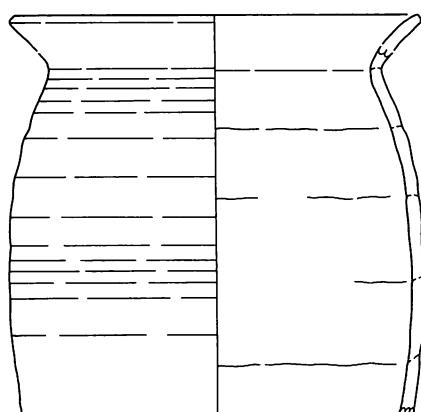
35



36



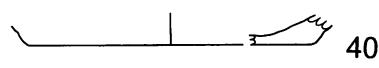
38



37



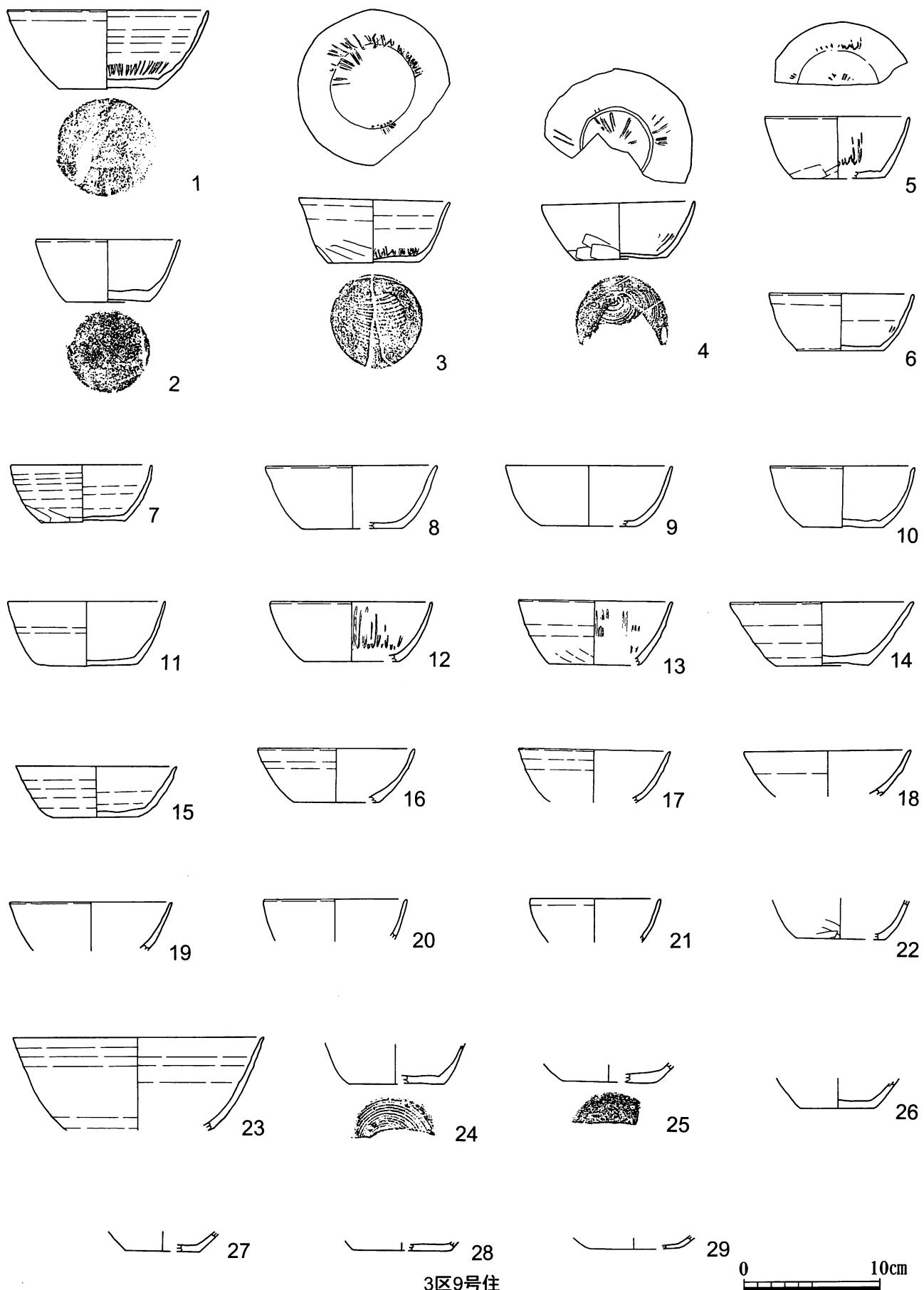
39



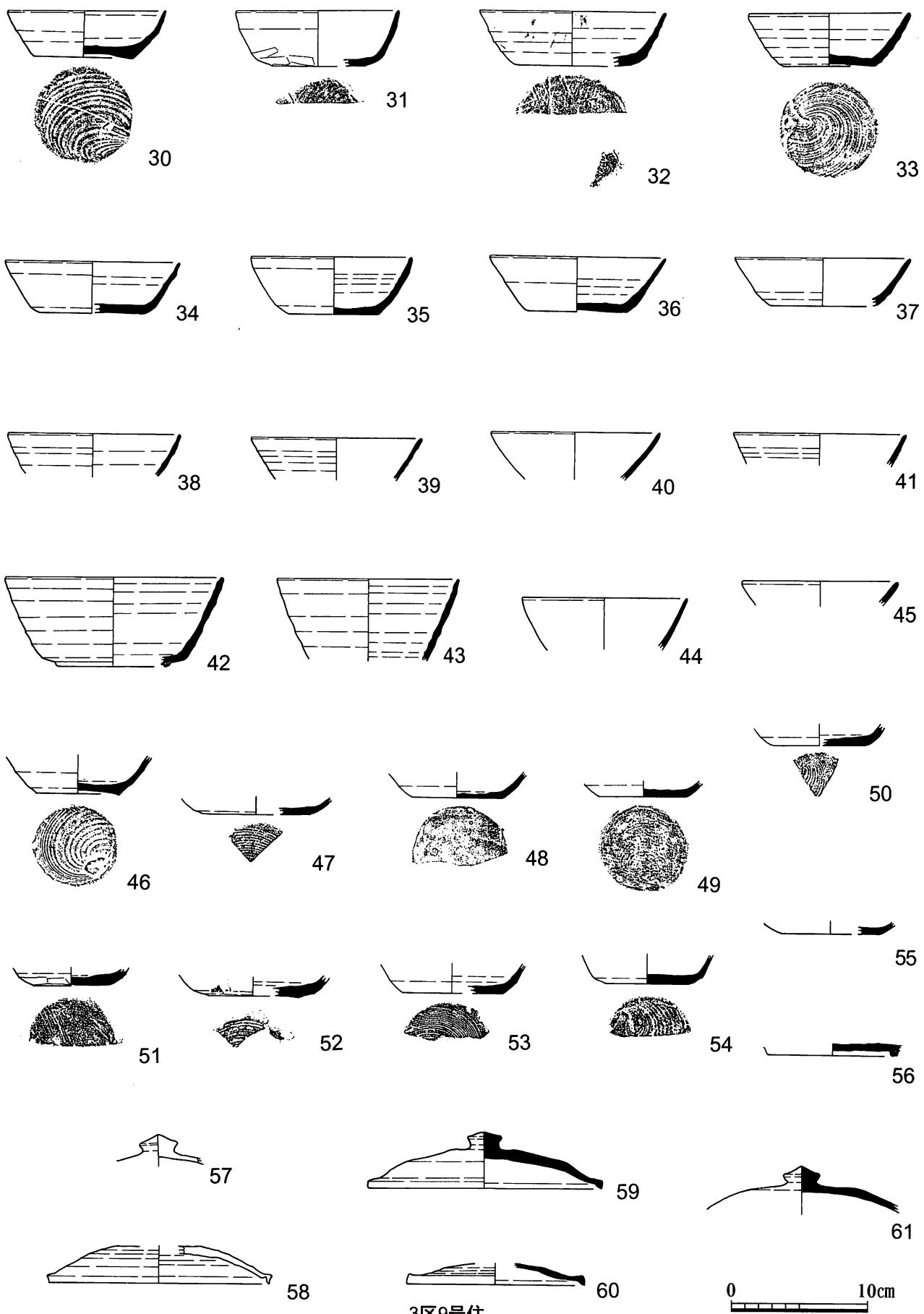
40

0 10cm

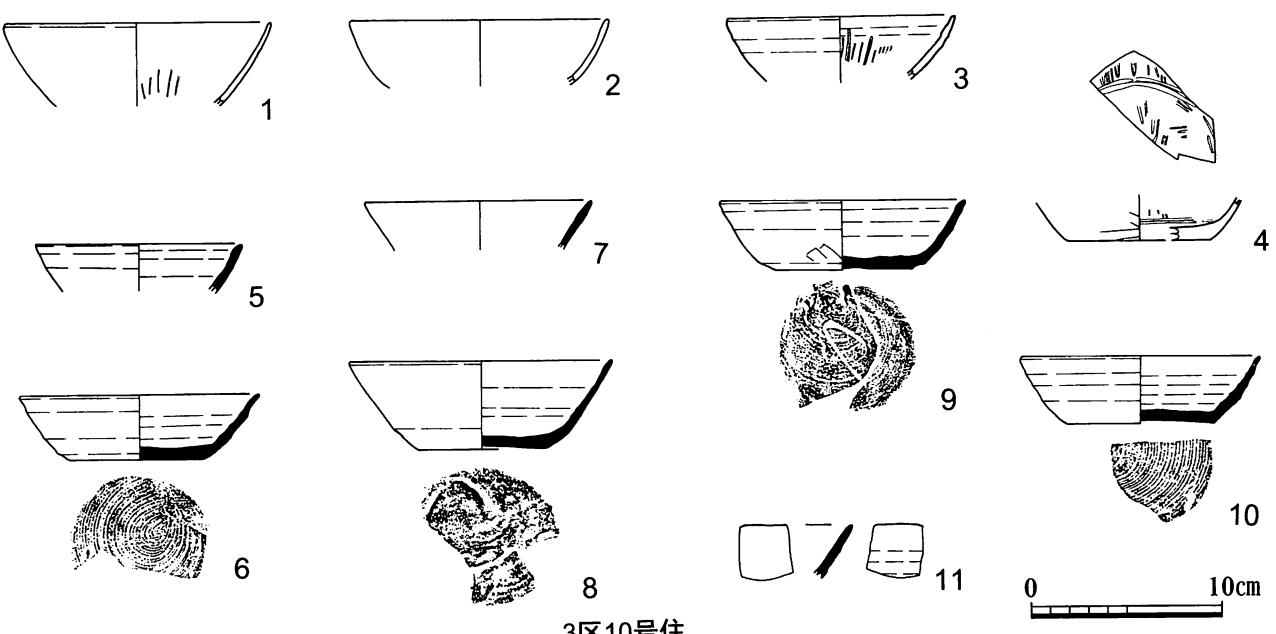
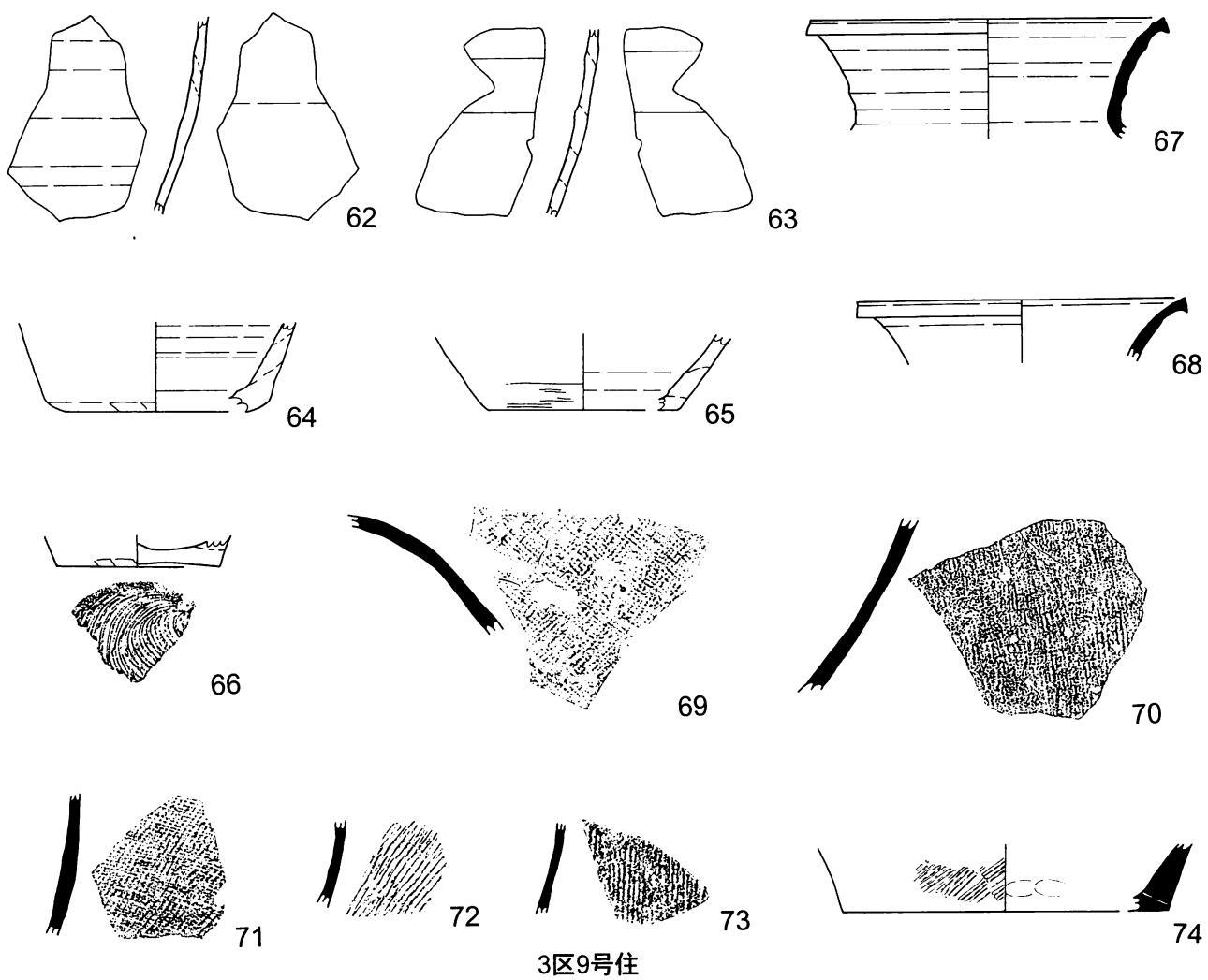
3区7号住
第57図 3区出土土器実測図⑤ (1:4)



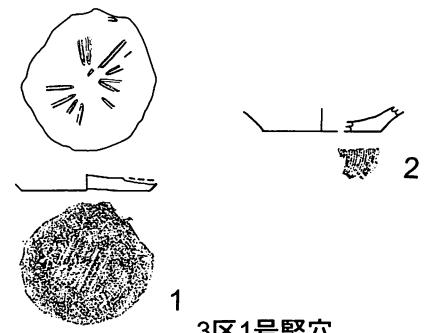
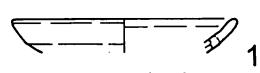
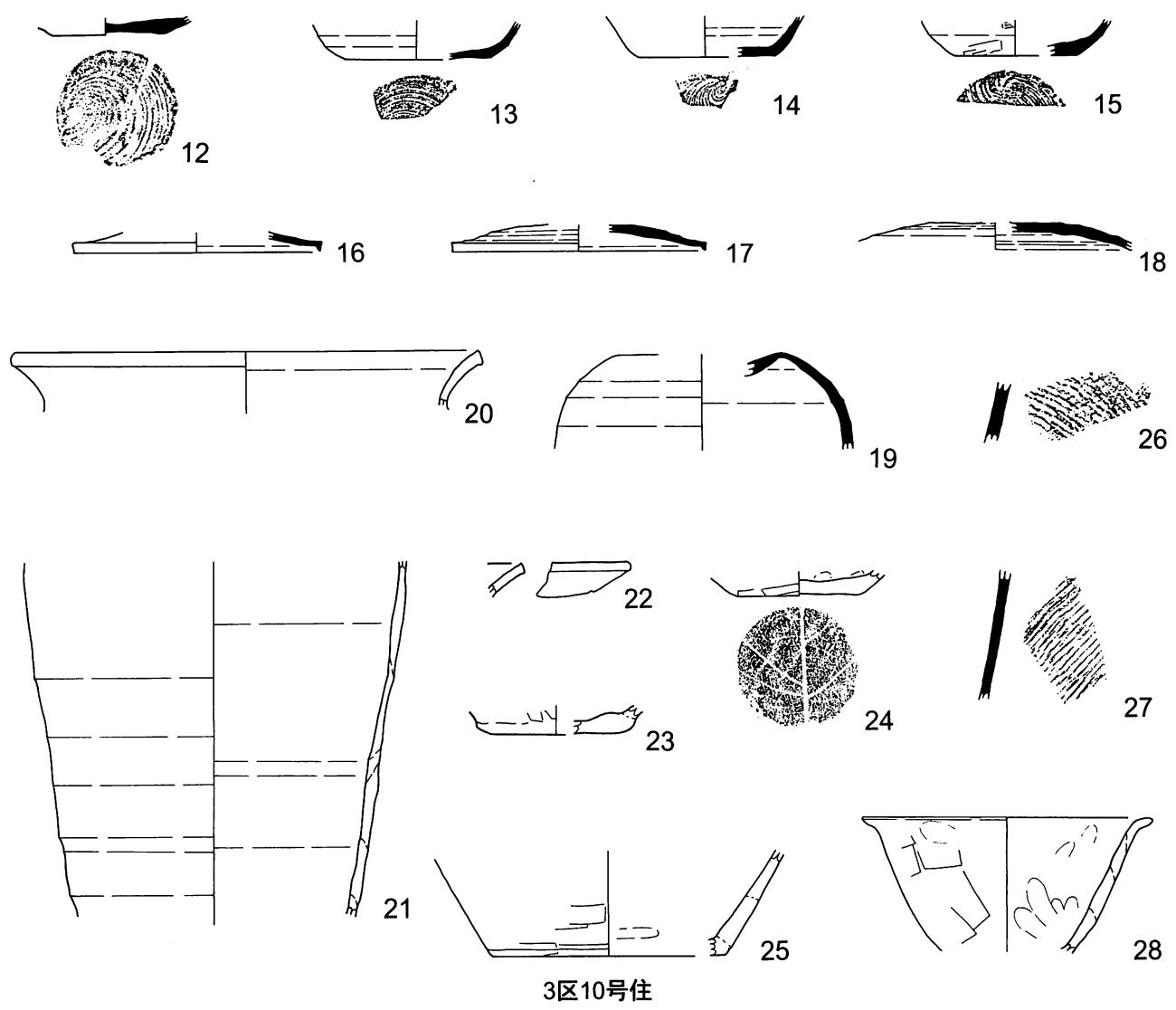
第58図 3区出土土器実測図⑥ (1:4)



第59図 3区出土土器実測図⑦ (1:4)

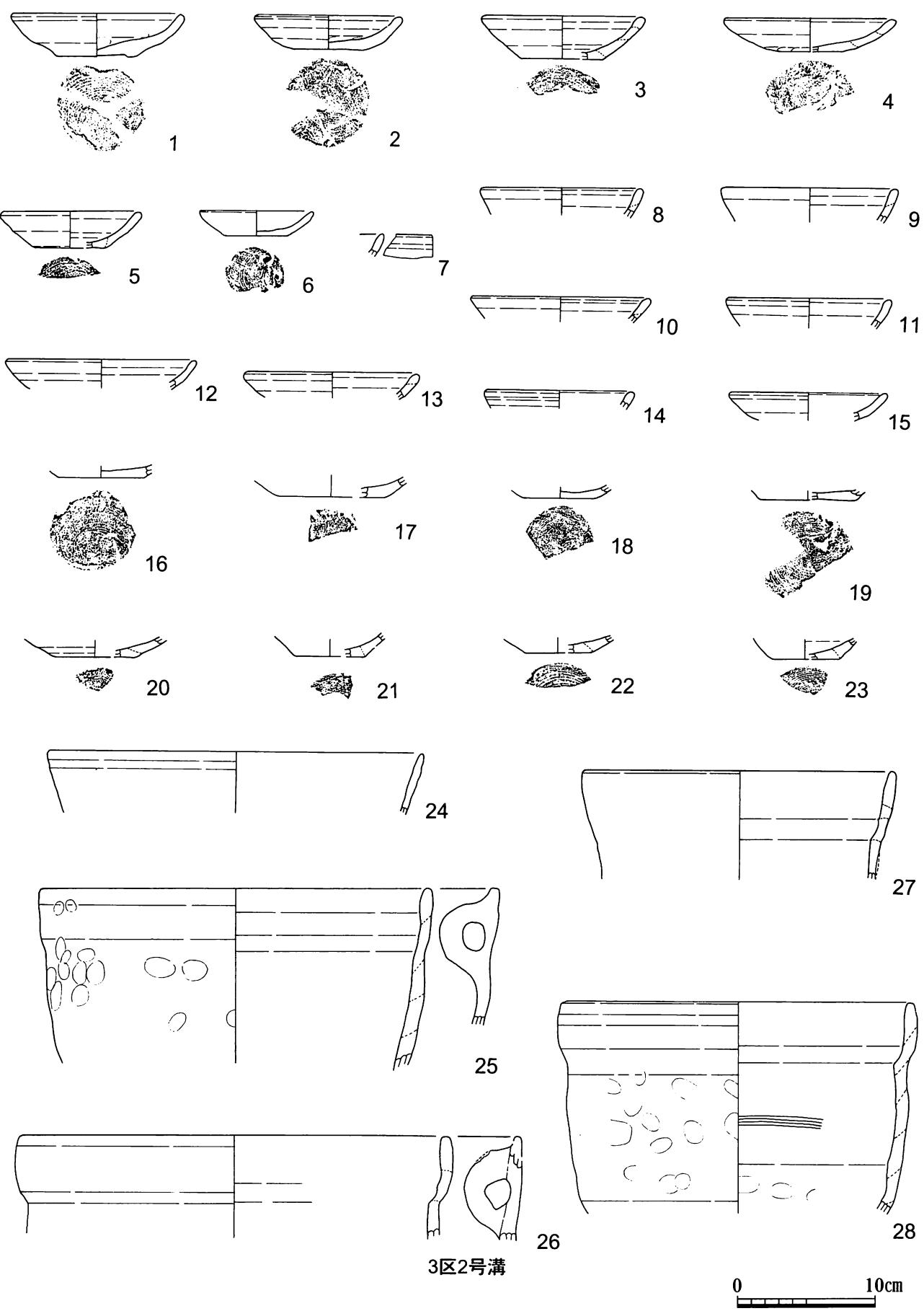


第60図 3区出土土器実測図⑧ (1:4)

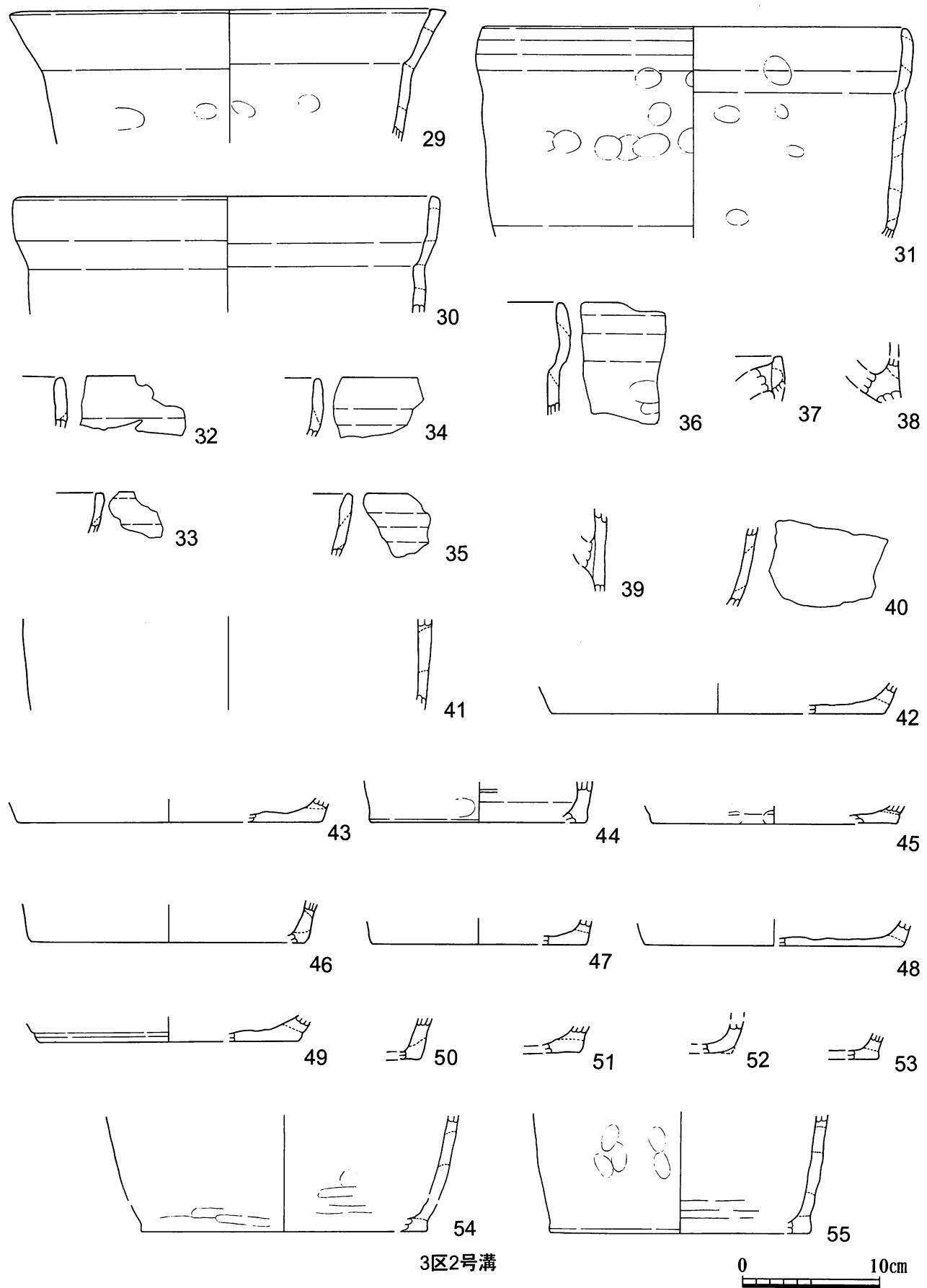


0 10cm

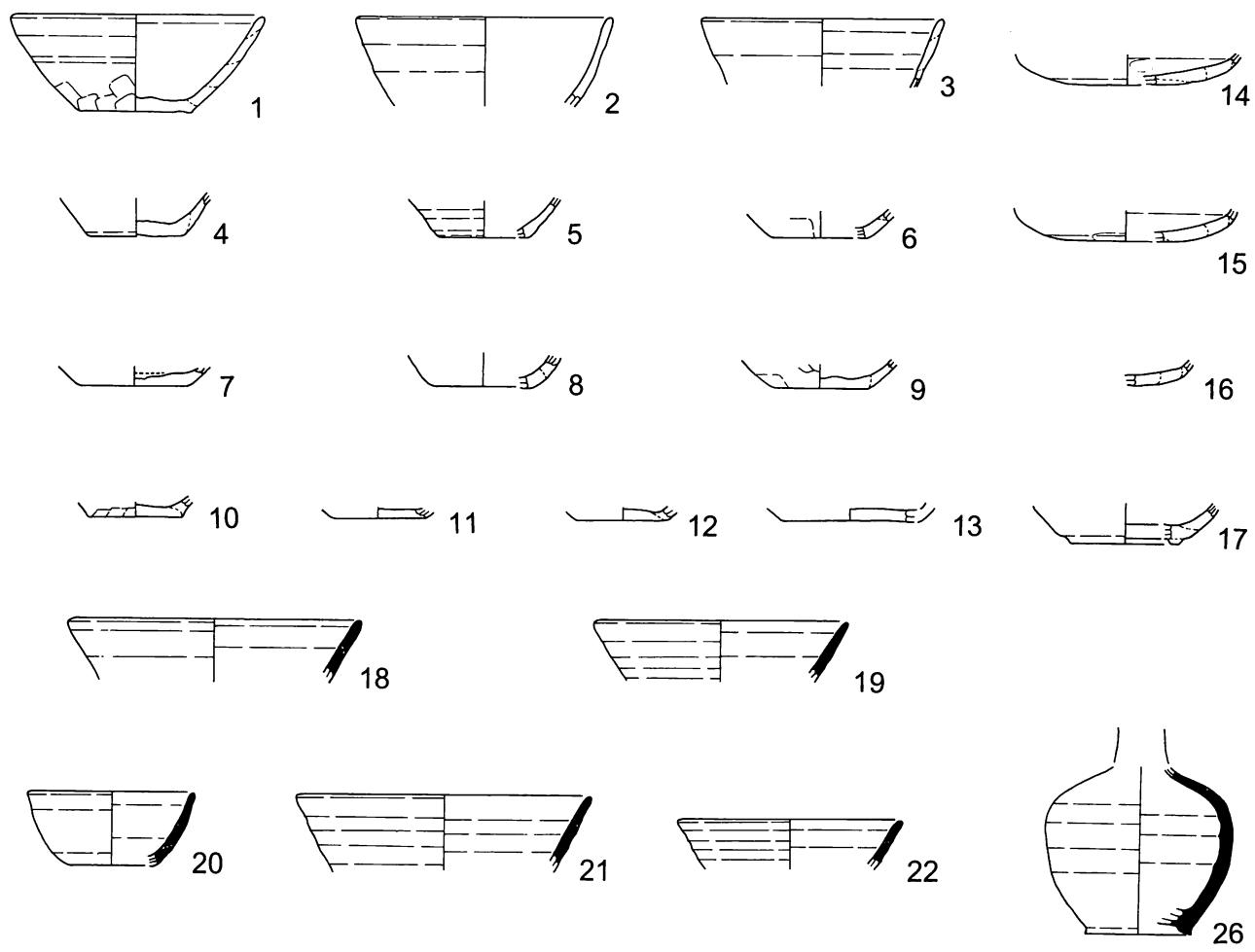
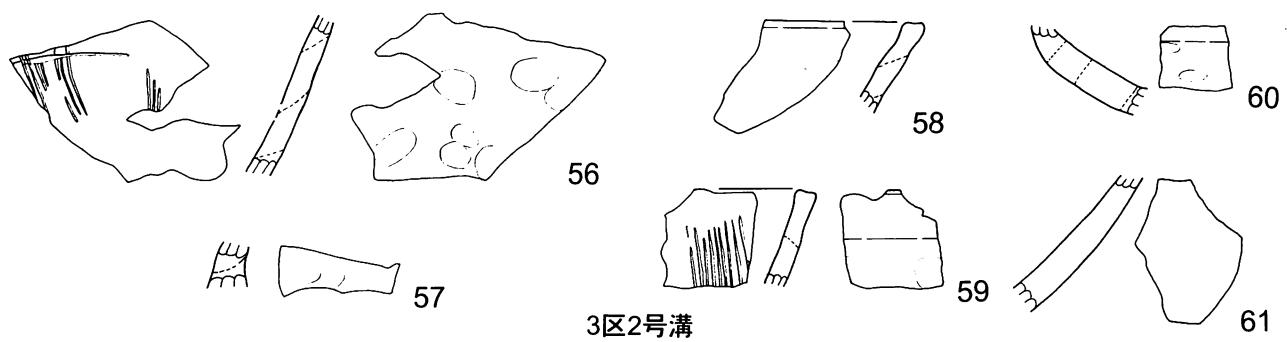
第61図 3区出土土器実測図⑨ (1:4)



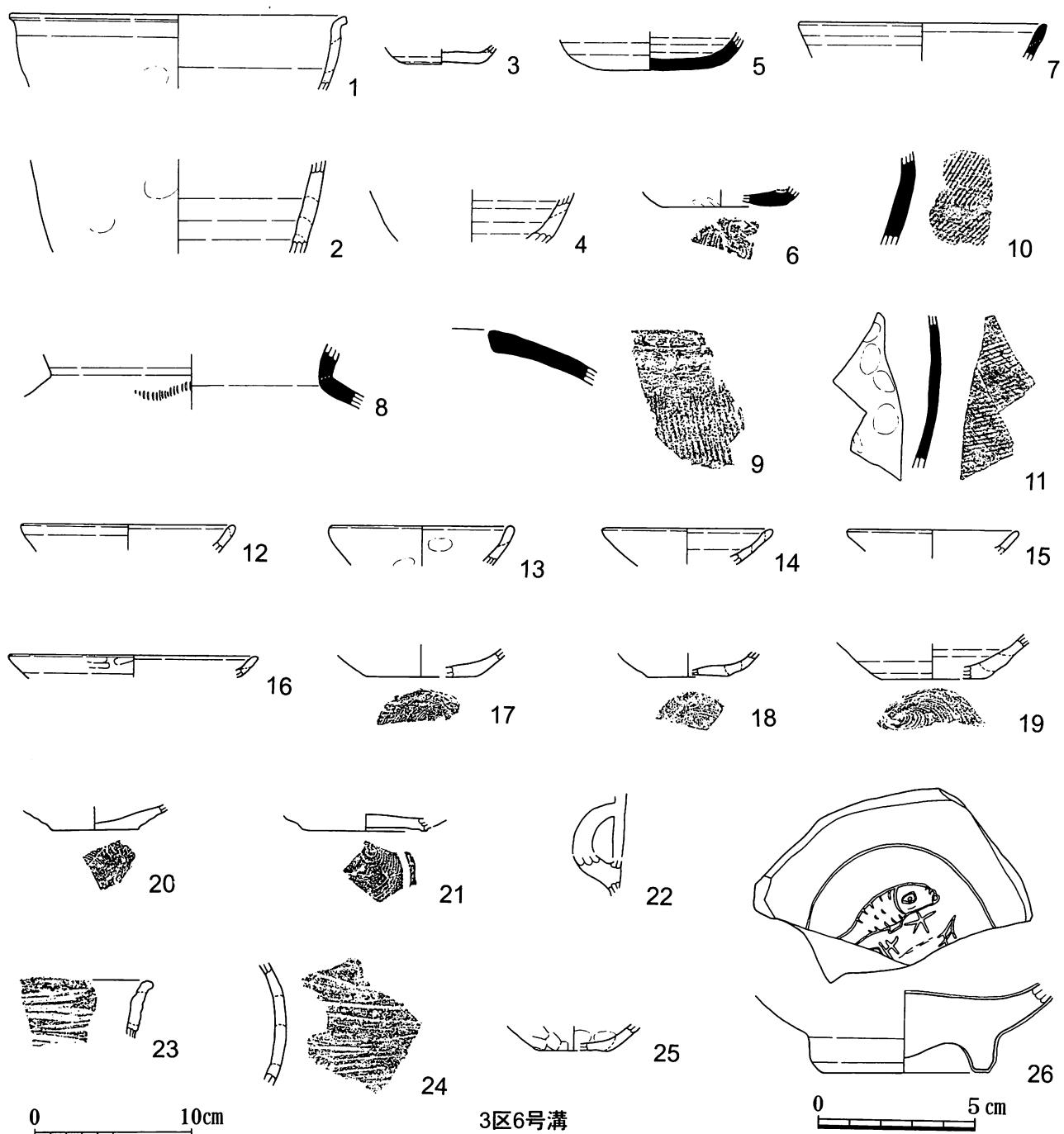
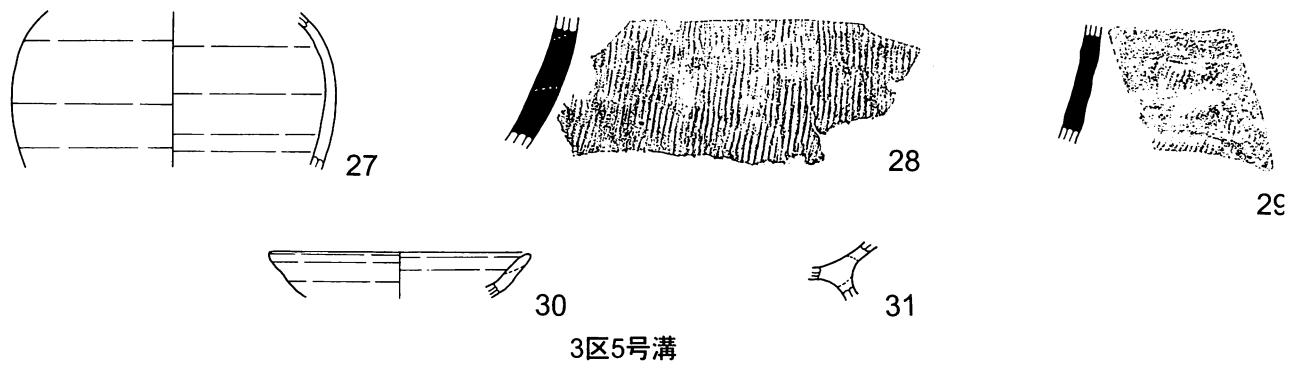
第62図 3区出土土器実測図⑩ (1:4)



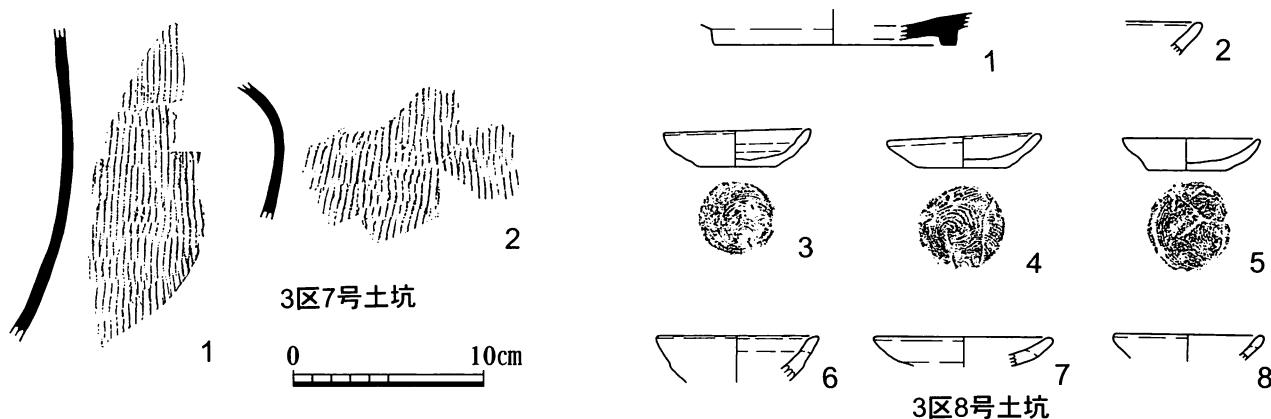
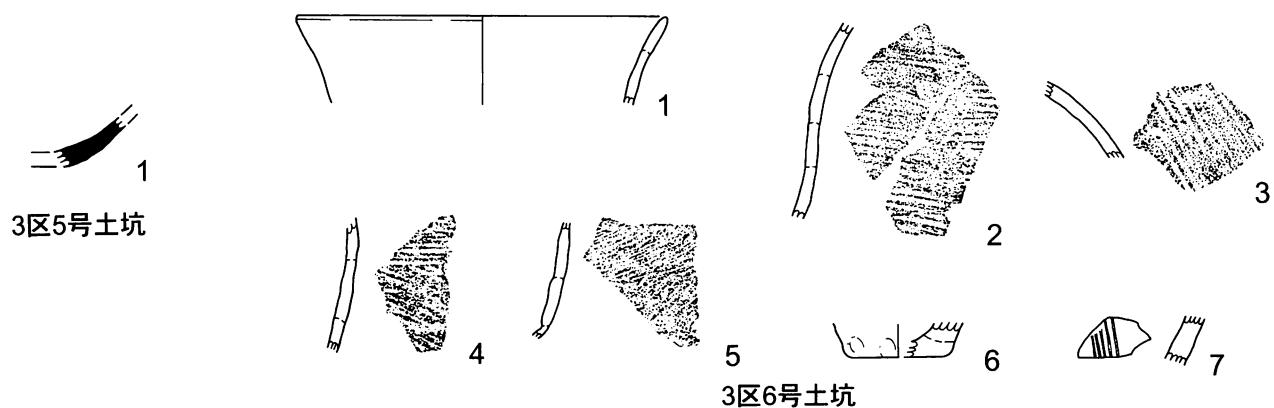
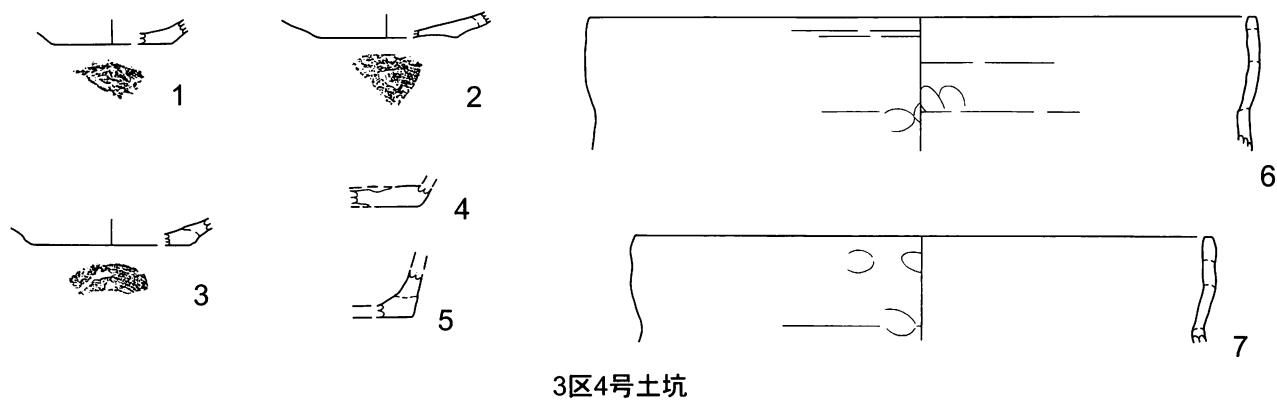
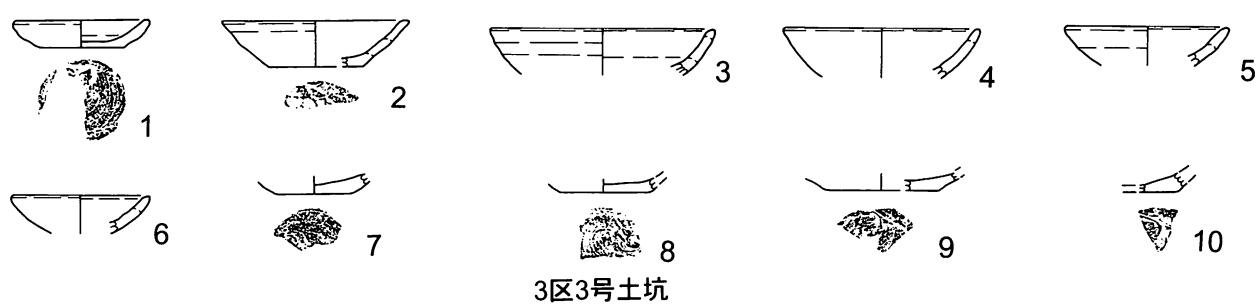
第63図 3区出土土器実測図① (1 : 4)



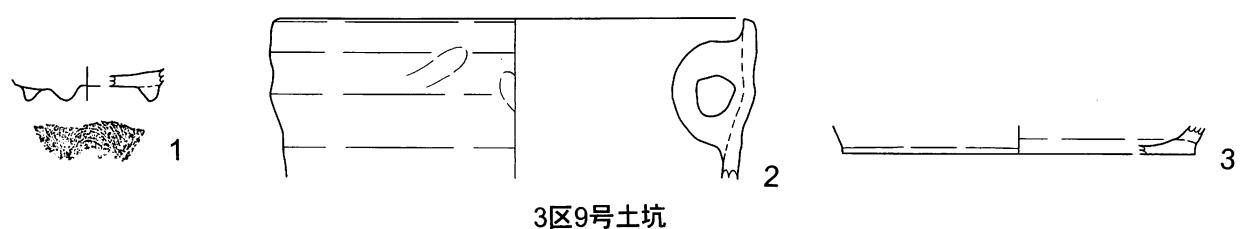
第64図 3区出土土器実測図② (1:4)



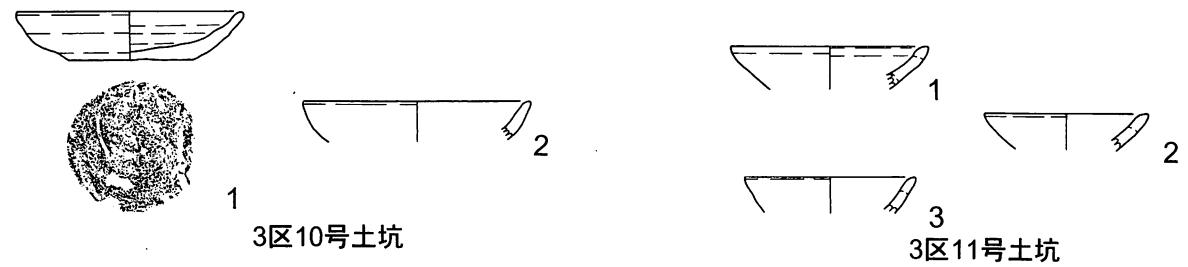
第65図 3区出土土器実測図⑬ (1:2・1:4)



第66図 3区出土土器実測図⑭ (1:4)

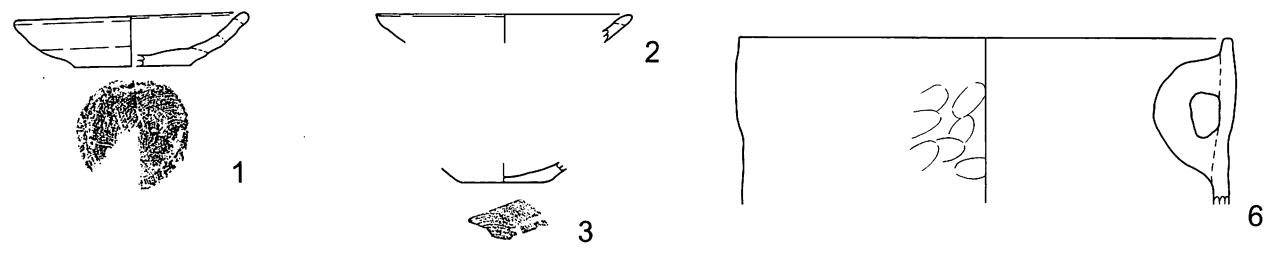


3区9号土坑

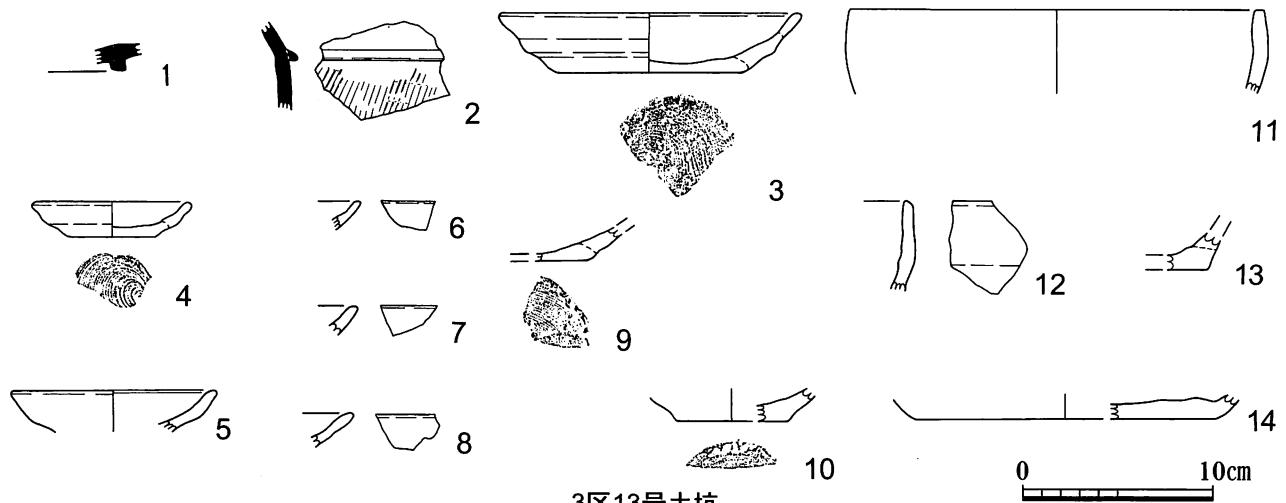


3区10号土坑

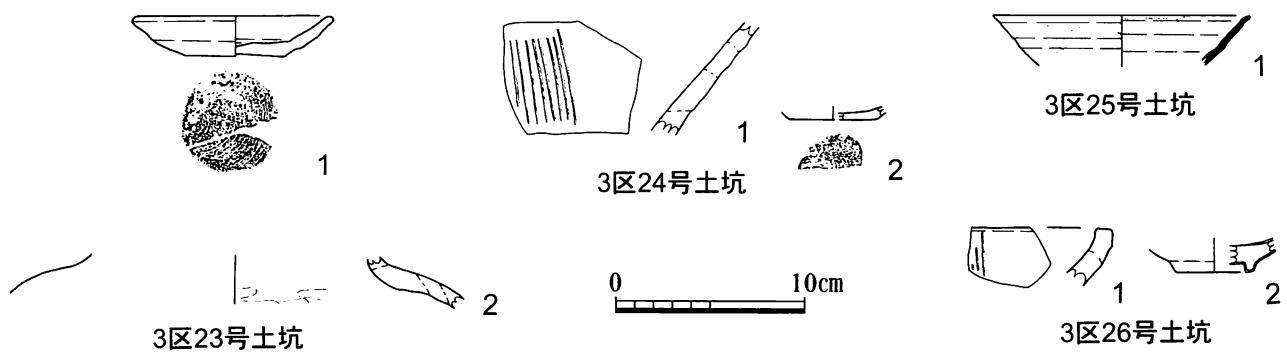
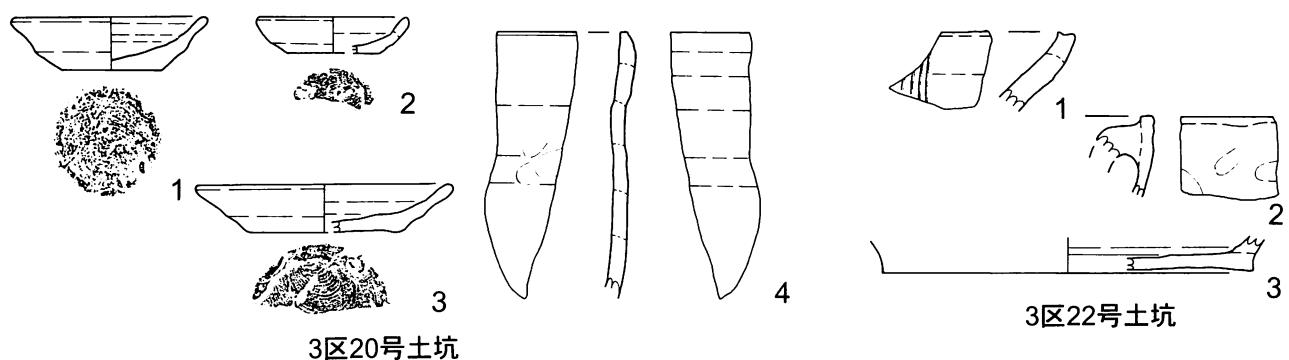
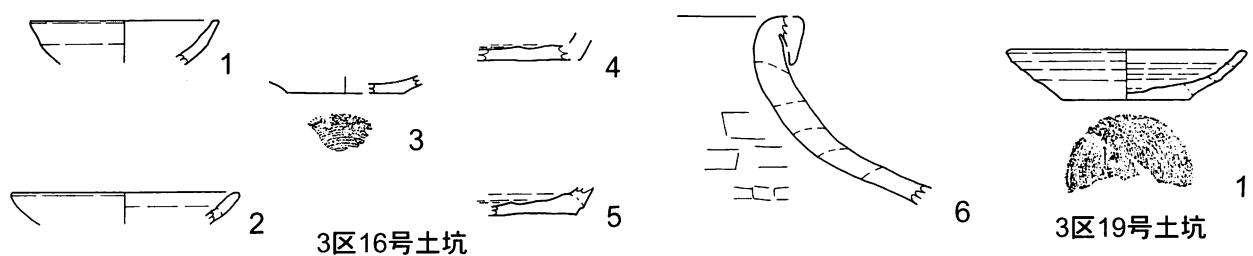
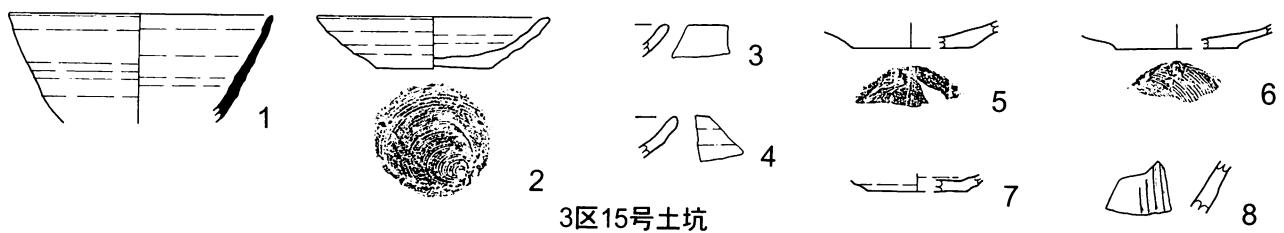
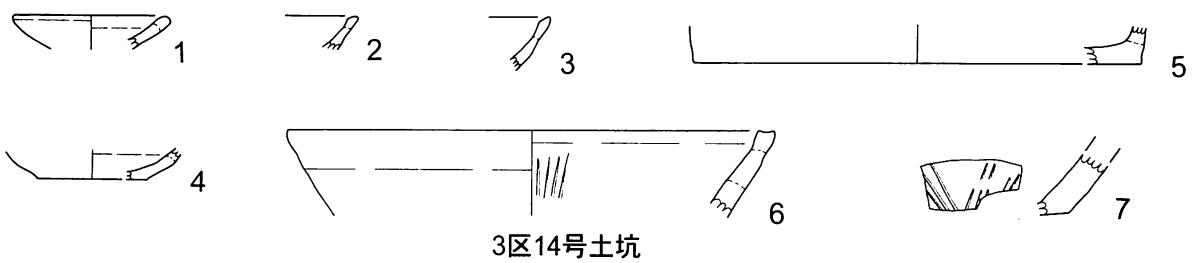
3区11号土坑



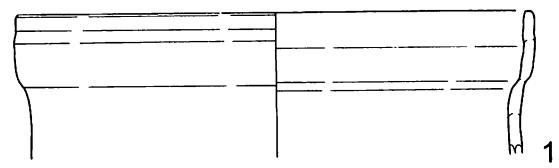
3区12号土坑



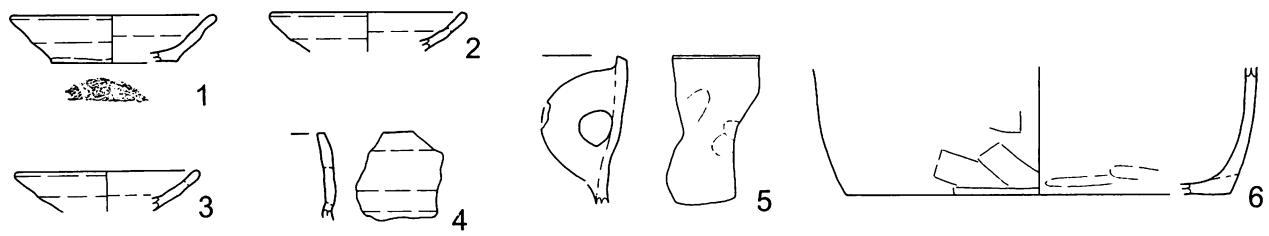
第67図 3区出土土器実測図⑮ (1:4)



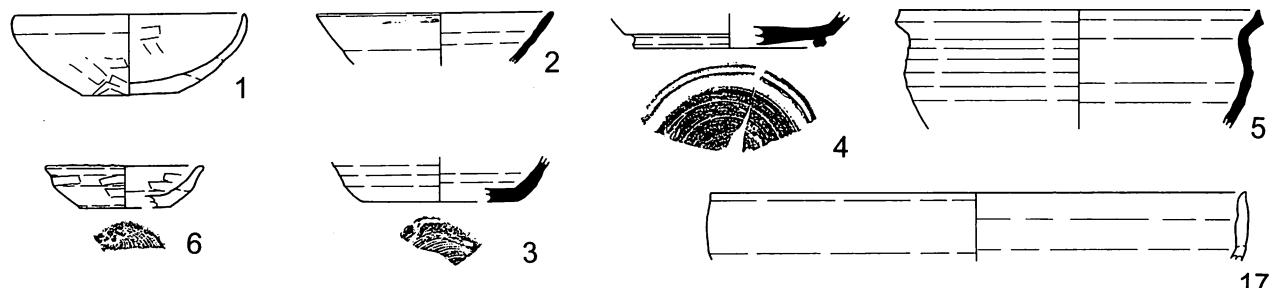
第68図 3区出土土器実測図⑯ (1:4)



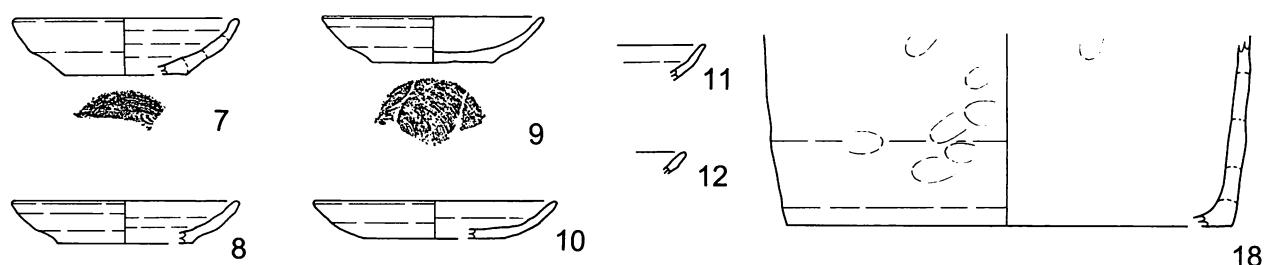
3区27号土坑



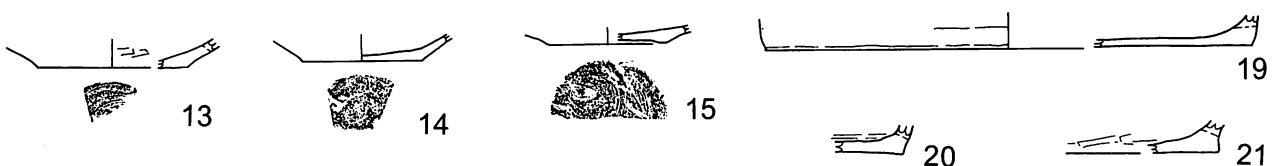
3区28号土坑



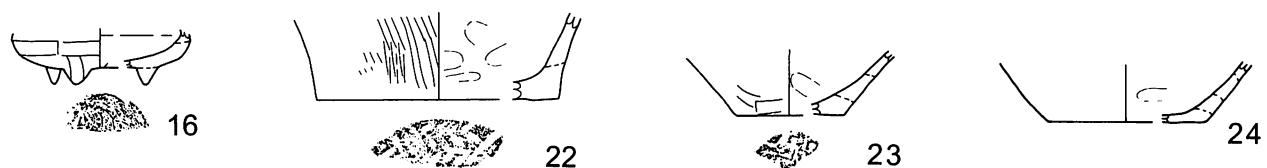
17



18



19



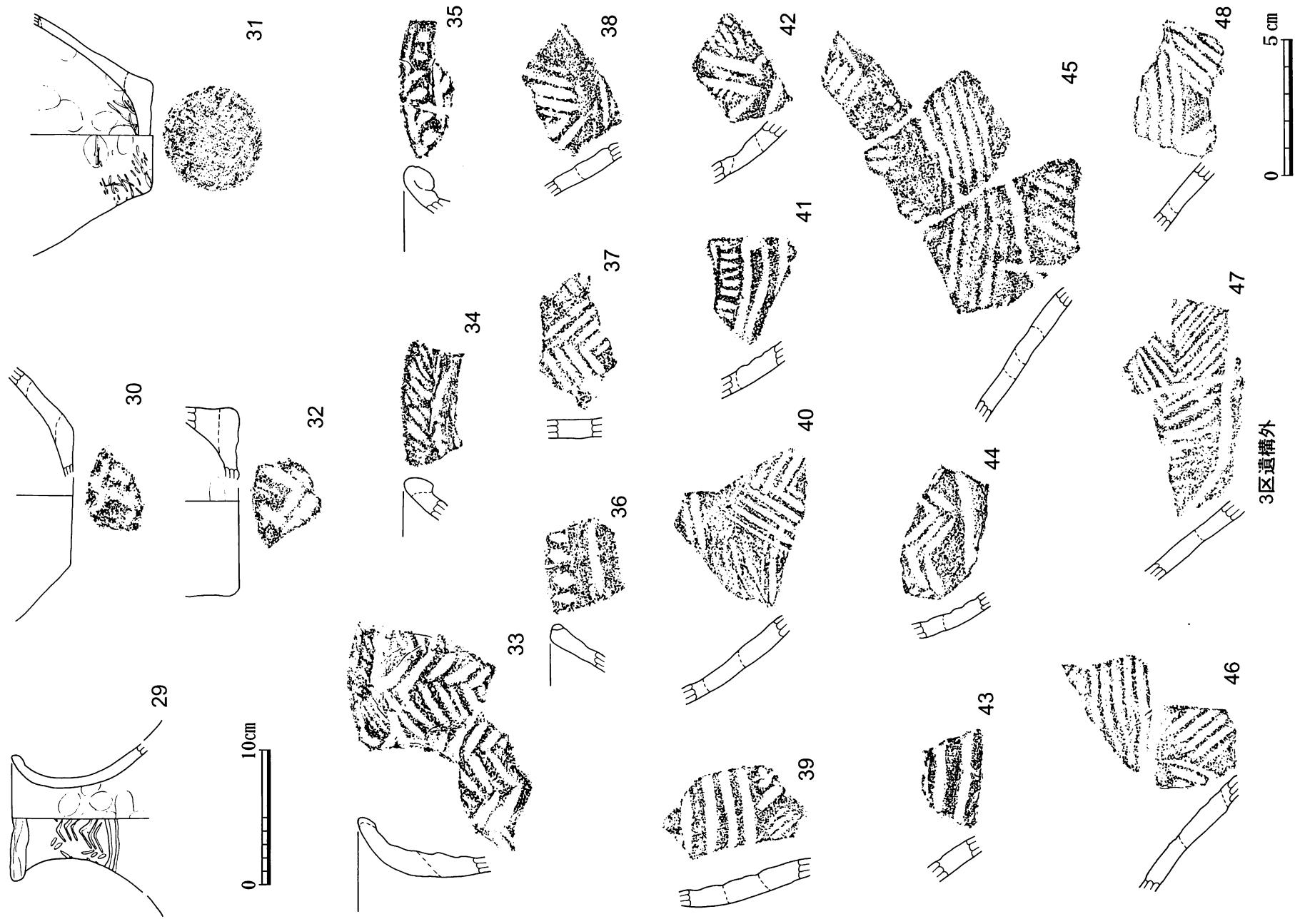
20



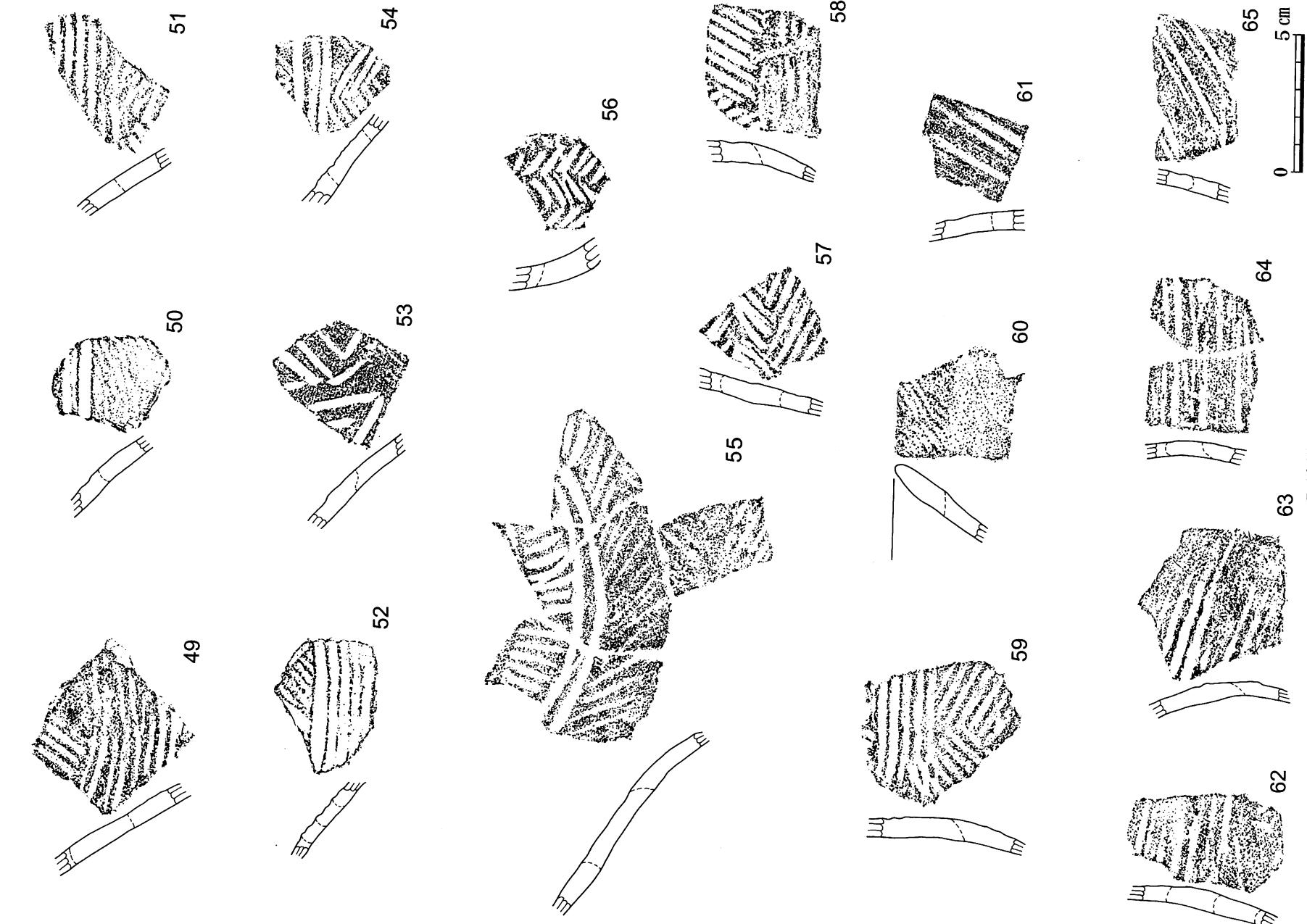
0 10cm

3区遺構外

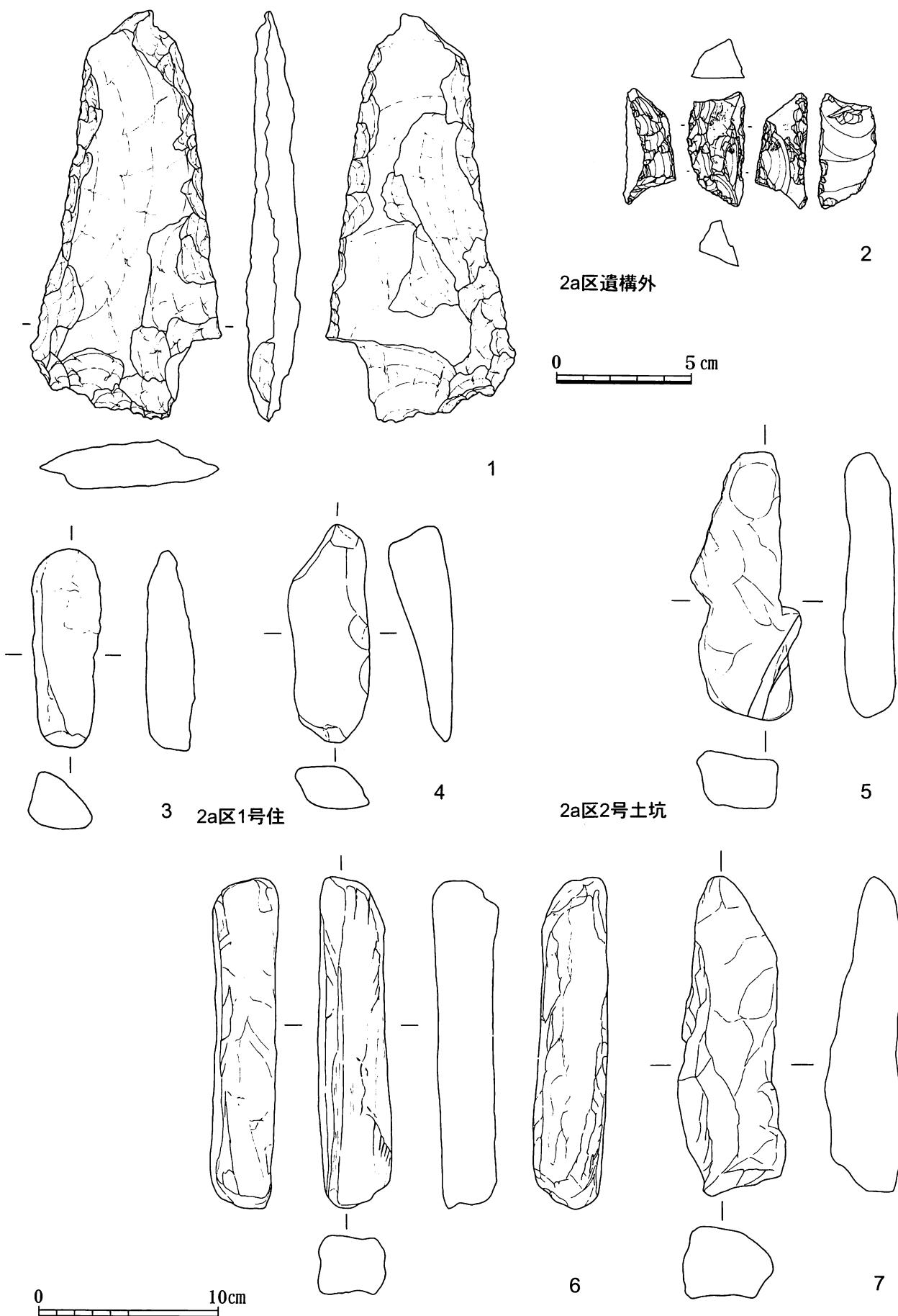
第69図 3区出土土器実測図⑦ (1:4)



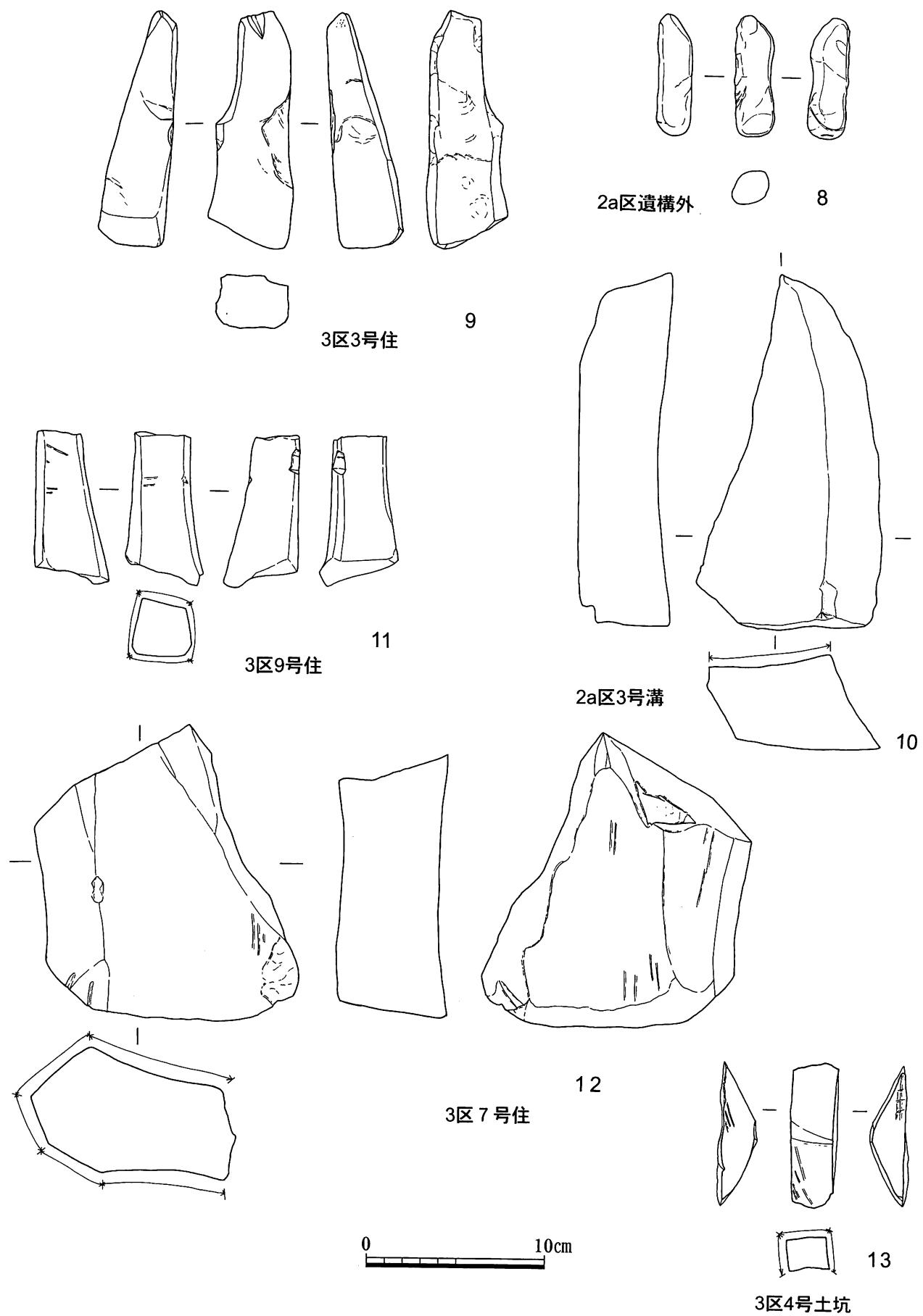
第70図 3区出土土器実測図⑧ (1:2・1:4)



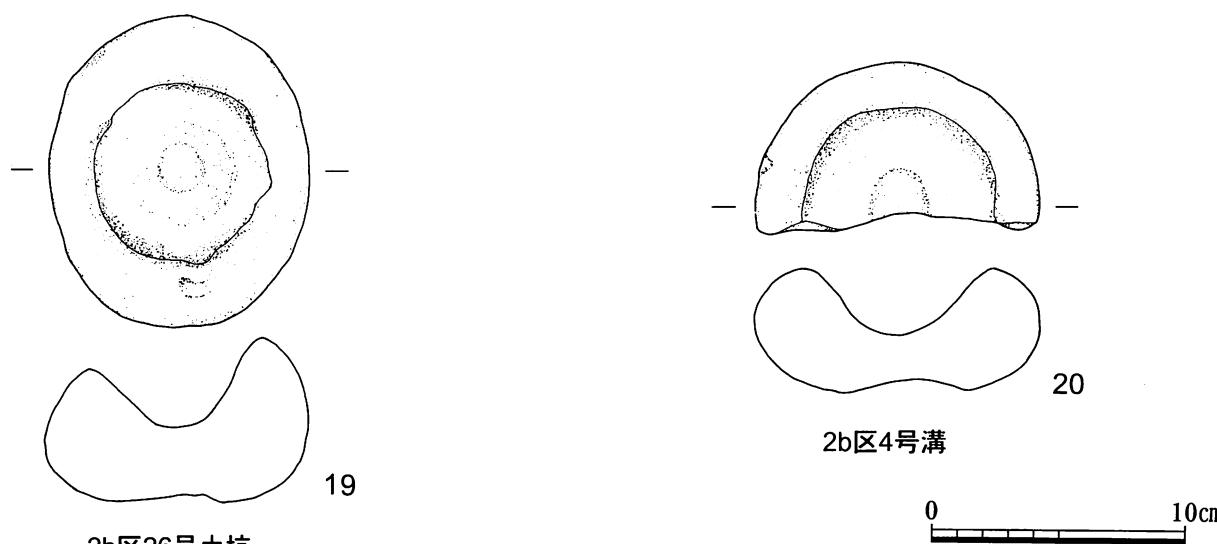
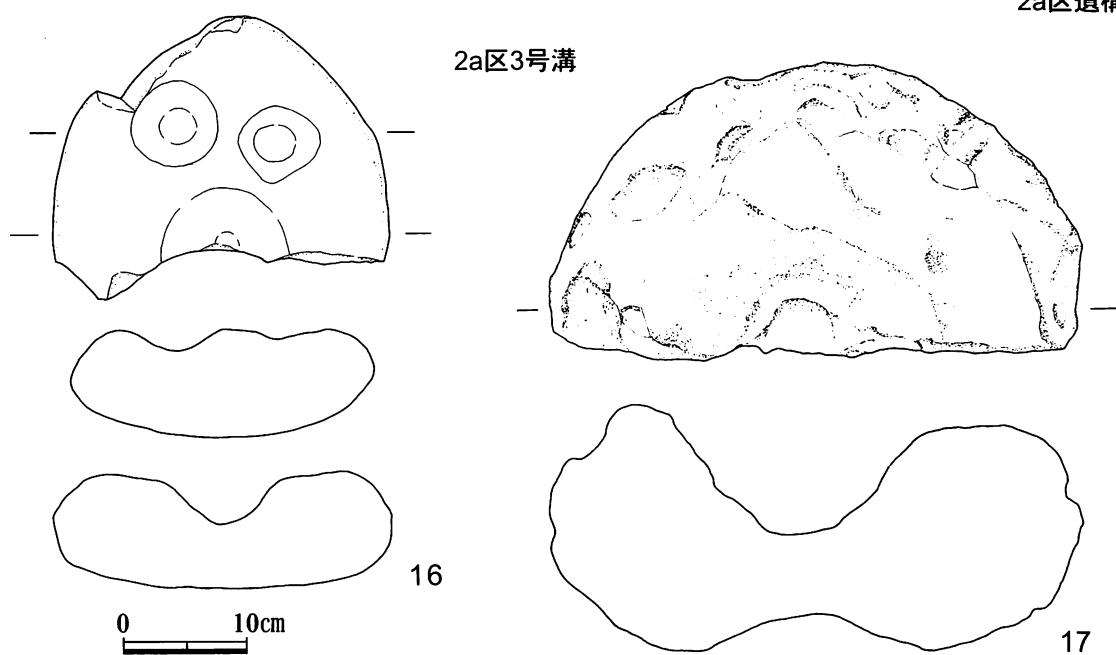
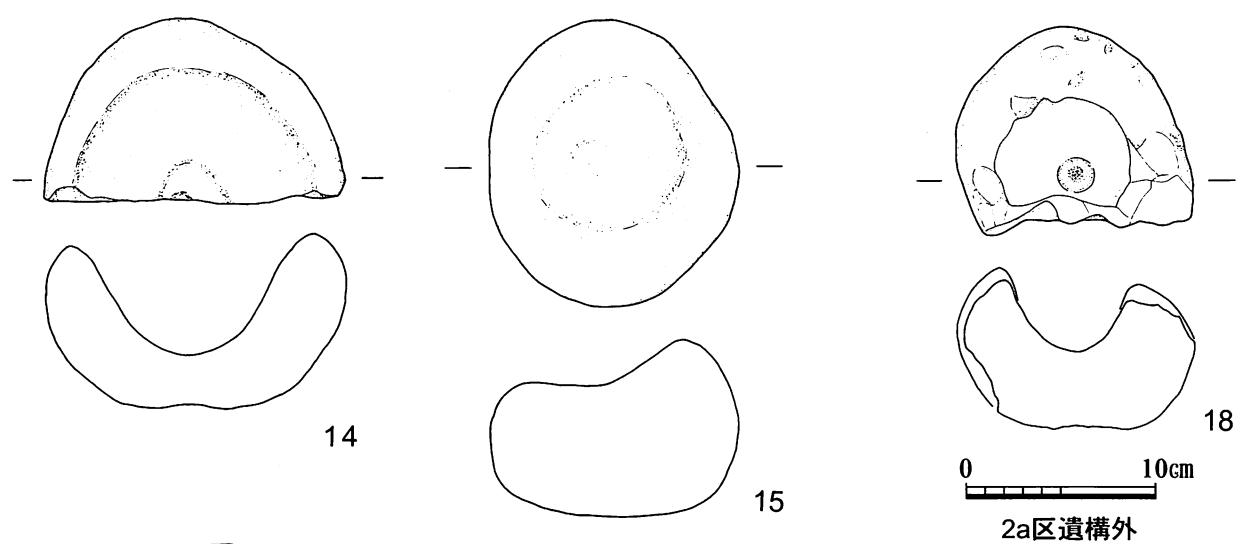
第71図 3区出土土器実測図⑨ (1:2)
3区遺構外



第72図 石器・石製品実測図① (1:2・1:3)

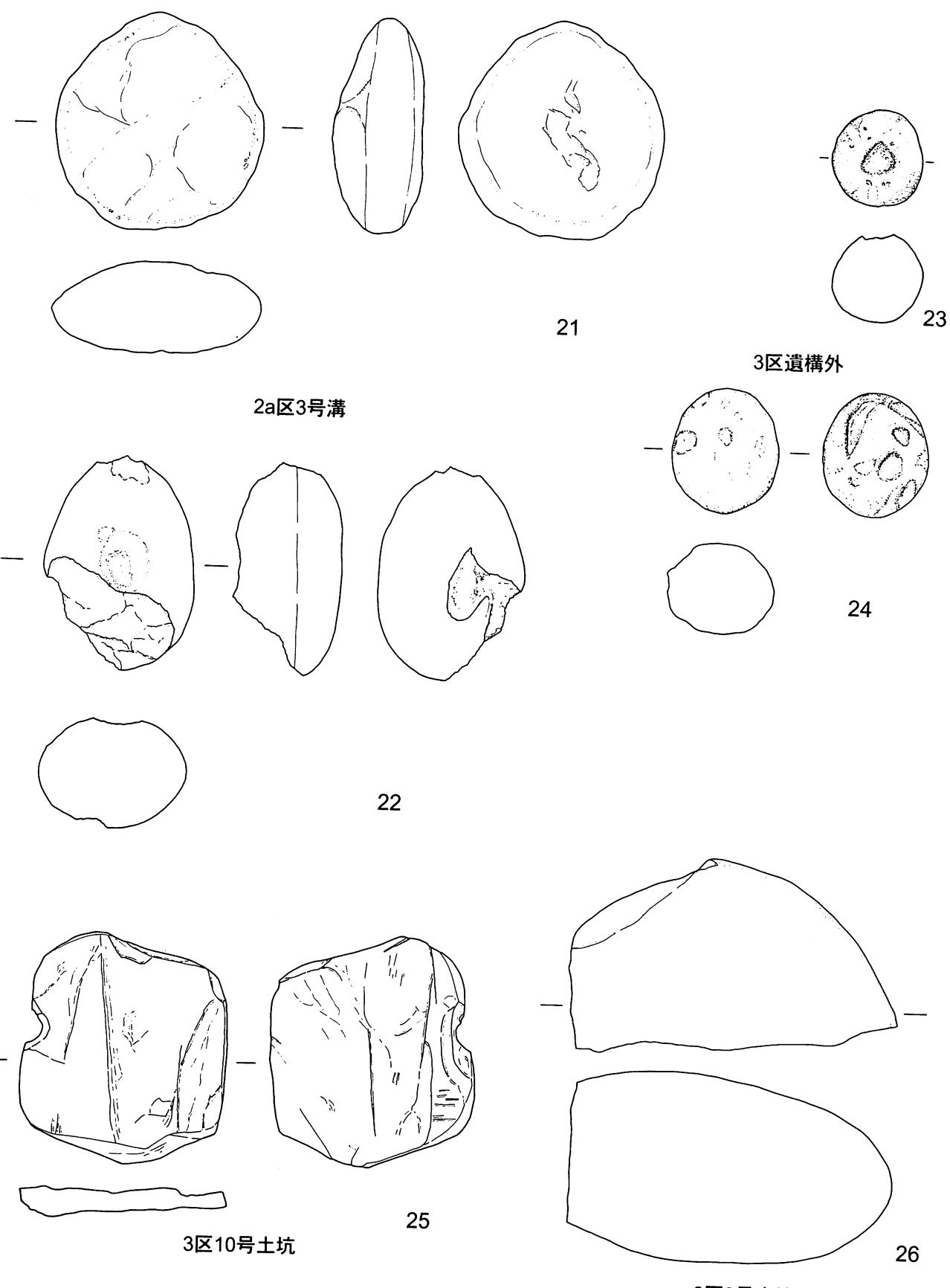


第73図 石器・石製品実測図② (1:3)

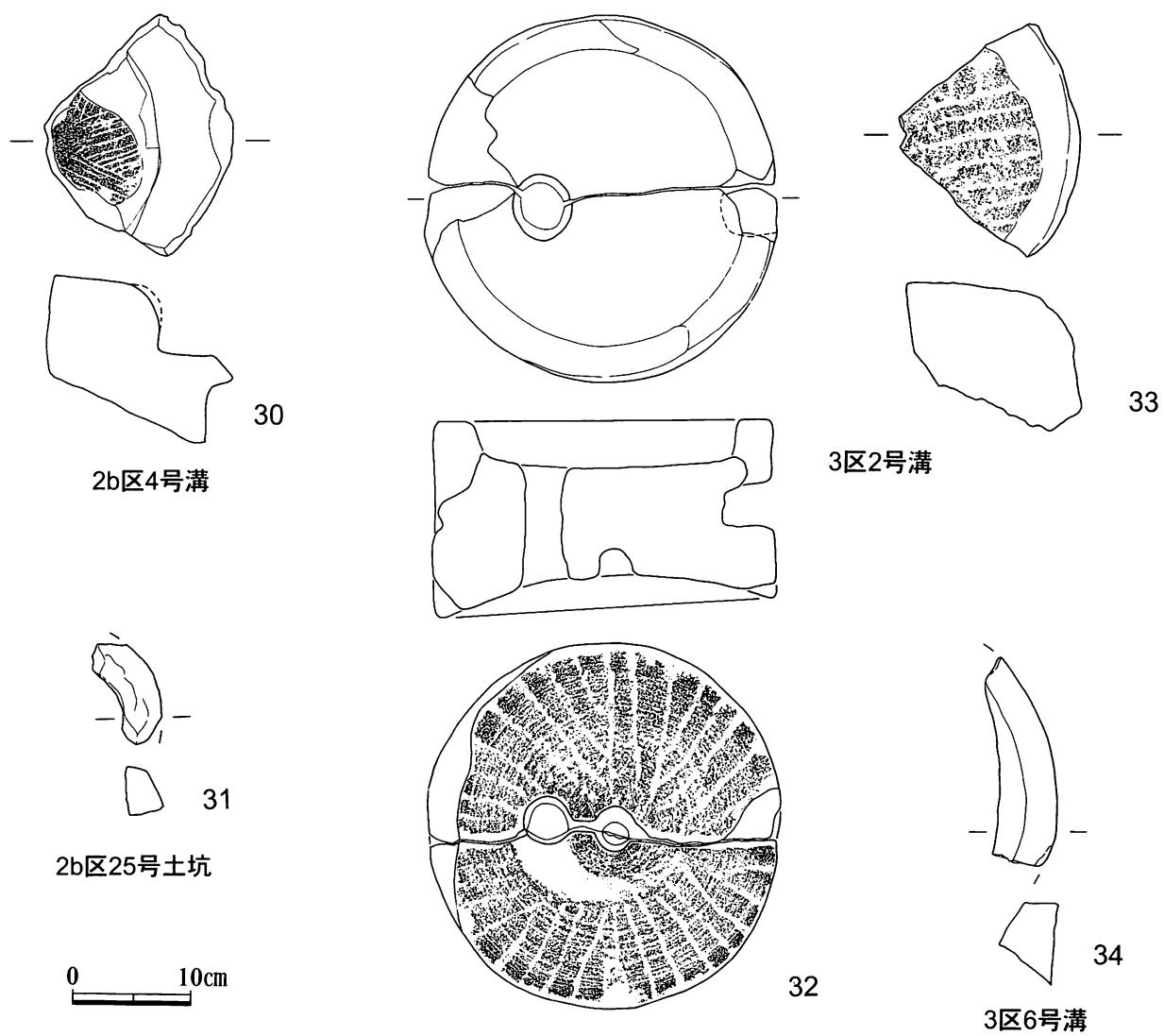
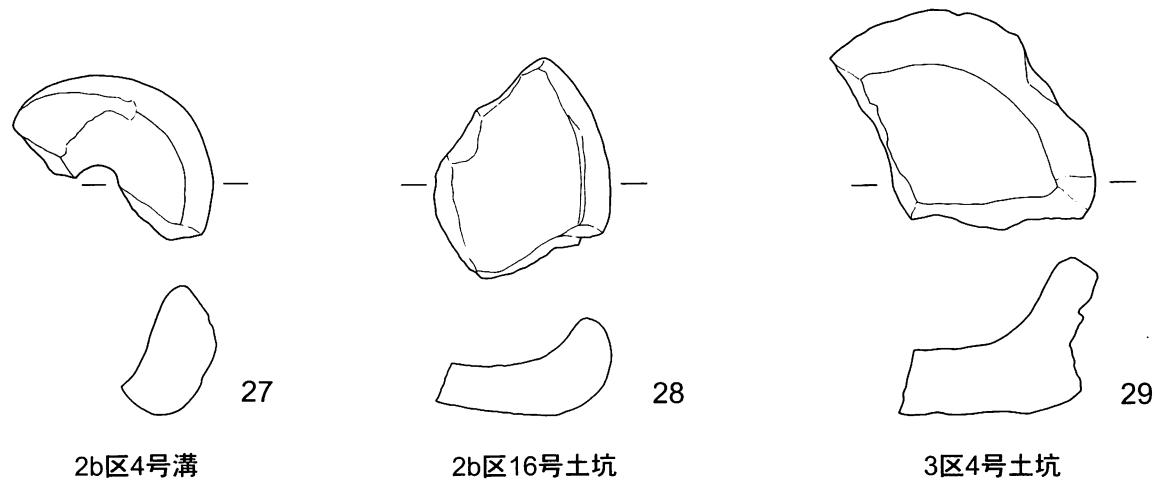


2b区26号土坑

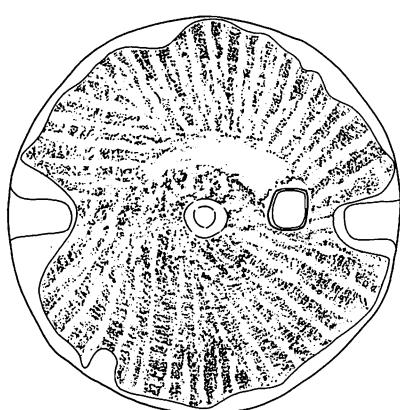
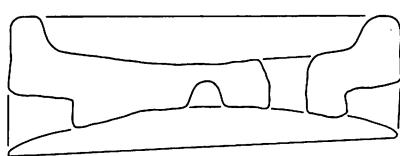
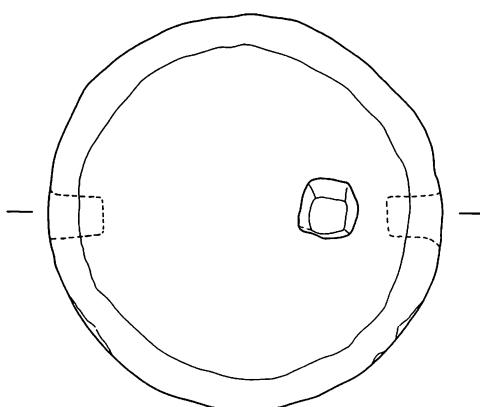
第74図 石器・石製品実測図③ (1:3・1:4・1:6)



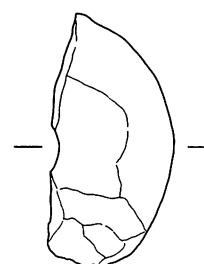
第75図 石器・石製品実測図④ (1:3・1:6)



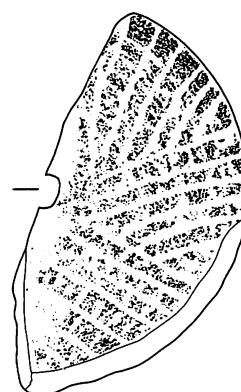
第76図 石器・石製品実測図⑤ (1:6)



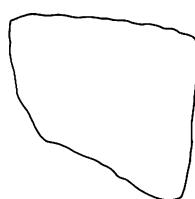
35



37

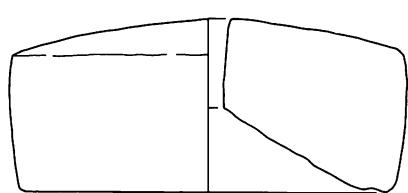
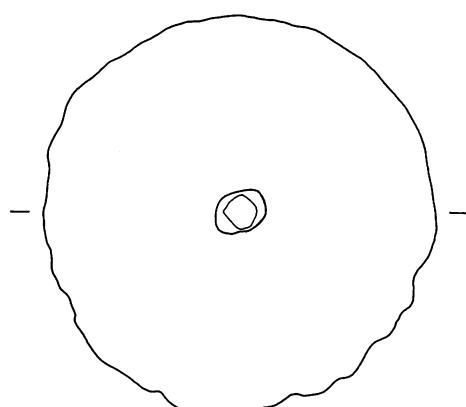


38



3区9号土坑

3区8号土坑



36

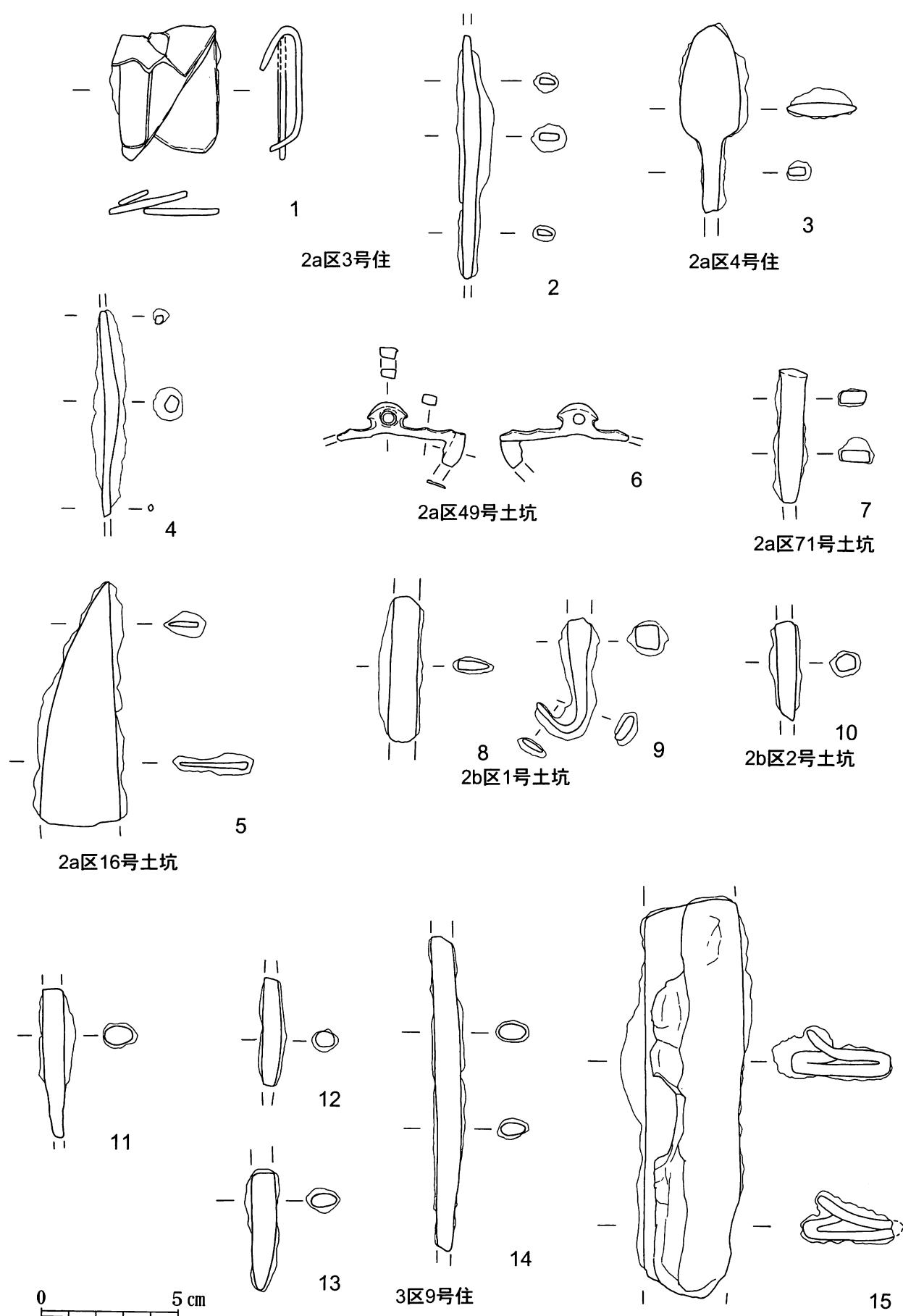


39

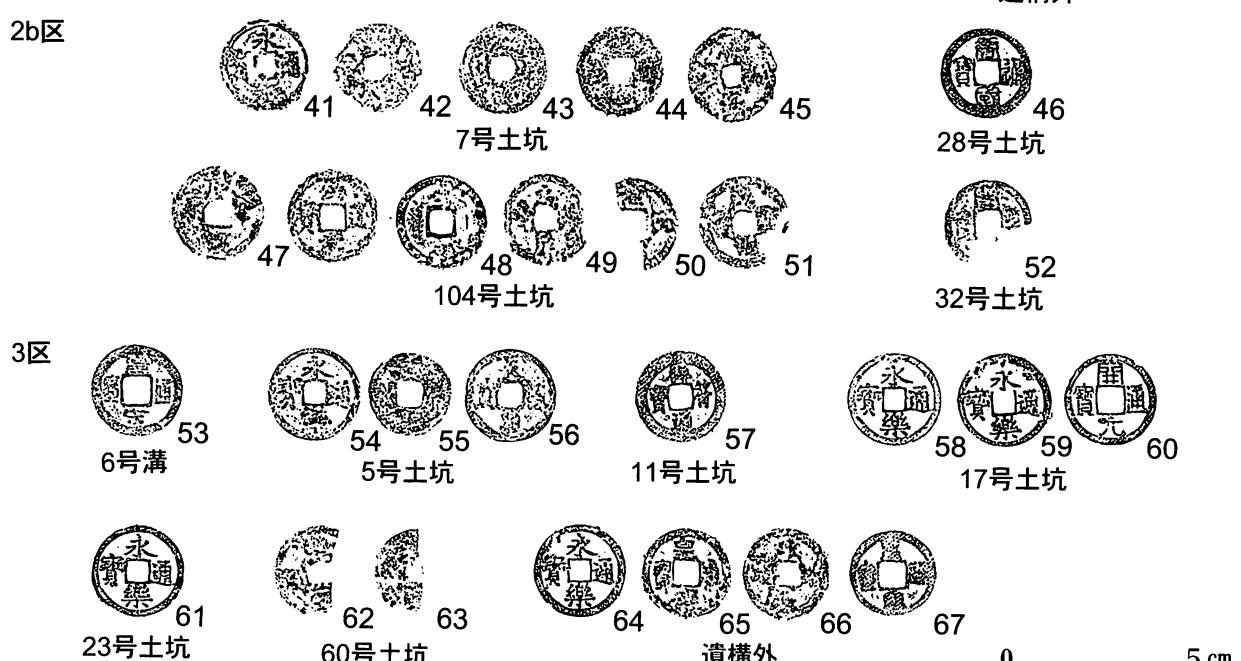
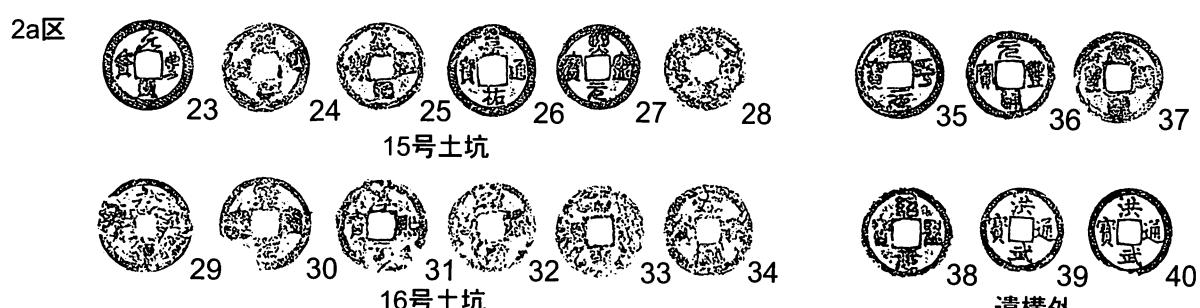
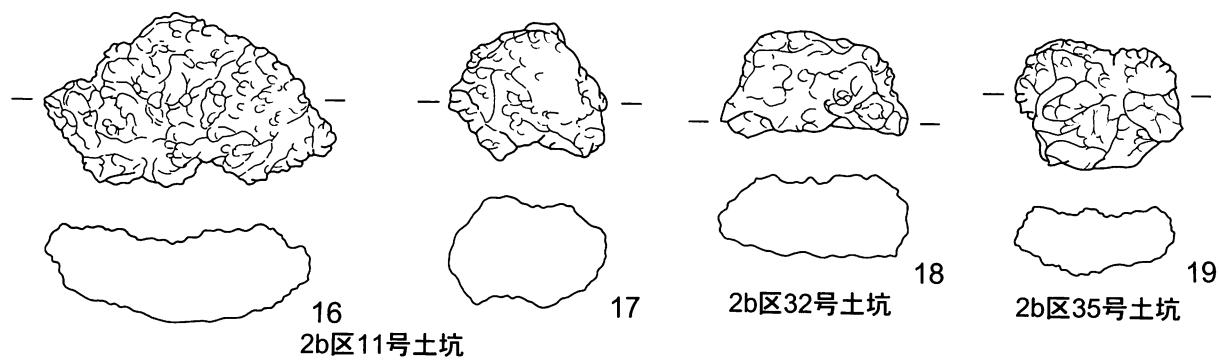
3区21号土坑

0 10cm

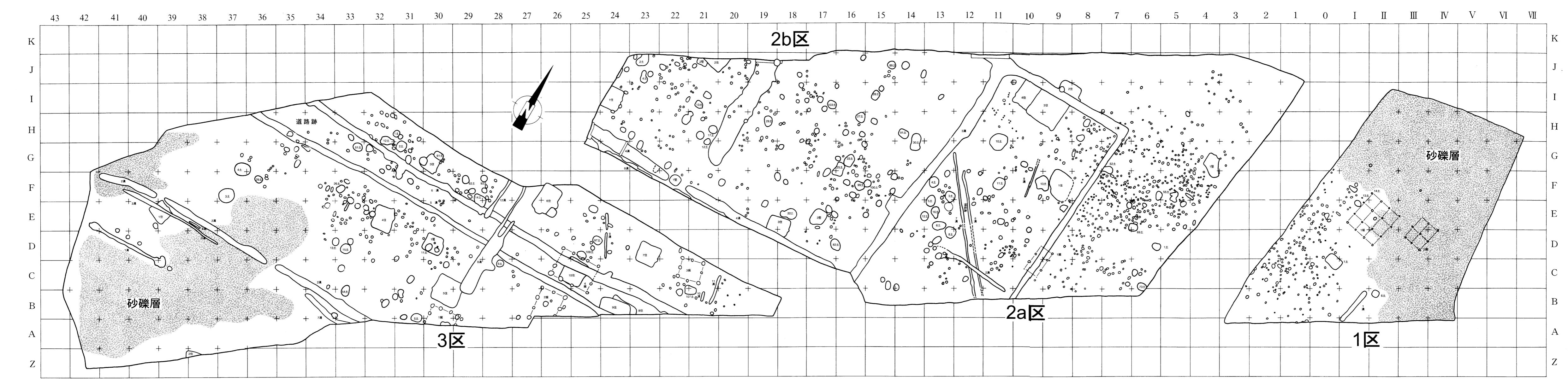
第77図 石器・石製品実測図⑥ (1:6)



第78図 金属製品実測図① (1 : 2)



第79図 金属製品実測図② (1:2)



0
5 10 20 40m

付図1 石橋北屋敷遺跡全体図 (1 : 400)

3 2 1 0 I II III IV V VI VII

I

H

G

F

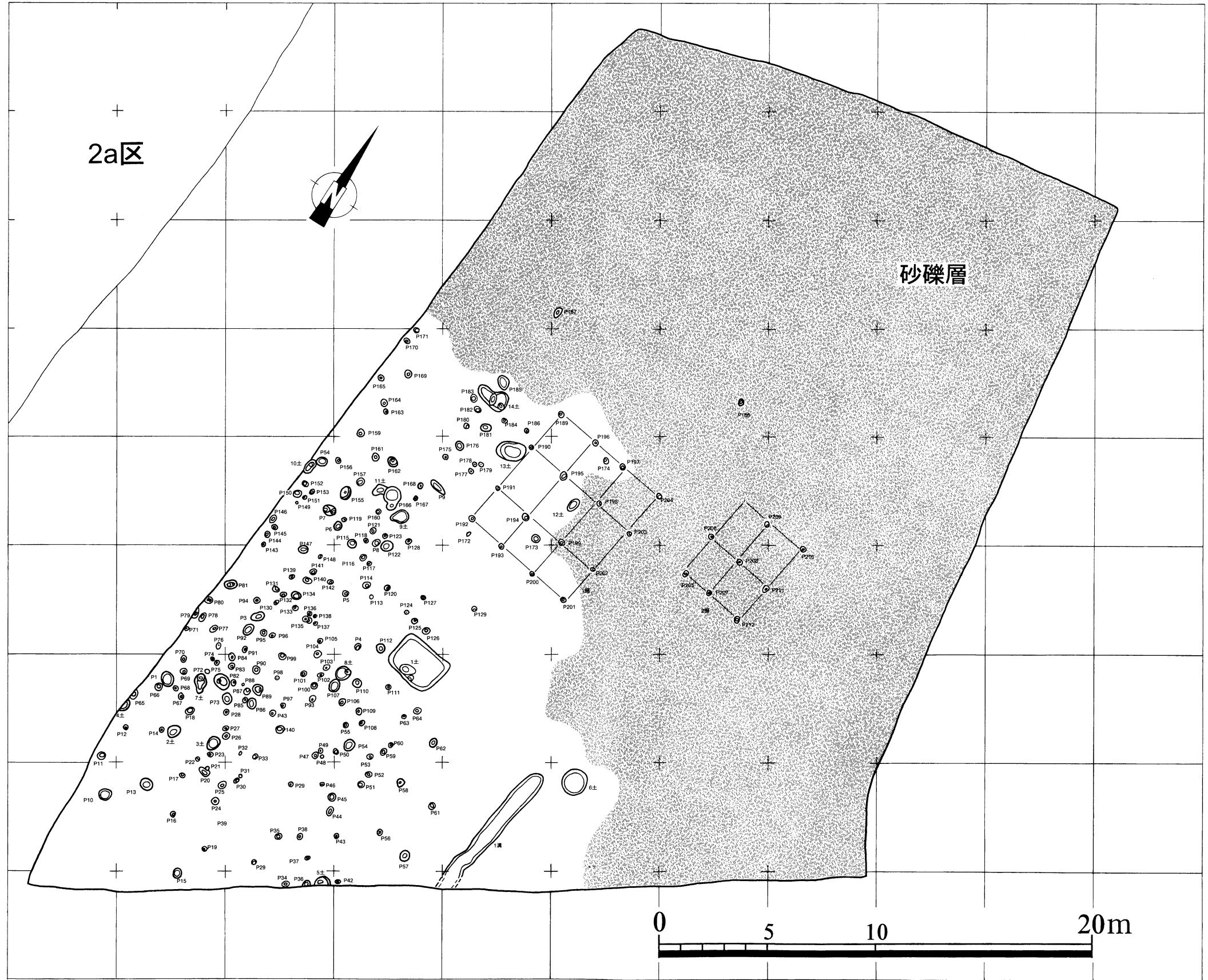
E

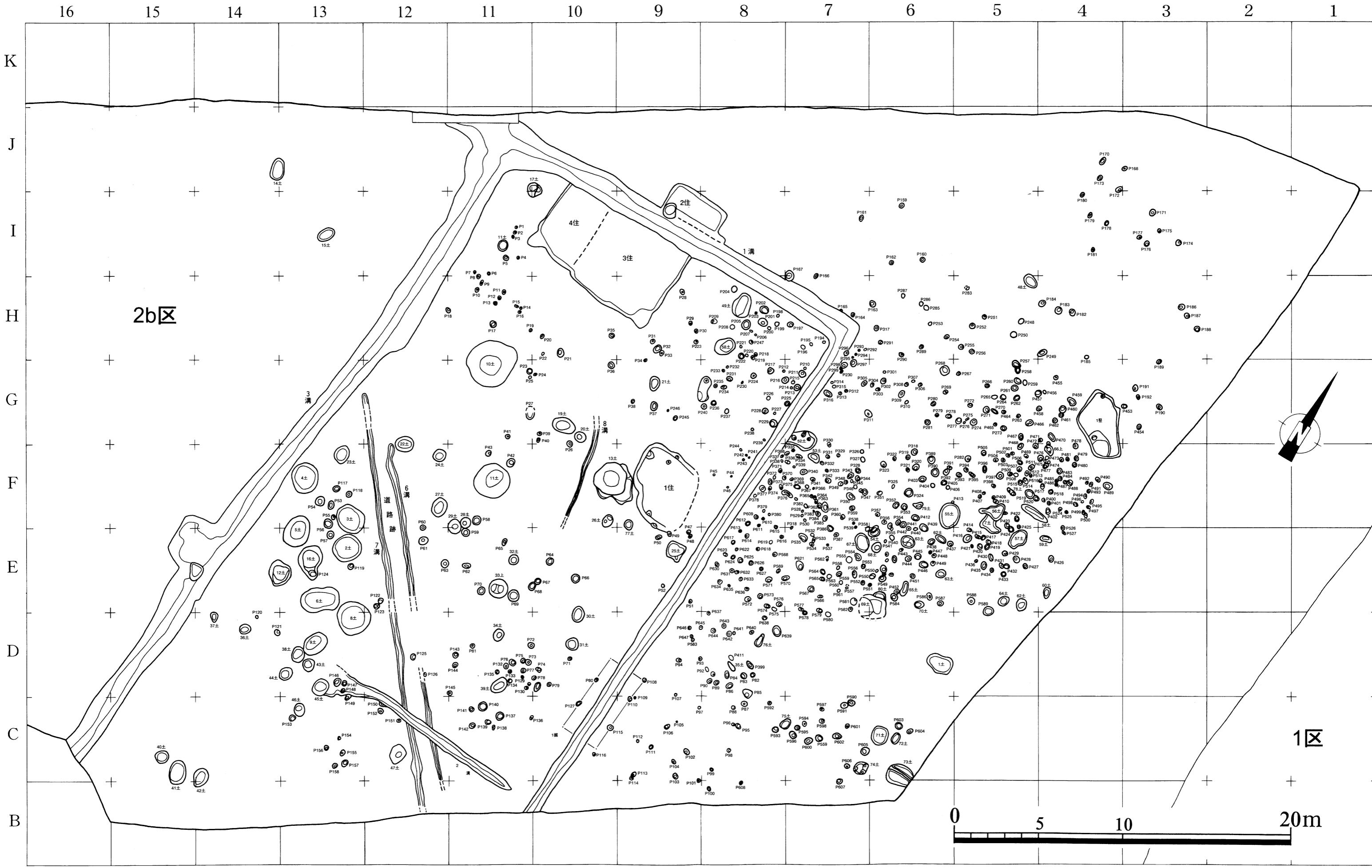
D

C

B

A





付図3 石橋北屋敷遺跡2a区遺構配置図 (1:200)

25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11

K

J

I

H

G

F

E

D

C

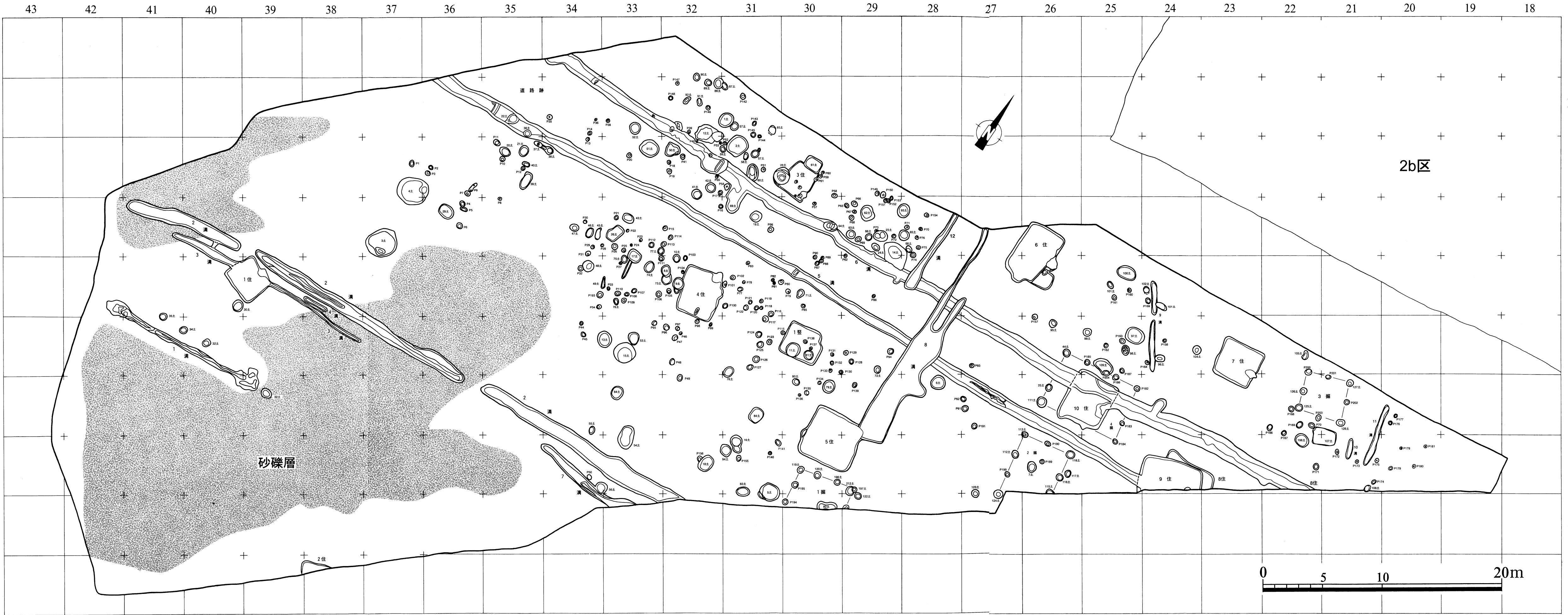
0 5 10 20m

付図4 石橋北屋敷遺跡2b区遺構配置図 (1 : 200)

2a区

3区





付編1 石橋北屋敷遺跡周辺の地形環境

山梨文化財研究所 河西 学

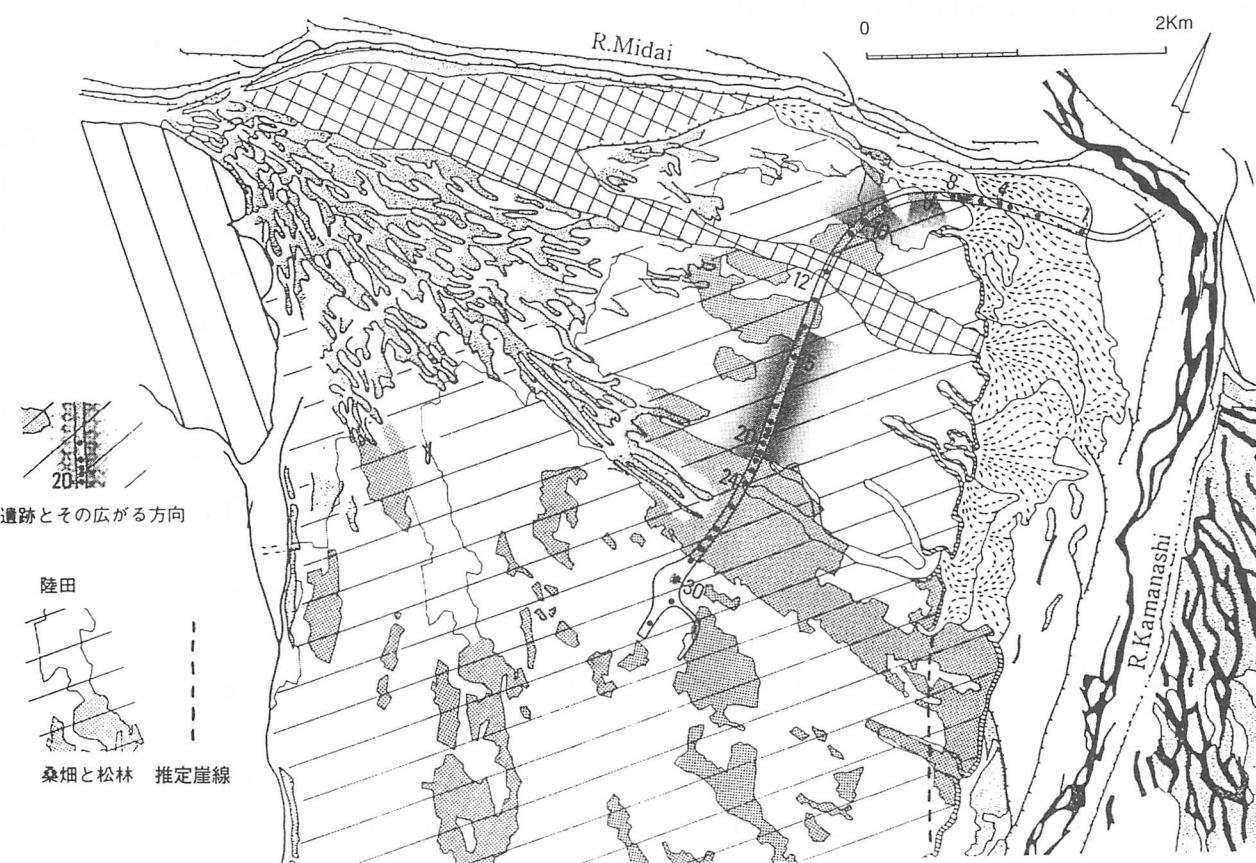
本遺跡は、御勅使川扇状地の扇央～扇端部に位置する。御勅使川は、南部フォッサマグナ地域の新第三系からなる巨摩山地を源流とし、甲府盆地に流出する際、白根町駒場付近を扇頂部とした広大な扇状地を形成している。また「前御勅使川」(南御勅使川)と称されるかつての流路は、現在の県道竜王芦安線沿いに流れていたものであり、明治21年測量の2万分の1地形図に記載されている。御勅使川扇状地に関しては、高木・中山(1983)、中山・高木(1987)などの詳細な研究がなされており、また保坂(1999)は、中部横断自動車道に関連する遺跡の試掘調査から得られた地質資料から、流路の変遷と遺跡の分布について述べている(第1図)。

現在の御勅使川流路(本御勅使川・後御勅使川・北御勅使川とも呼ばれる)は、扇状地の北部の韮崎市と中巨摩郡との境界に位置し、堤防施設によって固定されている(第2図)。さらに釜無川(富士川)の沖積地への現流路の出口部分は、八ヶ岳火山の崩壊に伴う韮崎岩屑流堆積物(中期更新統)から構成される竜岡台地と、同一地質の赤山との間に位置している。この竜岡台地・赤山間の流路部分は、「堀切り」と呼ばれる。貞享5年(1688)の「御本丸様書上」、江戸時代後期にできた「甲斐国志」などの記載をもとに、これらの治水事業が武田信玄との関係で述べられているが、文献的な史料に乏しく、詳細については不明な部分が少くない(笹本,1998)。「堀切り」部分の流路が、自然營力による河川争奪の結果として治水事業が行われる以前に何らかの形で存在していた可能性も検討される必要がある(保坂、1999)。成立の経緯はともかく、「堀切り」に流路が固定される以前の御勅使川流路は、割羽沢と合流後赤山付近を南東方向へ流れていたものと考えられる。現河道より南側に分布する六科から赤山付近にかけての低地は、「堀切り」に流路が固定される以前の御勅使川流路および割羽沢と合流後の御勅使川流路を示していると考えられる。なお大聖寺北側を取りまく低地は、かつて割羽沢あるいは御勅使川流路の旧流路であったと考えられる。

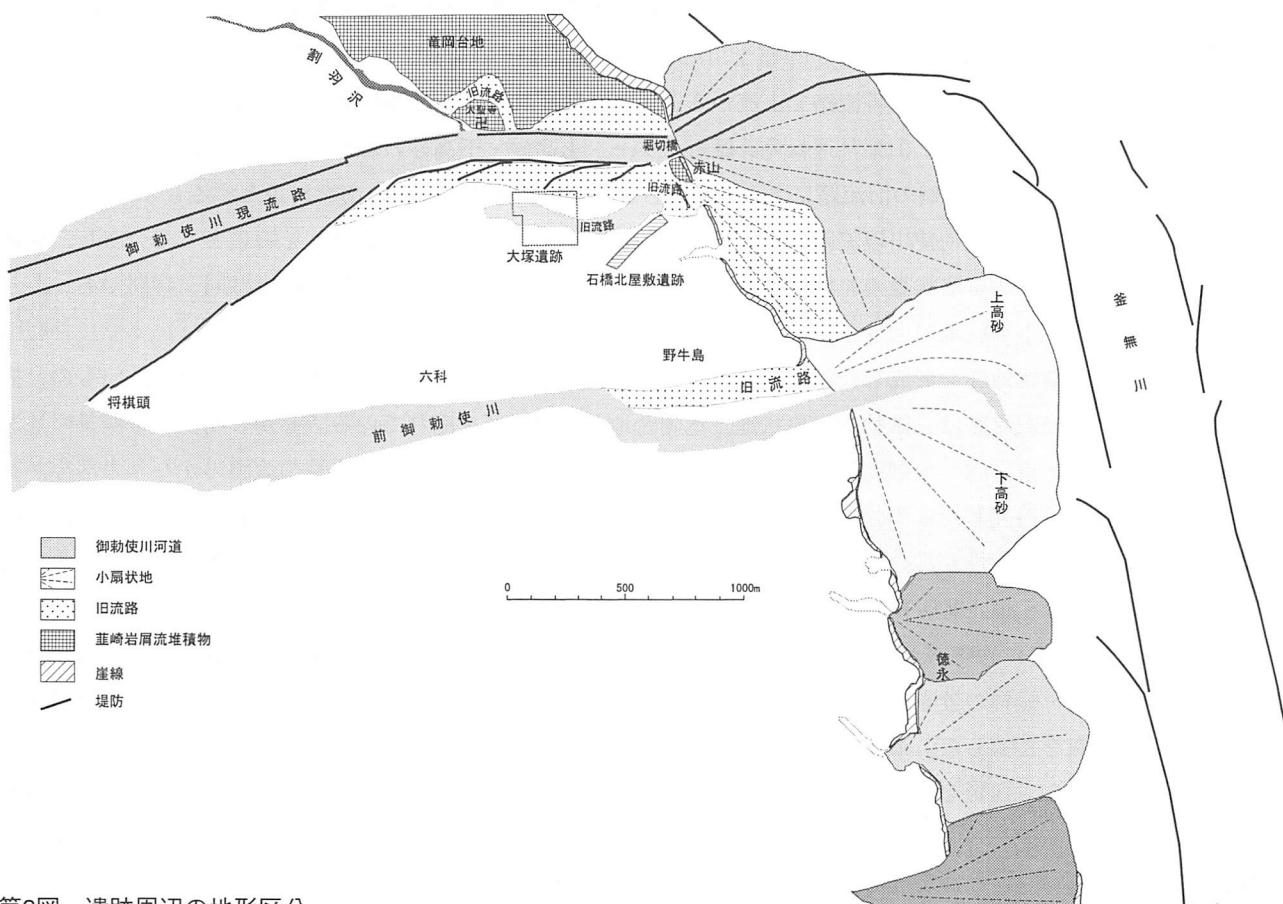
赤山から南南東に八田村徳永集落の南まで連続する崖線、および白根高校付近から若草町鏡中条付近に至る連続する崖線は、御勅使川扇状地扇端部が釜無川(富士川)の側方浸食によって削剥されたものである。

赤山－徳永間の崖線の東側には、各流路で上流から運ばれた碎屑物によって小扇状地が形成されている。県道甲府芦安線に沿った前御勅使川は、山梨県運転免許証センター・上高砂・下高砂の範囲にかけての比較的広い範囲に小扇状地が分布する。赤山の南側の旧流路によって形成された小扇状地は、赤山の南を扇頂とするものである。「堀切り」に流路が固定された御勅使川現流路によって形成された小扇状地は、堀切橋付近を扇頂として分布し、隣接する赤山の南を扇頂とする小扇状地の北側を削剥している。赤山－徳永間の崖線の形成はほぼ同一時期であったと考えられることから、小扇状地の大きさは、上流からもたらされた堆積物量を反映する。割羽沢は、すでに甘利山地前縁の小河川が小扇状地群を形成した後の傾斜の緩やかな排水路であり、堆積物の運搬力はかなり低いものと推定される。現在の割羽沢流路は、御勅使川扇状地と竜岡台地との境界部を流れている。しかし明治21年測量の地形図にみられるような北東方向への御勅使川旧流路が存在した時点では、現割羽沢下流域の流路のかなりの部分が御勅使川の排水路として機能したはずである。赤山の南を扇頂とする小扇状地は、主として御勅使川流域の堆積物によって形成されている可能性が高いものと推定される。扇状地の規模を単純に比較した場合、崖線形成以降の「前御勅使川」の流量のほうが「堀切り」に流路が固定される以前の北御勅使川の流量より多かったものと考えられる。

保坂(1999)は、地表下に砂礫層が続く断面(C類)を示す地点が連続すること、C類土層断面の分布と明治21年測量地形図における桑畑・松林の分布が一致することなどから、有野から西野経由で端部が赤山－徳永崖線を埋積するかつての流路の存在を指摘した。最近の日々遺跡の発掘調査所見では、平安時代より新しい中世の陶磁器の出土があることから、西野を経由するこの流路は、少なくとも古代～中世において存在した可能性が考えられている。



第1図 御勅使川扇状地の地形分類と遺跡分布（高木・中山・1983：保坂.1999）



第2図 遺跡周辺の地形区分

西野を経由するのこの流路が形成した小扇状地は、現在では白根高校などが立地し、現在その東端は釜無川の浸食で白根高校－若草鏡中条付近間の崖線を形成している。赤山－徳永崖線は、竜岡台地東縁の崖線に連続して同一の指向性を示しており、高木・中山(1983)の等高線図に示されるように、その延長は上今諏訪の慈眼寺や諏訪神社付近まで連続しているものと考えられる。したがって徳永－諏訪神社間の崖線は、その後に形成された小扇状地によって埋積されたものと考えられる。古墳時代後期の横穴式石室をもつおつき穴古墳は、徳永－諏訪神社間の崖線に近接する微妙な位置に立地する。おつき穴古墳は、崖線を覆う小扇状地上に立地している可能性がある。

白根高校－鏡中条付近の崖線は、赤山－諏訪神社崖線と方向を異にし、現釜無川流路とほぼ平行し、釜無川の沖積面と直接しており、崖線付近に小扇状地の発達がほとんど見られないことなどから、新期に形成された崖線であることが考えられる。釜無川は、中世から近世にかけて堤防による治水事業の影響で、東から西側へと流路が変遷したとされる(川崎、1994)。白根－鏡中条崖線は、釜無川の西への流路変遷と密接に関係しながら形成されたものと考えられる。

将棋頭は、白根町有野・八田村六科間に位置し、前御勅使川と北御勅使川(現御勅使川)との分水地点に築かれた堤防である(宮澤ほか、1989)。両流路はある時期同時存在をしていたと考えられる。また現御勅使川の北側には、竜岡将棋頭が分布している(山下、1989；畠、1988)。将棋頭は、六科から野牛島地域に広がる耕作地と南北の御勅使川流路とを区画するように分布している。おそらくその主たる役割は、下流の耕地の防御であると思われる。将棋頭は、構築物の規模や構造からみて将棋頭単独の機能として、一部に言われているような流水を二分して水勢を弱めることを目的としている可能性は低いと考えられる(畠、1988； 笹本、1998)。

石橋北屋敷遺跡は、大塚遺跡や仲田遺跡などとともに、将棋頭に上流部を保護された地域内に分布している。将棋頭で囲まれた下流の、六科や野牛島地区では水田耕作がなされている。中山・高木(1987)は、洪水時の泥流による集合運搬によって生じた泥流堤が堆積することが御勅使川の特徴のひとつであるとし、扇頂部の有野から扇央部の六科付近までの泥流堤の分布を示している。空中写真等で観察すると六科から上流の水田地帯は、複雑な地形を示しており、これら泥流堤の分布と一致する。また現在の御勅使南工業団地範囲の試掘の際、大塚遺跡発掘地区を除くほとんどで砂礫が堆積していて、遺構遺物が検出されなかったとされることからも、氾濫による洪水の影響を断続的に受けていたことが推定される(新津、1997)。

将棋頭から下流の地域において、前御勅使川以外に比較的顕著な流路跡が2箇所認められる。

ひとつは八田小学校のグラウンドから村役場の北をとおるもので、前御勅使川の旧流路と考えられる。八田小学校西側において県道竜王芦安線の屈曲に沿って明治21年測量の地形図に示される前御勅使川流路が屈曲しているが、この旧流路は直線的に前御勅使川が東流する方向に位置している。野牛島集落の発展と前御勅使川の屈曲とは関連性があるかもしれない。

一方、大塚遺跡を縦断する東西方向の旧流路が認められる。大塚遺跡では、古墳時代～平安時代の遺構が、この旧流路によって削剥されていることが明らかになっている。この旧流路は、上流では将棋頭に連続して、石橋北屋敷遺跡の北側をとおり、下流では「堀切り」に流路が固定される以前に御勅使川流路が形成していた低地を覆って小規模な堆積がみられる。顕著な小扇状地上の堆積は認められないことから、現御勅使川が「堀切り」に流路固定後に、この旧流路が氾濫時の一時的な排水路として機能した可能性がある。

本遺跡は、中世の遺構が中粒～細粒の泥流堆積物によって覆われている。上記の旧流路などから離れて位置していることで洪水時の削剥を免れたと推測される。御勅使川扇状地の扇央部～扇端部において、浸食されていない良好な遺存状態の遺跡の発見が、今後期待される。

【文献】

畠大介 (1988) 竜岡将棋頭について。武田氏研究、2、27-33。

保坂康夫 (1999) 御勅使川扇状地の古地形と遺跡立地－中部横断道の試掘調査の成果から－。山梨県立考古博物館・

山梨県埋蔵文化財センター研究紀要15、93-100。

川崎剛（1994）釜無川の流路変遷について。武田氏研究、13、41-59。

宮澤公雄ほか（1989）『将棋頭遺跡須沢城址』。白根町教育委員会。

中山正民・高木勇夫（1987）微地形分析よりみた甲府盆地における扇状地の形成過程。東北地理、39、98-112。

新津健（1997）『大塚遺跡』。山梨県埋蔵文化財センター調査報告書、第137集。

笹本正治（1998）信玄堤の評価をめぐって。『治水・利水遺跡を考える一人は水とどのようにつきあってきたかー』

第Ⅱ分冊発表要旨・紙上発表編、14-23。

高木勇夫・中山正民（1983）甲府盆地西部地域の地形。日本大学文理学部自然科学研究所研究紀要、18、31-41。

山下孝司（1989）韋崎市竜岡将棋頭。『将棋頭遺跡須沢城址』。白根町教育委員会、46-47。

付編2 八田村石橋北屋敷遺跡出土鉄滓の分析・調査

川鉄テクノリサーチ株式会社 分析・評価センター

埋蔵文化財調査研究室 岡原 正明・伊藤 俊治

1. はじめに

山梨県埋蔵文化財センターが発掘調査し、八田村石橋北屋敷遺跡より出土した鉄滓について、学術的な記録と今後の調査のための一環として化学成分分析を含む自然科学的観点での調査依頼があった。

調査の観点として、

①製鉄原料の推定、②製鉄工程上の位置付け、③観察上の特記事項、等を中心に調査した。

その結果について報告する。

2. 調査項目および試験・検査方法

(1) 調査項目

NO.	資料の性格	出土位置	重量 g	着磁力	M 反応	C 応	外 写	観 真	成 分 分析	組 写	織 真	X 回	線 析	EPMA
1	鉄滓	3区5号住	138.3	稍弱	無		○	○	○	○	○			
2	鉄滓	3区5号住	74.3	稍弱	無		○	○	○	○	○			
3	鉄滓 ⇒鉄魂	3区5号住	131.5	強	無		○	○ ○鉄滓 ○金属	○ ○金属	○	○ ○鉄滓	○ ○金属		
4	鉄滓	3区5号住	82.9	稍弱	無		○	○	○	○	○			
5	鉄滓 (羽口付着)	2b区 11号土坑	34.7	中	無		○	○	○	○	○			
6	鉄滓	2b区 32号土坑	47.6	稍弱	無		○	○	○	○	○			
7	鉄滓	2b区 35号土坑	34.3	稍弱	無		○	○	○	○	○			

註：(1)出土位置および試料の性格は貴センターに準拠した。なお、⇒後の性格は考察の結果による。

M C 反応とはメタルチェック（金属探知機）への感応を言う。

(2) 重量計測と着磁力調査

計重は電子天秤を使用して行い、小数点1位で四捨五入した。着磁力調査については、直径30mm・1300ガウス(0.13 テストラ)のリング状フェライト磁石を使用し、官能検査により「強・やや強・中・やや弱・弱」の5ランクで個別調査結果の文中に表示した。

(3) 外観の観察と写真撮影

上記各種試験用試料を採取する前に、試料の両面をmm単位まであるスケールを同時写し込みで撮影した。

(4) 化学成分分析

化学成分分析はJISの分析法に準じて行った。分析方法および分析結果は16頁の一覧表に示してあるので、参考照下されたい。この調査は化学成分から鉄を作るために使用した原料の推定と、生産工程のどの部分で発生した鉄滓かの判断用データを得るために行った。分析項目は18成分とした。なお、試料No.3に残存する金属鉄の分析項目は14成分とした。

(5) 顕微鏡組織写真

試料の一部を切り出し樹脂に埋め込み、細かい研磨剤などで研磨（鏡面仕上）する。その後、顕微鏡で観察しながら代表的な断面組織を拡大して写真撮影し、溶融状況や介在物（鉱物）の存在状態等から加工状況や材質を判断する。鉄滓の場合にも同様に処理・観察を行い、製鉄・鍛冶過程での状況を明らかにする。必要に応じ試料断面の実体顕微鏡による観察を行う。

(6) X線回折測定

試料を粉碎して板状に成形し、X線を照射すると、試料に含まれている化合物の結晶の種類に応じて、それぞれに固有な反射（回折）されたX線が検出されることを利用して、試料中の未知の化合物を観察・同定する。

多くの種類の結晶についての標準データが整備されており、ほとんどの化合物が同定される。

(7) EPMA（X線マイクロアナライザー）による観察

高速電子線を $200\mu\text{m}\phi$ 程度に絞り分析対象試料面に照射し、その微小部に存在する元素から発生する特性X線を測定するもので、金属鉄中の介在物や鉄滓の成分構成を視覚から確認するために、二次元の面分析を行う。

3. 調査および考察結果

試料毎の調査および考察結果を次に述べる。

試料No.1 鉄滓

長さ65mm、幅48mm、厚さ37mmで、全体に灰色の微粒の土と茶色の水酸化鉄に覆われた鉄滓である。着磁力は弱く、MC反応はない。水分の多い場所にあった様相を呈する。重量は138.3gである。化学成分分析の結果では、全鉄(T.Fe)は53.9%の値でやや高く、酸化第一鉄（ウスタイト:FeO）も48.4%と多い。酸化第二鉄（ヘマタイト:Fe2O3）は23.0%と少ない。金属鉄（M.Fe）が0.22%と僅かながら含まれている。滓中の成分の指標となる造滓成分(SiO2+Al2O3+CaO+MgO)は25.4%とやや多い。砂鉄に含まれていたと考えられるチタニウム（酸化チタニウムで表示:TiO2）が0.26%、バナジウム(V)も0.009%存在する。一般に鉱石に含有される成分の一つである銅(Cu)の値は0.01%と少ない。したがって、鉄源は砂鉄の可能性が高い。結合水(C.W.)の値は1.80%とやや多いので、酸化第二鉄と水との化合物で鉄錆の一種であるゲーサイト等のオキシ水酸化鉄（ α -FeOOH等）が若干存在するものと推定される。滓断面の顕微鏡による観察では、灰白色の繊維状のウスタイト結晶と短冊がやや崩れた形状のファイヤライト（珪素と鉄の酸化化合物:Fe2SiO4）の結晶が観察される。他の鉱物質の結晶は特に認められず酸化鉄主体の滓と考えられた。写真の黒い箇所は鉱物質の一部がガラス化し、結晶の間を埋めた部分である。X線回折チャートを見ると、ウスタイトとファイヤライトとの強いピークが検出され、この他中程度の四三酸化鉄（マグネタイト:Fe3O4）と少量の鉱物質の化合物が存在する。顕微鏡では観察されなかったがゲーサイトも存在する。

以上の結果を総合すると、①この資料は精錬滓である。②鉄源には砂鉄が使用されたものと考えられる。

試料No.2 鉄滓

長さ67mm、径30mmの鉄滓片試料である。試料No.1と同様な付着物に覆われている。付着物がない箇所では黒色発泡部分が観察される。着磁力はやや弱く、MC反応はない。重量は74.3gである。化学成分分析の結果、T.Feは54.0%、FeOは43.6%と共に多く、Fe₂O₃は28.3%であった。また、M.Feが0.27%と僅かながら含まれている。造滓成分は24.5%とやや多い。砂鉄に含まれていたTiO₂が0.24%、Vも0.008%存在する。鉱石に含有される成分の一つであるCuの値は0.01%で、非常に少ない。したがって、鉄源は砂鉄の可能性が高い。C.W.の値は1.70%と多いので、ゲーサイト等のオキシ水酸化鉄が存在するものと推定される。滓断面で観た顕微鏡組織には、灰白色の繭状のウスタイト結晶と短冊形状がやや崩れ、その幅に大小があるファイヤライトの結晶が観察される。他の鉱物質の結晶は特に認められず酸化鉄主体の滓と考えられた。X線回折チャートによると、ウスタイトとファイヤライトとの強いピークが検出され、中程度のマグнетタイト、少量の鉱物質化合物の存在が認められる。この他ゲーサイトの弱いピークも観察される。

以上の結果を総合すると、①この資料は精錬滓である。②鉄源には砂鉄が使用されたものと考えられる。

試料No.3 鉄滓⇒鉄塊

長さ64mm、幅50mm、厚さ35mmで、試料No.1および2と同様の付着物に覆われている。上面は偏平で割欠き面があるが前述の試料とは接合しないので別の鉄滓と考えられる。部分的に着磁力が強く、MC反応もあり残存金属の存在が示唆された。重量は131.5gである。試料断面の実体顕微鏡による観察で、全体が多孔質の金属鉄で構成されていることが判明した。おそらく、砂鉄が還元され溶けた鉄の凝集が始まる前の状態で凝固した金属塊であろう。空孔の中には鉄滓が詰まっている。鉄滓部分の成分分析の結果、T.Feは49.9%、FeOは27.4%であった。砂鉄に含まれていたと考えられるTiO₂が0.25%、Vも0.008%存在する。鉱石に含有される成分の一つであるCuの値は0.01%であった。Fe₂O₃の値が40.4%、C.W.の値は4.21%と共に多いので、ゲーサイト等のオキシ水酸化鉄が存在するものと推定される。なお、滓の化学成分からして鉄源は砂鉄の可能性が高い。金属鉄の化学成分分析の結果では、炭素(C)の含有量は0.68%であるが、Siや他の元素の含有量は少なく純度の高い鉄と言える。また、通常砂鉄に多く含まれ鉄中の不純物として移行してゆくTiやVの量はそれぞれ0.001%，0.001%以下と非常に少ない。これに対し、一般的に鉄原料が鉱石の場合に多く含まれてくるとされるCuやニッケル(Ni)の含有量がともに0.03%とやや高い値を示しているが、磷(P)の値が0.003%以下と非常に低いので鉄源に鉱石を使用した可能性は低い。金属塊に付着している滓断面の顕微鏡組織をみると、滓の中に多くの空孔が認められる。滓の組織には、灰白色の繭状のウスタイト結晶と短冊がやや崩れた形状のファイヤライトの結晶が観察される。他の鉱物質の結晶は特に認められず酸化鉄主体の滓と考えられる。採取位置が異なる金属鉄の顕微鏡組織では、黒く比較的丸い部分は空孔である。白く見える箇所はフェライト(純鉄)結晶、その間の灰色部分はパーライト〔フェライトとセメンタイト(炭化鉄：黒色)〕とが互いに層状になった組織〕である。推定であるが炭素量はたかだか0.3%以下と考えられる。一方、22頁に示した組織の結晶は非常に細かく炭素を0.7%以上含む鉄が急冷されて出来たものと考えられる。したがって、還元途中の場所によって炭素量にバラツキがある鉄が比較的急速に冷却されて出来た鉄塊と示唆される。EPMAによる金属面の観察結果では、SE像で灰色の右上部分は金属鉄で、左下部分は介在物(鉄滓に代表される不純物)である。この部分は鉄(Fe)とアルミニウム(Al)からなる硫黄(S)を含む酸化物である。また、TiやVの存在は少なく、しかも滓の中に偏析している傾向は認められない。X線回折チャートでは、ウスタイト、ファイヤライトおよび石英(シリカ)の強いピークが検出され、この他中程度のマグネットタイトと少量の鉱物質の化合物の存在が認められる。また、金属鉄が鏽化し生成したゲーサイトおよびゲーサイトと同じオキシ水酸化鉄のレピッドクロサイト(γ -FeOOH)が観察される。

以上の結果を総合すると、①試料は製錬過程で完全溶解・凝集する以前の鉄滓が詰まつた多孔質の鉄塊である。②鉄塊は比較的急速に冷却されたものと示唆される。③鉄源は鉄滓の化学成分から推定して砂鉄の可能性が高い。

試料No.4 鉄滓

長さ81mm、幅49mm、厚さ22mmで、全体に微粒で灰色の土と茶色の水酸化鉄に覆われている。本体は黒色発泡粗鬆な鉄滓である。椀形滓の1/4割欠き片状を呈する。着磁力はやや弱く、MC反応はない。重量は82.9gである。化学成分分析の結果、T.Feは41.2%、FeOは42.9%と共に多く、Fe₂O₃は10.9%と少ない。また、M.Feが0.25%と僅かながら含まれている。造滓成分は40.7%と非常に多い。砂鉄に含まれていたTiO₂が0.30%、Vも0.015%存在する。鉱石に含有される成分の一つであるCuの値は0.01%で、非常に少ない。したがって、鉄源は砂鉄の可能性が高い。C.W.の値は0.56%と少ないので、ゲーサイト等のオキシ水酸化鉄はあまり存在しないものと推定される。滓断面の顕微鏡組織をみると、滓の中には少量の灰白色の繭状のウスタイト結晶と短冊が崩れた形状の多量のファイヤライトの結晶が観察される。さらに200倍の写真中央部には灰褐色不定型のウルボスピネル（チタニウムと鉄の酸化化合物:Fe₂TiO₄）の存在が認められる。X線回折チャートによると、ウスタイトとファイヤライトとの強いピークが検出され、中程度の鉱物質化合物であるルーサイト（白リュウ石）、少量の石英の存在が認められる。マグнетタイト、ウルボスピネルおよびゲーサイトのピークは観察されない。

以上の結果を総合すると、①この試料は精錬滓である。②鉄源には砂鉄が使用されたものと考えられる。

試料No.5 鉄滓（羽口付着）

長さ51mm、幅35mm、厚さ26mmの羽口付着滓である。先端の溶融部分を分析対象とした。着磁力は茶黒色部で中程度を示したが、羽口成分がかなり溶け入んでいるものと観察される。MC反応は認められない。重量は34.7gである。化学成分分析の結果、T.Feは17.1%、FeOは6.30%と共に少なく、Fe₂O₃は17.2%であった。造滓成分は70.1%と非常に多い。TiO₂が0.55%、Vも0.018%存在する。鉱石に含有される成分の一つであるCuの値は0.01%で非常に少ない。したがって、鉄源は砂鉄の可能性が高い。C.W.の値は0.53%と少ないので、ゲーサイト等のオキシ水酸化鉄はあまり存在しないものと推定される。シリカ(SiO₂)が53.6%、アルミナ(Al₂O₃)は11.4%も存在するので羽口胎土成分が混入してしまったものと考えられる。滓付着面の顕微鏡組織では、滓の中に多数の灰白色の雪のような結晶と短冊がやや崩れた形状の細かいファイヤライトの結晶が観察される。他の鉱物質の結晶は特に認められず酸化鉄主体の滓と考えられた。X線回折チャートによると、マグネットタイトとシリカ（石英）の強いピークが検出され、中程度のファイヤライトと鉱物質化合物、少量のヘマタイトの存在が認められる。なお、ゲーサイトのピークは検出されない。

以上の結果を総合すると、①羽口先端の付着滓は製錬過程の滓と推定される。②鉄源には砂鉄が使用されたものと考えられる。

試料No.6 鉄滓

長さ52mm、幅28mm、厚さ20mmで、試料No.1および2と同様の付着物に覆われ砂礫の付着が多い。上面は偏平で割欠き面が1か所あるが前述の試料・1および2とは接合しない。部分的に着磁力がやや強いが、MC反応はない。重量は47.6gである。化学成分分析の結果、T.Feは51.9%、FeOは43.6%と共に高く、Fe₂O₃は6.30%と少ない。また、M.Feが0.53%と僅かながら含まれている。造滓成分は27.9%とやや多い。砂鉄に含まれていたTiO₂が0.18%、Vも0.008%存在する。鉱石に含有される成分の一つであるCuの値は0.01%で、非常に少ない。したがって、鉄源は砂鉄の可能性が高い。C.W.の値は1.16%なので、ゲーサイト等のオキシ水酸化鉄が少々存在するものと推定される。滓断面の顕微鏡組織をみると、灰白色の繭状のウスタイト結晶と樹枝状のマグネットタイト結晶および短冊がやや崩れた形状のファイヤライトの結晶が観察される。他の鉱物質の結晶は特に認められず酸化鉄主体の滓と考えられた。X線回折チャートによると、ウスタイトとファイヤライトとの強いピークが検出され、中程度のマグネットタイト、少量の鉱物質化合物の存在が認められる。なお、ゲーサイトのピークは観察されなかった。

以上の結果を総合すると、①この試料は精錬滓である。②鉄源には砂鉄が使用されたものと考えられる。

試料No.7 鉄滓

長さ47mm、幅33mm、厚さ11mmの偏平な割欠き面が1か所ある試料である。黒色で緻密な部分が観察されるが、他の試料と同様、白灰色の細かな土が空孔部に詰まっている。着磁力はやや弱く、MC反応はない。重量は34.3gである。化学成分分析の結果、T.Feは53.1%、FeOは52.1%と共に多く、Fe₂O₃は17.3%であった。また、M.Feが0.52%と僅かながら含まれている。造滓成分は26.2%とやや多い。砂鉄に含まれていたTiO₂が0.23%、Vも0.012%存在する。鉱石に含有される成分の一つであるCuの値は0.01%で、非常に少ない。したがって、鉄源は砂鉄の可能性が高い。C.W.の値は1.08%なので、ゲーサイト等のオキシ水酸化鉄が少々存在するものと推定される。滓断面の顕微鏡組織では、滓の組織には、綺麗な灰白色の繊維状のウスタイト結晶と細い短冊状のファイアライト結晶が観察される。X線回折チャートによると、ウスタイトとファイアライトとの強いピークが検出され、中程度のマグネタイトとシリカの存在が認められる。なお、ゲーサイトのピークは観察されなかった。

以上の結果を総合すると、①この試料は精錬滓である。②鉄源には砂鉄が使用されたものと考えられる。

化学成分分析結果

成分 資料NO	T.Fe	M.Fe	FeO	Fe ₂ O ₃	C.W.	SiO ₂	Al ₂ O ₃	CaO	MgO	TiO ₂	MnO	P2O ₅	Cr ₂ O ₃	Na ₂ O	K ₂ O	C	V	Cu
1	53.9	0.224	8.42	3.0	1.80	19.4	4.14	1.16	0.65	0.26	0.03	0.155	0.008	0.49	1.04	0.10	0.009	0.01
2	54.0	0.27	43.6	28.3	1.70	19.2	3.92	0.98	0.43	0.24	0.03	0.156	0.009	0.42	0.99	0.063	0.008	0.01
3	49.9	0.36	27.4	40.4	4.21	19.3	4.32	0.59	0.50	0.25	0.03	0.184	0.010	0.44	0.8	0.370	0.008	0.01
4	41.2	0.25	42.9	10.9	0.56	30.2	6.61	2.96	0.92	0.30	0.05	0.331	0.007	1.01	2.77	0.046	0.015	0.01
5	17.1	0.19	6.3	17.2	0.53	53.6	11.4	3.56	1.52	0.55	0.06	0.249	0.028	1.76	3.03	0.040	0.018	0.01
6	51.9	0.53	52.4	15.2	1.16	21.4	4.38	1.60	0.52	0.18	0.02	0.382	0.007	0.51	1.44	0.17	0.008	0.01
7	53.1	0.52	52.1	17.3	1.08	19.2	4.8	1.76	0.46	0.23	0.03	0.302	0.010	0.62	1.69	0.076	0.012	0.01

金属鉄

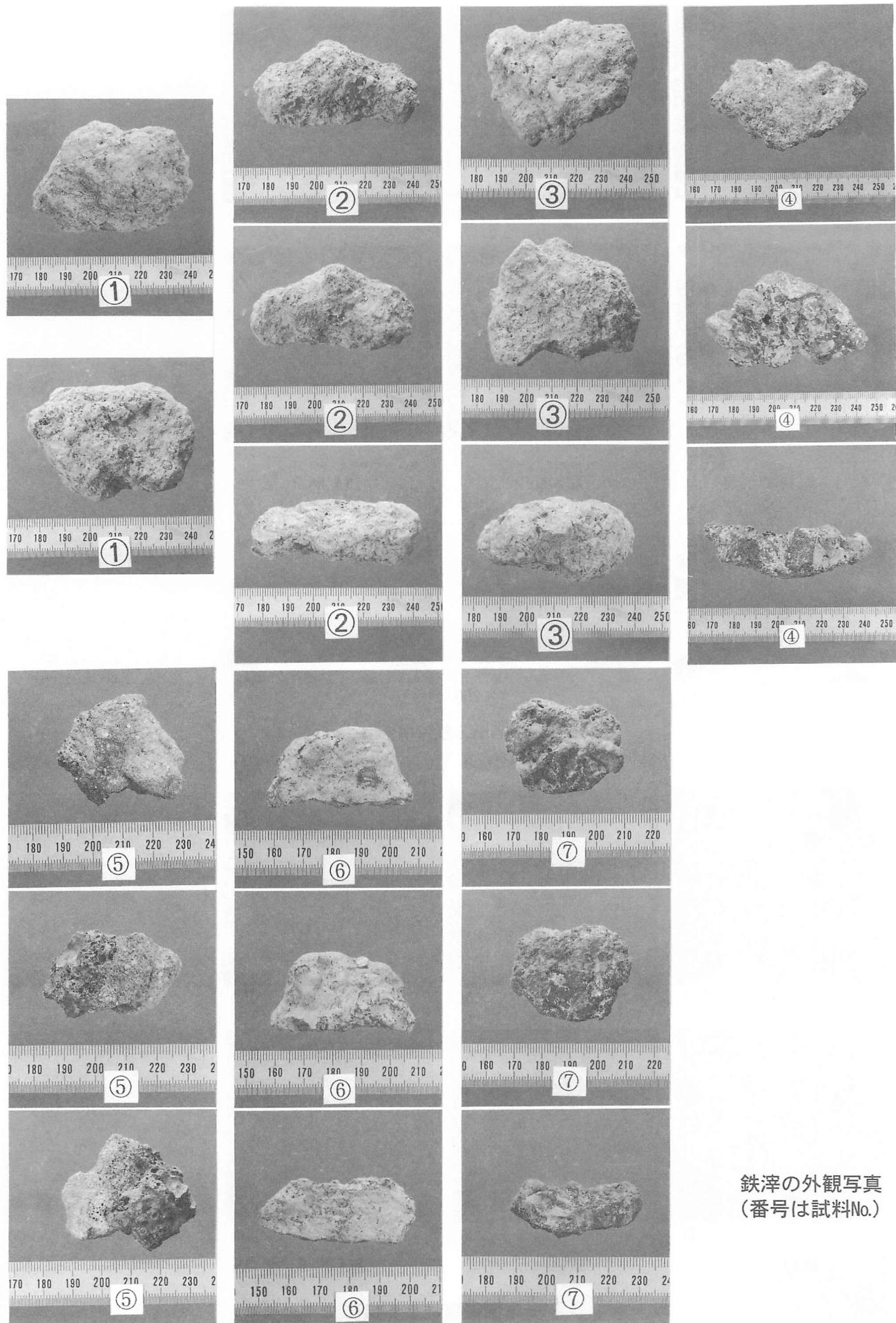
成分 資料NO	C	Si	Mn	P	S	Cu	Ni	Cr	Al	V	Ti	Ca	Mg	Fe	残
3	0.68	0.038	<0.0	<0.00	30.19	0.03	00.3	<0.00	10.009	<0.00	10.001	0.008	0.003	残	

[分析方法] はJISに準拠し以下の方法で行いました。
 T.Fe : 三塩化チタン還元ニクロム酸カリウム滴定法
 M.Fe : 臭素メタノール分解-EDTA滴定法
 FeO : ニクロム酸カリウム滴定法
 Fe₂O₃ : 計算
 C.W. : カールフィッシャー法
 C : 燃焼-赤外吸収法
 CaO,MnO,Cr₂O₃,Na₂O,V,Cu : ICP発光分光分析法
 SiO₂,Al₂O₃,CaO,MgO,P₂O₅,K₂O : ガラスビート蛍光X線分
 但しCaO,MgO,MnOは含有率に応じてICP分析法または蛍光X線分析法

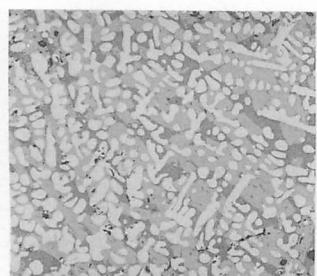
補記

紙面の都合から参考資料とX線回折チャート、資料NO.3のEPMAによる面分析結果の二次電子像は省略させていただいた。

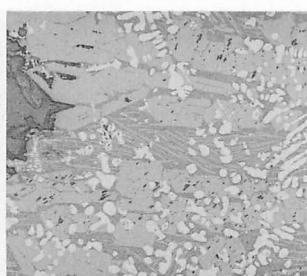
(小林)



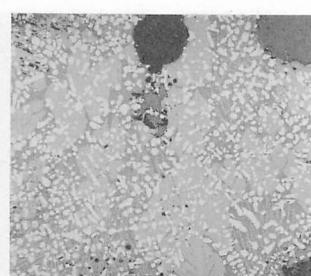
鉄滓の外観写真
(番号は試料No.)



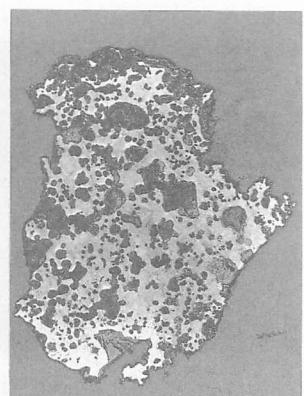
×50



×50

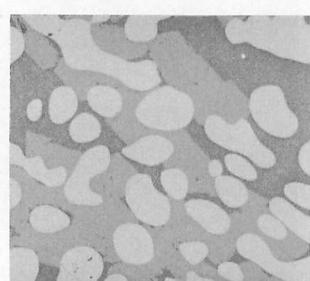


×50

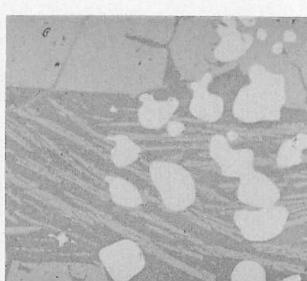


×5

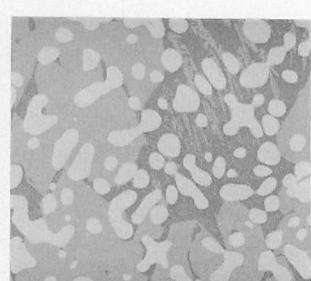
試料No. 3 鉄滓中金属



×200



×200



×200

試料No. 1

試料No. 2

試料No. 3



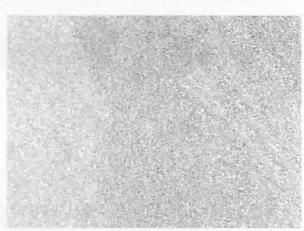
×50



×200

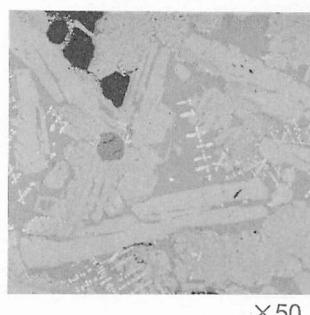


×50

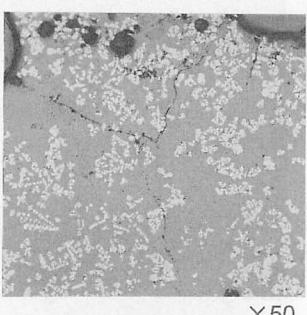


×200

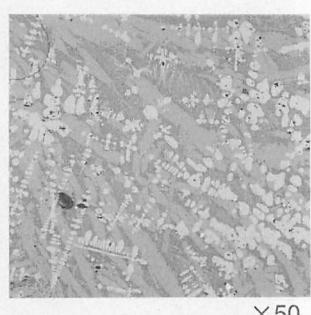
試料No. 3 鉄滓中金属



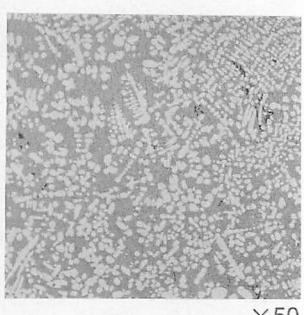
×50



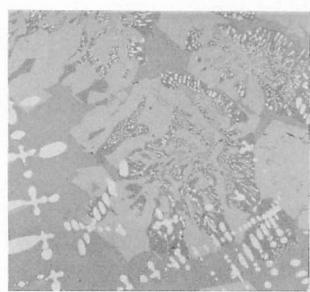
×50



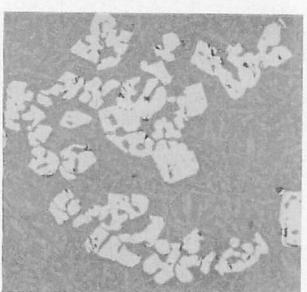
×50



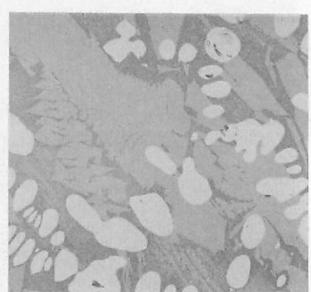
×50



×200



×200



×200

試料No. 4

試料No. 5

試料No. 6

試料No. 7

光学顕微鏡による撮影

付編3 石橋北屋敷遺跡の出土人骨鑑定結果

聖マリアンナ医科大学 解剖学教室 星野敬吾 平田和明

1.人骨出土状況

出土人骨は全体的に残りが悪く、骨質が土中で溶解している個体が多い。このような事例では土と骨とを分別することはほとんど不可能である。骨片の残る個体でも細片化が激しく、接合および鑑定は困難な部位が多い。

出土人骨は11体である。

2.人骨所見

歯式に関しては以下のように表記する。

アラビア数字：残存する永久歯

- : 歯槽閉鎖
- × : 歯槽欠損、破損により不明

1) 2 a 区

1～3号人骨すべてにおいて、保存状態は悪く風化が激しい。さらに、固定剤による土壤の付着で詳細は不明である。

(1) 1号人骨（成人1個体 性別不明）

保存状態は悪く、大腿骨骨体・頸骨骨体などが確認できるだけである。おそらく成人1個体分と思われる。性別は不明である。

(2) 2号人骨（成人1個体 性別不明）

保存状態は悪い。長骨らしき骨片、土壤に含まれる仙骨と思われる骨影、同じく土壤に含まれる頭蓋とおぼしき骨影が確認できる。おそらく成人1個体分である。

(3) 3号人骨（成人1個体 やや男性的）

1、2号人骨と比較すると保存状態はやや良好といえる。大腿骨骨体細片、上腕骨、上腕骨遠位端（滑車部）、尺骨近位端（滑車切痕部）などが確認できる。それらのやや大柄な様子から男性的であると思われる。成人1個体分と思われる。

2) 2 b 区

(1) 1号人骨（熟年期男性）

保存状態は悪い。頭蓋骨片、下顎骨左半、脛腓骨片、左大腿骨骨片などが確認できる。成人1個体分と考えられる。部分的に頸骨が確認可能である。歯式で以下に示す。以下の3歯はいずれも植立した状態で観察可能であった。

× 7	× × 4	× × ×		× × × × × × ×
× × × × × ×				× × × × 6 × ×

歯槽退縮が進んだ状態で、咬耗度もMartinの3度を示すことから、熟年期に達していたことを推測させる。齶触は認められない。眉上隆起の一部、左乳様突起が観察可能であるが、その発達具合は男性的である。

(2) 2号人骨（成人 男性）

頭蓋冠骨片、大腿骨片、上腕骨片、肋骨片などが確認できる。特に右大腿骨は寛骨と連関した状態が確認可能である。その大腿骨頭の大きさから、男性と推定する。

(3) 3号人骨（成人 やや女性的）

保存状態は悪い。頭蓋骨片、大腿骨骨体、左寛骨臼および大腿骨頭などを確認できる。成人1個体であると考えられる。四肢骨を見ると、どちらかといえばきやしゃな様子だが、女性と断定するほどには到らない。

(4) 4号人骨（成人1個体 性別不明）

頭蓋骨および長骨数本に相当する骨影が土中に認められる。骨質が残っているものでも細片化が激しく、観察は困難である。実測図と照らし合わせることで部位を推定することしかできない。成人1個体と考えられる。

(5) 5号人骨（青年期～壮年期 やや女性的）

大腿骨・上腕骨などの四肢長骨、肋骨などの体幹骨、および頭蓋骨など、全身の骨片が連関した状態で比較的多量に出土するが、細片化が激しく観察は困難である。四肢長骨はややきやしゃな様子であるが、女性と断定できるほどではない。頭蓋骨から歯列弓が確認できる。歯式を以下に示す。

× × × × × × × 1	1 2 3 4 5 6 7 ×
× × × × × × ×	1 2 3 4 5 ● 7 8

咬耗度は弱く、Martinの1度にとどまる。青年期～壮年期個体と推定できる。下顎左中切歯および側切歯が癒合歯を形成している。齶触は認められない。

(6) 6号人骨-a（壮年期 やや女性的）

上腕骨・前腕骨などの長骨骨片が確認できる。他、頭蓋骨と思われる骨影があるが定かでない。歯冠片が多数残存する。いずれも歯根は失われているが、咬耗のあることから成人の永久歯と考えて間違いない。いずれの遊離歯からも齶触は認められない。歯式を以下に示す。

× × × 5 4 × × ×	× × × 4 5 6 7 8
× 7 × 5 4 × × 1	× × × × 6 × ×

歯冠の大きさが全体的に小さく、やや女性的であるが、断定できない。

(7) 6号人骨-b（小児15～17歳前後 性別不明）

6号人骨-aにおける上記12本の遊離歯と別に、上顎左第三臼歯が残存する。咬耗度0度で、かつ歯根も未完成で推定全長の約1／3しか形成されていない。別個体小児の遊離歯が混入したものと考えられる。

3) 3区

(1) 1号人骨（青年期 性別不明）

四肢長骨が数本確認できる。細片化が激しいため、部位の同定は困難である。頭蓋と思われる土中の骨影の中に、歯列弓を推定できる形の複数の歯冠が確認できる。頬側面しか観察できないが、咬耗は弱い印象である。確認できる歯列は以下の通りである。第二大臼歯が萌出していたかどうかは確認できない。歯冠はすべて永久歯である。歯式を以下に示す。

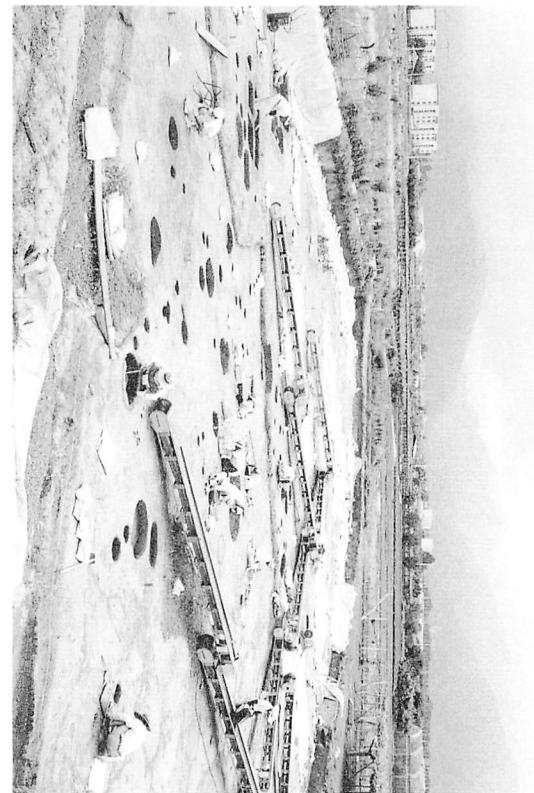
× × × × × × 2 1	1 2 3 4 5 6 × ×
× × × × × × ×	1 2 3 4 5 6 × ×

3.まとめ

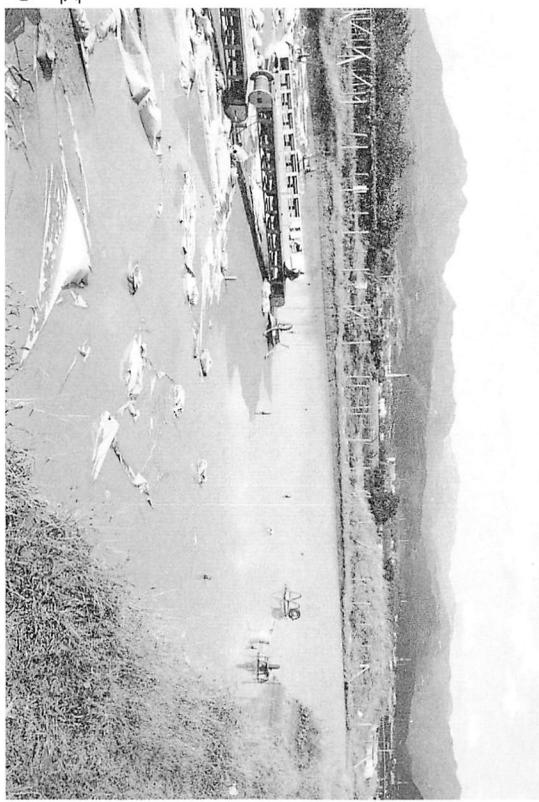
出土した11体は、成人骨10体と小児1体と考えられる。性別は、男性2体、やや男性的な個体1体、やや女性的な個体3体、性別不明5体とに分けることができる。下表に構成をまとめる。

	男性	女性	やや男性的	やや女性的	性別不明	計
小児					1	1
青年期～壮年期				2	1	3
熟年期	1					1
年齢不明（成人）	1		1	1	3	6
計	2	0	1	3	5	11

図 版



20区調査風景
(平成10年6月26日)



台風一過、水没した3区
(平成10年9月16日)



見学会
(平成10年11月21日)

図版1

1区の

調査



1.1区全景（奥が2a区・2b区・3区）



2. 1区1号掘立柱建物跡



3. 1区2号掘立柱建物跡



6. 1区ピット群

2a区の

調査



7. 2a区全景



8. 2a区1号住居跡



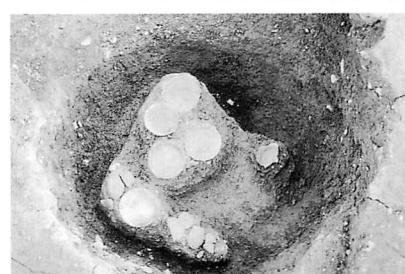
9. 2a区1号住居跡実測風景



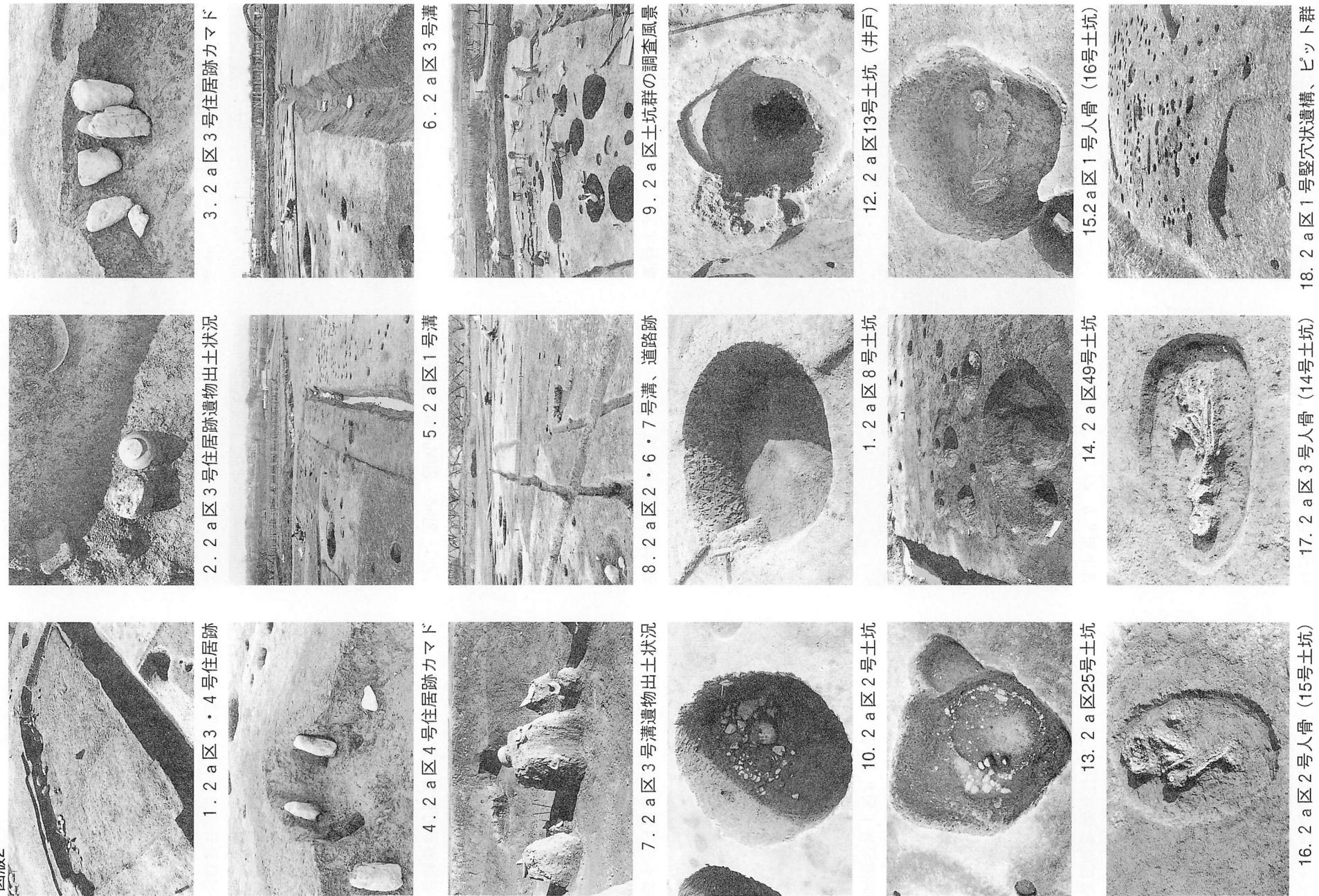
10. 2a区1号住居跡遺物出土状況



11. 2a区2号住居跡



12. 2a区2号住居跡遺物出土状況



18. 2 a区1号堅穴状遺構、ピット群

16. 2 a区2号人骨(15号土坑)

17. 2 a区3号人骨(14号土坑)

18. 2 a区1号土坑

12. 2 a区13号土坑(井戸)

11. 2 a区8号土坑

10. 2 a区2号土坑

9. 2 a区土坑群の調査風景

8. 2 a区2・6・7号溝、道路跡

7. 2 a区3号溝

6. 2 a区3号溝

5. 2 a区1号溝

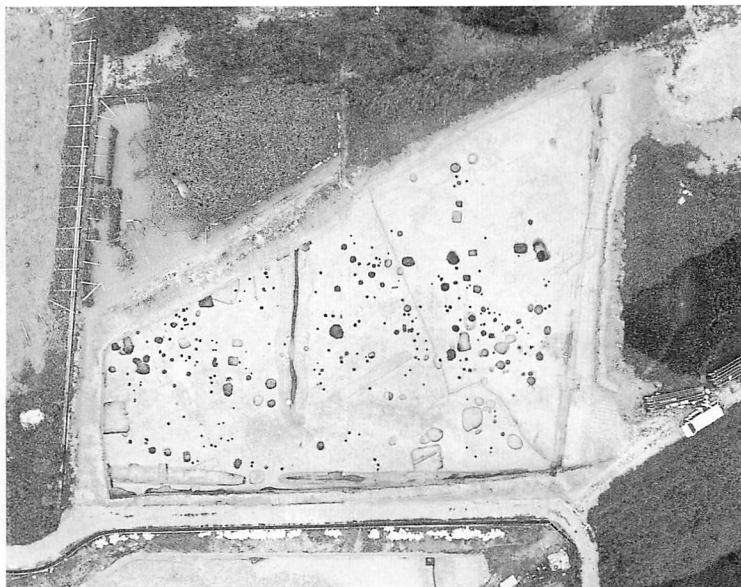
4. 2 a区4号住居跡カマド

3. 2 a区3号住居跡カマド

2. 2 a区3号住居跡遺物出土状況

1. 2 a区3・4号住居跡

2 b 区の
調査



1. 2 b 区全景



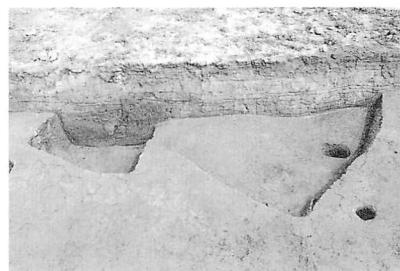
1. 2 b 区全景



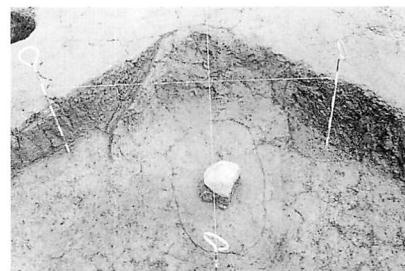
3. 2 b 区 1 号住居跡カマド



4. 2 b 区 1 号住居跡遺物出土状況



5. 2 b 区 2 号住居跡、2 号竪穴状遺構



6. 2 b 区 2 号住居跡カマド



7. 2 b 区 3 号住居跡



8. 2 b 区 3 号住居跡カマド



9. 2 b 区 3 号住居跡遺物出土状況



10. 2 b 区 1 号竪穴状遺構



11. 2 b 区 4 号溝



12. 2 b 区 4 号溝遺物出土状況



13. 2 b 区 5 号溝



14. 2 b 区 5 号溝調査風景



15. 2 b 区 1・2 号土坑

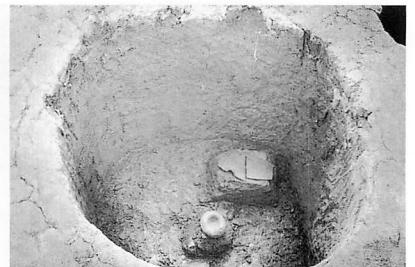
図版4



1. 2 b 区17号土坑



2. 2 b 区21号土坑



3. 2 b 区26号土坑



4. 2 b 区1号人骨 (7号土坑)



5. 2 b 区2号人骨 (4号溝内)



6. 2 b 区1号人骨 (59号土坑)



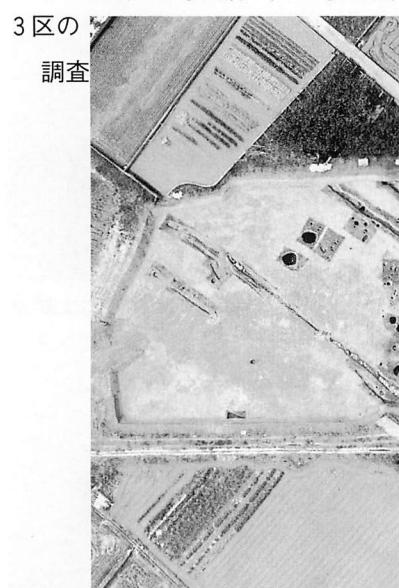
7. 2 b 区4号人骨 (104号土坑)



8. 2 b 区5号人骨 (28号土坑) 調査風景



9. 2 b 区土坑群、ピット群



10. 3 区全景



11. 3 区1号住居跡



12. 3 区1号住居跡カマド



13. 3 区1号住居跡遺物出土状況



14. 3 区2号住居跡



15. 3 区3号住居跡、28・61号土坑



1. 3区3号住居跡カマド



2. 3区4号住居跡



3. 3区4号住居跡カマド



4. 3区5号住居跡



5. 3区5号住居跡遺物出土状況



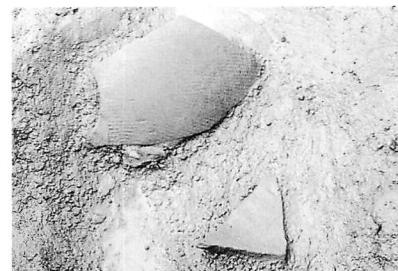
6. 3区5号住居跡遺物出土状況



7. 3区6号住居跡



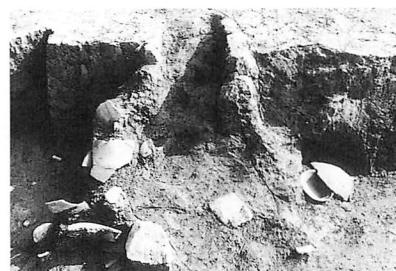
8. 3区6号住居跡カマド



9. 3区6号住居跡カマド内遺物出土状況



10. 3区7号住居跡実測風景



11. 3区7号住居跡カマド



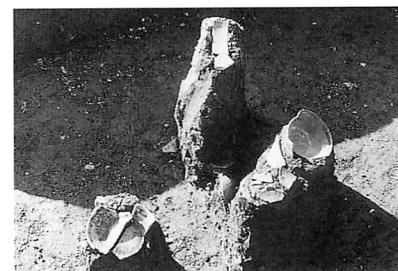
12. 3区7号住居跡遺物出土状況



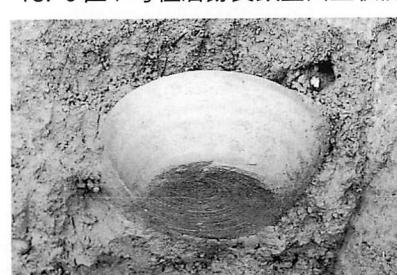
13. 3区7号住居跡長頸壺出土状況



14. 3区8・9号住居跡



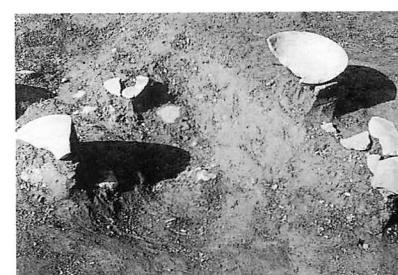
15. 3区9号住居跡遺物出土状況



16. 3区9号住居跡遺物出土状況



17. 3区10号住居跡、4号掘立柱建物跡

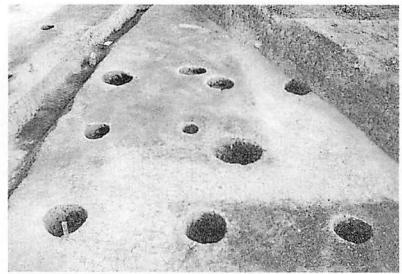


18. 3区10号住居跡遺物出土状況

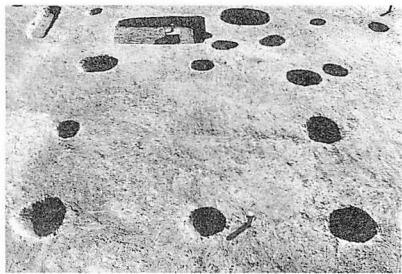
図版6



1. 3区1号掘立柱建物跡



2. 3区2号掘立柱建物跡



3. 3区3号掘立柱建物跡



4. 3区2・7号溝



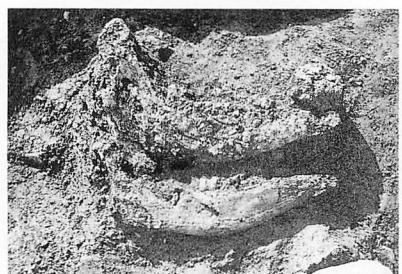
5. 3区2号溝遺物出土状況



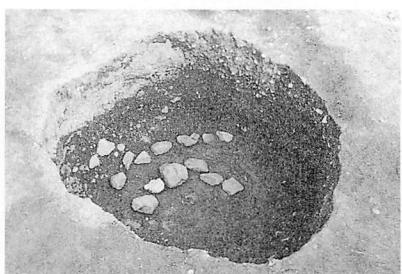
6. 3区2号溝遺物出土状況



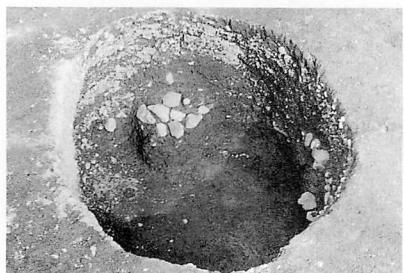
7. 3区2号溝石臼出土状況



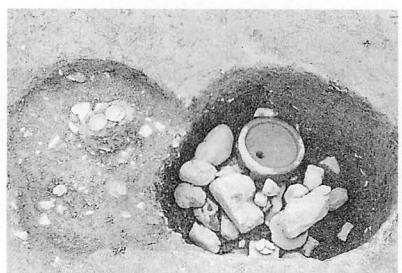
8. 3区2号溝ウマの下顎骨出土状況



9. 3区3号土坑



10. 3区4号土坑



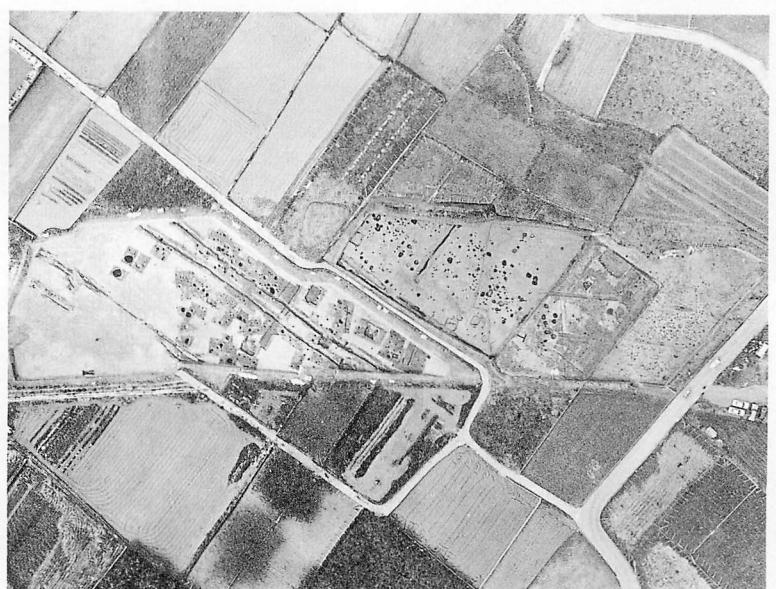
11. 3区8号土坑



12. 3区3号土坑遺物出土状況



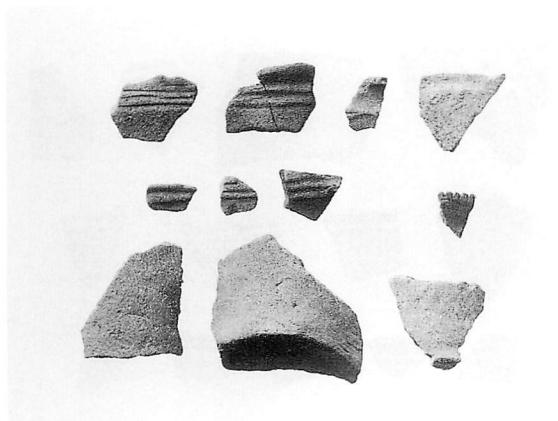
13. 3区9号土坑



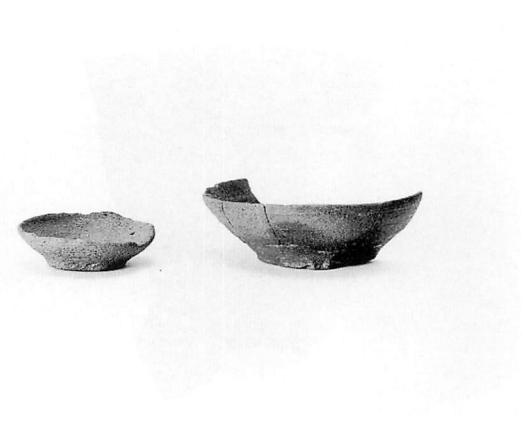
15. 2a区・2b区・3区モザイク処理写真



14. 3区1号人骨 (60号土坑)



2. 2 a 区 1号住居跡出土土器



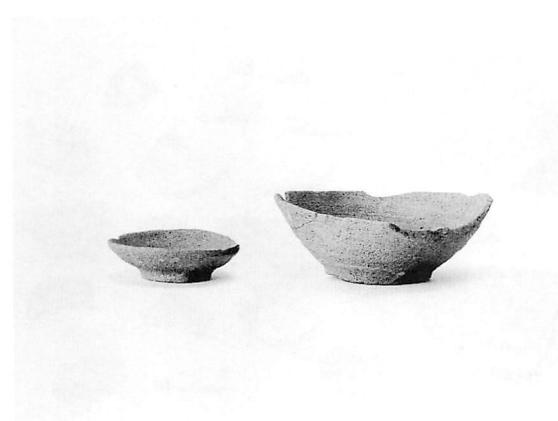
1. 1 区出土土器



3. 2 a 区 2号住居跡出土土器



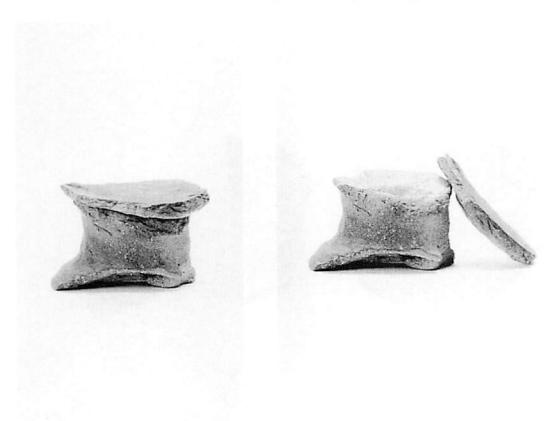
4. 2 a 区 3号住居跡出土土器



5. 2 a 区 4号住居跡出土土器



6. 2 a 区 1・3号溝出土土器



7

8

9
7～10. 2 a 区17号土坑出土土器（柱状高台皿）

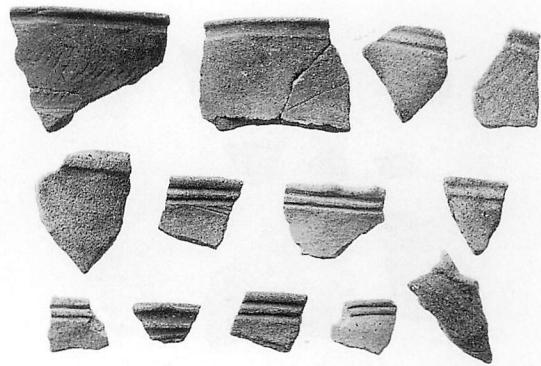
10



図版8



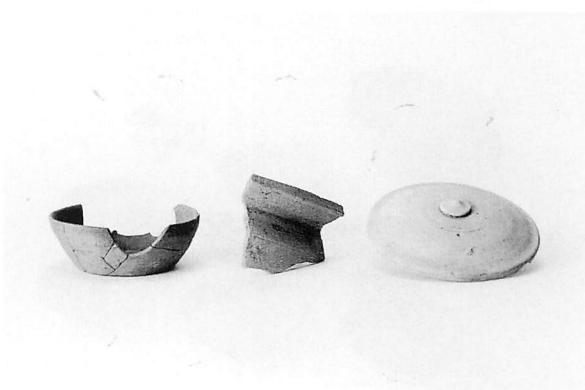
1. 2 a 区68号土坑出土土器



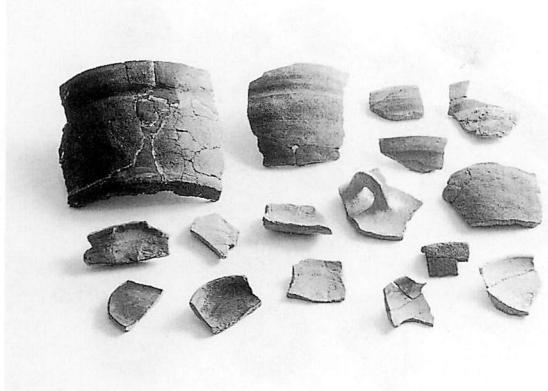
2. 2 a 区遺構外出土土器



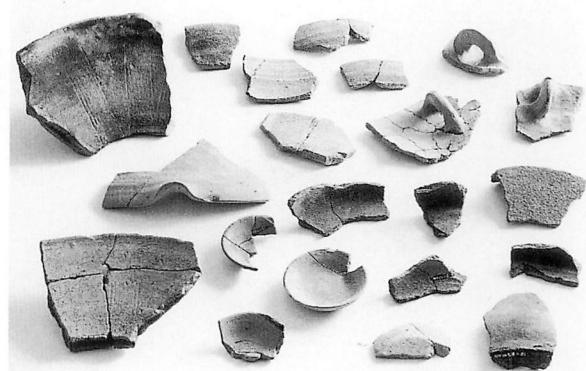
3. 2 b 区1号住居跡出土土器



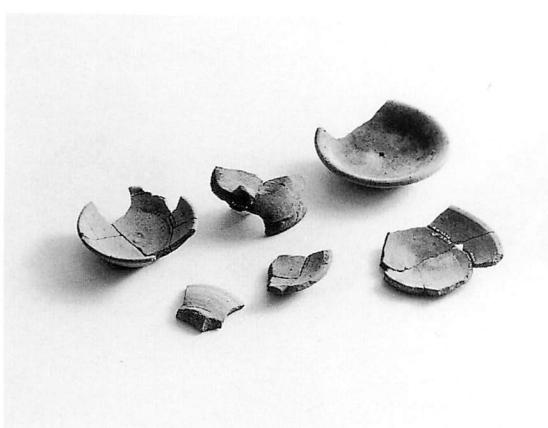
4. 2 b 区3号住居跡出土土器



5. 2 b 区4号溝出土土器



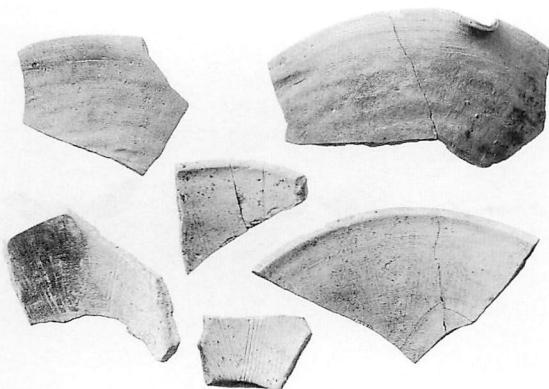
6. 2 b 区5号溝出土土器



7. 2 b 区土坑出土土器 (かわらけ)



8. 2 b 区土坑出土土器 (内耳鍋)



1. 2 b 区土坑出土土器（擂鉢）



2. 2 b 区21号土坑出土土器



3. 3 区1号住居跡出土土器



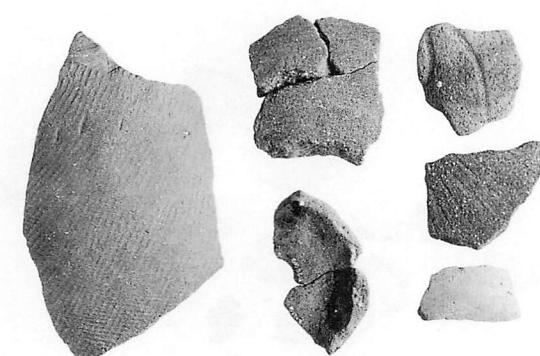
4. 3 区3号住居跡出土土器



5. 3 区4号住居跡出土土器



6. 3 区5号住居跡出土土器

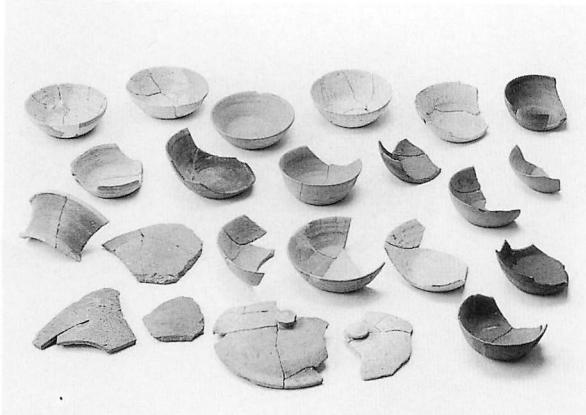


7. 3 区6号住居跡出土土器

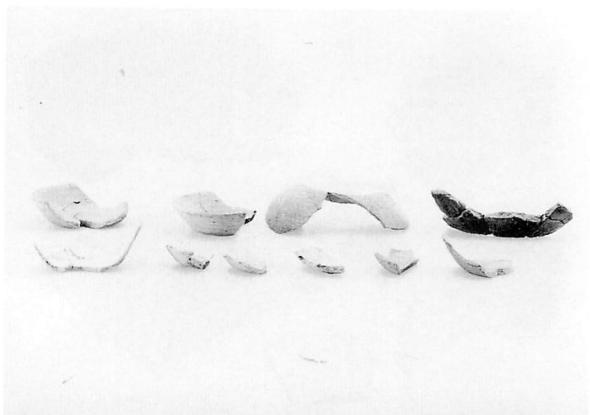


8. 3 区7号住居跡出土土器

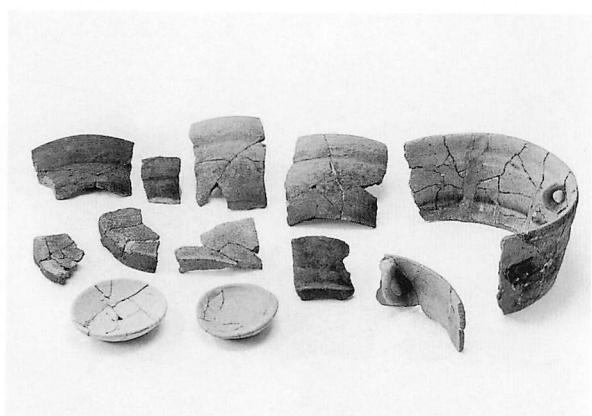
図版10



1. 3区9号住居跡出土土器



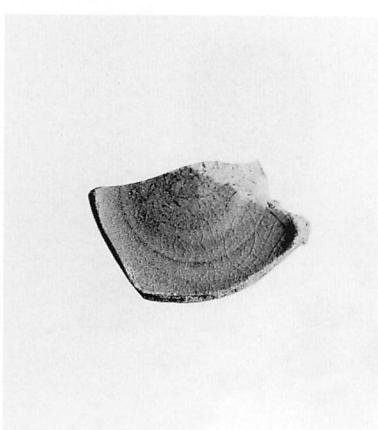
2. 3区10号住居跡出土土器



3. 3区2号溝出土土器



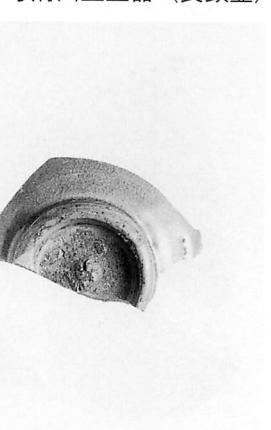
4. 3区5号溝出土土器（長頸壺）



5



6



7

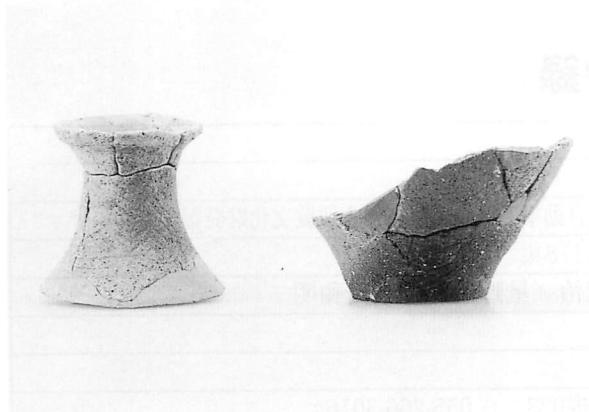


8

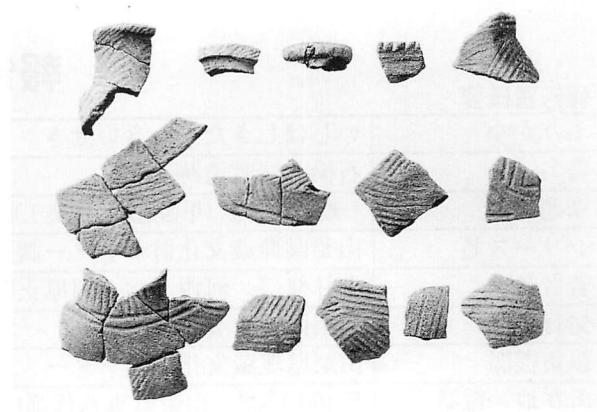


5～8. 3区6号溝出土青磁碗

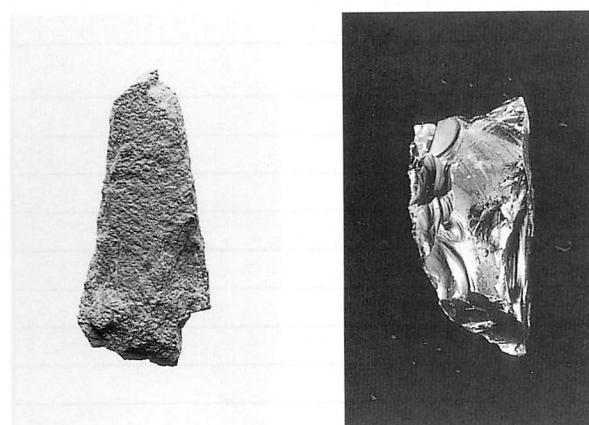
9. 3区土坑出土土器（かわらけ）



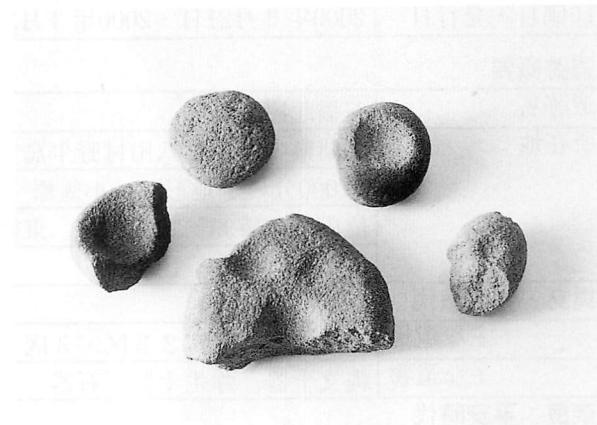
1. 3区遺構外出土土器



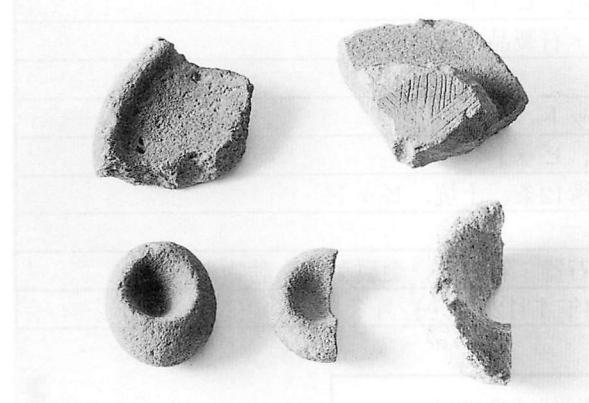
2. 3区遺構外出土土器



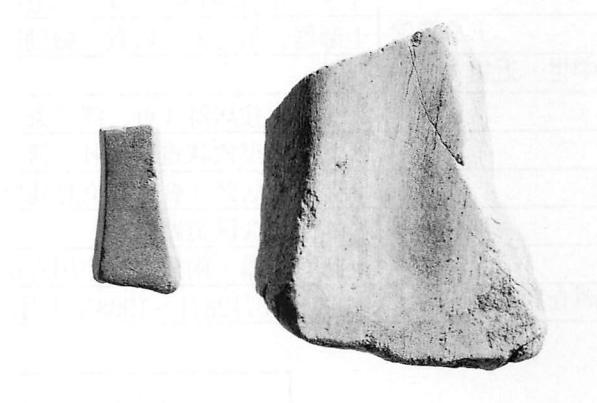
3・4. 2a区出土石器



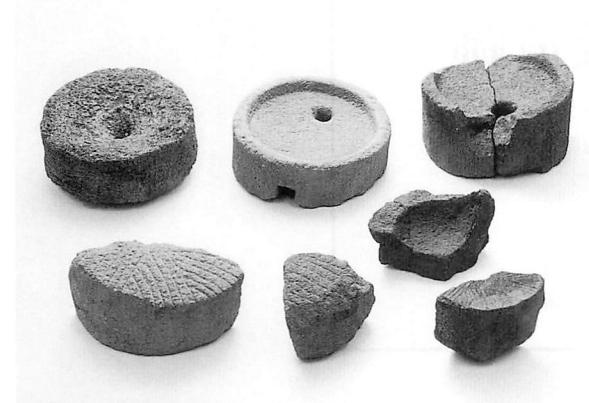
5. 2a区出土石製品（ひで鉢他）



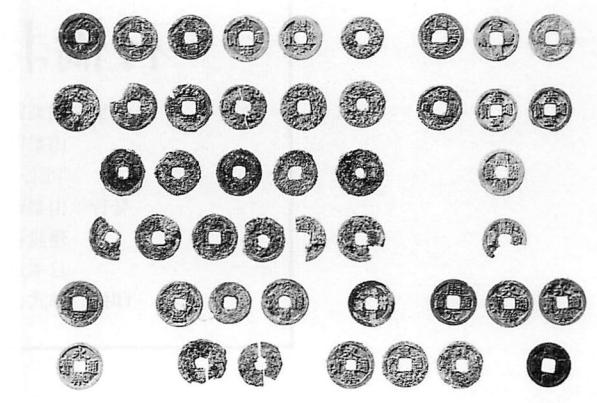
6. 2b区出土石製品（石臼他）



7. 3区出土石製品（砥石）



8. 3区出土石製品（石臼）



9. 2a区・2b区・3区出土古銭

報告書抄録

報告書概要

ふりがな	いしばしきたやしきいせき
書名	石橋北屋敷遺跡
副題	一般国道52号（甲西道路）改築工事・中部横断自動車道建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第178集
著者名	小林健二／河西 学／岡原正明・伊藤俊治／星野敬吾・平田和明
発行者	山梨県教育委員会
編集機関	山梨県埋蔵文化財センター
所在地・電話	〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 055-266-3016
印刷所	株式会社 峠南堂印刷所
印刷日・発行日	2000年3月21日・2000年3月31日

遺跡概要

遺跡名	石橋北屋敷遺跡
所在地	山梨県中巨摩郡八田村野牛島字石橋3005外 25,000分の1地形図 小笠原 位置 北緯35° 39' 58" 東経138° 28' 48" 標高330m 市町村コード 19386
縄文・弥生時代	
主な遺構	1区・2a区・2b区・3区：土坑、ピット
主な遺物	縄文土器、弥生土器、石器
奈良・平安時代	
主な遺構	2b区：住居跡3軒、土坑、ピット 3区：住居跡10軒、竪穴状遺構1軒、土坑、ピット
主な遺物	土師器、須恵器、灰釉・緑釉陶器、石器・石製品、金属製品
中世・近世	
主な遺構	2a区：住居跡4軒、溝5条、土坑、ピット 2b区：竪穴状遺構2軒、溝3条、土坑、ピット 3区：住居跡4軒、掘立柱建物跡4棟、溝12条、土坑、ピット
特殊遺構	2a区・3区道路跡
主な遺物	土師質土器・陶磁器、中国青磁・白磁、石器・石製品、金属製品、動物遺存体
調査期間	1997年10月28日～1998年1月30日、1998年4月20日～12月7日

山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第178集

2000年3月21日 印刷

2000年3月31日 発行

石橋北屋敷遺跡

編集 山梨県埋蔵文化財センター
 山梨県東八代郡中道町下曾根923
 TEL 055-266-3016
 発行 山梨県教育委員会
 建設省甲府工事事務所
 日本道路公団東京建設局
 印刷 株式会社 峠南堂印刷所

